



ユーザーマニュアル

NVR

目次

安全上のご注意	1
第 1 章 製品概要	3
1.1 リアパネル.....	3
第 2 章 NVR の設置と接続	5
2.2 接続図	6
2.3 電源接続.....	7
第 3 章 NVR の基本操作	8
3.1 付属マウスの使い方.....	8
3.2 仮想キーボードの使用	9
3.3 パスワード.....	9
3.4 システムログイン	14
4.1 スタートウィザード.....	16
4.1.1 スタートウィザード	16
4.1.2 ネットワーク設定	16
4.1.2 ネットワーク設定	16
4.1.3 日付 / 時刻.....	19
4.1.4 IP カメラ.....	22
4.1.5 ディスク.....	24
4.1.6 解像度.....	25

4.1.7 モバイル.....	26
4.1.8 概要.....	26
4.1.9 クラウドサービス設定.....	27
4.2 リアルタイム表示画面の紹介	29
4.2.1 カメラクイックツールバー	31
4.2.2 タスクバー	33
第 5 章 NVR システム設定	39
5.1 チャンネル	39
5.1.1 チャンネル.....	40
5.1.2 ライブ設定.....	46
5.1.3 画像設定.....	48
5.1.4 録画とエンコード 設定	53
5.1.5 画像キャプチャ	61
5.1.6 PTZ	61
5.1.7 ビデオカバー	71
5.2 ストレージ.....	72
5.2.1 スケジュール.....	72
5.2.1.1 録画 スケジュール.....	72
5.2.2 ストレージ.....	75
5.3 アラーム.....	82
5.3.1 I/O アラーム	82

5.3.2 例外.....	86
5.3.3 複合アラーム	88
5.3.4 音声案内.....	91
5.3.5 抑止.....	95
5.3.7 警戒解除.....	98
5.4 イベント	101
5.4.1 イベント 設定.....	101
5.4.2 リスト管理.....	137
5.4.3 統計分析.....	152
5.5 ネットワーク	157
5.5.1 一般設定.....	157
5.5.2 クラウドサービス	163
5.5.3 DDNS (ダイナミックドメイン名サーバー)	164
5.5.4 メール.....	166
5.5.5 IP フィルター.....	168
5.5.6 プラットフォームアクセス.....	170
5.6 システム設定	178
5.6.1 システム.....	178
5.6.3 マルチユーザー管理	192
5.6.5 IP カメラ メンテナンス.....	201
5.6.6 情報.....	203

第 6 章 AI シナリオ	207
6.1 越境カウント シナリオ.....	207
6.1.1 チャンネル.....	207
6.1.2 グループ	208
6.1.3 検索.....	210
6.1.4 設定.....	211
6.2 顔認証勤怠	213
6.3 非動力車統計	217
第 7 章 再生検索・バックアップ	221
7.1 検索機能の使い方	221
7.1.1 再生画面の検索と録画再生	224
7.1.3 スライス再生	230
7.1.5 イベント 検索・再生・バックアップ	231
7.1.6 画像検索.....	235
7.1.7 タグ再生.....	236
7.1.8 AI.....	237
第 8 章 WEB クライアントによるリモートアクセス	249
8.1 システムの基本環境要件.....	249
8.2 WEB プラグインのダウンロードとインストール	250
8.3 WEB クライアント管理.....	253

8.3.1 プレビュー画面	253
CHAPTER 10 モバイル機器によるリモートアクセス.....	272
10.1 RXCAMVIEW	272
第 11 章 付録.....	275
11.1 よくある質問（FAQ）	275
11.2 使用とメンテナンス.....	278
11.3 付属品（実物に準ずる）	279

安全上のご注意

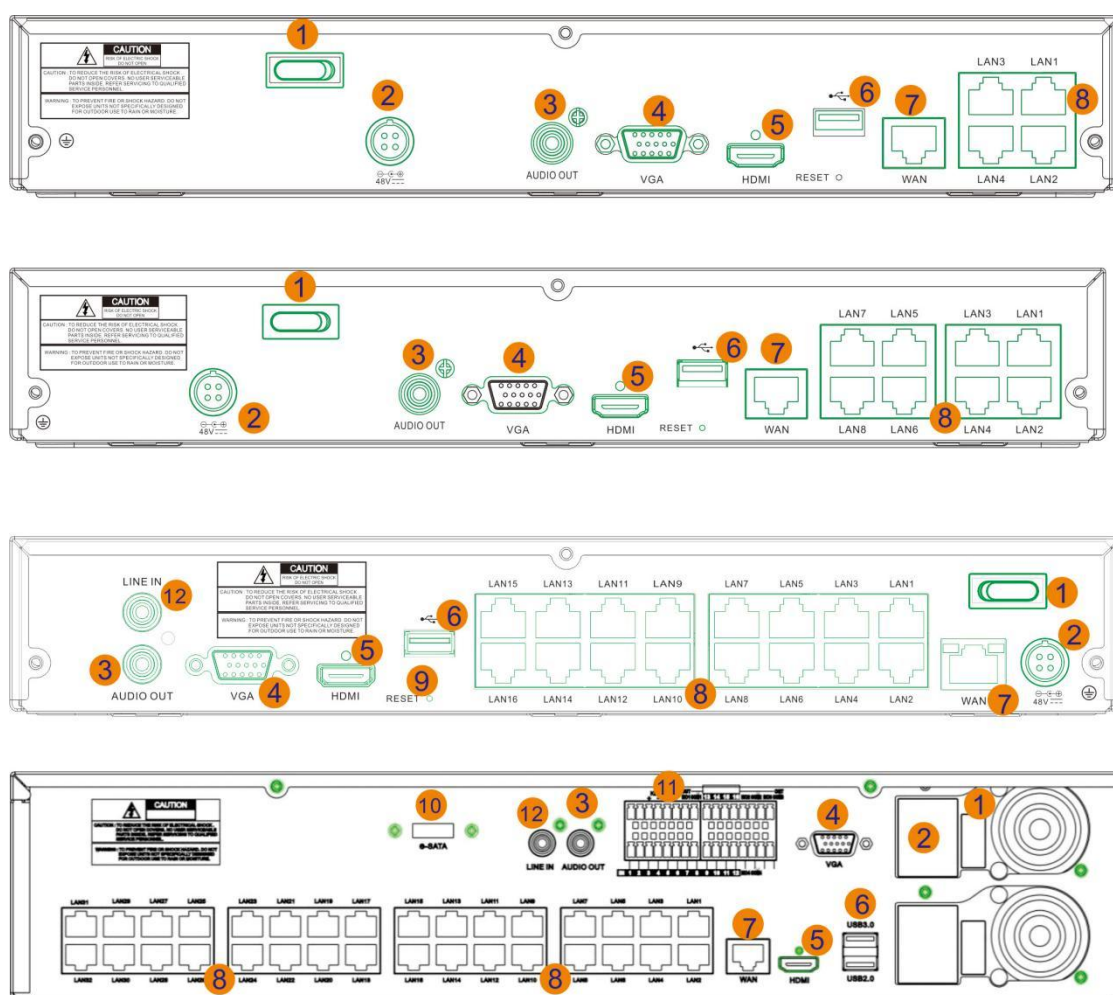
人身傷害の防止ならびに機器および接続機器の損傷防止のため、以下の安全上の注意をよくお読みください。

- 本機器は、地域の法令、電気安全規制、および消防規制に準拠してご使用ください。
- 必ずメーカー指定の電源を使用してください。指定外の電源での動作は絶対に行わないでください。
- プラグは電源ソケットにしっかりと接続してください。複数のデバイスを 1 つの電源アダプターに接続しないでください。
- アクセサリや周辺機器の接続・切断は、デバイスの電源を切ってから行ってください。
- NVR をほこりの多い場所に設置しないでください。
- NVR は密閉された換気の良い場所に設置し、直射日光・雨・水気を避けてください。 機器が誤って水に触れた場合は、直ちに電源ケーブルを抜き、販売店にご連絡ください。
- NVR は HDD を内蔵しており、動作時に大量の熱を発生します。動作中は冷却のため通気口（上面、下面、両側面）を塞がないでください。
- NVR を不安定な場所に設置しないでください。落下により重傷または死亡事故につながる恐れがあります。
- NVR の表面は清潔かつ乾燥した状態を保ってください。外装の清掃には柔らかい布を使用し、液体スプレー式クリーナーは使用しないでください。
- NVR から煙・異臭・異音が発生した場合は、直ちに電源を切り、電源ケーブルを抜いてから販売店にご連絡ください。

- 本製品にはコイン型／ボタン型電池が含まれています。飲み込んだ場合、わずか2時間で重篤な内部火傷を引き起こし、死亡につながる恐れがあります。
- 電池を飲み込んだ、または体内に入った可能性がある場合は、直ちに医療機関を受診してください。
- 新しい電池・使用済み電池ともに、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- 電池を火中や高温のオーブンに投入したり、機械的に破碎・切断したりしないでください。爆発の原因となります。
- バッテリーを極めて高温の環境に放置しないでください。爆発や可燃性液体・ガスの漏出の原因となる場合があります。
- 電池を極めて低い気圧にさらさないでください。爆発や可燃性液体・ガスの漏出の原因となる場合があります。

第 1 章 製品概要

1.1 リアパネル



NO	項目	説明
1	電源スイッチ	電源オンオフします
2	DC Power 入力	AC アダプター入力

3	オーディオ出力	外部スピーカー接続する端子
4	VGA ポート	VGA モニターを接続
5	HDMI ポート	HDMI モニターを接続
6	USB ポート	USB マウスおよびバックアップ用メモリーを接
7	WAN ポート	インターネット接続用ポート
8	LAN ポート	IP カメラを接続
9	リセットスイッチ	10 秒間長押しすることで機器をリセットします
10	E-SATA	E-SATA ハードディスク接続(オプション)
11	センサー & アラーム RS485	センサー、アラーム外部デバイス 入出力
12	Line イン	マイク接続

第 2 章 NVR の設置と接続

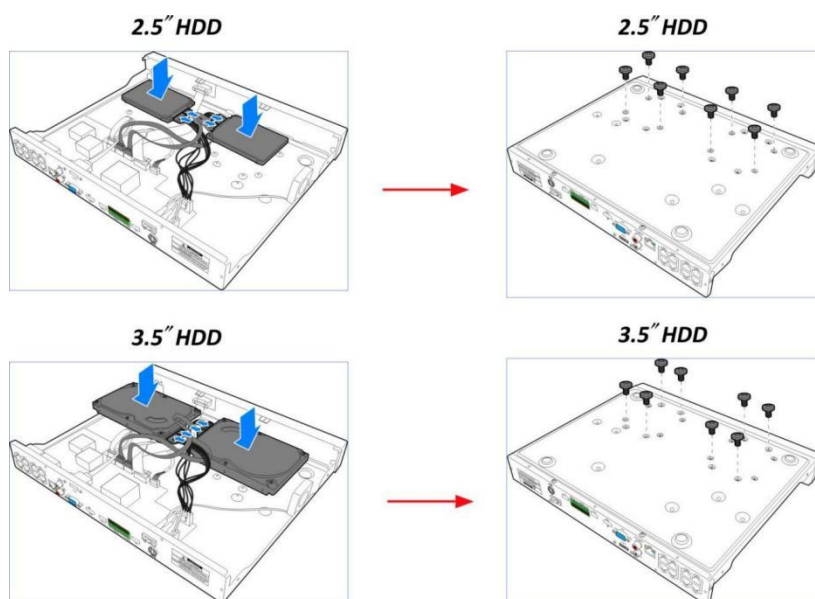
注意：デバイスの電源が入った状態でハードディスクドライブの取り付け・取り外しは絶対に行わないでください。

HDD の設置：

a) 2 台のハードディスクにデータケーブルと電源ケーブルを接続します。

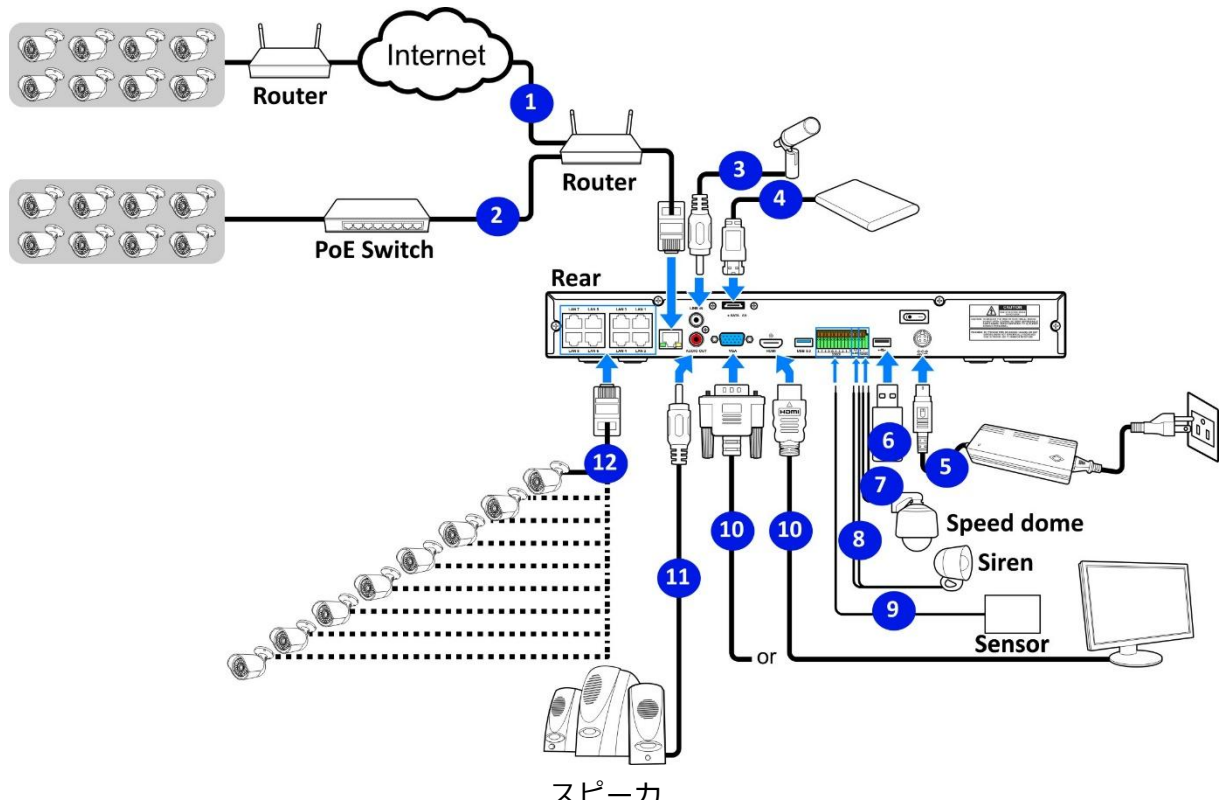
ドライブを NVR ケース上に設置します。

b) NVR ケースを慎重に裏返し、ハードディスクドライブを固定します NVR に 4 本のネジ



上記の手順は参考情報です。実際の操作は、お使いの NVR の機種によって異なる場合があります。

2.2 接続図

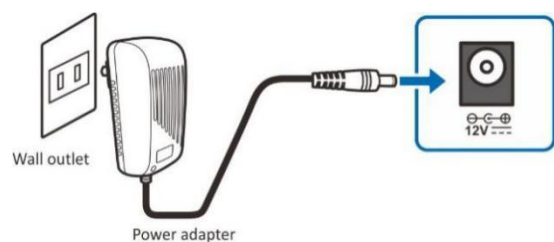


上記の図は参考情報です。実際の接続は、お使いの NVR の機種によって異なる場合があります。

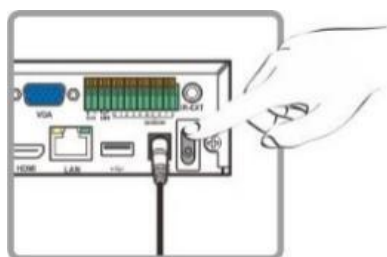
2.3 電源接続

NVR に付属の電源アダプターのみをご使用ください。

電源アダプター的一方を NVR 背面の電源コネクタに接続し、もう一方をコンセントに差し込んでください。

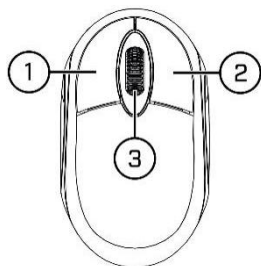


一部の機種では、電源を入れるために電源スイッチを押す必要がある場合があります。



第 3 章 NVR の基本操作

3.1 付属マウスの使い方



1. 左ボタン

- **クリック** : メニュー項目を選択します。
- マルチ画面表示中にチャンネルをダブルクリックすると全画面表示になります。
再度ダブルクリックすると分割画面に戻ります。
- ライブプレビュー中にチャンネルを選択するとカメラクイックツールバーが開きます。
- **クリック** : プレビューモードでクリック長押しするとスライダーをドラッグしてズームできます。

2. 右ボタン

- メニューでスクロールするとメニュー内容を上下に移動します。
- ボリュームコントロールホイール上でスクロールするとシステム音量が上下します。

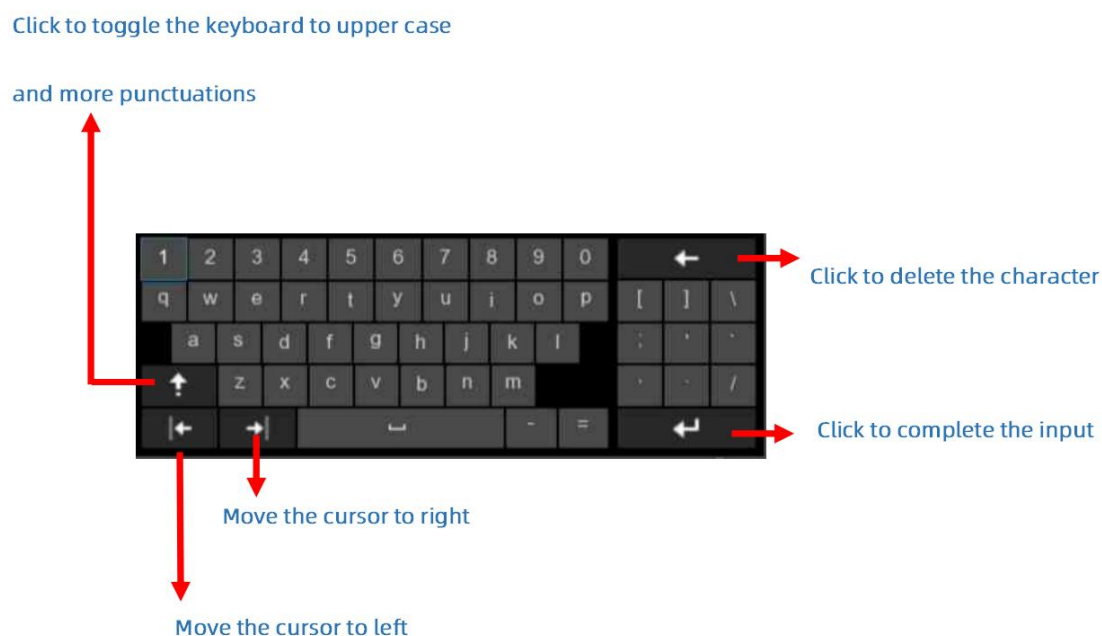
3. スクロールホイール

- メニューでスクロールするとメニュー内容を上下に移動します。

- ボリュームコントロールホイール上でスクロールするとシステム音量が上下します。

3.2 仮想キーボードの使用

パスワードやカメラ名など文字入力が必要な場面では、画面上に仮想キーボードが自動的に表示されます。



3.3 パスワード

レコーダーを初めて起動した際、プライバシー保護のためにすぐにパスワードを設定する必要があります。ユーザー名とパスワードは必ず記録し、安全な場所に保管してください。

Language: English

Device ID: 000000 (000000)

New Admin Name: admin

New Admin Password: [Strength: Medium]

Confirm Password: [Strength: Medium]

Unlock Pattern: Disable

Camera Activation Password: [] Same as recorder's password

Apply

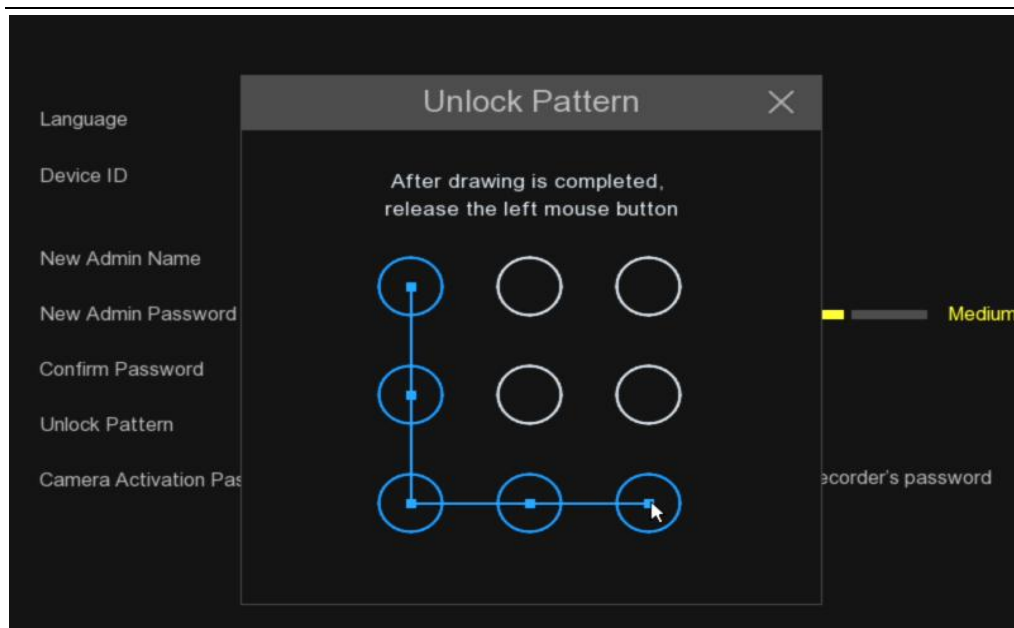
Language: 利用可能な OSD 言語を選択します。

デバイス ID : 括弧内に**デバイス ID** を入力します。デフォルト ID は 000000 です。リモコンを使用しない場合はデフォルト値のままで構いません。

管理者パスワード（新規） : 管理者パスワードを設定します。パスワードは 8～16 文字で、大文字・小文字・数字・特殊文字のうち 2 種類以上を組み合わせる必要があります。

パスワードの確認 : 管理者パスワードを再入力します。

ロック解除パターン : システムへのクイックアクセス用にロック解除パターンを有効にできます。「有効」を選択してパターンを描き、2 回確認するとパターンパスワードの設定が完了します。

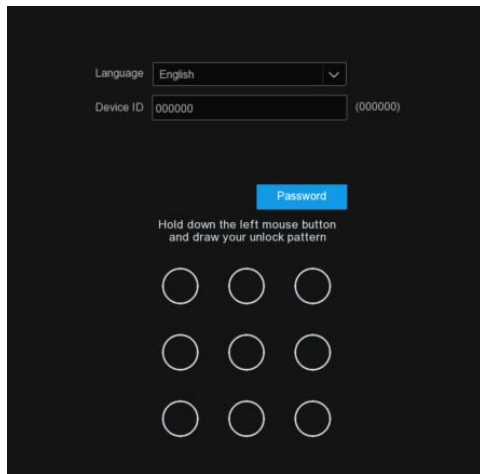


カメラ起動パスワード：このパスワードは NVR に接続されたまだ有効化されていないカメラを有効化するためのものです。「レコーダーのパスワードと同じ」が未選択の場合、カメラ用の起動パスワードをカスタマイズできます。選択した場合、デバイスのログインパスワードがカメラ起動パスワードとして自動的に使用されます。

クリック：「適用」をクリックするとパスワードリセット設定ページに進みます。

クリック：「適用」をクリックするとログイン画面に進みます。デバイスのログインパスワードを入力し、「ログイン」をクリックしてロックを解除し、NVR システムに入ります。

システムがロックされている場合、「パターン」をクリックするとパターンパスワード解除画面が表示されデバイスのロックを解除できます。



システムがロックされていてパスワードを忘れた場合は、「パスワードを忘れた方」をクリックしてリセットできます。

注意：パスワードを 5 回連続で間違えると、システム画面が 3 分間ロックされます。

初回ログイン後、パスワードリセット設定ページに進み、適切なリセット方法を有効にして保存してください。リセット方法を何も選択せずに「キャンセル」をクリックした場合、パスワードリセット機能は有効になりません。

Password Recovery Settings

☒ Security Questions

Security Question 1: What is your father's middle name? (dropdown)

Answer: 1 (text box)

Security Question 2: What is your mother's maiden name? (dropdown)

Answer: 1 (text box)

Security Question 3: What's your head teacher's nickname in senior high school? (dropdown)

Answer: 1 (text box)

☐ Password Reset Key ?

☒ Super Code (not recommended) ?

Export

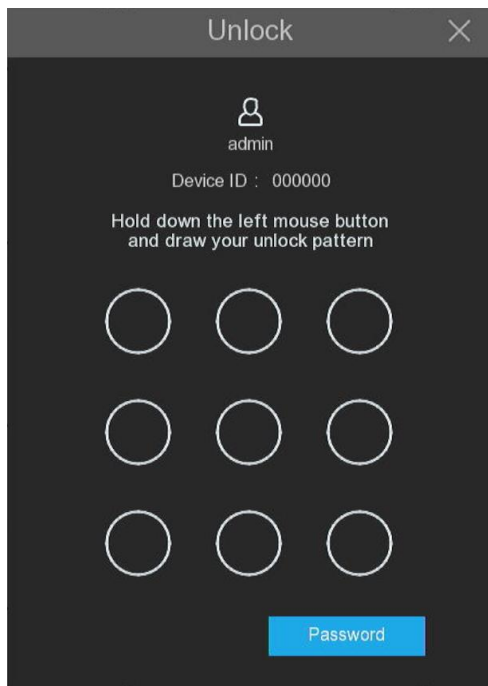
OK Cancel

- ① **セキュリティ質問**：本機能は、セキュリティ質問による管理者ユーザーのパスワード変更を可能にします。有効化後、15 の一般的な質問リストから 3 つを選択し、各最大 64 文字の回答を設定する必要があります。
- ② **認証証明書**：本機能は、キーを使用した管理者ユーザーのパスワード変更を可能にします。有効化後、「エクスポート」をクリックしてキーファイルと certificate.txt を USB フラッシュドライブにダウンロードする必要があります。
- ③ **スーパーコード（非推奨）**：本機能は、スーパーコードを使用した管理者ユーザーのパスワード変更を可能にします。この回復方法を有効にした場合、パスワードを忘れたときはレコーダーの MAC アドレスと現在のシステム日付を用意し、購入した販売店に連絡してください。販売店がデバイス固有のスーパーコードを提供します。

3.4 システムログイン

システムパスワードとパスワードリセットの設定が完了したら、新しく設定したパスワードでレコーダーにログインできます。

ロック解除パターンを有効にしている場合は、設定したパターンを描くことでデバイスをすばやくロック解除できます。



次もクリック可能 : パスワード ボタンをクリックするとパスワード入力画面に切り替わります。パスワードを入力後、「ロック解除」をクリックしてデバイスにアクセスします。

Unlock

×

Current User: admin

Device ID

(000000)

Password

Forgot Password

Pattern

Unlock

Cancel

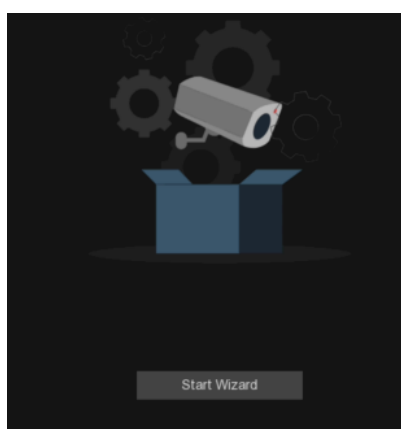
注意：パスワードを 5 回連続で間違えると、システム画面が 3 分間ロックされます。

第4章 NVR 起動

4.1 スタートウィザード

4.1.1 スタートウィザード

デバイスを初めて使用する際、システムがスタートウィザードメニューを自動的に開き、デバイスの基本機能を素早くカスタマイズできます。



4.1.2 ネットワーク設定

4.1.2 ネットワーク設定

Two side-by-side screenshots of the 'Start Wizard' window, specifically the 'Network' tab. The left screenshot shows the 'Local Connection' section with fields for DHCP (checked), IP Address (172.020.080.043), Subnet Mask (255.255.255.000), Gateway (172.020.080.001), IPv6 Address (fe80::3a24:f1f1:bd06:41a5), Subnet Prefix Length (64), and IPv6 Default Gateway (fe80::94). It also shows DNS1 (172.018.001.225) and DNS2 (008.008.008.008). The right screenshot shows the 'Port' section with a table of services and their ports, and a 'PPPoE' section with fields for 'Enable PPPoE', 'User', and 'Password'.

	Service	Protocol	Internal Port	External Port	UPNP Status	Mipng Strategy	UPNP
1	Http	TCP	00080	00080	Inactive	Auto	☐
2	RTSP	TCP	00554	00554	Inactive	Auto	☐
3	Https	TCP	00443	00443	Inactive	Auto	☐

PPPoE	
Enable PPPoE	☐
User	
Password	

デバイスが接続されているネットワークに DHCP サーバーがある場合は「DHCP」にチェックを入れると、すべてのネットワークパラメーターが自動的に割り当てられます。手動設定の場合は以下のネットワークパラメーターを設定してください：

IP アドレス： IPv4 アドレスはネットワーク上の NVR の識別子です。0～255 の 4 組の数字をピリオドで区切って構成されます。例：「192.168.001.100」。

サブネットマスク： ネットワーク内で使用できる IPv4 アドレスの範囲を定義するパラメーターです。サブネットアドレスもピリオドで区切られた 4 組の数字で構成されます（例：「255.255.000.000」）。

ゲートウェイ： デバイスが接続されているネットワークの IPv4 ゲートウェイアドレスです。デフォルトは 192.168.001.001 です。

IPv6 アドレス： IPv6 アドレスはネットワーク上の NVR の識別子です。0～FFFF までの 8 組の数字をコロンで区切って構成されます。例：, "ABCD: EF01:2345:6789: ABCD: EF01:2345:6789"。

IPv6 ゲートウェイ： デバイスが接続されているネットワークの IPv6 ゲートウェイアドレス。

DNS 1/DNS 2： DNS 1 はプライマリ DNS サーバー、DNS 2 はスタンバイ DNS サーバーです。通常は DNS 1 の入力のみで十分です。

Web ポート : リモートクライアント（例 : Web クライアント）が NVR にログインするためのポートです。デフォルトのポート 80 が他のアプリケーションで使用されている場合は変更してください。

RTSP ポート : NVR がライブストリームを他のデバイス（例 : ストリーミングプレーヤー）に送信するためのポートです。

HTTPS ポート : Web ブラウジング用ポートで、主に HTTPS サービスに使用されます。セキュアポートによる暗号化通信を提供する HTTP の別形式です。

注意 : Web ポート・RTSP ポート・HTTPS ポートは統合されており、同一ポートを共有します。デフォルトは 80 です。

UPnP（ユニバーサルプラグ&プレイ） : ネットワーク機器のアクセスを許可することで、ネットワーク効率を最適化します。UPnP はルーターの対応が必要です。有効化前にルーターを設定してください。

マッピング方式 : マッピングタイプとして「手動」を選択すると、ユーザーが外部ポート（ルーター上のポート）を編集できます。「自動」に設定すると、内部ポートとは異なる外部ポートがランダムにマッピングされます。

PPPoE : NVR が DSL モデムを通じてネットワークに直接接続するためのプロトコルです。

「PPPoE を有効」にチェックを入れ、ISP から提供された PPPoE ユーザー名とパスワードを入力してください。

PPPoE を有効 : PPPoE の有効／無効を切り替えます。有効にすると、NVR が再起動して PPPoE 設定が有効化されます。

PPPoE ネットワークカード選択：ダイヤルアップ接続に対応する LAN ポートを選択します

（注意：シングルアドレスモードではこのオプションは表示されません）。

ユーザー：PPPoE ユーザー名。

パスワード：PPPoE パスワード。

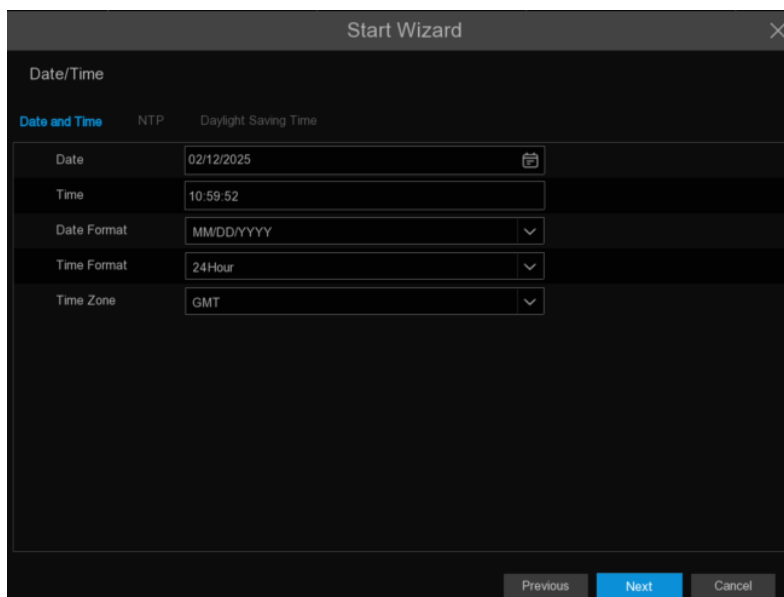
4.1.3 日付 / 時刻

このメニューでは、日付・時刻・日付フォーマット・時刻フォーマット・タイムゾーン・NTP・

夏時間（サマータイム）のパラメーターを設定できます。

日付と時刻：

クリック：カレンダーアイコンをクリックして現在のシステム日付を設定します。



The screenshot shows a 'Start Wizard' window with a 'Date/Time' tab selected. The window contains several input fields and dropdown menus for configuring the system's date and time. The 'Date' field shows '02/12/2025' with a calendar icon to its right. The 'Time' field shows '10:59:52'. Below these are dropdown menus for 'Date Format' (set to 'MM/DD/YYYY'), 'Time Format' (set to '24Hour'), and 'Time Zone' (set to 'GMT'). At the bottom of the window are three buttons: 'Previous', 'Next', and 'Cancel'.

日付： カレンダーをクリックします  日付を設定します

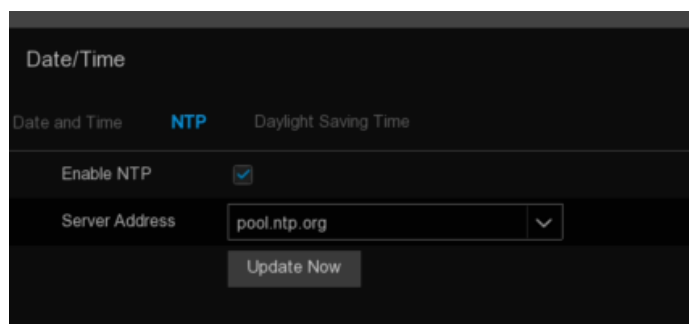
時刻： クリック：時刻を設定します

日付 フォーマット： 年/月/日の表示方法を変更します

時刻フォーマット：ドロップダウンメニューから 24 時間表示または 12 時間表示を選択します。

時刻 ゾーン：地域に合った正しいタイムゾーンを設定します。

NTP：この機能を有効にすると、デバイスは選択したタイムサーバーに自動的に日時を同期します。正常に使用するためにはデバイスがネットワークに正常に接続されている必要があります。

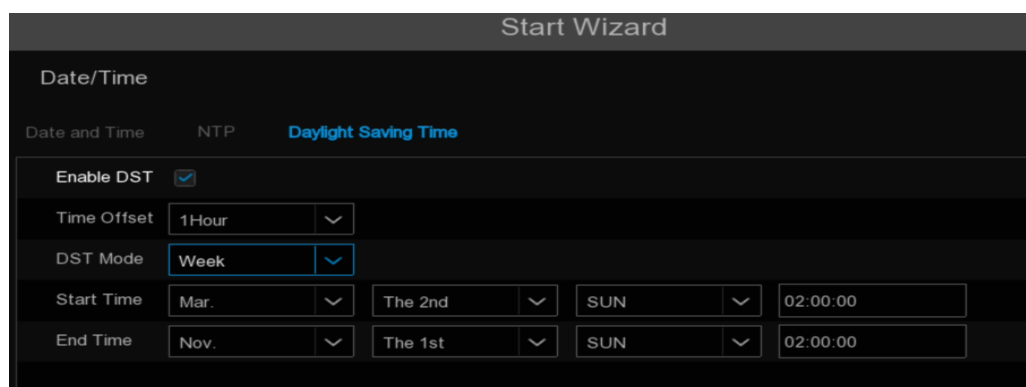


The screenshot shows the 'Date/Time' configuration page. It has three tabs: 'Date and Time', 'NTP' (which is selected and highlighted in blue), and 'Daylight Saving Time'. Under the 'NTP' tab, there is a section titled 'Enable NTP' with a checked checkbox. Below that is a 'Server Address' dropdown menu currently set to 'pool.ntp.org'. At the bottom of this section is an 'Update Now' button.

「NTP」ボックスにチェックを入れ、NTP サーバーを選択します。

注意：デフォルトのタイムゾーンは GMT です。NTP はデフォルトで有効になっており、サーバーアドレスは pool.ntp.org です。

DST（夏時間）



The screenshot shows the 'Start Wizard' page with the 'Date/Time' section. It has three tabs: 'Date and Time', 'NTP', and 'Daylight Saving Time' (which is selected and highlighted in blue). Under the 'Daylight Saving Time' tab, there is a section titled 'Enable DST' with a checked checkbox. Below that are several settings: 'Time Offset' set to '1Hour', 'DST Mode' set to 'Week', 'Start Time' set to 'Mar.', 'The 2nd', 'SUN', and '02:00:00', and 'End Time' set to 'Nov.', 'The 1st', 'SUN', and '02:00:00'.

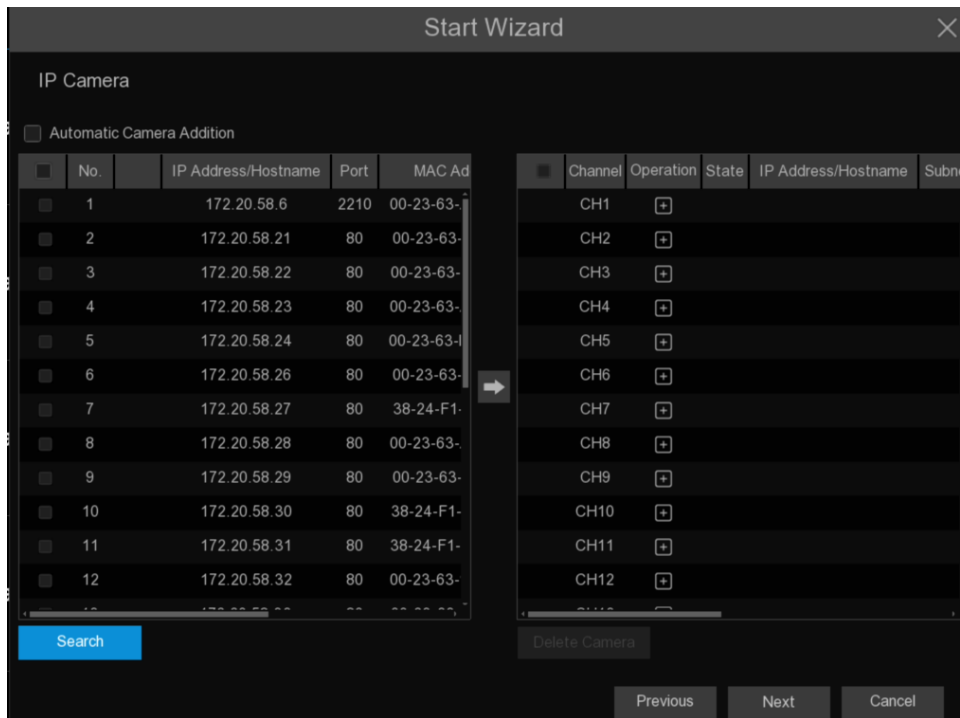
DST（夏時間）：お住まいの地域で夏時間（DST）が実施される場合はチェックを入れて有効にします。

時刻オフセット：夏時間のオフセット時間を選択します。

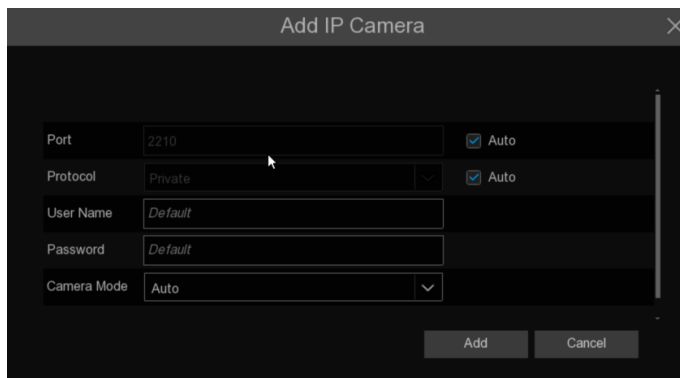
時刻モード（夏時間モード）：夏時間を週単位または日単位で設定するかを選択します。

開始時刻 / 終了時刻：

4.1.4 IP カメラ

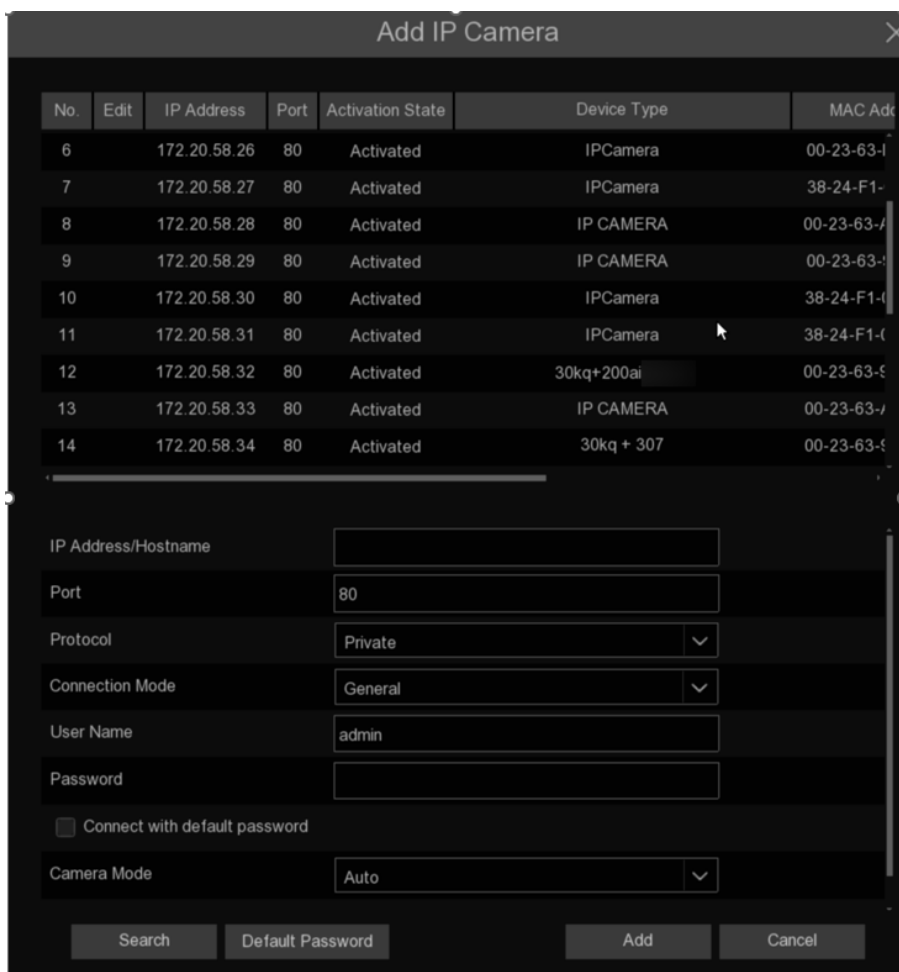


「検索」をクリックして同一ネットワーク上の IP カメラを検索します。追加したい IP カメラを複数選択し、追加アイコンをクリックして NVR に登録します。カメラのユーザー名とパスワードを入力してカメラを追加します。



カメラのユーザー名とパスワードを入力してカメラを追加します。

クリック :  アイコンをクリックして IP カメラ追加メニューを開き、カメラ情報を手動入力するか、デバイスリストから IP カメラを選択します。



No.	Edit	IP Address	Port	Activation State	Device Type	MAC Address
6		172.20.58.26	80	Activated	IPCamera	00-23-63-1
7		172.20.58.27	80	Activated	IPCamera	38-24-F1-1
8		172.20.58.28	80	Activated	IP CAMERA	00-23-63-1
9		172.20.58.29	80	Activated	IP CAMERA	00-23-63-1
10		172.20.58.30	80	Activated	IPCamera	38-24-F1-1
11		172.20.58.31	80	Activated	IPCamera	38-24-F1-1
12		172.20.58.32	80	Activated	30kq+200ai	00-23-63-1
13		172.20.58.33	80	Activated	IP CAMERA	00-23-63-1
14		172.20.58.34	80	Activated	30kq + 307	00-23-63-1

IP Address/Hostname	
Port	80
Protocol	Private ▼
Connection Mode	General ▼
User Name	admin
Password	
☐ Connect with default password	
Camera Mode	Auto ▼

IP アドレス/Domain: IP カメラの IP アドレスまたはドメイン名。

エイリアス : IP カメラの名称。

ポート : IP カメラのポート番号。

プロトコル : 追加に使用するプロトコルを選択します。

ユーザー名 : IP カメラのユーザー名。

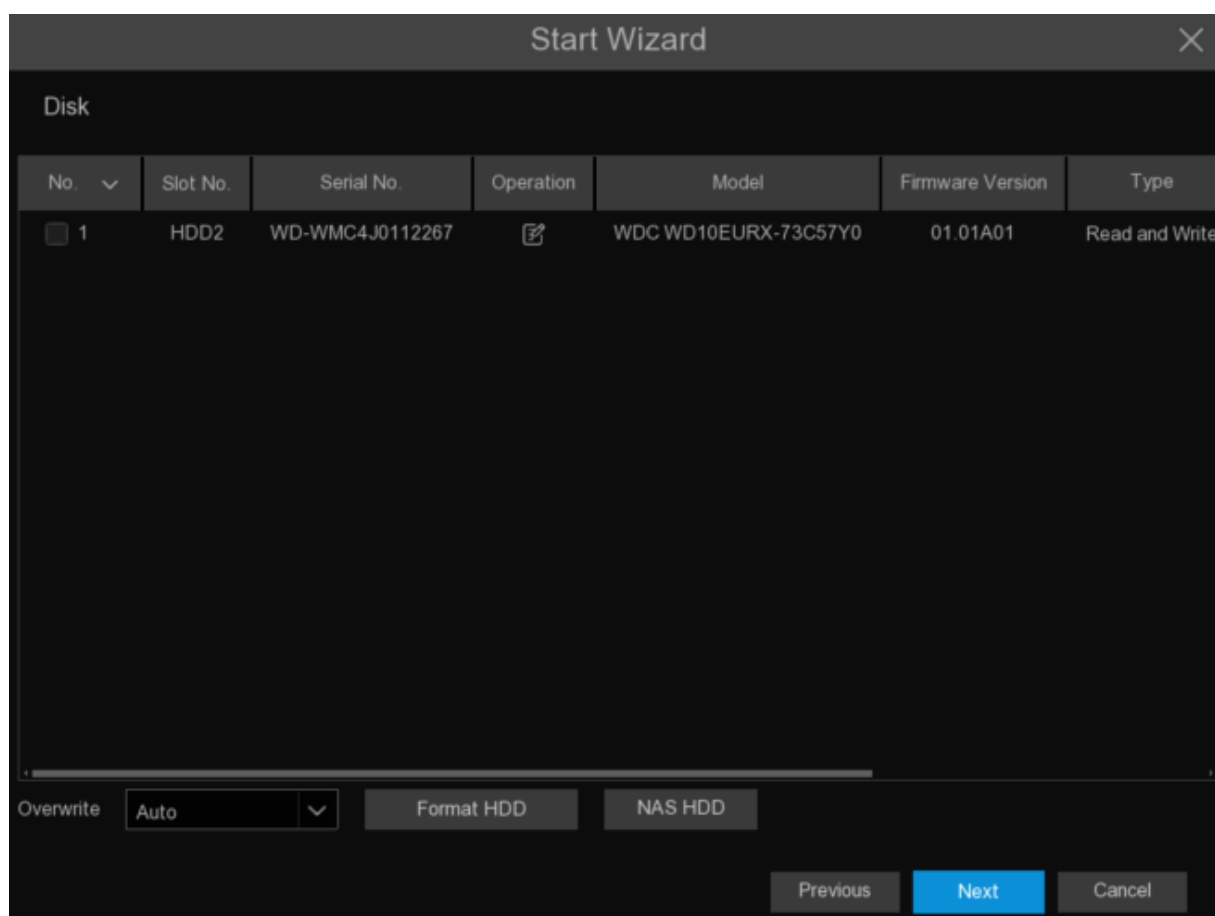
パスワード : IP カメラのパスワード。

既定のパスワードで接続：チェックを入れると、設定済みのデフォルトパスワードでカメラ接続を行います。

チャンネルバインディング：カメラを指定チャンネルに追加するか選択します。

カメラモード：ドロップダウンメニューから IP カメラのモードを選択します。

4.1.5 ディスク



NVR にドライブを初めて取り付けの際はフォーマットが必要です。ドライブを選択し、「HDD フォーマット」アイコンをクリックしてフォーマットします。

上書き：ハードドライブが満杯になった際に古い録画を上書きするためのオプションです。例えば「7 日」を選択すると、ハードドライブには過去 7 日分の録画のみが保持されます。古い録画

を上書きしたくない場合は「無効」を選択してください。この機能を無効にした場合は、定期的にハードドライブの状態を確認してください。

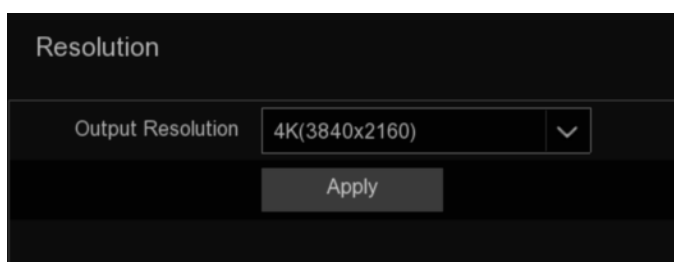
古い録画の上書きを防ぐには「オフ」を選択します。オフにした場合は、HDD が満杯になっていないか定期的に確認してください。HDD が満杯になると録画が停止します。NVR のストレージ不足を防ぐため「自動」のままにしておくことをお勧めします。

追加 NAS HDD: NAS ディスクを追加。

録画 オン E-SATA: NVR のリアパネルに E-SATA ポートがある場合、E-SATA HDD への録画を有効にできます。本機能は E-SATA HDD が接続済みの場合のみ利用可能です。

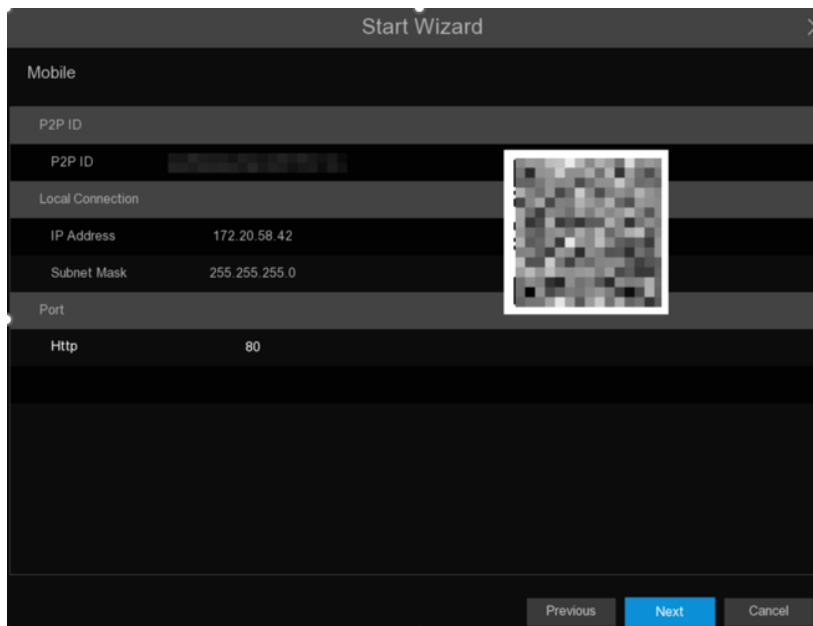
4.1.6 解像度

モニターに合った出力解像度を選択してください。NVR は起動時にモニターの最適解像度への自動調整に対応しています。4K HDMI モニターに接続した場合は最大 4K（3840×2160）を選択できます。VGA モニターに接続した場合は 1080P（1920×1080）より大きい解像度を選択しないでください。



4.1.7 モバイル

デバイスがインターネットに接続されている場合、モバイルアプリで QR コードをスキャンすることで、デバイスのリモート監視・管理が可能です。



4.1.8 概要

このページでは、スタートウィザードで設定したシステムの概要情報を確認し、起動ウィザードを完了できます。

次回の起動時にスタートウィザードを表示しない場合は「次回起動時にスタートウィザードを表示しない」にチェックを入れ、「完了」アイコンをクリックして保存・終了します。

Start Wizard

Summary

System	
Resolution	4K(3840x2160)
Date/Time	02/12/2025 11:21:27, GMT
NTP	ON

Network	
DHCP	ON
IP Address	172.20.58.42
Subnet Mask	255.255.255.0
Gateway	172.20.58.1
DNS1	172.18.1.221
DNS2	8.8.8.8
PPPoE	OFF

☐ Don't show the Start Wizard on next startup.

Previous **Next** Cancel

4.1.9 クラウドサービス設定

本デバイスは 16 桁のクラウド ID と地域コード付き 18 桁のクラウド ID に対応しています。

QR コードをスキャンして CybVu モバイルアプリに追加します：

Start Wizard

Cloud Server Configuration

Cloud Server ☒

☒ I have read and agree to [Privacy Statement](#)

Region

- Alghanistan
- Åland Islands
- Albania
- Algeria
- American Samoa

Binding Information:

Email

Unbind

1. デバイスが 16 桁 ID の場合：クラウドサービス機能を有効にしてリージョンを設定すると動的 QR コードが生成されます。CybVu アプリでこの QR コードをスキャンするとデバイスがアプリに追加され管理できます。

クラウドサーバー：クラウドサービスの切替。

プライバシーステートメント：クラウドサービスを有効にする前に、プライバシーステートメントをお読みいただき同意してください。

リージョン：クラウドサービスのリージョンを選択します（CybVu アプリに登録したリージョンと一致させる必要があります。リージョン検索に対応）。

QR コード表示：クラウドサービスを有効にしてエリアを設定すると、動的 QR コードが自動的に生成されます（QR コードの有効期間は 300 秒で、期限切れ後は再取得が必要です）。

CybVu アプリで QR コードをスキャンするとカメラがアプリに追加されます。

2. 18 桁 ID のデバイスの場合：4.1.7 モバイルの QR コードを CybVu アプリでスキャンし、デバイスパスワードを入力して接続し、アプリに追加します（16 桁クラウド ID のデバイスもこのバインド方法に対応していますが、アプリクライアントはデバイスと同じローカルエリアネットワーク上にある必要があります）。

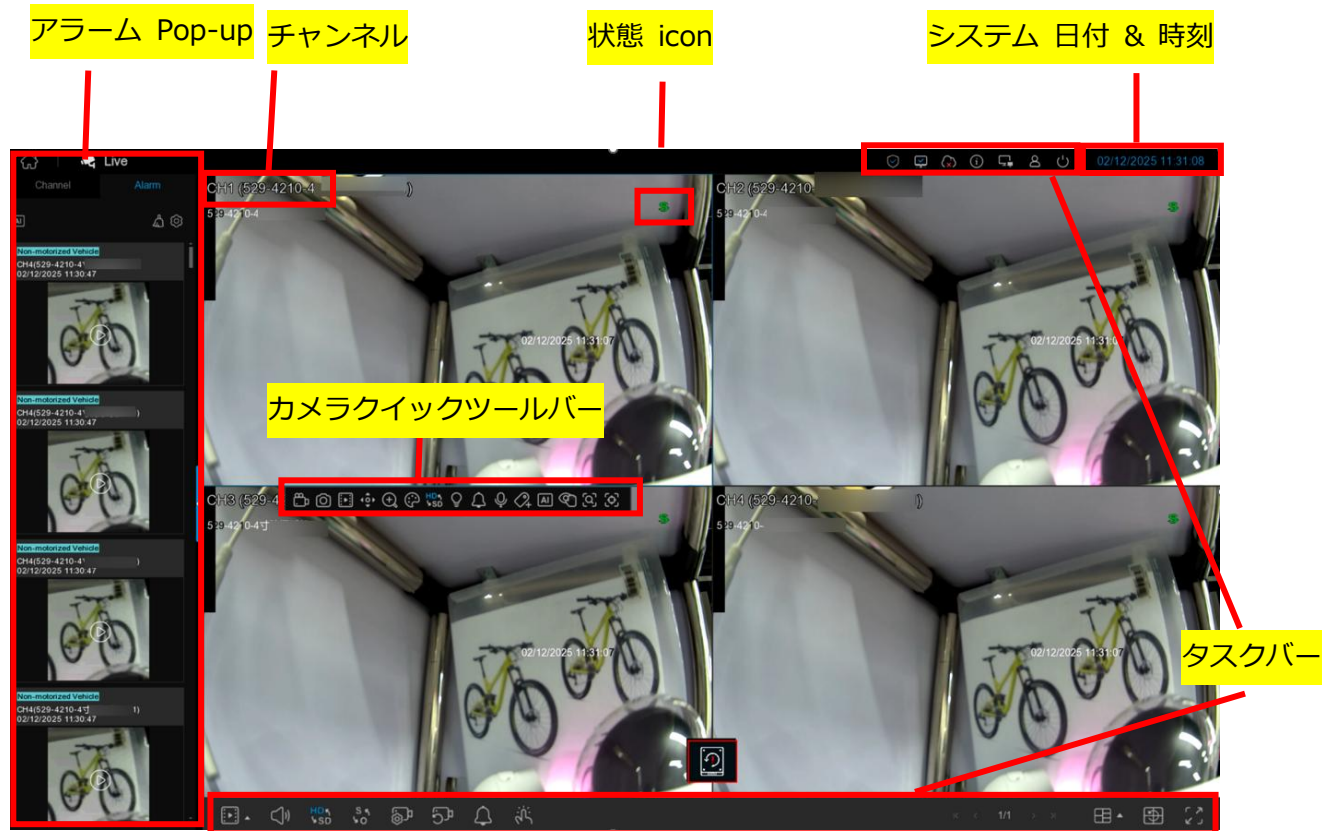
バインディング情報：デバイスバインディングの詳細を表示します。

メール：バインド済みメールアドレス。

バインド解除：バインド解除ボタンをクリックすると、カメラと CybVu アプリアカウントのバインドを解除できます。解除後、アプリ上のデバイスはオフラインと表示されアクセスできなくなります。

注意：クラウドサービス機能はクラウドサーバーとの通信が必要なため、本機能使用時はデバイスをインターネットに接続する必要があります。

4.2 リアルタイム表示画面の紹介



状態アイコン

アイコン	説明
	録画中
	モーションアラームが発生中
	インテリジェント/AI アラームが発生中
	外部 I/O アラームデバイスがトリガー

HDD エラーアイコン	
アイコン	説明
	HDD が未接続またはエラー
	HDD が未フォーマット
	HDD が満杯

画面に表示される可能性があるその他のプロンプトメッセージ：

オフライン： アナログカメラが切断されています。

カメラなし： チャンネルにカメラが追加されていません。

デコード失敗： NVR がこの IP カメラの圧縮規格に対応していません。H.264 圧縮規格に変更してください。

リソース不足： IP チャンネルのプレビューに必要なデコードリソースが仕様の上限を超えています。または MJPEG エンコードタイプを使用する IP チャンネルは 1 チャンネルのみプレビュー可能で、その他のチャンネルはリソース不足と表示されます。

帯域幅不足： 帯域幅不足のため、チャンネルをオンラインにできません。

カメラへの接続失敗： IP カメラとの接続を確立できませんでした。

ユーザー名またはパスワードが正しくありません： IP カメラのユーザー名またはパスワードが正しくありません。正しいユーザー名とパスワードを入力してください。

プライバシーモード： IP カメラがプライバシーモードで動作しています。



クリック： クイック追加メニューを開いて IP カメラを追加します。



クリック： 現在のチャンネルパラメーターを編集します。

4.2.1 カメラクイックツールバー

ライブビュー中に接続済みカメラの左ボタンをクリックすると、カメラクイックツールバーが表示されます。

注意：表示されるショートカットボタンはカメラの機種によって異なる場合があります。

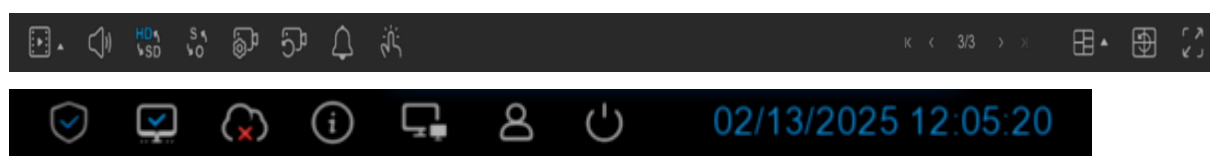


アイコン	機能	説明
	手動録画	チャンネルをすぐに手動録画します。手動録画中はアイコンが赤色になります。もう一度クリックすると手動録画を停止します。
	画像キャプチャ	現在のカメラ映像のスナップショットを保存します。この機能を使用するには手動キャプチャを有効にする必要があります。手動キャプチャの有効化については詳細をご参照ください。
	インスタント再生	このチャンネルの最新 5 分間の録画を再生します。
	PTZ コントロール	PTZ コントロールパネルを開きます。電動バリフォーカルレンズのズームとフォーカスを制御できます。
	デジタルズーム	チャンネルをズームインします。マウスホイールを使用して映像の拡大・縮小ができます。
	色調整	チャンネルの映像カラーを調整します。

	ストリーム 切替	ライブビュー動画ストリームを HD/SD 間で切替。HD はメインストリーム画像、SD はサブストリーム画像。
	ホワイトライト	ホワイトライト対応カメラにて動作します。
	サイレン 切替	カメラに内蔵スピーカーがある場合、このボタンをクリックしてアラーム音のオン/オフを切り替えます。
	警告ライト	警告ライト対応カメラにて動作します。
	双方向通話	双方向音声通話を開始します。
	タグボタン	ライブビューでタグを追加することで高速検索できます。タグ付けにより、長時間の録画内の重要なイベント・注目点を検索可能なインデックス化できます。
	AI 統計	NVR で AI 機能が有効になっている場合、アイコンにマウスを置くと AI 統計が表示されます。
	プライバシーモード	プライバシーモードの有効/無効を切り替えます。プライバシーモードが有効の間は、プレビューと再生で映像が表示されません。
	In-Pick	カメラ接続時に表示されるボタン。クリックで In-Pick モードに入ります（一部のカメラは In-Pick 機能非対応、一部の NVR モデルのみ In-Pick 対応）

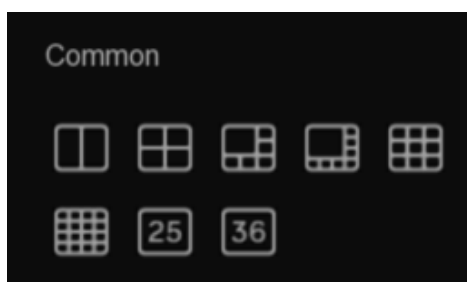
	エリアフォーカス	クリック : ボタンをクリックしてマウスでエリアをプレビューします。カメラレンズは指定したエリアに合わせてフォーカスします（ズームカメラのみ対応）。
	POS 情報表示 切替	有効 : POS アラートが発生した際、プレビューに POS 関連情報が表示されます。無効 : POS アラートが発生しても POS 情報は表示されません（POS バインドチャンネルのみ表示）。
	解錠ボタン	ボタンを押すと、ドアベルに接続されたドアのロックを解除します（対応デバイスが必要）。
	施錠ボタン	ボタンを押すと、ドアベルに接続されたドアロックを無効にします（対応デバイスとの連携が必要）。
	映像スティッチ ング	ステレオカメラシステムのスティッチング距離を設定します（デバイスが対応している場合のみ表示）。

4.2.2 タスクバー

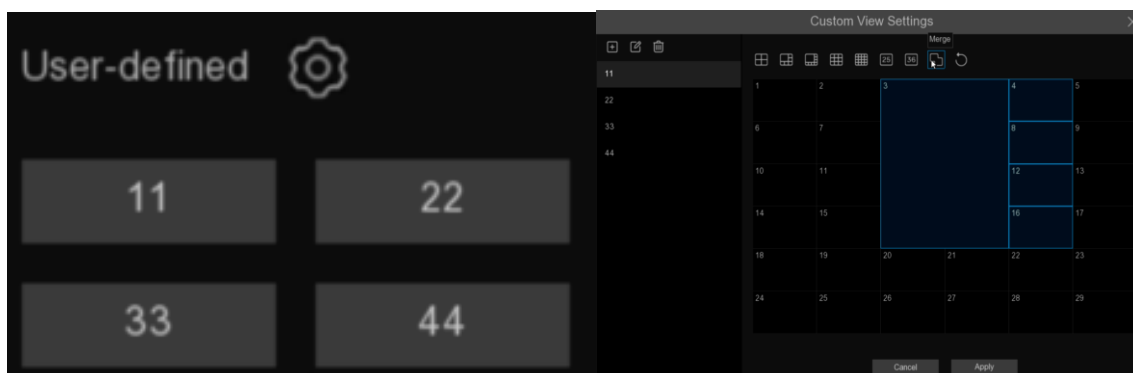


クリック :  ボタンをクリックして別のレイアウトを選択し、異なるチャンネルをプレビューします。

1. **一般レイアウト**：システムが提供する通常の分割画面レイアウトを選択します（2・4・6・8…分割画面）。



2. **カスタムビュー設定**：クリックして設定ページに入り、ビュー設定をカスタマイズします。



設定ページでは以下の機能が利用できます。

カスタムレイアウトの追加：「新しいカスタムレイアウトを追加」をクリックし、名前を入力して「適用」をクリックすると、カスタムレイアウトが追加されます。

カスタムレイアウト名の編集：クリックしてカスタムレイアウト名を設定します。



カスタムレイアウトの削除。



ルール分割画面をカスタムレイアウトとして選択します。

結合：マウスでドラッグして小さいウィンドウを選択し、クリックすると選択したウィンドウを1つの大きなウィンドウに結合できます。

キャンセル：結合後のウィンドウでキャンセルボタンをクリックすると、結合を解除して元の小さいウィンドウに戻します。

自動サイクル：クリック  チャンネルのプレビューを順番に開始します。

クイック再生：当日の全チャンネルの映像を最初から再生します。次もクリック可能： 

右下の三角形から「最後の 5 秒」「10 秒」「30 秒」「1 分」「5 分」を選択して再生を開始します。

クリック：音量を調整します。

クリック：すべての IP チャンネルをメインストリームまたはサブストリームに切り替えてプレビューします。

クリック：オリジナル比率表示と全画面伸張表示を切り替えます。

クリック：  バランス表示／スムーズ表示を切り替えます。プレビューモードはビットレート／フレームレートによりプレビュー画質のみ変化し、録画品質には影響しません。



ネットワーク未接続。



ネットワーク切断中。



ネットワーク接続成功。



全チャンネルの白色ライトとアラームを有効／無効にします。



手動映像録画と手動アラームを開始または停止します。



システム情報・チャンネル情報・録画情報・ネットワーク状態を表示します。



マルチ分割画面プレビューでチャンネル位置をワンクリックで復元します。



NVR のクラウドサービスが無効です。



NVR のクラウドサービスが有効です。



NVR は警戒状態です。



NVR は解除状態です。



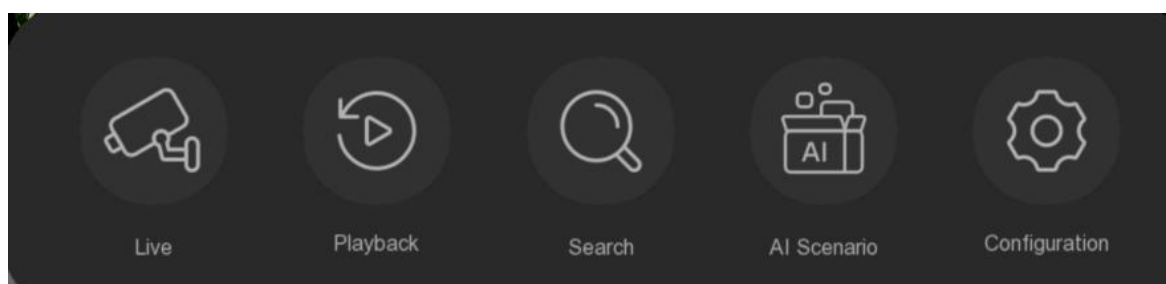
複合アラームメッセージポップアップは複合アラームがトリガーされた後にのみ表示されます。



クリック : ボタンをクリックして、マウスでメイン画面と補助画面を切り替えられます（一部の NVR モデルのみ対応）。

4.2.3 システムメニュー

システムページで右マウスボタンをクリックするとシステムメニューが表示されます。システムメニューから、ライブ・再生・検索・AI シナリオ・設定などの対応するシステムページに切り替えられます。



ライブ : プレビュー。接続カメラのプレビュー状況を表示します。

再生 : 映像の再生。通常再生・スライス再生・外部ファイル再生を含みます。

検索 : 再生検索。イベント再生・画像再生・タグ再生・AI 再生を含みます。

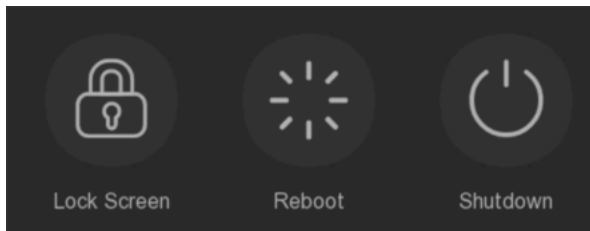
AI シナリオ : AI シナリオベースのアプリケーション。

設定 : NVR システムの各種設定。

4.2.3.1 画面のロック／ロック解除

NVR が一定時間（デフォルト 1 分）操作されない場合、システムセキュリティ保護のために画面がロックされます。

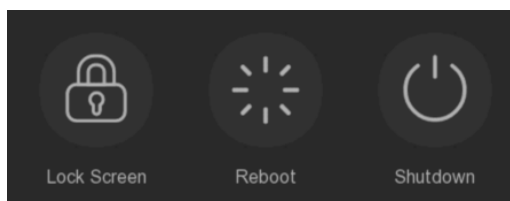
ロック解除状態でタスクバーをクリックするとメニューが表示されます。



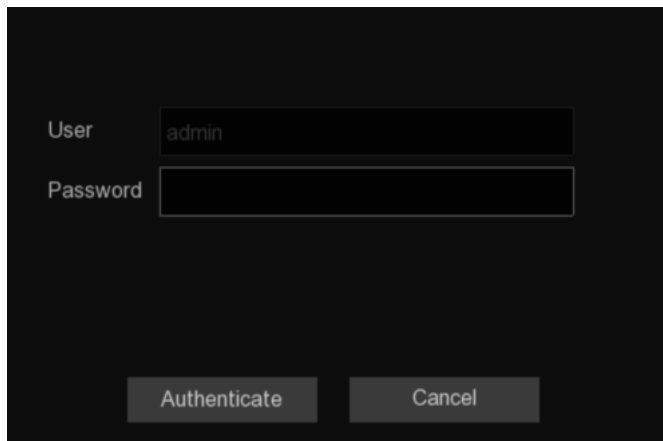
クリック：ロック画面アイコンをクリックすると即時システムをロックします。

システムがロックされている場合、右マウスボタンをクリックするとメニューが表示され、ロック解除ウィンドウをポップアップしてロックを解除できます。

4.2.3.2 シャットダウン／再起動



クリック：メニューの「シャットダウン」ボタンをクリックして操作を選択します。「認証」ボタンをクリックすると、システムが管理者パスワードの入力を求めるポップアップを表示します。

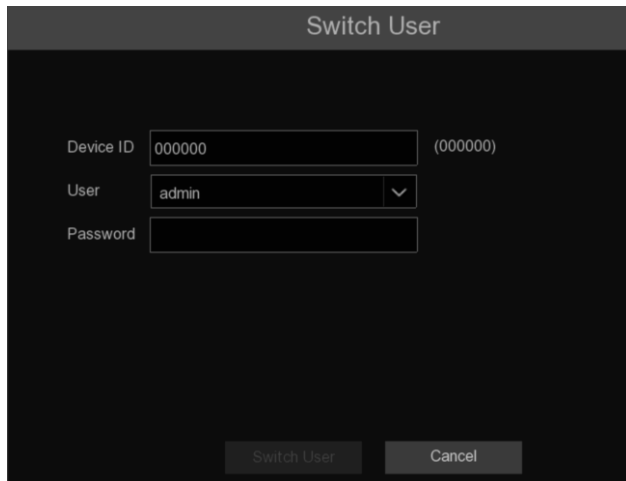


A dark-themed authentication dialog box. It contains two input fields: 'User' with the text 'admin' and 'Password' which is empty. Below the fields are two buttons: 'Authenticate' and 'Cancel'.

「システム再起動」を選択すると、パスワード入力後にシステムが再起動します。

4.2.3.3 ユーザー切替

タスクバーでクリックするとユーザー切替メニューが表示されます。ログインするユーザーを選択し、対応するユーザーパスワードを入力して「ユーザー切替」をクリックするとシステムがユーザーを切り替えます。



A dark-themed 'Switch User' dialog box. It has a title bar 'Switch User'. Inside, there are three input fields: 'Device ID' with '000000' and '(000000)' to its right, 'User' with 'admin' and a dropdown arrow, and 'Password' which is empty. At the bottom are two buttons: 'Switch User' and 'Cancel'.

第 5 章 NVR システム設定

このメニューでは、チャンネル、録画、イベント、ネットワークなどのパラメータを設定できます。

システムメニュー → 設定。



5.1 チャンネル

このセクションでは、カメラ設定、リアルタイムプレビュー、IP カメラ管理、IP カメラ画像調整、PTZ 設定、動体検知設定などを行います。

5.1.1 チャンネル

5.1.1.1 IP チャンネル

IP Channels

Advanced Setup ☐ Show Password

Channel	Operation	State	IP Address	Port	Device Type	Protocol	MAC Address	Software Version	Manufacturer
CH4 (529-4210)			172.20.58.46	80	IP CAMERA	Private	00-23-63-B3-AA-5F	VC43.45.1.2.0-250121	
CH5									
CH6			172.20.58.30	80	IPCamera	Private	38-24-F1-04-E0-2F	VC21.45.1.2.0-250123	
CH7									
CH8									

Add Device ☐ Automatic Camera Addition

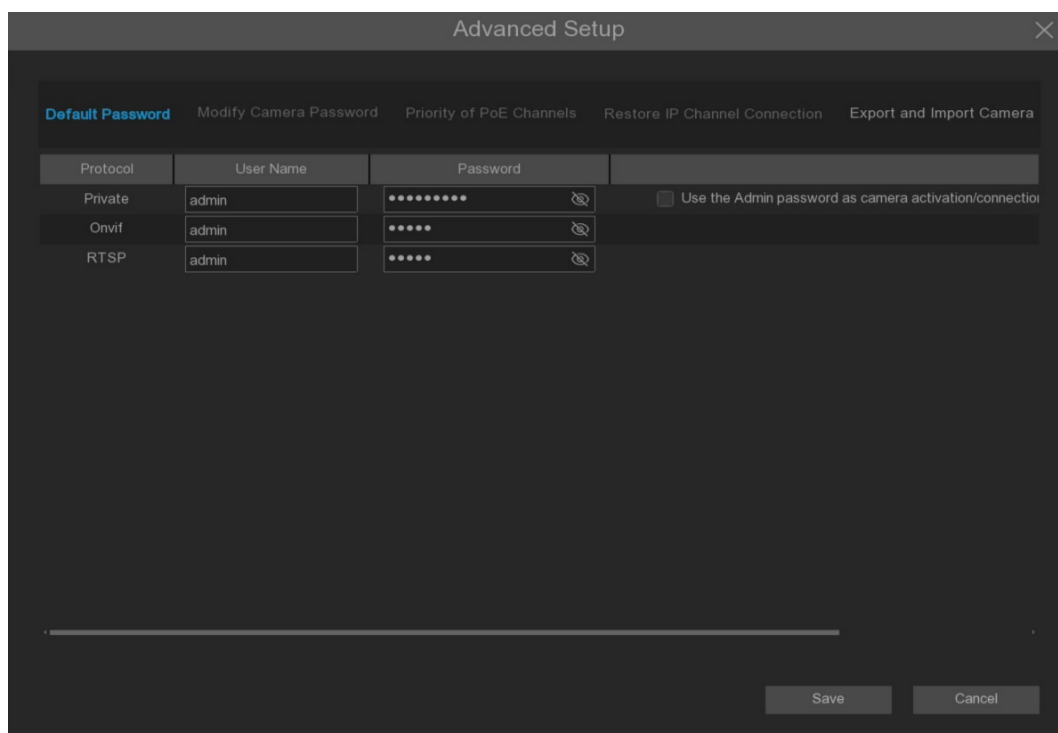
No.	Edit	IP Address	Port	Channel Count	State	Device Type	Protocol	MAC Address	Software Version	Manufacturer
6		172.20.58.26	80	1	Activated	IPCamera	Private	00-23-63-B3-79-80	VC30.85.1.1.0_240910	
7		172.20.58.27	80	1	Activated	IPCamera	Private	38-24-F1-06-04-09	VC48.55.1.1.1_240926	
8		172.20.58.28	80	1	Activated	IP CAMERA	Private	00-23-63-AD-3F-50	VC30.85.1.1.0_240910	
9		172.20.58.29	80	1	Activated	IP CAMERA	Private	00-23-63-90-11-7C	V31.35.8.2.2_220625	
10		172.20.58.31	80	1	Activated	IPCamera	Private	38-24-F1-04-DF-C6	VC21.45.1.1.0_240827	
11		172.20.58.32	80	1	Activated	30kq+200ai	Private	00-23-63-94-A9-DE	VC31.35.1.1.0_240910	
12		172.20.58.33	80	1	Activated	IP CAMERA	Private	00-23-63-AC-B7-B6	VC31.35.1.1.0_240910	
13		172.20.58.34	80	1	Activated	30kq + 307	Private	00-23-63-9E-78-EF	VC31.35.1.1.0_240910	
14		172.20.58.35	80	1	Activated	SSC30KQ+SC500A	Private	00-23-63-92-CF-8D	VC31.35.1.1.0_240910	
15		172.20.58.36	80	1	Activated	SSC30KQ+IMX307	Private	00-23-63-AE-0F-E7	VC31.35.1.1.0_240910	
16		172.20.58.37	80	1	Activated	IP CAMERA	Private	00-23-63-A0-73-0F	VC42.54.1.2.0-241129	

1. **クリック** : 追加 → デバイス検索ウィンドウの展開・折りたたみを実行します。

a. **クリック** : 検索ボタンで同一 LAN 内のデバイスを検索・表示します。1 台または複数台のデバイスを選択します。

b. **クリック** : 検索結果から複数のデバイスを選択できます。「バッチ IP アドレス変更」をクリックして対応する IP アドレスを設定します。

c. 「カメラ自動追加」を選択すると、LAN 内で未追加のカメラを自動的に追加します。



2. 「詳細設定」ボタンをクリックしてデバイスのパスワードを入力し、詳細設定ページを開きます。

3. **既定パスワード**：Private / ONVIF / RTSP プロトコルを通じてカメラを接続するためのデフォルトパスワードを設定します。

4. **カメラパスワードの変更**：既存のオンラインカメラのパスワードを変更します。

5. PoE チャンネルの優先順位（PoE モデルの NVR のみ対応）。

(1). PoE チャンネルが優先されます。カメラが手動でチャンネルに追加済みの場合、そのカメラが引き続き使用されます。

(2). 手動追加が優先されます。カメラが手動でチャンネルに追加済みの場合、その後 PoE ポートに接続しても手動追加のカメラが優先されます。

(3). いずれの優先順位も無効の場合、チャンネルにカメラが手動追加済みであれば、PoE ポートに別のカメラを接続してもアクセスはできません。

d. IP チャンネル接続を復元：工場出荷時設定への復元によりオンラインチャンネルが誤って削除された場合、ワンキー操作で元のオンラインカメラをすべてのチャンネルに再登録できます。インカメラをすべてのチャンネルに再登録できます。

注意：この機能は「工場出荷時の既定値」から工場設定を復元した後は有効になりません。

e. カメラのエクスポートとインポート：追加済みの IPC の情報をバックアップとしてエクスポートし、再インポートまたは他のデバイスへインポートできます。

3. デバイスに追加済みのカメラを選択し、「削除」ボタンをクリックして選択したカメラを削除します。
4. 「パスワードを表示」にチェックを入れ、管理者パスワードを入力すると、デバイスに追加されたカメラの接続パスワードが表示されます。

The screenshot shows the 'Add IP Camera' window. It contains a table with the following data:

No.	Edit	IP Address	Port	Activation State	Device Type	MAC Address
6		172.20.58.26	80	Activated	IPCamera	00-23-63-1-
7		172.20.58.27	80	Activated	IPCamera	38-24-F1-
8		172.20.58.28	80	Activated	IP CAMERA	00-23-63-7-
9		172.20.58.29	80	Activated	IP CAMERA	00-23-63-3-
10		172.20.58.31	80	Activated	IPCamera	38-24-F1-
11		172.20.58.32	80	Activated		00-23-63-8-
12		172.20.58.33	80	Activated	IP CAMERA	00-23-63-7-
13		172.20.58.34	80	Activated	30kq + 307	00-23-63-8-
14		172.20.58.35	80	Activated		00-23-63-8-
15		172.20.58.36	80	Activated	SSC30KQ+IMX307	00-23-63-7-

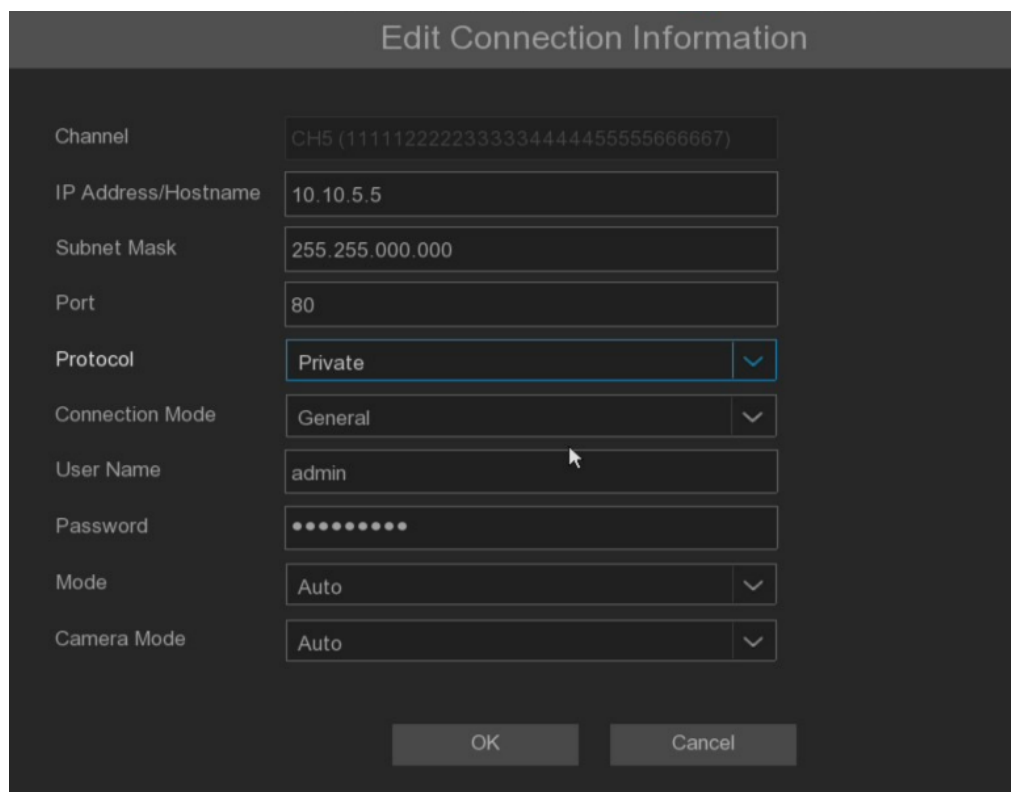
Below the table, there are configuration fields:

- IP Address/Hostname:
- Port:
- Protocol:
- Connection Mode:
- User Name:
- Password:
- ☐ Connect with default password
- Camera Mode:

At the bottom, there are buttons: Search, Default Password, Add, and Cancel.

「検索」アイコンをクリックして LAN 内のオンラインカメラを検索し、追加するカメラを選択してカメラのユーザー名とパスワードを入力します。

プロトコル：ドロップダウンメニューから IP カメラのプロトコルを選択します（Private、ONVIF、RTSP プロトコルを含む）



Edit Connection Information	
Channel	CH5 (111112222333334444555566667)
IP Address/Hostname	10.10.5.5
Subnet Mask	255.255.000.000
Port	80
Protocol	Private
Connection Mode	General
User Name	admin
Password	
Mode	Auto
Camera Mode	Auto
OK Cancel	

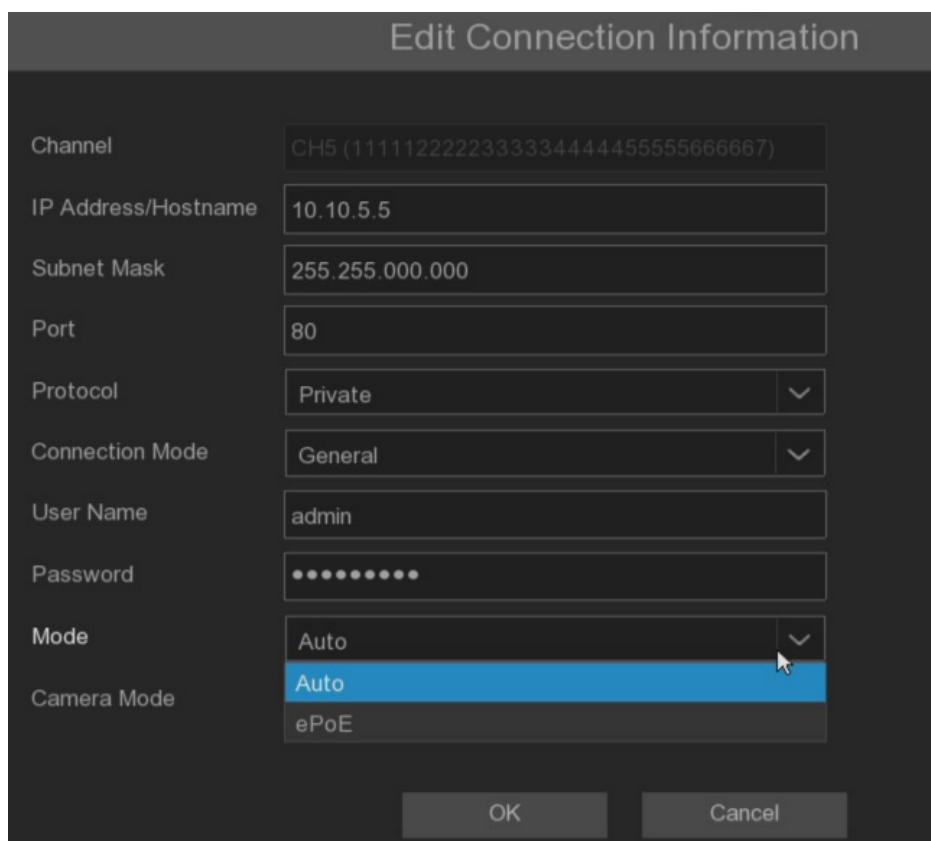
接続モード：ドロップダウンメニューから「一般設定」または「セキュリティ」を選択します。

「一般設定」を選択すると HTTP ポートで接続します。

注意：カメラが HTTPS モードに対応していない場合、自動的に HTTP ポートに切り替わります

メインストリーム URL：RTSP プロトコルを選択した場合に表示されます。メインストリームアドレスを入力してください。

サブストリーム URL：RTSP プロトコルを選択した場合に表示されます。サブストリームアドレスを入力してカメラに接続してください。



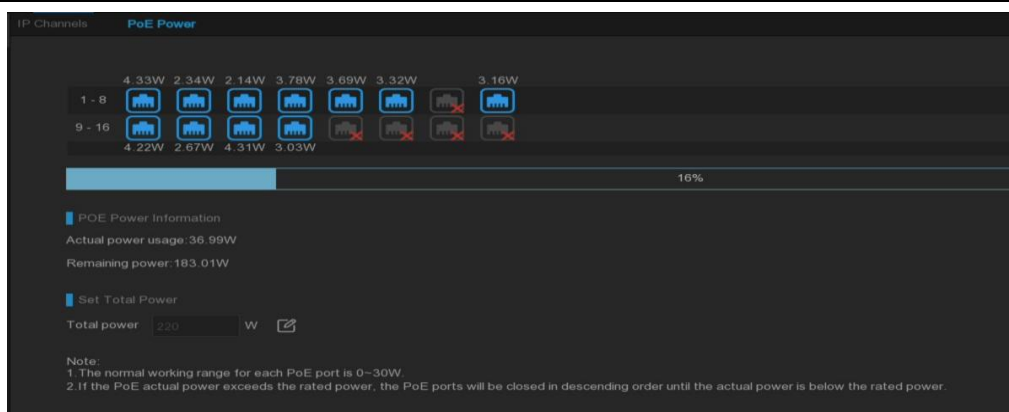
「モード」のドロップダウンボックスをクリックして「自動」モードまたは「ePoE」モードを選択します。

注意：自動モードでは伝送帯域幅 100Mbps で最大約 120 メートルの伝送距離に対応。ePoE モードでは伝送帯域幅が 10Mbps に制限される代わりに、伝送距離が最大約 300 メートルに延長されます。

カメラモード：カメラモードを設定します。自動、通常、魚眼の 3 つのモードに対応。

5.1.1.2 PoE 電源

このインターフェースでは、PoE 経由で NVR に接続された IPC の消費電力を確認でき、使用済みの PoE 消費電力も表示できます。



実際の電力使用量：現在使用中の PoE 給電量。

残りの電力使用量：残りの PoE 電力。



警告：

1. より大きな電源に交換した場合、電源負荷を適正範囲内に保つため、残存電力を現在の電源の 80% に設定することを推奨します。

2. 電力計算式：電力(W) = 電圧(V) × 電流(A)。電源の具体的パラメータは電源ステッカーの注記情報を参照してください

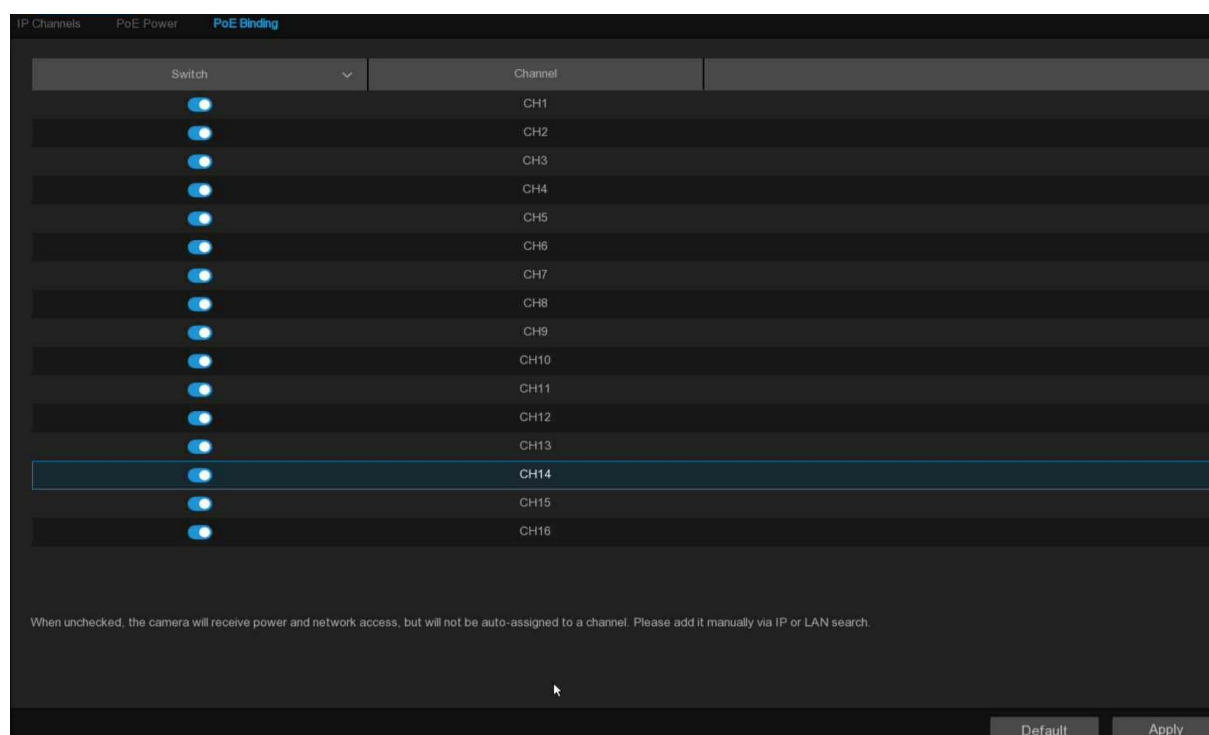
注意：

1. 単一の PoE ポートは最大 30W の電力出力に対応します。

2. 接続デバイスの出力電力が PoE ポートの定格を超えた場合、電力供給が不足し、NVR のすべての PoE ポートの電力供給が停止することがあります。

5.1.1.3 PoE バインディング

この設定ページでは、PoE ポートに接続されたカメラとチャンネルをバインドするかを設定します。有効時、PoE ポート接続のカメラは自動的に対応するチャンネルに追加されます。



5.1.2 ライブ設定

IP カメラのライブパラメータを設定します。

Channel	Setup	Privacy Mode	Channel Name	Show Name	Date Format	Time Format	Show Time	Refresh Rate
CH1			529+4210poe		YYYY/MM/DD	24 Hour		60Hz
CH2			30kg824		YYYY/MM/DD	24 Hour		60Hz
CH3			Camera		DD/MM/YYYY	24 Hour		60Hz
CH4			Camera823		YYYY/MM/DD	24 Hour		60Hz
CH5			111112222233334444555566667		MM/DD/YYYY	24 Hour		60Hz
CH6			338g		YYYY/MM/DD	12 Hour		50Hz
CH7					YYYY/MM/DD	24 Hour		60Hz
CH8			529+4210one		YYYY/MM/DD	24 Hour		50Hz
CH9			li		YYYY/MM/DD	24 Hour		50Hz
CH10			live		YYYY/MM/DD	24 Hour		60Hz
CH11			529-850		MM/DD/YYYY	24 Hour		50Hz
CH12			16>z<338g		YYYY/MM/DD	24 Hour		60Hz
CH13			Camera		YYYY/MM/DD	24 Hour		50Hz
CH14					YYYY/MM/DD	24 Hour		50Hz
CH15					MM/DD/YYYY	24 Hour		60Hz
CH16			1200		MM/DD/YYYY	24 Hour		50Hz
CH17			529+11		YYYY/MM/DD	24 Hour		60Hz
CH18			338g		YYYY/MM/DD	24 Hour		50Hz

チャンネル : チャンネル名を表示します。

プライバシーモード : プライバシーモード。有効中はプレビューと再生に画像は表示されず、設定ページにもプレビュー画像は表示されません。

Channel

CH1

Channel Name

529+4210poe

Date Format

YYYY/MM/DD

Time Format

24 Hour

Show Name

Show Time

チャンネル 名称 : チャンネル名を設定。

日付フォーマット : IP カメラの OSD 表示の日付フォーマットを設定します。

時刻フォーマット : IP カメラの OSD 表示の時刻フォーマットを設定します。

更新レート：IP カメラのリフレッシュレートを設定します。

チャンネル名を表示：プレビューに IP カメラのチャンネル名を表示します。

日付を表示：プレビューに IP カメラの時刻を表示します。

日付フォーマット OSD、時刻フォーマット OSD、越境カウント統計 OSD の表示に対応しています。

5.1.3 画像設定

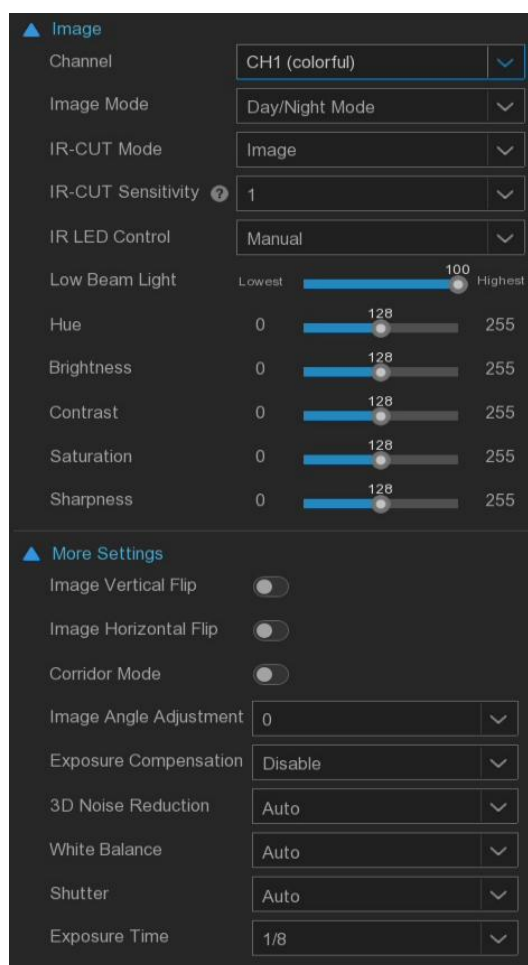
このメニューは IP カメラの画像パラメータを設定するために使用します。

Image Control										
Channel	Setup	Image Mode	IR-CUT Mode	Vertical Flip	Horizontal Flip	Angle Adjustment	BLC Level	3D Noise Reduction	DWDR	AOC
CH1 (529*4210poe)		Day/Night Mode	Image	OFF	OFF	180	OFF	Auto	OFF	
CH2 (30kq824)			GPIO Auto	OFF	OFF	0	OFF	Auto	OFF	
CH3 (Camera)		Day/Night Mode	Automatic mode	OFF	OFF	0	OFF	Auto	OFF	
CH4 (Camera823)		Day/Night Mode	Image	OFF	OFF	180	OFF	Auto	OFF	
CH5 (11111222233333444445555666667)		Day/Night Mode	Automatic mode	OFF	OFF	0	OFF	Auto	OFF	
CH6 (338g)			Color Mode	OFF	OFF	0	OFF	Auto	OFF	
CH7 (30k)		Day/Night Mode	Image	OFF	OFF	0	OFF	Auto	OFF	
CH8 (529*4210one)		Day/Night Mode	Day	OFF	OFF	180	OFF	Auto	OFF	
CH9 (lll)		Full Color Mode		OFF	OFF	180	OFF	Auto	OFF	
CH10 (live)		Day/Night Mode	Image	OFF	OFF	0	OFF	Auto	OFF	

チャンネル：チャンネル名

Setup：クリック





チャンネル：設定するチャンネルを選択します。

画像モード：カメラの画像モードを設定します。合計 3 つのモードがあります。

フルカラーモード：周囲の照明が不十分な場合、ウォームライトが点灯します。

昼夜モード：周囲の照明が不十分な場合、IR ライトが点灯して補助照明を行います。周囲の照明が十分な場合、IR ライトは消灯し補助照明を終了します。は消灯し補助照明を終了します。

スマート照明：インテリジェント照明モード。周囲の照明が不十分な場合、アラームによりウォームライトまたは IR ライトが自動で点灯します。

白色光：フルカラーモードでカメラのウォームライト効果を設定します。合計 4 つのモードがあります。

自動モード：カメラが周囲の照明に応じてウォームライトの強度を自動調整します。

手動：固定輝度値。周囲の光に関わらず設定値の輝度を維持します。

スケジュール：スケジュールを設定して補助光を自動切替します。

オフ：ウォームライトを無効にします。

感度：0～3 のレベル。カメラの周辺光感度。値が大きいほど感度が高くなります。

光強度：光強度の範囲は0～100。白色光はウォームライトの明るさを調整し、IR 光は IR ライトの明るさを調整します。

IR カットモード：昼夜モードでカメラの IR カット切替モードを設定します。5 つのモードがあります。

自動 / GPIO 自動：自動制御切替モード。画像判定によりカラーと白黒を切り替えます。

昼 / カラーモード：カラーモードを強制。白黒への切替は行いません。

夜間／白黒モード：白黒モードを強制。カラーへの切替は行いません。

画像ファイル / 画像制御：自動モードと同様に、画像の明るさに基づいてカラーから白黒、白黒からカラーへの切替を制御します。

スケジュール：スケジュール設定により白黒とカラーを切り替えます。この機能を有効にするには、スケジュールを設定する必要があります。

IR-LED 制御：ナイトビジョン中のカメラ IR ライトのウォームライト効果を設定します。3 つのモードがあります。

スマート IR：補助光強度のインテリジェント制御。焦点距離や被写体との距離に応じて光強度を自動調整します。

手動：設定した IR ライトの輝度値で手動補光します。

オフ : IR ライトを無効にします。

ロービームライト : 第 1 グループの IR ライトの輝度を手動調整できます（光強度の範囲 : 0～100）

ハイビームライト : 第 2 グループの IR ライト（カメラが対応している場合）の輝度を手動調整できます（光強度の範囲 : 0～100）。

色調 : 画像のトーンを調整します。

Brightness : 画像の明るさを調整します。

Contrast : 画像のコントラスト比を調整します。

彩度 : 画像の彩度を調整します。

鮮明度 : 画像の鮮明度を調整します。

逆光補正（アンチオーバーエクスポージャー） : 画像の露出オーバー防止機能。

画像垂直反転 : 画像を上下反転します。

画像水平反転 : 画像を水平方向に反転します。

コリドーモード : 廊下や通路など縦長の狭いシーンを監視するためにカメラの縦方向視野角を最適化します。

画像角度調整 : フリップ角度を設定できます。

露出補正 : 露出補正を設定します。4 つのモードがあります。

WDR : ワイドダイナミックレンジ。設定に基づいて画像が均等にバランスされ、明るい領域と暗い領域を明確に区別できます（一部モデルでは DWDR）。

HLC : ハイライト補正。ハイライト領域内の被写体が画像内でより明確に表示されます（一部モデルのみ対応）

逆光補正：逆光補正により暗い領域の被写体がより明確に表示されます。

無効：逆光補正なしで画像を最適化しません。

3D ノイズリダクション：画像のノイズを低減してより鮮明な映像を実現します。3つのモードがあります。

自動モード：カメラが自動的にノイズリダクションアルゴリズムを適用します。

オフ：ノイズリダクションを無効にします。

手動：手動で設定したノイズリダクション係数に従ってノイズリダクションを行います。

ホワイトバランス：ホワイトバランス設定。2つのモードがあります。

自動モード：プログラムの既定値で白色光を調整。

手動：赤・緑・青のゲインを手動で設定して白色光を合成します。

シャッター：シャッター露光時間を設定します。2つのモードがあります。

自動モード：現在設定されている露出時間の値に基づいて、プログラムが適切な露出時間を自動選択します。

手動：設定された露出時間の値を使用します。

露出時間：シャッター設定と組み合わせて使用する露出時間を設定します。シャッターモードが自動の場合、この値はカメラのシャッタースピードの最大値として機能します。

AGC：低照度環境でセンサーゲインを高めて適切な露出を確保するために、自動ゲインコントロールレベルを調整します。

デフォグモード：霧の日の視認性を最適化します（カメラの対応が必要）。3つのモードがあります。

オフ：デフォグ機能を無効にします。

自動モード：カメラがデフォグの効果を自動的に判断します。

手動：手動で設定した値に従ってデフォグします。

レンズ歪み補正：レンズ歪み補正（超広角カメラ対応）。

視野角調整：レンズ歪み補正を有効にした後、補正レベルを調整できます。

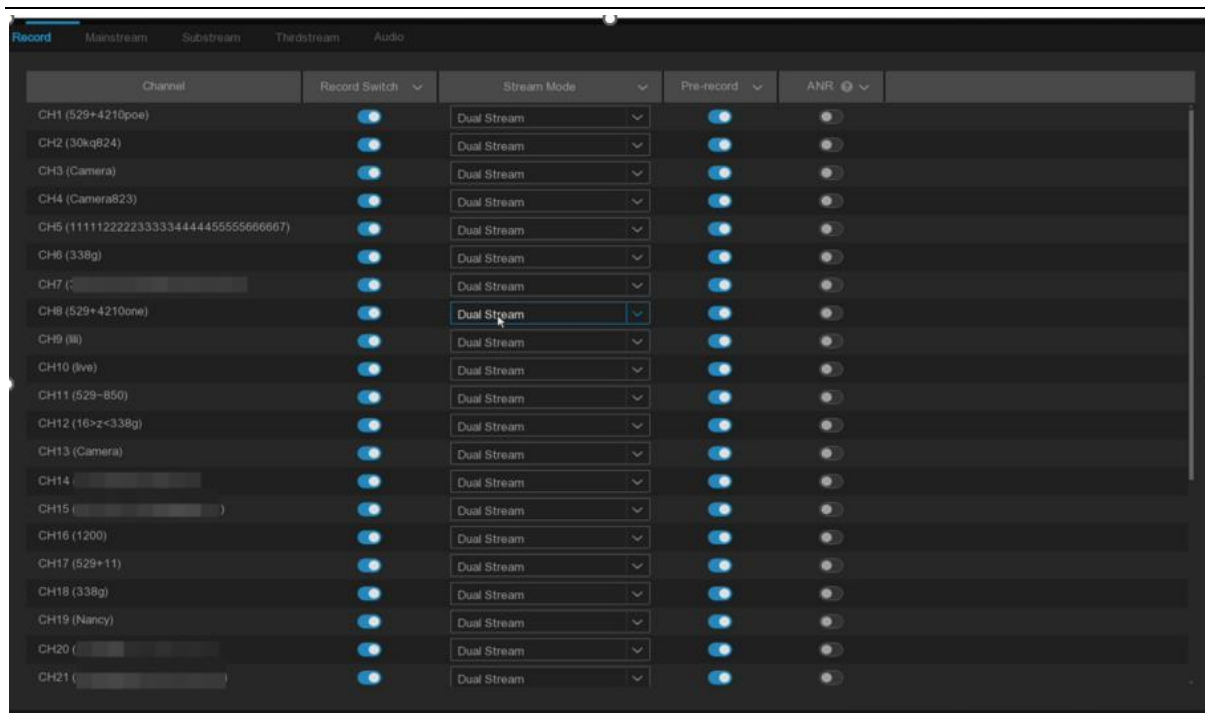
既定：このボタンをクリックして、すべての画像パラメータを工場出荷時のデフォルト設定に戻します。

5.1.4 録画とエンコード 設定

このメニューでは、録画映像またはネットワーク伝送用の画像パラメータを設定します。一般的に、メインストリームは録画用、サブストリームはリモートアクセス用に使用します。サブストリームは、Web クライアントや CMS などのリモートアクセス時のプレビュー画質です。モバイルストリームは、モバイル機器によるリモートアクセス時のプレビュー画質、接続ウェブカメラのオーディオ切替、入出力ボリューム、オーディオタイプを定義します。

5.1.4.1 録画設定

このメニューでシステム録画の関連パラメータを設定できます。



スイッチ：このチャンネルの録画を有効にするには選択します。

ストリームモード：録画タイプを選択します。デュアルストリームを選択すると、メインストリームとサブストリームの両方が録画されます。

プレ録画：イベント発生前の数秒間の映像をキャプチャできます。イベントトリガー録画のスケジュール設定時に推奨されます。

ANR（自動ネットワーク補填）：通常、NVR とカメラ間のネットワーク接続が安定している場合、映像は NVR に保存されます。ANR を有効にすると、ネットワーク切断中の映像をカメラの SD カードに保存し、接続復旧後に NVR へ自動転送します。

5.1.4.2 メインストリーム

Channel	Resolution	Frame Rate	Encoding Format	Encoding Mode	Video Quality	Config Mode	Bitrate
CH1 (529+4210poe)	2560 x 1440	30	H.265	CBR		Predefined	3072
CH2 (30kq824)	1280 x 960	30	H.264	CBR		Predefined	2048
CH3 (Camera)	1920 x 1080	30	H.265+	CBR		Predefined	2048
CH4 (Camera823)	2560 x 1440	30	H.264	CBR		Predefined	8192
CH5 (11111222223333444455555666667)	2560 x 1440	30	H.264	CBR		Predefined	8192
CH6 (338g)	1280 x 960	25	H.265	CBR		Predefined	2048
CH7 ()	2880 x 1620	30	H.265	CBR		Predefined	3072
CH8 ()	2560 x 1440	15	H.265	CBR		Predefined	2048
CH9 (M)	2688 x 1520	25	H.264	CBR		Predefined	4096
CH10 (Ive)	1280 x 960	30	H.264+	CBR		Predefined	2048
CH11 (529-850)	3840 x 2160	25	H.265	CBR		Predefined	8192
	3840 x 2160	25	H.265	CBR		User-defined	8192
CH12 (16>2<338g)	1280 x 960	30	H.265	CBR		Predefined	2048
CH13 (Camera)	1280 x 960	25	H.265	VBR	Highest	User-defined	2048
CH14 ()	2880 x 1620	15	H.265	CBR		Predefined	4096
CH15 ()	1920 x 1080	25	H.265	CBR		Predefined	2048
CH16 (1200)	4512 x 2512	15	H.265	CBR		Predefined	3072
	4512 x 2512	15	H.265	VBR	Highest	Predefined	8192
CH17 (529+11)	3840 x 2160	25	H.264	CBR		Predefined	8192
CH18 (338g)	1280 x 960	15	H.265	CBR		Predefined	1024
CH19 (Nanci)	3840 x 2160	25	H.265	CBR		Default fixed	8192

解像度：メインストリームの録画タイプを決定します。値が高いほど詳細になります。既定の解像度は NVR により自動選択されます。

フレームレート：メインストリームのフレーム数を設定します。

符号化形式：接続カメラの対応コーデックを表示。H.265 は情報を効率的に圧縮し、同じ帯域幅でより高画質を実現。H.265+はさらに高い圧縮率。H.264 はより広い帯域幅を必要とし圧縮効率が低下します。

エンコードモード：グレーの壁などの単純なシーンでは固定ビットレート（CBR）を設定します。混雑した通りなどの複雑なシーンには可変ビットレート（VBR）が適切です。

映像品質：VBR のみ利用可能。この設定で録画品質を選択できます。

オプション：最低、低、並、中、高、最高

構成モード：ユーザー定義モードで手動設定するか、定義済みモードで選択します。

ビットレート：録画に使用するデータ転送速度を決定します。ビットレートが高いほど映像品質が向上しますが、より多くのストレージ容量を消費します。

音声：カメラが対応している場合、音声録画を有効または無効にします。カメラの音声ストリーミングも有効にしてください。

I フレーム間隔：このパラメータは IP カメラのストリーム内の I フレーム（キーフレーム）間隔を設定します。I フレームは完全フレームで、他のフレームはそれに基づいて符号化されます。

ETR：ETR（イベントトリガー録画）により、イベントトリガーの有無に基づいて録画のコーデックストリームパラメータを調整できます。

5.1.4.3 サブストリーム

Channel	Resolution	Frame Rate	Encoding Format	Encoding Mode	Video Quality	Config Mode	Bit
CH1 (529+4210poe)	320 x 240	30	H.265	CBR		Predefined	512
CH2 (30kq824)	1280 x 720	30	H.265	CBR		Predefined	1024
CH3 (Camera)	640 x 480	30	H.265	CBR		Predefined	1024
CH4 (Camera823)	640 x 480	30	H.265	CBR		Predefined	512
CH5 (111112222333334444555566667)	1280 x 720	30	H.265	CBR		Predefined	1024
CH6 (338g)	1280 x 720	20	H.264	CBR		Predefined	768
CH7 ()	640 x 480	30	H.265	CBR		Predefined	320
CH8 (529+4210one)	640 x 480	25	H.265+	CBR		Predefined	320
CH9 (8k)	1920 x 1080	25	H.265	CBR		Predefined	2048
CH10 (8ve)	1280 x 720	25	H.264	CBR		User-defined	1024
CH11 (529-850)	1280 x 720	23	H.264	CBR		Predefined	1024
CH12 (16>z<338g)	1280 x 720	30	H.265	CBR		Predefined	1024
CH13 (Camera)	640 x 480	25	H.265	CBR		Predefined	320
CH14 (3)	1280 x 720	25	H.264	CBR		Predefined	1024
CH15 (5)	1280 x 720	30	H.264	CBR		Predefined	1024
CH16 (1200)	1920 x 1080	15	H.265+	CBR		Predefined	1024
CH17 (529+11)	640 x 480	25	H.264	VBR	Highest	Predefined	320
CH18 (338g)	640 x 480	25	H.264	CBR		Predefined	320
CH19 (Nancy)	1280 x 720	25	H.265	CBR		Predefined	1024

解像度：サブストリームの録画タイプを決定します。値が高いほど詳細になります。既定の解像度は NVR により自動選択されます。

フレームレート：1 秒あたりの録画フレーム数を指定します。既定のフレームレートは NVR により自動選択されます。

符号化形式：チャンネルの対応エンコードタイプ：H.264、H.265、H.264+、H.265+、MJPEG（MJPEG エンコード選択時はフレームレートが制限される場合があります）。

エンコードモード：グレーの壁などの単純なシーンでは固定ビットレート（CBR）を設定します。混雑した通りなどの複雑なシーンには可変ビットレート（VBR）が適切です。

映像品質：VBR のみ利用可能。この設定で録画品質を選択できます。オプション：最低、低、並、中、高、最高

構成モード：ユーザー定義モードで手動設定するか、定義済みモードで選択します。

ビットレート：録画に使用するデータ転送速度を決定します。ビットレートが高いほど映像品質が向上しますが、より多くのストレージ容量を消費します。

音声：カメラが対応している場合、音声録画を有効または無効にします。カメラの音声ストリーミングも有効にしてください。

I フレーム間隔：このパラメータは IP カメラのストリーム内の I フレーム（キーフレーム）間隔を設定します。I フレームは完全フレームで、他のフレームはそれに基づいて符号化されます。、他フレームはそれに基づいて符号化されます

5.1.4.4 第3ストリーム

Channel	Switch	Resolution	Frame Rate	Encoding Format	Encoding Mode	Config Mode	Bitrate
CH1 (529+4210pse)	☒	640 x 480	30	H.265	CBR	Predefined	512
CH2 (30kq824)	☒	640 x 480	30	H.265	CBR	Predefined	512
CH4 (Camera823)	☒	640 x 480	30	H.265	CBR	Predefined	512
CH5 (11111222233334444555566667)	☒	640 x 480	30	H.265	CBR	Predefined	512
CH6 (338g)	☐	640 x 480	25	H.265	CBR	Predefined	512
CH7 ()	☒	640 x 480	30	H.265	CBR	Predefined	512
CH8 (529+4210one)	☒	640 x 480	25	H.265	CBR	Predefined	512
CH9 (8a)	☒	640 x 480	25	H.265	CBR	Predefined	1024
CH10 (Ive)	☒	640 x 480	25	H.265	CBR	Predefined	512
CH11 (529-850)	☒	640 x 480	25	H.265	CBR	Predefined	512
CH12 (18>z<338g)	☒	640 x 480	30	H.265	CBR	Predefined	512
CH13 (Camera)	☒	640 x 480	25	H.265	CBR	Predefined	512
CH14 ()	☒	640 x 480	25	H.265	CBR	Predefined	512
CH15 ()	☒	640 x 480	30	H.265	CBR	Predefined	512
CH16 (1200)	☒	640 x 480	15	H.265	CBR	Predefined	512
CH17 (529+11)	☒	640 x 480	25	H.265	CBR	Predefined	512
CH18 (338g)	☒	640 x 480	25	H.265	CBR	Predefined	512
CH19 (Nancy)	☒	640 x 480	25	H.265	CBR	Predefined	512
CH20 ()	☒	640 x 480	20	H.265	CBR	Predefined	512
CH21 ()	☒	640 x 480	25	H.265	CBR	Predefined	512
CH22 ()	☒	640 x 480	30	H.265	CBR	Predefined	512

スイッチ：第3ストリームを有効または無効にします。

解像度：第3ストリームの録画タイプを決定します。値が高いほど詳細になります。既定の解像度はNVRにより自動選択されます。

フレームレート：1秒あたりの録画フレーム数を指定します。既定のフレームレートはNVRにより自動選択されます。

符号化形式：接続カメラの対応コーデックを表示。H.265は情報を効率的に圧縮し、同じ帯域幅でより高画質を実現。H.265+はさらに高い圧縮率。H.264はより広い帯域幅を必要とし圧縮効率が低下します。さらに高い圧縮率。H.264はより広い帯域幅を必要とし圧縮効率が低くなります。H.264+はH.264と比較してさらなる圧縮を提供します。

エンコードモード：グレーの壁などの単純なシーンでは固定ビットレート（CBR）を設定します。混雑した通りなどの複雑なシーンには可変ビットレート（VBR）が適切です。

映像品質 : VBR のみ利用可能。この設定で録画品質を選択できます。オプション : 最低、低、並、中、高、最高

構成モード : ユーザー定義モードで手動設定するか、定義済みモードで選択します。

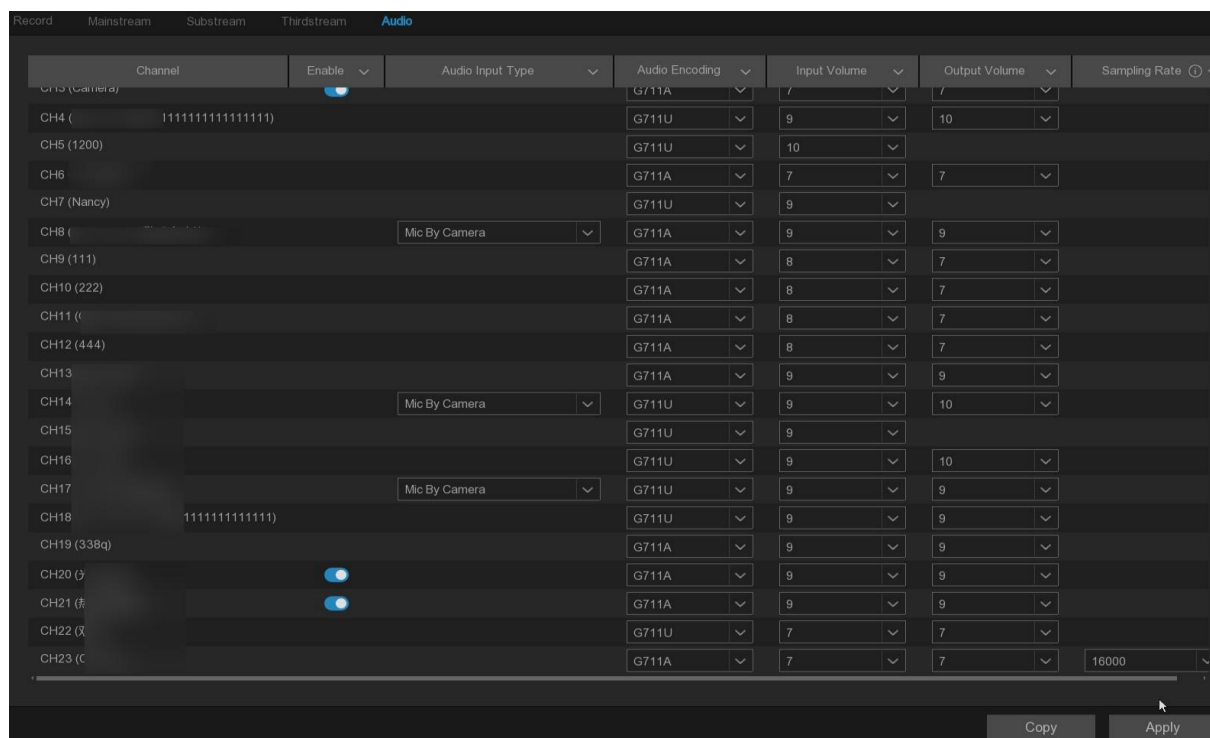
ビットレート : 録画に使用するデータ転送速度を決定します。ビットレートが高いほど映像品質が向上しますが、より多くのストレージ容量を消費します

音声 : カメラが対応している場合、音声録画を有効または無効にします。カメラの音声ストリーミングも有効にしてください。

I フレーム間隔 : このパラメータは IP カメラのストリーム内の I フレーム（キーフレーム）間隔を設定します。I フレームは完全フレームで、他のフレームはそれに基づいて符号化されます。

5.1.4.5 音声

カメラに内蔵マイクまたは外部オーディオ入力機器がある場合、オーディオストリームを有効化できます。入出力ボリュームの調整とオーディオ符号化タイプの選択が可能です。



有効 : チェックして音声を有効または無効にします。

音声入力種類 : NVR のローカル音声出力の音量レベルを定義します。

カメラマイク : カメラのマイク入力を選択します。

ライン入力 : カメラの音声ライン入力を選択します。

Output Volume : カメラの出力音声レベルを調整します。

Input Volume : カメラの入力音声レベルを調整します。

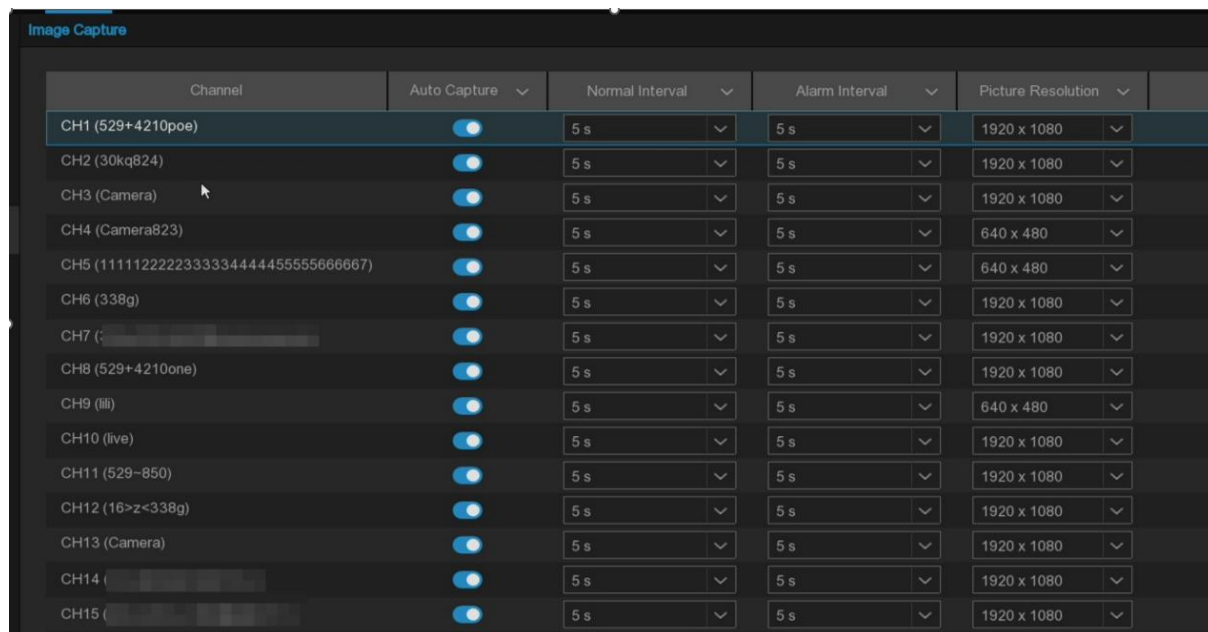
音声 エンコード : カメラの音声符号化形式を選択します。

サンプリングレート : カメラのサンプリングレートを 8000 または 16000 に設定します

(H.264/H.265 プロトコルで接続している場合のみ対応)

5.1.5 画像キャプチャ

NVR が通常録画中またはイベント発生時にスナップショットを定期的にキャプチャするよう設定できます。



自動キャプチャ：このチャンネルのスナップショットキャプチャを有効または無効にします。

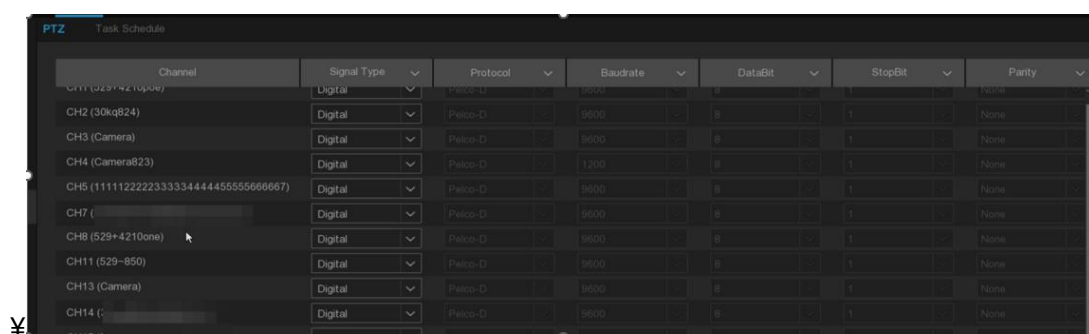
通常間隔：通常録画中のスナップショット取得間隔。

アラーム間隔：動体検知や I/O アラームなどのイベント発生時のスナップショット取得間隔。

キャプチャ解像度：チャンネルのキャプチャ時、設定した解像度でキャプチャします。

5.1.6 PTZ

このメニューでは、高速ドームカメラの PTZ（パン/チルト/ズーム）設定を行います。



チャンネル： チャンネル名。

信号種類： PTZ カメラが RS485 ポートに接続されている場合は「アナログ」を選択し、それ以外は「デジタル」を選択します。

プロトコル： PTZ 対応カメラと NVR 間の通信プロトコルを選択します。カメラが Private プロトコルに対応している場合は Private を選択してください。

ボーレート： NVR から PTZ カメラへのデータ転送速度。PTZ カメラの設定と一致させる必要があります。

データビット / ストップビット： NVR と PTZ カメラ間のデータは個別のパケットで送信されます。データビットは各データパケットのビット数、ストップビットはパケットの終了を示します。

パリティ： エラーチェック用。PTZ カメラのドキュメントを参照して適切に設定してください

アドレス： PTZ システムのコマンドアドレスを設定します。各 PTZ カメラには固有のアドレスが必要です。

フォーカスモード： 3 つのフォーカスモードがあります。

- **自動：** シーンの変化に基づいて自動フォーカスします。
- **セミ自動：** 既定モード。パンまたはズーム後に一度フォーカスし、シーン変化では再フォーカスしません。

- **手動**：プレビュー画面のフォーカスボタンを使用してユーザーが手動でフォーカスします。

パン、ズーム、シーン変化では自動フォーカスしません。

ズーム状態：カメラのズーム状態。ズームレベルはプレビュー画面の左下に表示されます。表示の有無・表示時間を選択できます。

パン&チルト状態：プレビュー画面の左下にカメラの水平・垂直方位が表示されます。表示の有無・表示時間を選択できます。

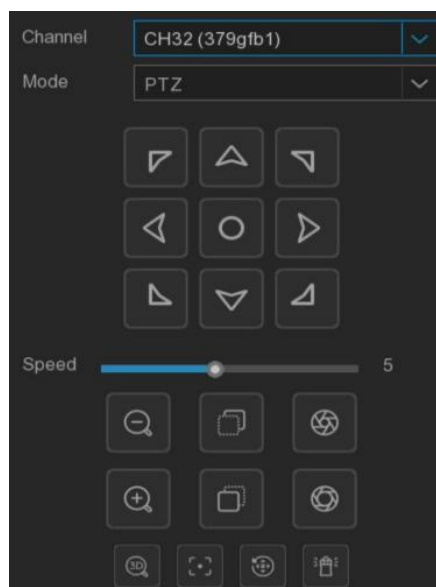
プリセット状態：カメラのプリセット状態。プリセットポイント番号がプレビュー画面の左下に表示されます。

最短焦点距離：被写体とレンズの距離が最短焦点距離より短い場合、レンズはその被写体にフォーカスを合わせず、より遠くの被写体を優先してフォーカスします。遠景ともう一方は近景。カメラは 6 メートル以上の遠景を優先的にフォーカスします。

5.1.6.1 高速ドーム制御

PTZ 設定完了後、PTZ 機能を使用して高速ドームカメラを制御できます。

ライブプレビューのチャンネルの左ボタンをクリックし、チャンネル下部のツールバーからアイコンをクリックして PTZ 制御パネルを開きます。

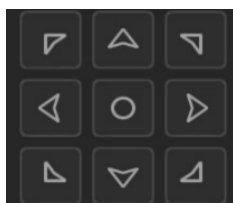


チャンネル：チャンネルを選択します。

モード：PTZ 移動制御モード。6 つのモードがあります：PTZ、プリセット、ラインスキャン、ウォッチモード、ツアー、パターンスキャン

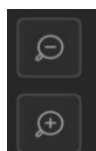
スピード：PTZ スピード調整バーは 1～10 段階で調整でき、値が大きいほど速くなります。、

方向制御ボタン：



8 方向の矢印のいずれかをクリックすると、カメラのパン/チルトがその方向に少し動きます。

矢印を押し続けると、カメラのパン/チルトがその方向に継続回転します



「フォーカス-」「フォーカス+」を表します。押下時：  ボタンを押すとレンズが近づきシーンが拡大します。押下時：  ボタンを押すとレンズが遠ざかりシーンが縮小します。



「フォーカス-」「フォーカス+」を表します。手動フォーカスモードで長押し：

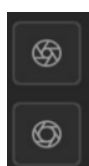


アイコンでは、近景が鮮明になり遠景が徐々にぼやけます。長押し：



ア

アイコンでは、遠景が鮮明になり近景が徐々にぼやけます。



「絞り-」「絞り+」を表します。監視画面が暗い場合は長押しできます



絞

りを大きくします。または長押し：



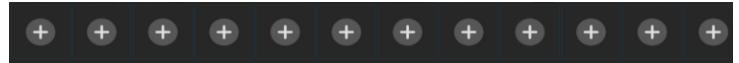
をクリックして絞り値を下げます。

クリック：  をクリックして 3D 位置決めを有効化するとボタンアイコンが青色に変化します。再度クリックで 3D 位置決めを停止。カメラの 3D 位置決め有効時、以下の操作が可能です

プレビューウィンドウの特定のポイントを左クリックすると、カメラがそのポイントに移動します。左マウスボタンを押しながら右にドラッグして矩形エリアを作成し、ボタンを離すとカメラがそのエリアにズームインします。左マウスボタンを押しながら左にドラッグして矩形エリアを作成し、ボタンを離すとカメラがそのエリアからズームアウトします。



クリック：  アイコンで、プリセット点がプレビュー画面の下に表示されます（下図参照）。



雲台方向キーを操作して保存したい位置に雲台を動かし、クリ

ック： or  をクリックして上図のプリセット点を追加し、プリセット点の画面をプレビューインターフェースの下に表示します。左側に設定済みのプリセット点は濃色で表示され、未設定のプリセット点はグレーで表示されます。

クリック：  アイコンをクリックするとプリセット点に最短経路で移動します。

フレームでプリセット点の名前を変更します。 **クリック 時刻**

フレームで、このプリセット点の巡回時間を変更します。

クリック：  をクリックしてプリセット点を削除します。

「巡回開始」をクリックして巡回を開始します。

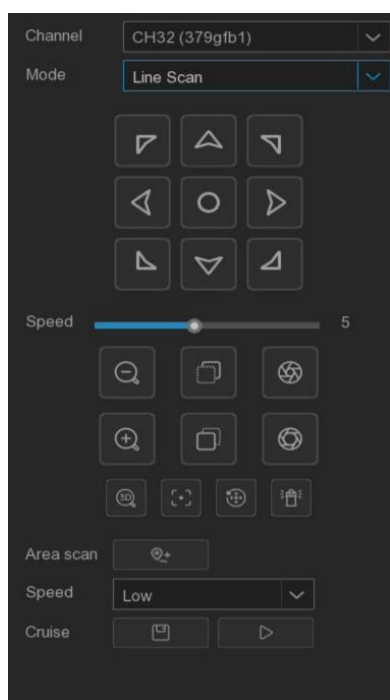
ウォッチモード： PTZ でウォッチモードを有効にすると、設定したウォッチ待機時間後に制御

信号がなければ、PTZ ドームは自動的にプリセット動作を実行します。

時刻インターバル： ウォッチ待機時間：停止操作とウォッチ継続動作の間隔。

モード： 選択：ウォッチモード。以下から選択可能：既定クルーズ、プリセットポイントクルーズ、ラインスキャン、トラック巡回、パターンスキャン。

クリック：  巡回を開始します。

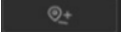


エリアスキャン： クリック：開始位置を記録し、PTZ カメラを動かして終了位置をクリックします。

速度： 速度：直線パトロール速度を選択します。

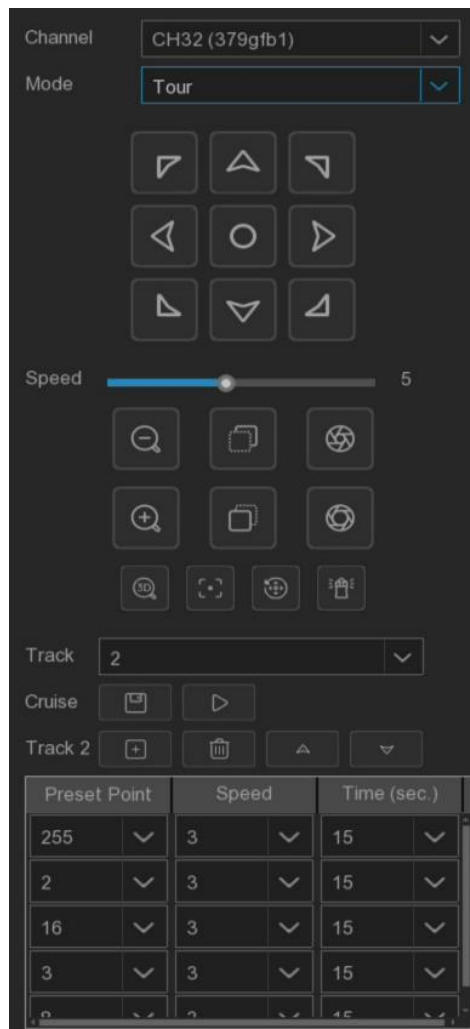
クリック： 直線パトロールを開始します。デバイスは開始点と終了点の間を一定速度でパトロールします。

ラインスキャン： ラインスキャンは、A 位置から B 位置までカメラを水平方向に自動で動かします。

エリアスキャン： クリック  をクリックして開始位置を記録し、PTZ を動かして次をクリック：  をクリックして停止位置を記録します。

速度： 速度：ラインスキャン巡回速度を選択します。以下の **低**, **中**, **高**.

クリック：  クリックしてラインスキャン巡回を開始します。デバイスは開始位置と終了位置の間を一定速度で巡回します。



ツアークルーズ：異なるプリセットを選択することで、最大 4 トラックの自動巡回シーケンスを設定できます。ツアー機能を最大限に活用するには、複数の点はすでに設定済みです。

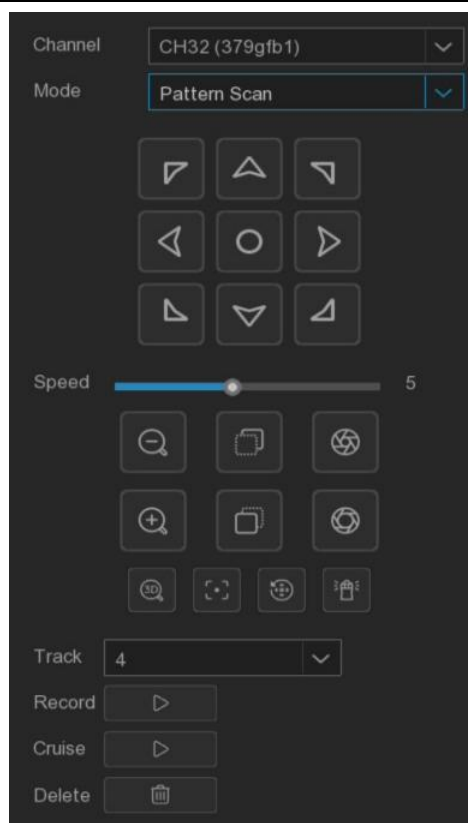
トラッキング：追跡経路を選択します。

クリック： プリセット点を追加します。クリック

プリセット点を削除します。クリック： / 上 / 下に移動します。

クリック： 巡回を開始。デバイスは追加されたプリセット順に巡回します。

注意： プリセット点を追加したら、巡回ボタンをクリックしてトラックパスを保存します



パターンスキャン： パターンスキャンは、事前設定されたパスに従ってスキャンし、水平・垂直の動き、倍率操作などを記録します。記録・保存後、パターンスキャンルートを直接呼び出すことができます。この機能は最大 4 つのパターンスキャンパスの設定をサポートし、各パスに保存オプションがあります。

トラッキング： 追跡経路を選択します。

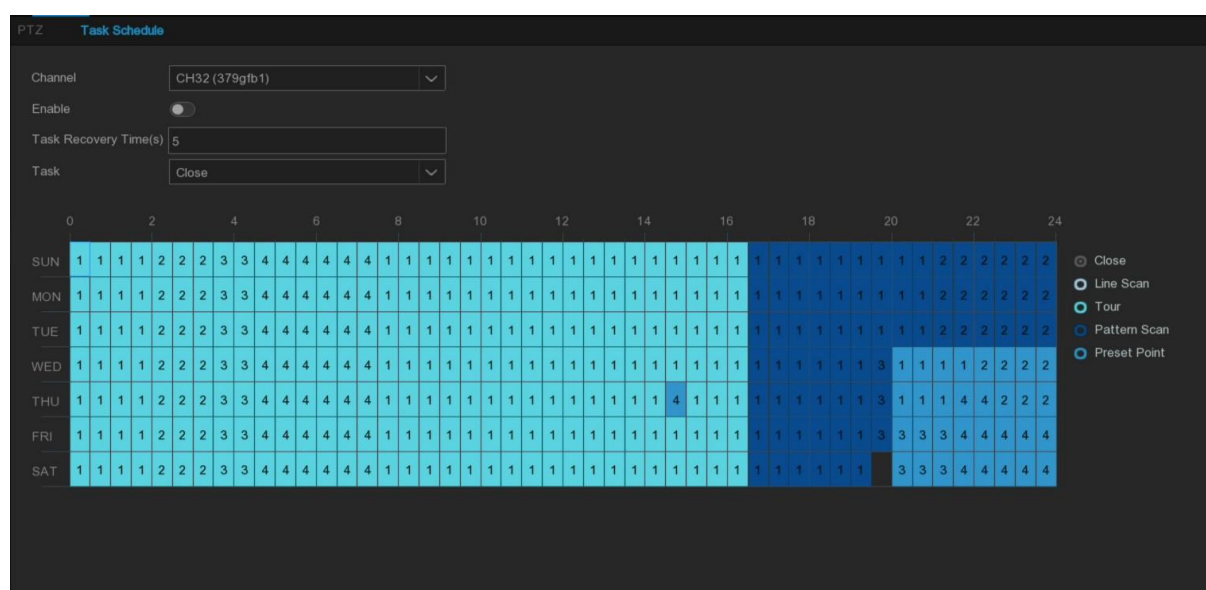
録画： クリック ▶ 巡回トラックの記録を開始し、デバイスで任意の PTZ 操作を実行します。

クリック □ ～ 巡回トラックの記録を停止します。

クリック ▶ 事前に記録されたルート・動作に沿って巡回します。

5.1.6.2 PTZ スケジュール（高速ドームのみ対応）

「タスクスケジュール」をクリックして高速ドームのタスクスケジュールを設定します。ユーザーはタスクの種類、クルーズ回数、再開時間を設定できます。インターフェースは下図に示します。ユーザーは高速ドームを時間帯ごとに自動的に異なるクルーズタスクを実行するよう設定できます。



有効：高速ドームのタスクスケジュール機能を有効または無効にします。クルーズ回数が上限に達すると、スイッチ右側にプロンプトが表示されます。

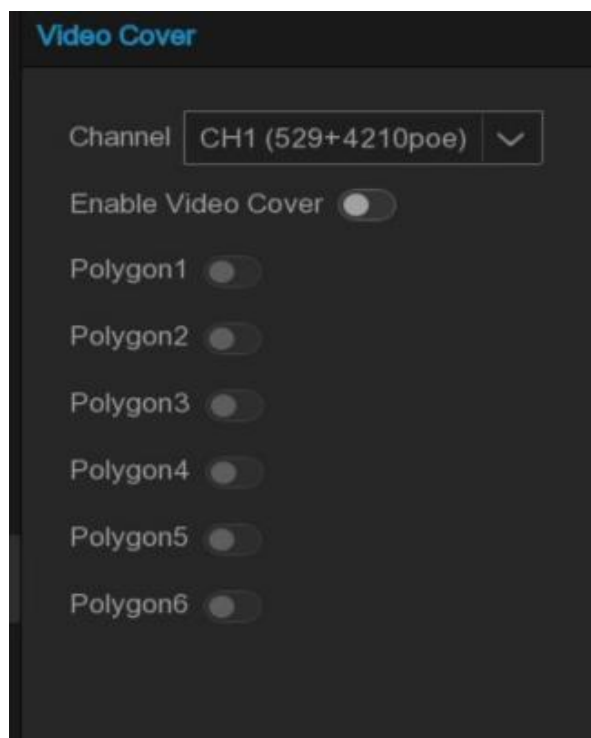
タスク復帰時間（秒）：高速ドームがスケジュールに従ってタスクを実行中に手動操作でクルーズが中断された場合、設定した時間後に自動的にスケジュールのクルーズタスクに戻ります。

タスク：タスクの種類。高速ドームのスケジュールタスクには、なし、ラインスキャン、軌跡クルーズ、パターンスキャン、プリセットが含まれます。軌跡クルーズとパターンスキャンはそれぞれ最大 4 種のパスを設定でき、プリセットタスクはプリセット番号 1～8 を設定できます。

注意：タスクスケジュールはウォッチモードよりも優先度が高くなります。

5.1.7 ビデオカバー

映像画面の特定エリアを隠したい場合は、この機能で複数のプライバシーエリアを設定できます。設定後、プライバシーエリアはプレビューと再生時に自動的に遮蔽されます。



ビデオカバーを有効：ビデオカバー機能を有効または無効にします。有効時、設定したプライバシーエリアが遮蔽され、遮蔽エリアはプレビューと再生では確認できなくなります。

ポリゴン：画面内に複数のプライバシーエリアを設定でき、各エリアは移動・拡張が可能です。

「適用」をクリックして保存・反映します。

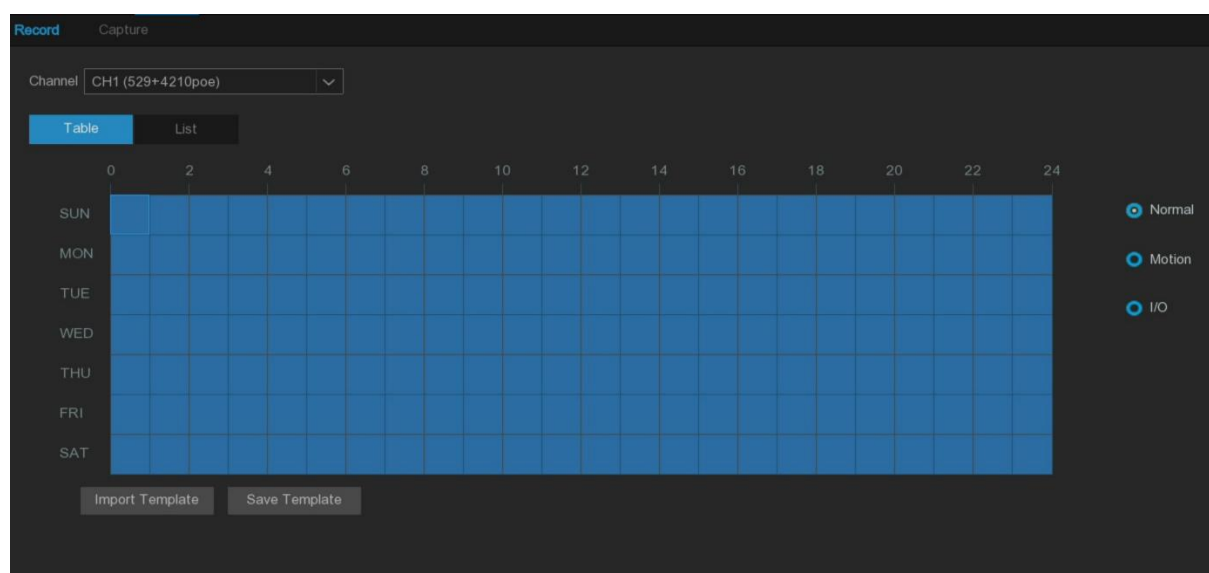
注意：ビデオカバーを設定すると、プライバシーエリアに遮蔽された画像はプレビューと再生では確認できません。

5.2 ストレージ

5.2.1 スケジュール

5.2.1.1 録画 スケジュール

このメニューでは、NVR が映像を録画するタイミングと各チャンネルの録画モードを設定します。録画スケジュールでは、チャンネルごとに録画の種類と時間帯を設定します。



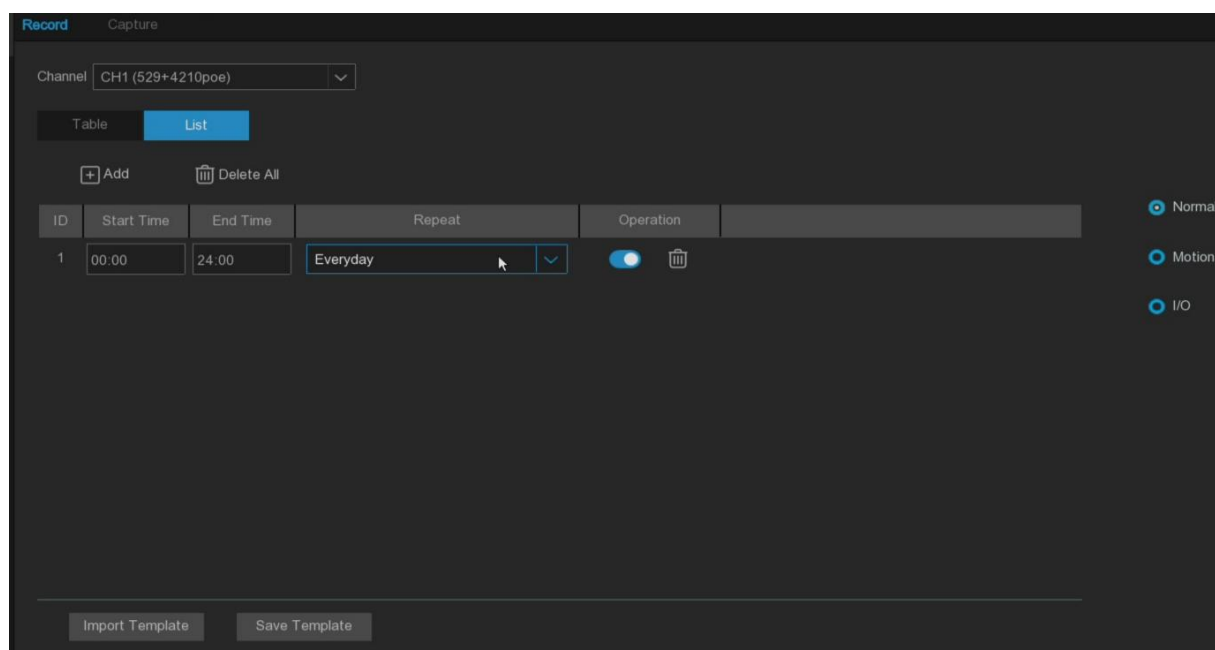
チャンネル：映像録画パラメータを設定するチャンネルを選択します。

通常：現在のチャンネルで通常録画が設定されている録画時間帯を示します。

動体：現在のチャンネルの動体検知録画が設定されている録画時間帯を示します。

I/O：現在のチャンネルの I/O アラーム録画が設定されている録画時間帯を示します。

録画なし：表に黒色で表示された時間帯は、その期間に録画がスケジュールされていないことを示します。



テーブル / リスト：スケジュール表はテーブル形式またはリスト形式で表示されます。

テーブル形式を選択し、表の対応する時間帯をドラッグまたはチェックして、対応する時間スケジュールを設定します。

リスト形式を選択し、ルールを手動で追加して開始・終了時刻を入力することで、対応する時間スケジュールを設定します。

追加：スケジュールルールを追加します。

すべて削除：すべてのスケジュールルールを削除します。

開始時刻：スケジュールルールの開始時刻を設定します。

終了時刻：スケジュールルールの終了時刻を設定します。

繰り返し：スケジュールルールが有効になる期間を設定します。ct.

注意：最大 8 つの時間帯を設定できます。各時間帯は重複または包含できません。

テンプレートインポート：カスタムまたはシステム既定のスケジュールテンプレートをインポートします。

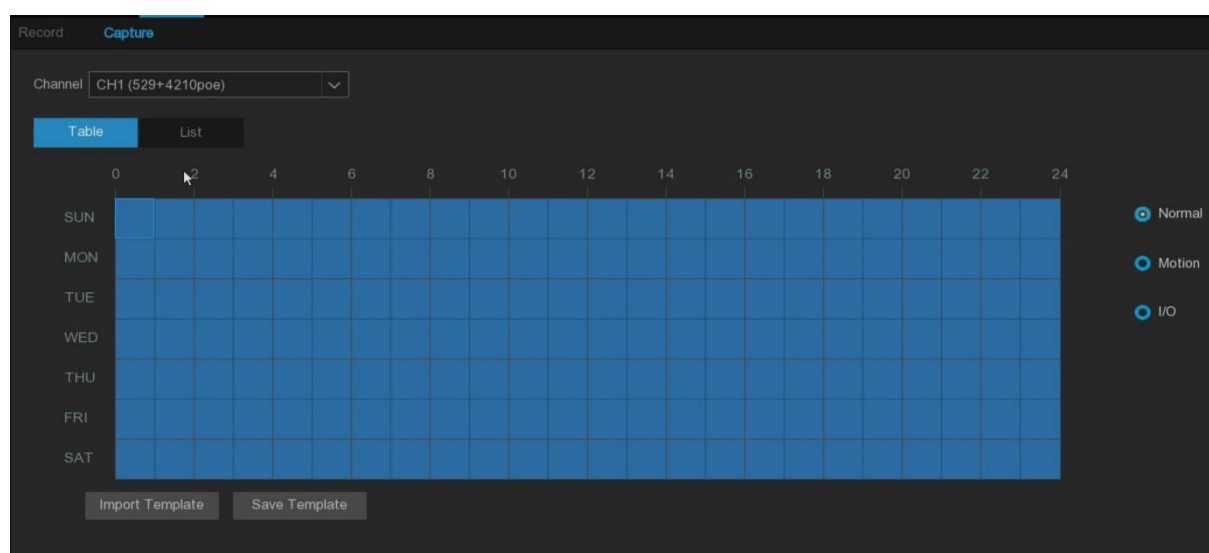
編集：スケジュールテンプレートを編集します。テンプレート名と具体的なスケジュールルールを変更できます。

削除：スケジュールテンプレートを削除します。

注意：システムは7×24時間および5×24時間のスケジュールテンプレートをデフォルトで提供しており、編集・削除はできません。

テンプレートを保存：スケジュールテンプレートを保存します。現在設定したスケジュールルールをカスタムテンプレートとして保存でき、後でインポートして使用できます。

5.2.1.2 キャプチャ スケジュール



チャンネル：自動キャプチャパラメータを設定するチャンネルを選択します。

通常：現在のチャンネルの通常録画の時間帯を示します。

動体：現在のチャンネルの動体検知とキャプチャの時間帯を示します。

I/O：現在のチャンネルの I/O アラームキャプチャの時間帯を示します。

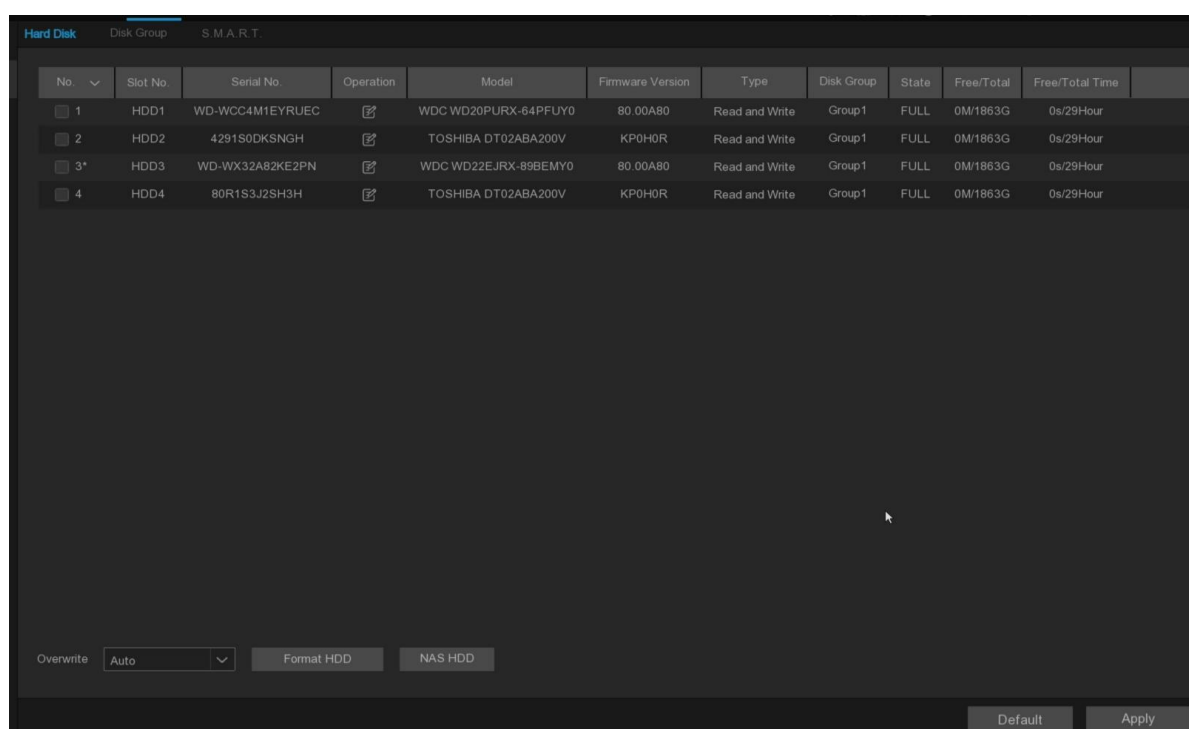
録画なし：表に黒色で表示された時間帯は、その期間に録画がスケジュールされていないことを示します。

5.2.2 ストレージ

5.2.1 ハードディスク

このメニューは、NVR の内蔵／外付け HDD の管理・設定（フォーマット、録画パラメータ設定、ディスクテストなど）に使用します。

注意：4 スロット以上の HDD 対応モデルでは「スロット番号」バーが表示され、各スロットに対応する情報が示されます。

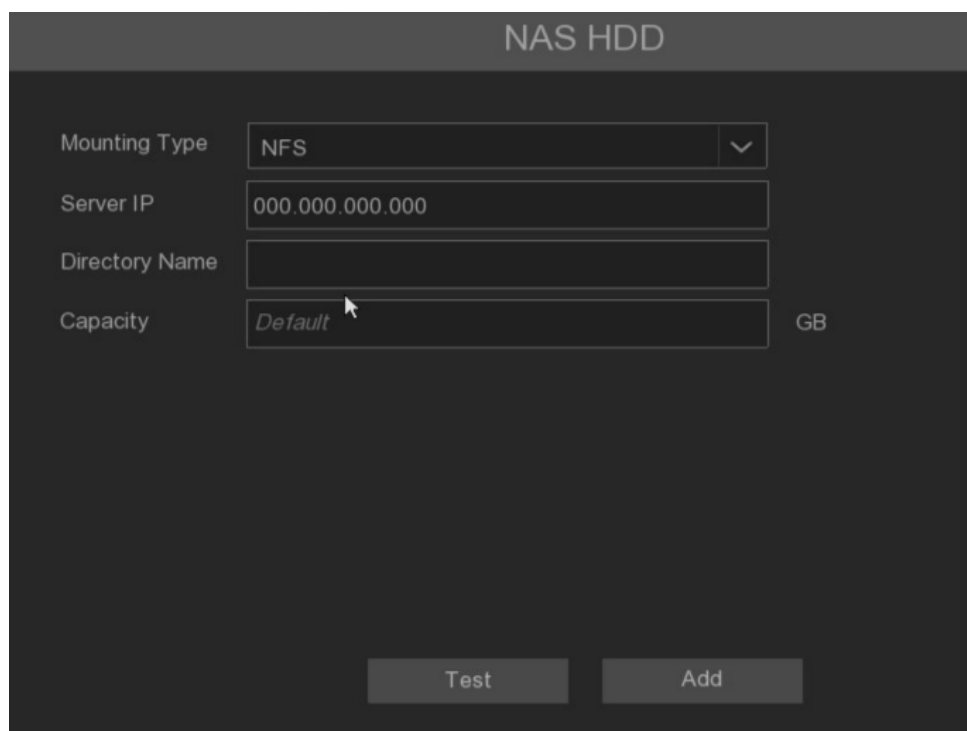


HDD のフォーマット：フォーマットが必要なハードディスクを選択し、「HDD フォーマット」ボタンをクリックして確認後フォーマット操作を実行します。

NAS HDD : 録画・キャプチャ保存用のネットワークハードディスクの設定に対応しています。

NAS サーバーにストレージパスを作成してください。

(注意 : AI データベース、ナンバープレートデータベース、動画プロンプトファイルはローカル HDD にのみ保存されます。



NAS HDD

Mounting Type: NFS

Server IP: 000.000.000.000

Directory Name:

Capacity: Default GB

Test Add

マウント種類 : NFS または SMB/CIFS からマウント種類を選択します。NFS モード以外では NAS のアカウント名とパスワードの入力が必要です。

ユーザー名 : NAS アカウント名を入力 (NFS モード時は選択不可)

サーバーIP : NAS ストレージの IP アドレスを入力します。

パスワード : NAS パスワードを入力 (NFS モード時は選択不可)

ディレクトリ名称 : 録画データを保存する NAS 上のディレクトリ名を入力します。

ディスクサイズ : NAS ストレージの容量サイズを設定します。

テスト : クリックして NAS ストレージへの接続をテストします。

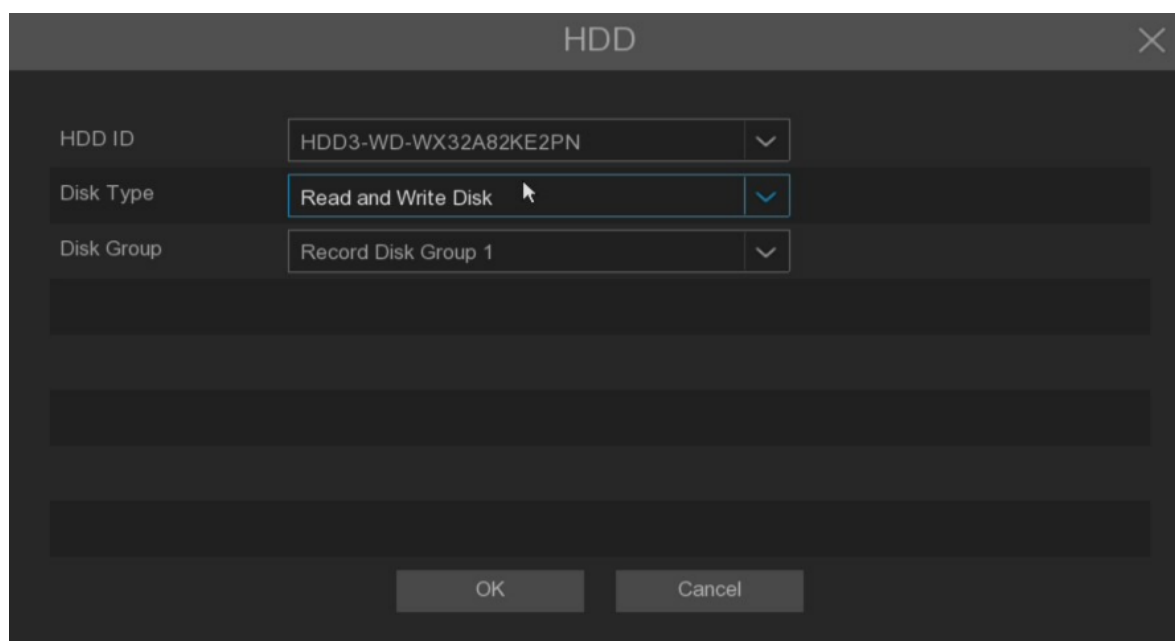
NAS HDD 追加：クリックして NAS ストレージを追加します。

上書き：HDD が満杯になった際、最も古い動画ファイルから上書きするよう NVR に指示します。上書き前に保持する録画日数も選択できます。例えば「7 日」を選択した場合、HDD には直近 7 日分の録画のみが保持されます。

古い録画の上書きを防ぐには「オフ」を選択します。オフに設定した場合は、HDD がいっぱいにならないよう定期的に HDD の状態を確認してください。HDD が満杯になると録画が停止します。「自動」を選択すると、NVR のストレージ不足を防ぐことができます。

E-SATA への録画：このメニューは、リアパネルに E-SATA ポートを備えた NVR で、かつ E-SATA HDD が既に接続されている場合のみ表示されます。外付け E-SATA HDD への録画で HDD 容量を拡張できます。E-SATA 録画機能を有効にすると、E-SATA バックアップ機能は無効になります。

NVR が複数のハードディスクの取り付けに対応しており、2 台以上の HDD が取り付けられている場合、「編集」ボタンが表示されます。1 台のみ取り付けられている場合も「編集」ボタンが表示され、クリックすると下図のように HDD を編集できます。



ディスク種類：ハードディスクを「読み書き」、「読み取り専用」、または「冗長」に設定できます。

- 「読み書き」タイプは HDD の通常状態で、録画の保存と再生に使用します。取り付けられた HDD がすべて読み書きモードの場合、NVR は HDD に順番に録画を保存します。
- 循環録画で重要な映像データが上書きされないようにするため、HDD を「読み取り専用」に設定できます。読み取り専用の HDD には新しい録画は保存されません。読み取り専用ディスクからは録画の検索・再生が引き続き可能です。
- 冗長 HDD は、読み書き HDD と同じ録画を保存できます。冗長ディスクを設定すると、システムは HDD 故障に備えて読み書き HDD と冗長 HDD の両方に並行して録画を保存します。読み書き HDD が故障した場合でも、冗長 HDD のデータを使用できます。

注意：

冗長ディスクはメインストリームの録画のみ保存に対応しています。

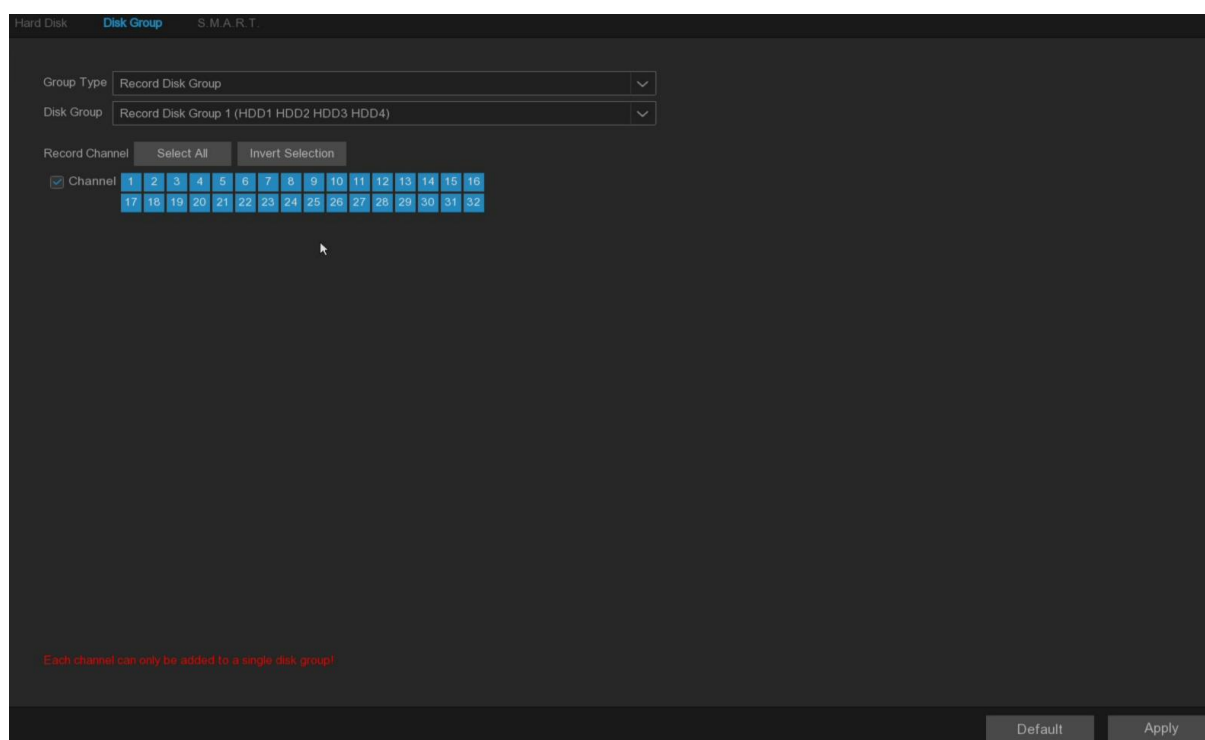
ディスク種類を変更した場合、ハードディスクがアンマウントされてオフラインになることがあります。ハードディスクが再マウントされるまでしばらくお待ちください。

32 チャンネル以上の NVR では、「読み書き」と「読み取り専用」タイプのみ利用可能です。

ディスクグループ：録画のためにディスクを異なるディスクグループに設定できます。

5.2.2 ディスクグループ

NVR が複数の HDD の取り付けに対応しており、すでに 2 台以上の HDD が取り付けられている場合、ディスクグループを設定して HDD を異なるグループに分類できます。ディスクグループ機能を使用すると、異なるカメラを異なる HDD に割り当てて録画することができ、単一 HDD への負荷を軽減し寿命を延ばすことができます。例えば、チャンネル 1～16 を 1 つのディスクグループに、チャンネル 17～32 を別のディスクグループに録画するといった設定が可能です。



1. ディスクリストページで、設定したい HDD の編集ボタンをクリックし、「ディスク種類」と「ディスクグループ」を選択します。
2. 「ディスクグループ」ページに戻り、ディスクグループの種類を選択します。すべての HDD が読み書きモードに設定されている場合、「録画ディスクグループ」のみ表示されます。1 台以上の HDD が冗長モードに設定されている場合、「冗長ディスクグループ」も選択できるようになります。
3. 「ディスクグループ」を選択します。
4. 「録画チャンネル」を選択します。選択したグループの HDD に録画・保存されるカメラを示します。

「適用」をクリックして設定を保存します。

注意：1 つのディスクグループに設定した動画チャンネル数が 32 を超えると、HDD の読み書き性能による動画損失の恐れがあります。1 グループあたりの動画チャンネル数は 32 以下を推奨します。

5.2.3 S.M.A.R.T

本機能は、使用中の HDD の稼働状態を検出・評価し、HDD 故障によるデータ損失を未然に防ぐためのリスク早期発見に使用します。

Hard Disk Disk Group **S.M.A.R.T.**

HDD ID: Self-test Type:

Self-test State: Not detected TEMP(°C): 40 Utility Time(d): 803

Whole Evaluation: Passed

S.M.A.R.T. Info:

ID	Item	Status	Flags	Value	Worst	Threshold	Raw Value
0x1	Raw Read Error Rate	OK	21	200	200	51	0
0x3	Spin Up Time	OK	27	178	176	21	4083
0x4	Start/Stop Count	OK	32	99	99	0	1463
0x5	Reallocated Sector Count	OK	33	200	200	140	0
0x7	Seek Error Rate	OK	2e	200	200	0	0
0x9	Power-On Hours Count	OK	32	74	74	0	19272
0xa	Spinup Retry Count	OK	32	100	100	0	0
0xb	Calibration Retry Count	OK	32	100	100	0	0
0xc	Power Cycle Count	OK	32	100	100	0	809
0xc0	Power-Off Retract Count	OK	32	200	200	0	723
0xc1	Load/Unload Cycle Count	OK	32	200	200	0	1568
0xc2	HDA Temperature	OK	22	107	94	0	40
0xc4	Reallocation Count	OK	32	200	200	0	0
0xc5	Current Pending Sector Count	OK	32	200	200	0	0
0xc6	Offline Scan Uncorrectable Count	OK	30	100	253	0	0
0xc7	UDMA CRC Error Rate	OK	32	200	200	0	0

自己診断種類：3 種類が利用可能です。

ショート：このテストでは、読み書きヘッド、電子部品、内部メモリなどハードディスクの主要部品を検証します。

ロング：上記すべてを検証し、さらにサーフェススキャンを実行して問題のある領域（存在する場合）を検出し、不良セクタの再配置を行う長時間テストです。

コンベヤンス：ハードディスクの機械部分が動作しているかを確認する非常に短いテストです。

注意：

テスト実行中も、NVR は通常通り動作します。

ハードディスクの S.M.A.R.T.エラーが検出された場合、録画データ損失のリスクがあります。新しいハードディスクへの交換を推奨します。

5.3 アラーム

このメニューでは、各種アラームが発生した際のアラーム連動を設定します。

5.3.1 I/O アラーム

5.3.1.1 アラーム 入力

このページでは、すべての I/O アラーム入力ソースの有効状態と、アラームトリガー後の一連のアラーム連動を表示・設定します。

Alarm Input					
Alarm Output					
Alarm Input No.	Type	Enable	Settings	Edit	
Local<-1	Normally-Close	Enable	Input		
Local<-2	Normally-Close	Enable	Input		
Local<-3	Normally-Open	Disable	Disable		
Local<-4	Normally-Open	Disable	Disable		
Local<-5	Normally-Open	Disable	Disable		
Local<-6	Normally-Open	Disable	Disable		
Local<-7	Normally-Open	Disable	Disable		
Local<-8	Normally-Open	Disable	Disable		
Local<-9	Normally-Open	Disable	Disable		
Local<-10	Normally-Open	Disable	Disable		
Local<-11	Normally-Open	Disable	Disable		
Local<-12	Normally-Open	Disable	Disable		
Local<-13	Normally-Open	Disable	Disable		
Local<-14	Normally-Open	Disable	Disable		
Local<-15	Normally-Open	Disable	Disable		
Local<-16	Normally-Open	Disable	Disable		
10_10_1.2<-1	Normally-Open	Disable	Disable		
172_20_58.6<-1	Normally-Close	Enable	Input		
10_10_8.8<-1	Normally-Open	Disable	Disable		
10_10_11.11<-1	Normally-Open	Disable	Disable		
172_20_58.34<-1	Normally-Open	Disable	Disable		
					Default Apply

編集： クリック：  設定編集画面

Advance

Alarm Input No. Local<-1

Type Normally-Open

Settings Input

Post Recording 30 s

Schedule Linkage

Table List

0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24

SUN

MON

TUE

WED

THU

FRI

SAT

Import Template Save Template

アラーム入力番号：I/O アラーム入力ソースを選択します。

種類：ノーマルオープンまたはノーマルクローズを選択します。接続するセンサーの種類に合わせてください。

設定：I/O アラーム入力ソースを有効にするかどうかを設定します。

無効：有効にしない。

入力：I/O アラーム入力を有効にし、スケジュールとアラーム連動を設定します。

ポスト録画：イベント発生後の NVR の継続録画時間を設定します。

スケジュール：現在の I/O アラーム入力ソースの時間帯を設定します。5.2.1.1 録画スケジュールを参照してください。

連動：アラームトリガー後の一連のアラーム連動を設定します。

ブザー：I/O アラーム発生後、デバイスが 10 秒間ビープ音を鳴らすかを設定します。

メッセージ表示 : I/O アラーム発生後、リアルタイムプレビューチャンネルにアイコンを表示するかを設定します。

メール : I/O アラーム発生後、メールボックスにメールを送信するかを設定します。

イベントプッシュプラットフォーム : I/O アラーム発生後にサードパーティサービスイベント通知情報を送信するかを設定します。既定で有効。詳細設定は次を参照 : Section 5.5.6.3 イベントプッシュプラットフォーム。

音声ガイド : I/O アラーム発生後に放送するかを設定します。5.3.4 音声案内を参照してください。

通知 : I/O アラーム発生後にサードパーティサービスプラットフォームへカスタムアラートを送信するかを設定します。この設定は Web クライアントから設定する必要があります。詳細な設定手順については、8.3.3.1 「カスタムアラートプッシュ設定」を参照してください。

アラーム出力連動 : I/O アラーム発生後にアラーム出力を連動させるかを設定します。

チャンネル録画連動 : I/O アラーム発生後に録画するチャンネルを設定します。

PTZ 連動 : I/O アラーム発生後に PTZ を連動させるかを設定します（連動に対応した高速ドームが必要）。

プリセット : プリセットポイントを連動させます。プリセットポイントの滞在時間とポイントを設定します。I/O アラーム発生時、設定したプリセット連動に従い PTZ がプリセットポイントへ移動します。

ツアー : 軌跡クルーズとルートを設定します。I/O アラーム発生時、設定した軌跡クルーズ連動に従い PTZ がクルーズします。

パターンスキャン：パターンスキャンを設定します。I/O アラーム発生時、設定したパターンクルーズ連動に従い PTZ がクルーズします。

警戒解除：有効時、Local←1 のみ対応。有効時、Local←1 はワンキー解除を実行するかのみを制御します。解除パラメータの詳細設定は 5.3.7 警戒解除を参照してください。

5.3.1.2 アラーム 出力

イベントアラームが発生してアラーム出力に連動した場合、アラーム出力の実行スケジュールと継続時間をこのページで設定できます。

Alarm Input		Alarm Output	
		Alarm Output No.	Latch Time
			Edit
		Local->1	5 s
		10.10.1.2->1	5 s
		172.20.58.6->1	5 s
		10.10.8.8->1	30 s
		10.10.11.11->1	5 s
		172.20.58.34->1	5 s
		172.20.58.33->1	5 s
		172.20.58.28->1	5 s
		172.20.58.44->1	5 s
		172.20.58.32->1	5 s
		172.20.58.35->1	5 s
		172.20.58.24->1	5 s
		172.20.58.23->1	5 s
		172.20.58.36->1	30 s
		172.20.58.22->1	5 s
		172.20.58.43->1	5 s
		172.20.58.43->2	5 s
		172.20.58.41->1	5 s

編集：ボタンをクリックして設定ページを開きます（下図参照）。

Advance

Alarm Output No. Local->1

Alarm Status Close

Latch Time 5 s

Schedule

Table List

0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24

SUN

MON

TUE

WED

THU

FRI

SAT

Import Template Save Template

Trigger Default Copy Apply

アラーム出力番号：アラーム出力ソースを選択します。

ラッチ時間：アラーム出力の継続時間を設定します。

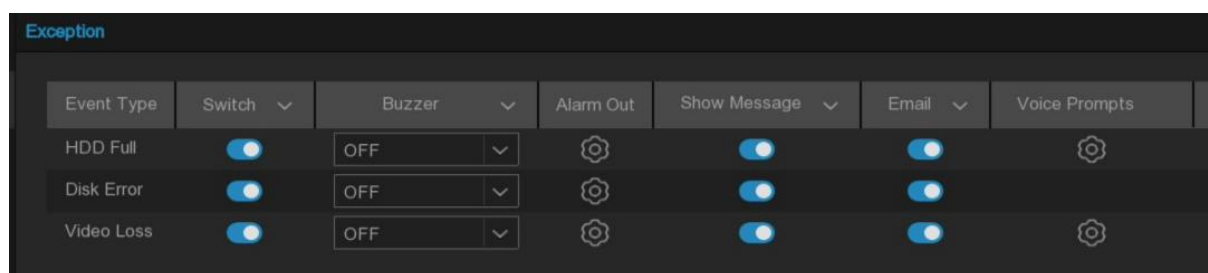
アラーム状態：現在の I/O アラーム出力状態を表示します。

スケジュール：現在のアラーム出力ソースの時間帯を設定します。5.2.1.1 録画スケジュールを参照してください。

トリガー：手動アラームを設定します。ボタンをクリックして I/O アラームをオン・オフします。

5.3.2 例外

このメニューでは、NVR の例外イベントに対するアラーム連動を設定できます。



イベント種類：NVR が例外として検知するイベントは 3 種類あります。

HDD 満杯：ハードディスクが満杯です。

ディスクエラー：HDD エラー（書き込み中または HDD が初期化されていない場合）

映像ロス：映像信号が失われた場合（チャンネルが削除されたか、チャンネルが正しく接続されていない）。

スイッチ：例外アラームを有効または無効にします。

ブザー：検知イベントがトリガーされた場合、NVR のブザーで設定時間分の可聴アラートを提供できます。ドロップダウンメニューをクリックして希望する時間を選択します。

アラーム出力：NVR または IP カメラが外部アラーム出力デバイスの接続に対応している場合、システムはアラート通知をそれらのデバイスへ送信できます。

メッセージ表示：イベントアラーム発生後、リアルタイムプレビュー画面にアイコンまたはプロンプト文が表示されるかを設定します。

メール：イベントアラーム発生後にメールボックスにメールを送信するかを設定します。

音声ガイド：イベントアラーム発生後に放送するかを設定します。5.3.4 音声案内を参照してください。

5.3.3 複合アラーム

このメニューでは、複数のアラームイベントの組み合わせによりトリガーできる複合アラームイベントを設定できます。

Combined Alarm								
+ Add a Combined Alarm								
Alarm Name	Switch	Configuration	Alarm Out	Record	Post Recording	Normal Linkage	Delete	
Customized Alarm 1	☒			OFF	30 s			
Customized Alarm 2	☐			OFF	30 s			
Customized Alarm 3	☐			OFF	30 s			
Customized Alarm 4	☐			OFF	30 s			
Customized Alarm 5	☐			OFF	30 s			
Customized Alarm 6	☐			OFF	30 s			
Customized Alarm 7	☐			OFF	30 s			
Customized Alarm 8	☐			OFF	30 s			
Customized Alarm 9	☐			OFF	30 s			
Customized Alarm 10	☐			OFF	30 s			
Customized Alarm 11	☐			OFF	30 s			
Customized Alarm 12	☐			OFF	30 s			
Customized Alarm 13	☐			OFF	30 s			
Customized Alarm 14	☐			OFF	30 s			
Customized Alarm 15	☐			OFF	30 s			
Customized Alarm 16	☐			OFF	30 s			

複合アラームを追加：新しい複合アラームセットを追加します。最大 15 グループまで追加できます。

アラーム名称：複合アラームの名前を設定します。

スイッチ：チェックして複合アラームを有効にします。

アラーム出力：複合アラーム発生後にアラーム出力を連動させるかを設定します。

録画：複合アラーム発生後に録画するチャンネルを設定します。

ポスト録画：複合アラーム発生後の NVR の継続録画時間を設定します。

削除：複合アラームの組み合わせを削除します。

通常連動：複合アラーム発生後の通常アラーム連動を設定します。次のオプションがあります。

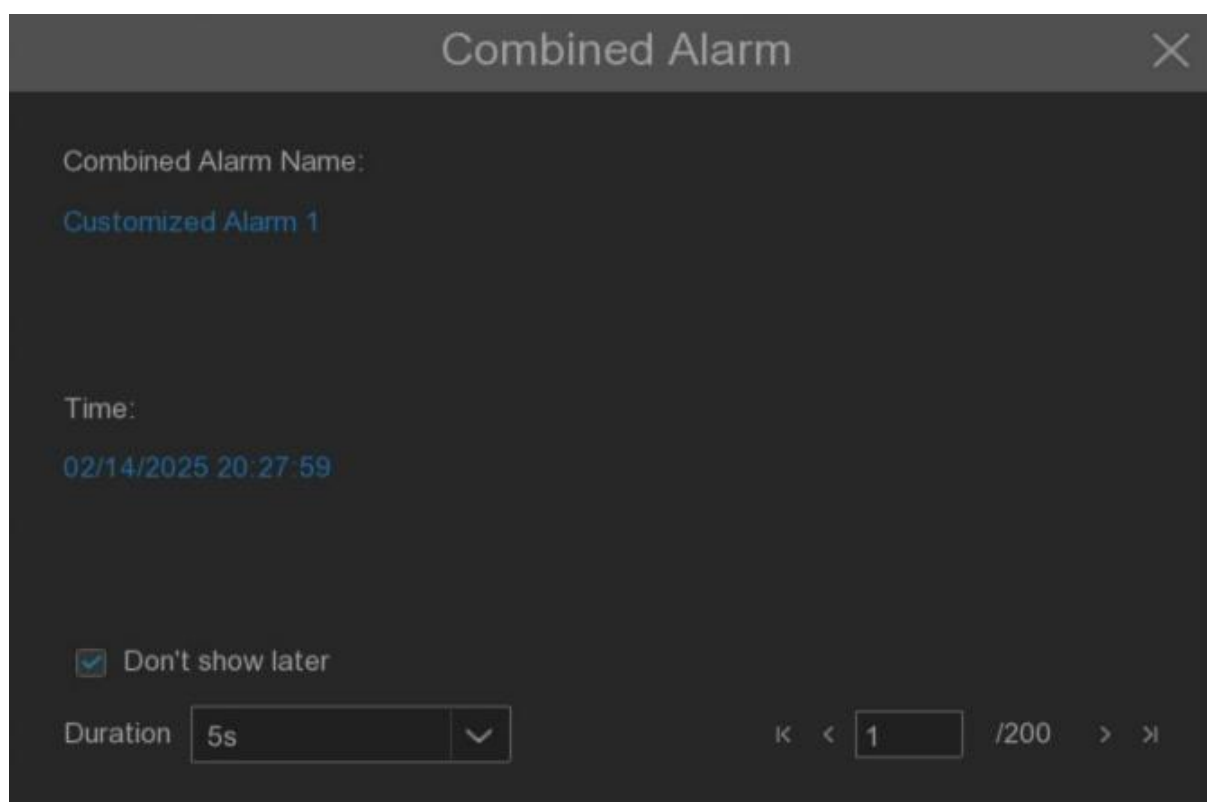
ブザー：検知イベントがトリガーされた場合、NVR のブザーで設定時間分の可聴アラートを提供できます。ドロップダウンメニューをクリックして希望する時間を選択します。

メール：複合アラーム発生後にメールボックスにメールを送信するかを設定します。

イベントプッシュプラットフォーム：イベントアラート情報をサードパーティサービスプラットフォームへ送信するかを設定します。このオプションはデフォルトで有効です。詳細設定については 5.5.6.3 「イベントプッシュプラットフォーム」を参照してください。

音声ガイド：NVR にスピーカーが接続されている場合、検知イベントトリガー時に再生するカスタム音声アラートを選択できます。カスタム音声ファイルの追加については 5.3.4 音声案内を参照してください。

ポップアップ：複合アラーム発生後にウィンドウが自動的にポップアップするかを設定します。



「後で表示しない」にチェックを入れると、複合アラームがトリガーされた際に自動ポップアップしなくなります。

継続時間：ポップアッププロンプト後の連続表示時間を設定します。（注意：マウスが表示領域内にある場合、継続時間はマウスが領域外に移動するまで一時停止します。が領域外に移動するまで一時停止します

設定：複合アラームの設定ページを開きます。

No.	Alarm Type	Alarm Source	Delete
1	I/O	Local<- 1	
2	I/O	Local<- 2	

Condition Description:

I/O
and
I/O

Cancel Apply



追加：新しい複合アラームイベントを追加します。

アラーム種類：アラームイベントの種類を選択します。

アラームソース： イベント種類に対応するチャンネルを選択します。

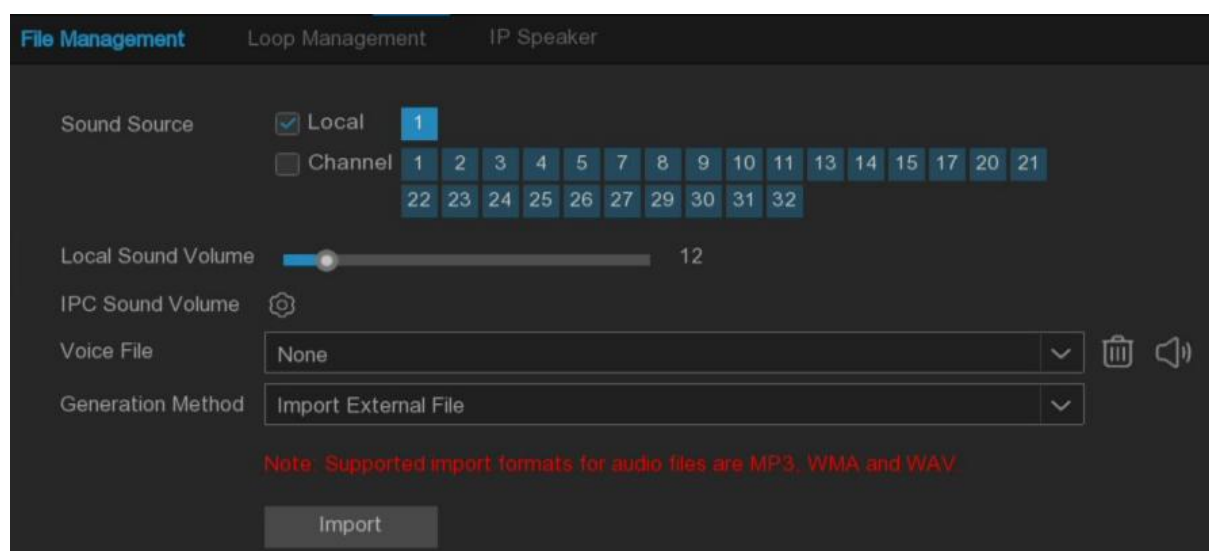
削除： 複合アラームイベントを削除します。

追加した複合アラームイベントが有効になっていない場合、「適用」ボタンをクリックした後に赤いプロンプトが表示されます。「設定」ボタンをクリックしてアラームイベントを有効にしてください。

5.3.4 音声案内

この機能はアラームを受信し、アラーム発生後の連動のために音声プロンプトデバイスを使用し、音声プロンプトファイルを自動再生するために使用します。

5.3.4.1 音声ファイル管理



「インポート」をクリックして音声ファイルをインポートします。外部ファイルのインポートとテキスト音声変換（インターネット）の2種類のインポート方法に対応しています。

外部ファイルのインポート：ローカルインポート（MP3、WMA、WAV 形式の音声ファイルのインポートに対応）

テキスト音声変換（インターネット）：Web サーバー変換（翻訳が必要なテキストコンテンツをローカルでインポートし、ネットワークサーバーへ送信して音声ファイルに変換し、ローカルのハードディスクに自動保存します）。

テキストインポートボックスの最大入力長は 200 バイトです。ファイルのインポート：音声ファイルをインポートします。顔データベースおよびナンバープレートデータベースは各ファイルサイズ 1～500KB まで対応しており、顔以外のデータベースおよびナンバープレートデータベースは各ファイルサイズ 1～5MB まで対応しています。

音声プロンプト音声のインポートは「音声ファイル」から選択できます。

音声案内はローカルと IP チャンネルの 2 種類の方法に対応しています。

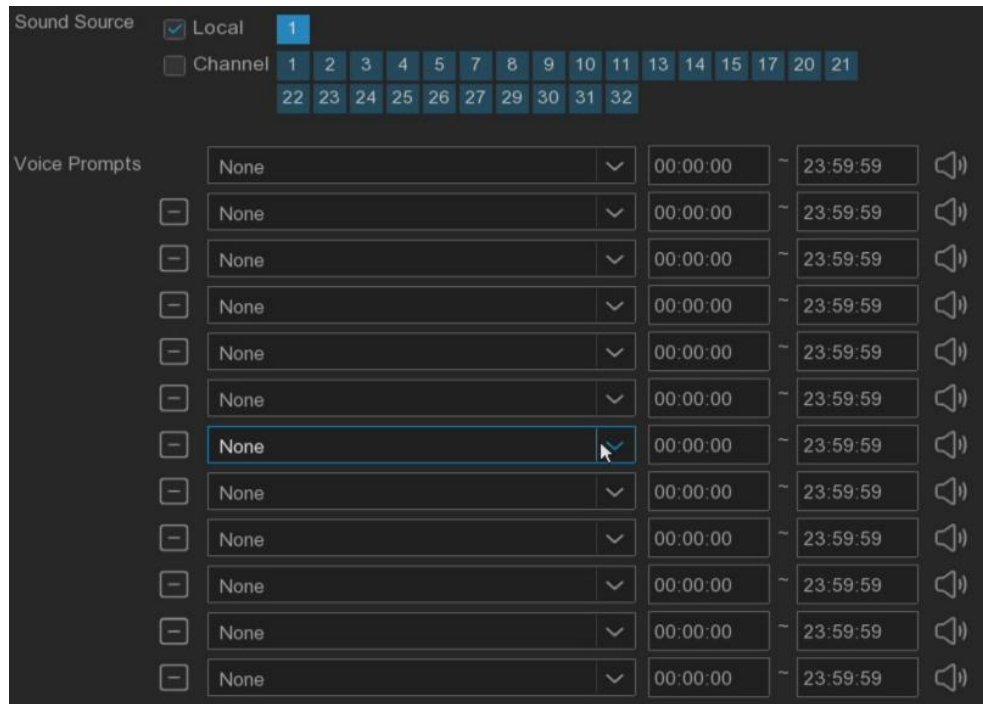
ローカル音声ボリューム：NVR ローカルプロンプトの音量出力サイズを調整可能。

IPC サウンドボリューム： カメラチャンネルの音声ガイド出力音量を設定します。

ローカル：ローカル放送（このモードを選択する場合、デバイス側に音声出力デバイスを接続する必要があります）。

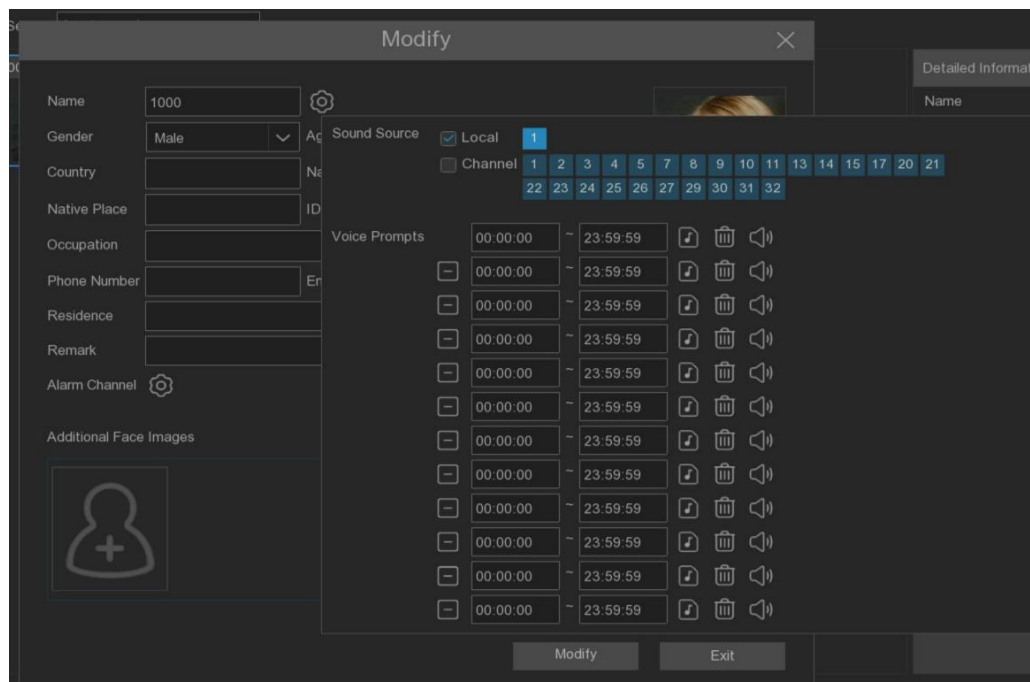
チャンネル：IP カメラ放送（この放送モードを選択する場合、カメラプログラムに音声放送機能が必要です）。

時間帯別音声案内設定：1 つのアラーム種類で最大 12 の時間帯の音声プロンプトを設定でき、時間帯間の競合はありません。



顔認識に基づく音

声プロンプト設定：この機能は顔認識を実現し、システムが顔認識情報を収集し対応する音声プロンプトを再生します。



つまり、顔検知がトリガーされた際に音声プロンプトが発せられます。

5.3.4.2 ループ管理

Sound Source

☒ Local **1**

☐ Channel 1 2 3 4 5 7 8 9 10 11 13 14 15 17 20 21
22 23 24 25 26 27 29 30 31 32

Voice File

☒	overlength	00:00:00	-	01:59:59	
☐	overlength	02:00:00	-	03:59:59	
☐	overlength	04:00:00	-	04:59:59	
☐	overlength	05:00:00	-	05:59:59	
☐	overlength	06:00:00	-	06:59:59	
☐	overlength	07:00:00	-	07:59:59	
☐	overlength	08:00:00	-	08:59:59	
☐	overlength	09:00:00	-	09:59:59	
☐	overlength	10:00:00	-	10:59:59	
☐	overlength	11:00:00	-	11:59:59	
☐	overlength	12:00:00	-	13:59:59	
☐	overlength	14:00:00	-	20:59:59	

音声 File : 音声ファイルを選択し時間帯を設定すると、選択した音声ファイルが繰り返し再生されます。音声案内は最大 12 時間帯まで設定できます。

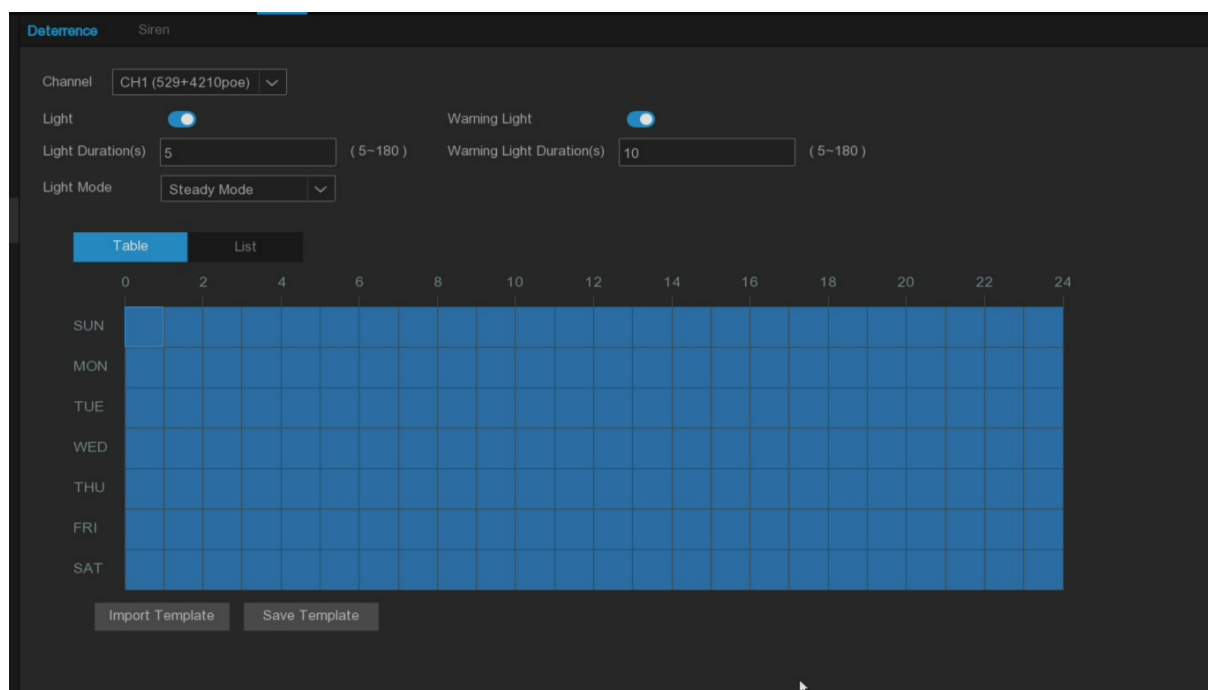
ローカル : ローカル放送（この放送モードを選択する場合、デバイス側に音声出力デバイスを接続する必要があります）。

チャンネル : ネットワークカメラ放送（この放送モードを選択する場合、カメラプログラムに音声放送機能が必要で、かつ IP チャンネルでなければなりません）。

5.3.5 抑止

このメニューでは、ウォームライト、赤青ライト、アラーム抑止パラメータなど、カメラチャンネルの設定が可能です（抑止対応カメラのアクセス）

5.3.5.1 ホワイトライトと警告ライト



チャンネル：カメラチャンネルを選択します。

ライト：白色光を有効または無効にします。

ライト継続時間（秒）：白色光の継続時間を設定します。

ライトモード：ホワイトライトモードを設定します。常時点灯モードと点滅モードに対応

点滅周波数：ウォームライトの点滅周波数。高・中・低の3段階から選択可能

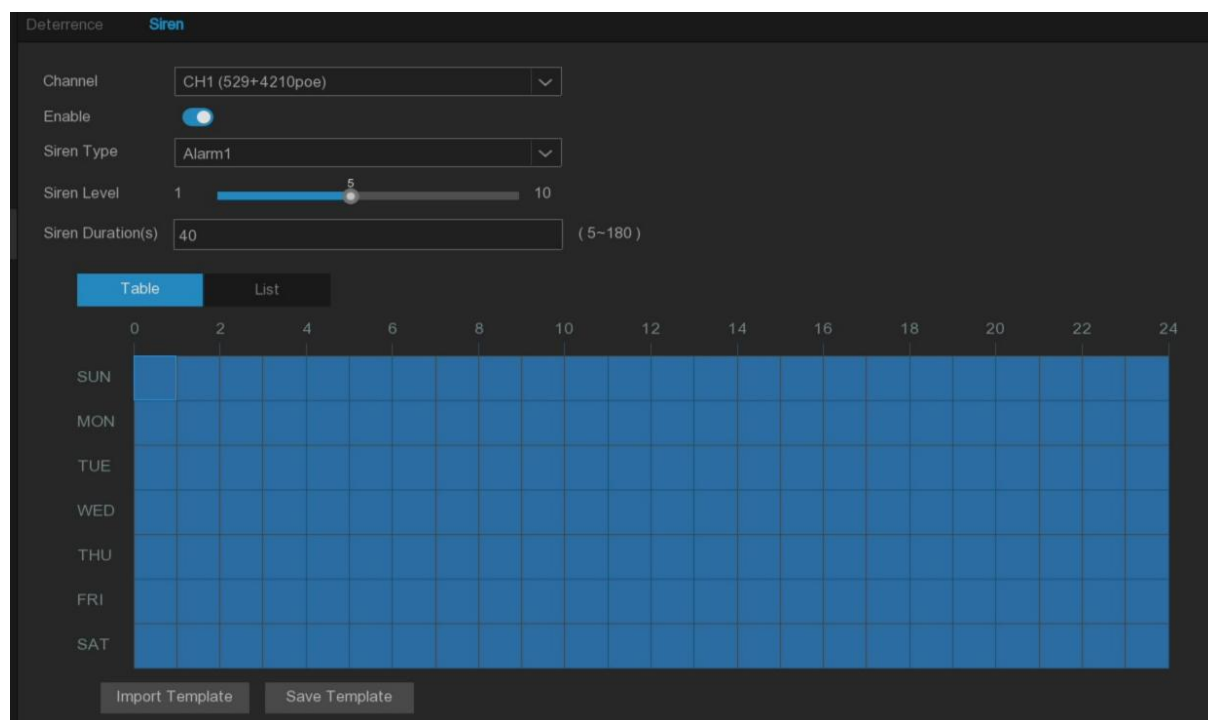
警告ライト：赤青ライトの抑止スイッチを有効または無効にします。

警告ライト継続時間（秒）：赤青ライトの継続時間を設定します。

スケジュール：白色光と赤青ライトの設定については、5.2.1.1 録画スケジュールを参照してください。5.2.1.1 録画スケジュール

5.3.5.2 サイレン

デバイスに接続したカメラに内蔵スピーカーがある場合、アラームサウンドに関するパラメータを設定できます。



チャンネル：カメラチャンネルを選択します。

有効：サイレン機能を有効または無効にします。

サイレン種類：サイレン音声ファイルを選択します。モデルによって利用可能な音声ファイルの数が異なります。モデルによっては内蔵アラーム音声のみ選択可能なものと、最大3つのカスタム音声ファイルをアップロードできるものがあります。カスタム音声ファイルを使用するには「ユーザー定義」を選択し、USBドライブから事前に準備した音声ファイルをアップロードしてください。システムはPCMおよびWAV形式の音声ファイルのインポートに対応しています。インポートする音声ファイルのサンプリングレートは8000Hz以下、ファイルサイズは

256KB 以下である必要があります。 カスタム音声ファイルを選択すると、右側に「削除」ボタンが表示され、現在の音声ファイルを削除できます。

ファイル名称：サイレン種類で「ユーザー定義」を選択した場合、ファイル名を入力し右側のインポートボタンをクリックしてカスタム音声ファイルを選択します。USB ディスクからカスタム音声ファイルをインポートする場合も同様です。

サイレンレベル：サイレンの音量レベルを設定します。範囲は 1～10 で、値が大きいほど音量が大きくなります。

サイレン継続時間（秒）：サイレンの継続時間を設定します。5～180 秒の範囲で調整します。

スケジュール：IP カメラが HTTP ポートで NVR に接続されている場合、「スケジュール」ボタンをクリックして設定ページを開けます。スケジュールの詳細については「5.2.1.1 録画スケジュール」を参照してください。

5.3.7 警戒解除

ワンクリック解除機能を使用すると、スケジュールと組み合わせて検知されたアラームイベントのアラート動作を抑止できます。

注意：

1. 例外アラームと複合アラームの連動は解除制御の対象外です。
2. ワンクリック解除の有効・無効は、ページの解除スイッチと同期しません。
3. ワンクリック解除機能は最高優先度を持ちます。ワンクリック解除を有効にすると、解除スイッチが他のページの設定に関わらず有効になります。ワンクリック解除が有効の

場合、「警戒解除」ページの解除スイッチの設定状態は無視され、ワンクリック解除コマンドの即時性が確保されます。

4. 解除システムの詳細については、5.3.1.1 アラーム入力を参照してください。

Note:

"Audio and light alarm" refers to the built-in Deterrence Siren.

"Alarm I/O" refers to an external alarm connected to the Input/Output interface.

警戒解除：ワンクリック解除を有効または無効に設定します。

ローカル：NVR ローカルアラーム連動の種類。

すべて：すべての種類を選択またはすべてを解除します。

ブザー：ワンクリック解除有効中にアラームが発生した場合、ブザーを無効にします。

アラーム出力：ワンクリック解除有効中にアラームが発生した場合、外部アラーム出力を無効にします。

メッセージ表示：ワンクリック解除有効中に検知イベントが発生した場合、プレビューページへのアラームメッセージ表示を防止します。

メール：ワンクリック解除有効中にアラームが発生した場合、NVR からの自動メール送信を防止します。

全画面：ワンクリック解除有効中にトリガーされた場合、全画面モード設定のチャンネルがプレビュー画面で全画面に切り替わることを防止します。

音声ガイド：ワンクリック解除有効中にアラームが発生した場合、音声プロンプト設定のチャンネルでの音声プロンプトを無効にします。

モバイルプッシュ：ワンクリック解除有効中にアラームが発生した場合、モバイルアプリ RXCamView へのアラーム情報のプッシュを防止します。

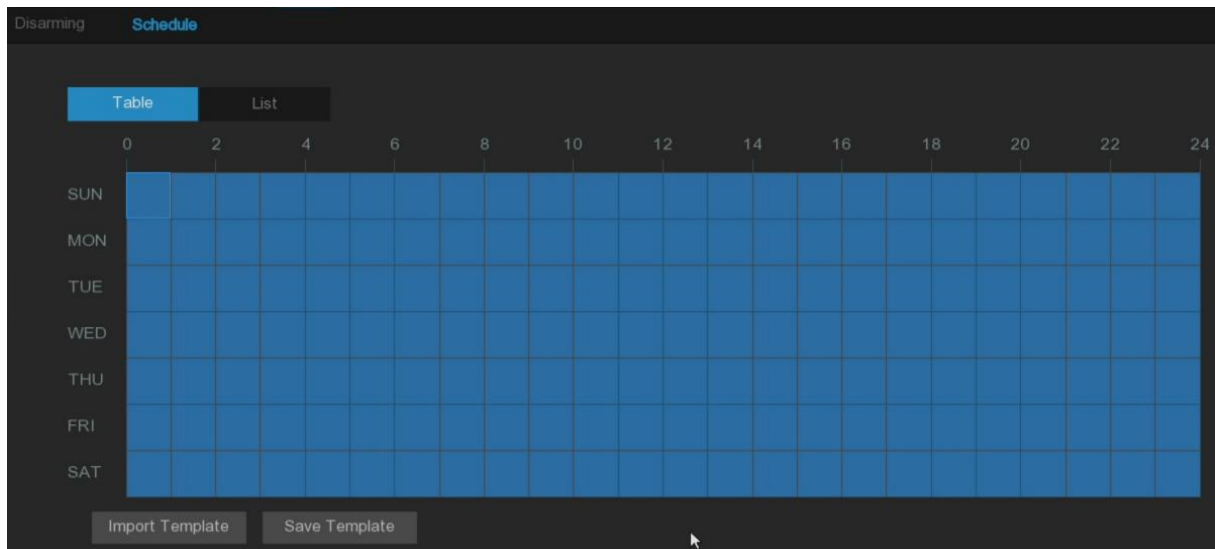
プライバシーモード ：解除機能を有効にした状態で「プライバシーモード」をクリックすると、設定されたチャンネルのプライバシーモードが無効になります。

カメラ：カメラアラーム連動の種類。

音声&ライトアラーム：解除機能を有効にすると、チャンネルのカメラが赤青ライト・白色光・サイレンに対応している場合、アラーム発生時にこれらが作動しなくなります。

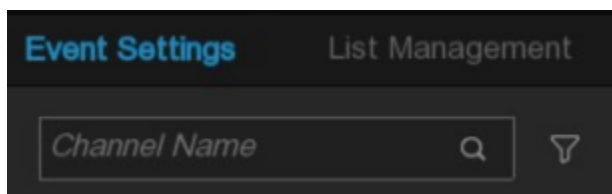
アラーム I/O：解除機能を有効にすると、チャンネルのカメラが I/O アラーム入力/出力に対応している場合、アラーム発生時に I/O アラーム入力または出力が作動しなくなります。ports I/O alarm input /output. The I/O alarm input or output does not take effect.

スケジュール：解除が有効になる時間帯を設定します。スケジュール表の詳細設定は 5.2.1.1 録画スケジュールを参照してください。



5.4 イベント

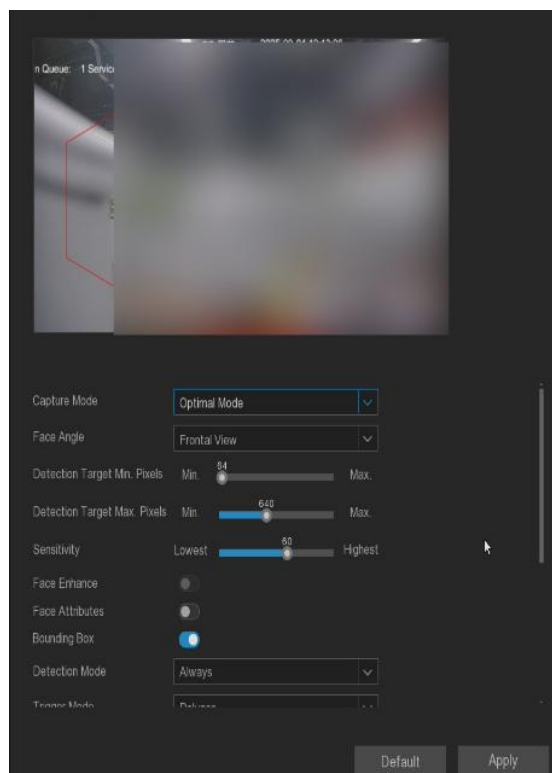
5.4.1 イベント 設定



入力ボックスからカメラのチャンネル名を入力して設定したいカメラチャンネルを素早く特定できます。また、フィルター機能ボタンを使用すると、設定済み・未設定のすべてのカメラチャンネルを素早く絞り込めます。

5.4.1.1 顔検出

このメニューでは、顔検知に関するパラメータを設定できます。



キャプチャモード：スナップショットモード。最適モード（顔の出現から消失まで最も品質の高い画像を選択してプッシュ）とインターバルモードから選択できます。

スナップショット数：インターバルモードでは、各検知ターゲットのプッシュするスナップショット数を設定します。

キャプチャ間隔：インターバルモードで検知ターゲットのスナップショットをプッシュする頻度を設定します。

顔角度：検知角度を設定します。正面ビューモード、マルチアングルモード、カスタム角度モードがあります。

ユーザー定義 angle mode.

- **正面ビュー：**正面を向いた顔のみ検知します。
- **マルチアングル：**複数角度から顔を検知します。

- **カスタム**：顔が検知される回転（ロール）、垂直傾き（ピッチ）、水平回転（ヨー）の角度範囲をカスタマイズします。

ロール角度：カスタムモードで顔の回転範囲を設定します。

ピッチ角度：カスタムモードで顔の上下傾き範囲を設定します。

ヨー角度：カスタム角度で顔の水平回転範囲を設定します。

画像品質：画像品質を 1（最低）～100（最高）で設定します。

正面ビュー／マルチアングル：正面およびマルチアングルモードの角度設定をデフォルトにリセットします。

検知対象最小ピクセル：最小認識ピクセルボックスを設定します。顔は設定ピクセルより大きくなければ認識されません。

検知対象最大ピクセル：最大認識ピクセルボックスを設定します。顔は設定ピクセルより小さくなければ認識されません。

感度：検知感度レベルを 1～100 で設定します。値が大きいほどトリガーされやすくなります。

顔エンハンス：動く顔のより良い認識のために強化します。全体的な画質が低下する場合があります。

顔属性：この機能を有効にすると、キャプチャした顔の特徴（マスク・眼鏡の着用有無など）が記録されます。検索時にこれらの属性でフィルタリングできます。この機能は一部モデルのみ対応しており、製品性能の制限により認識結果が完全に正確でない場合があります。

バウンディングボックス：有効にすると、検知したターゲットの輪郭を示す緑色のバウンディングボックスが画像に表示されます。

検知モード：この設定はカメラの視野内でターゲットを検知するために使用する方法を決定します。2つのモードがあります。

- **ハイブリッドモード**：このモードでは、静止ターゲットと動くターゲットの両方を検知します。静止物体と動体の両方の検知を組み合わせます。
- **動体モード**：このモードはフレーム内の動くターゲットのみを検知します。動いている物体の識別のみに特化します。

トリガーモード：矩形ルールとラインルールが利用可能。

検知エリア：矩形ルールでは検知エリアを設定します。カスタマイズ可能。デフォルトは全画面エリア。

全画面：カメラが監視する全領域を検知します。

カスタム：カスタム設定で定義したエリアのみを検知します。

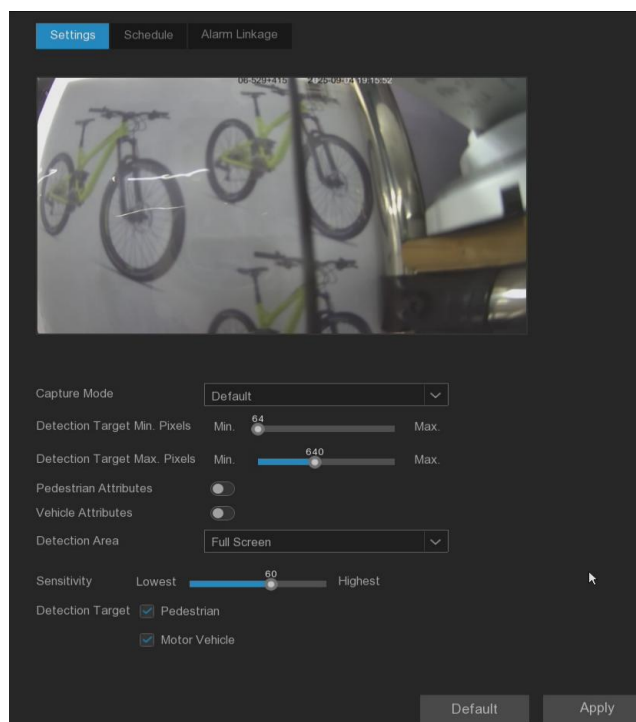
ルール番号：ルール番号を選択します。最大4つの検知ルールエリアの設定に対応します。

ルール切替：各検知ルールを個別に有効または無効にします。各スイッチは現在選択しているルール番号に対応します。

ルール種類：ラインモードでは、プレビューエリア内にラインを描画し、越境方向のルール種類（A→B、B→A、またはA↔B）を設定します。ラインを越えたターゲットは設定したルールに従って検知され、アラームをトリガーします。特定の経路または境界線を越えるターゲットの監視が必要なシーンに適しています。

5.4.1.2 歩行者・車両検出

このメニューでは、歩行者と車両の検知に関するパラメータを設定できます。



キャプチャモード：スクリーンショットモード。最適モード（歩行者・車両の出現から消失まで最も品質の高い画像を選択してプッシュ）とインターバルモードがあります。

スナップショット数：インターバルモードでは、各検知ターゲットのプッシュするキャプチャ画像数を設定します。

キャプチャ間隔：インターバルモードで検知ターゲットのプッシュ通知頻度を設定します。

検知対象最小ピクセル：最小識別ピクセルボックスを設定します。人物や車両は設定ピクセルより大きくなければ識別されません。

検知対象最大ピクセル：最大識別ピクセルボックスを設定します。人物や車両は設定ピクセルより小さくなければ識別されません。

歩行者属性：検知した歩行者の画像を撮影し、上下の服の色、性別、年齢、帽子、眼鏡などの属性を識別します。

車両属性：検知された自動車の画像を撮影し、色、メーカー、車種などの属性を識別します。

感度：感度レベルを 1～100 で設定します。値が大きいほどトリガーされやすくなります。

検知対象：検知ターゲット物体を選択します。歩行者、自動二輪・四輪車（モーター車両）、非電動車から選択できます。

検知モード：ハイブリッドまたはダイナミックモードに対応します。ハイブリッドモードは静止ターゲットと動くターゲットの両方を検知し、ダイナミックモードは動くターゲットのみを検知します。

バウンディングボックス：有効にすると、検知したターゲットの輪郭を示す緑色のバウンディングボックスが画像に表示されます。

検知エリア：検知エリアを設定します。カスタマイズ可能。デフォルトは全画面。

全画面：カメラが監視する全領域を検知します。

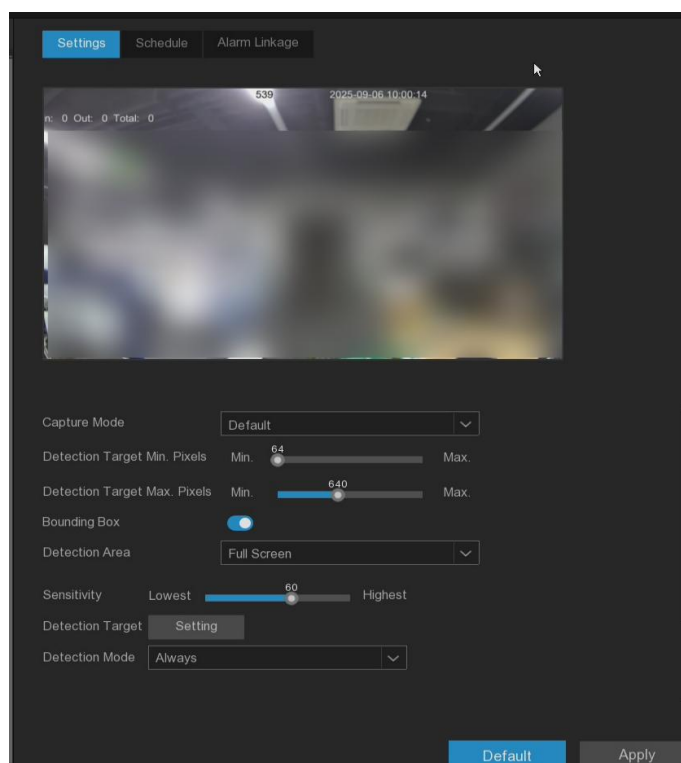
カスタム：カスタム設定で設定したエリアのみを監視します。

ルール番号：ルール番号を選択します。最大 4 つの検知ルールゾーンの設定に対応します。ゾーンごとに異なる検知タイプを設定できます。

ルール切替：各ルールを個別に有効または無効にします。各ルールスイッチは現在選択しているルール番号に関連付けられています。

5.4.1.3 マルチターゲット認識

本機能は内蔵 AI アルゴリズムにより映像をリアルタイム解析し、フレーム内の複数の異なるカテゴリのターゲットを同時に識別します。



マルチターゲット認識：汎用物体検知機能スイッチを有効にします。

キャプチャモード：画像キャプチャモード。最適モード（ターゲットの出現から消失までの期間中に最も品質の高い画像をキャプチャして送信）、インターバルモード、リアルタイムモード（検知のたびに即時送信）があります。

スナップショット数：インターバルモードでは、各ターゲットに対してブッシュするキャプチャ画像数を設定します。

キャプチャ間隔：インターバルモードでターゲットのブッシュ通知頻度を設定します。

検知対象最小ピクセル：最小検知ピクセルボックスサイズを設定します。ターゲットはこのピクセル閾値より小さくなければ認識されません。

検知対象最大ピクセル：最小検知ピクセルサイズを設定します。ターゲットはこの閾値を超えなければ認識されません。

感度：感度が高いほどターゲット検知が向上しますが、誤検知も増加します。

検知モード：監視ゾーン内のターゲット行動を検知します。2つのモードがあります。

常時：フレーム内のすべてのターゲットを検知します。

動体のみ：静止ターゲットをフィルタリングします。

バウンディングボックス：ターゲット周囲に検知ボックスを表示します。検知ルールラインを切り替えます。

検知対象：検知ターゲットを選択します。歩行者、車両、動物、公共施設、車両輸送、スポーツ用品などから選択できます。

検知エリア：2つのモードで検知ゾーンを設定します：

全画面：カメラの視野全体を監視します。

カスタム：ユーザー定義ゾーンのみを監視します。

ルール番号：検知ルール番号を選択します。最大4つの検知ルールに対応。ゾーンごとに異なる

検知タイプを設定できます。例えば、ゾーン1で人・車両パターンを検知し、ゾーン2で動物を検知するといった設定が可能です。

ルール切替：各ルールを個別に有効または無効にします。現在選択しているルール番号にリンクされています。

ルールライン設定エリア：カスタム検知エリアモード使用時、3～8角形の多角形検知ゾーンの設定に対応します。

追加：設定エリアにデフォルトの検知ルールを追加します。

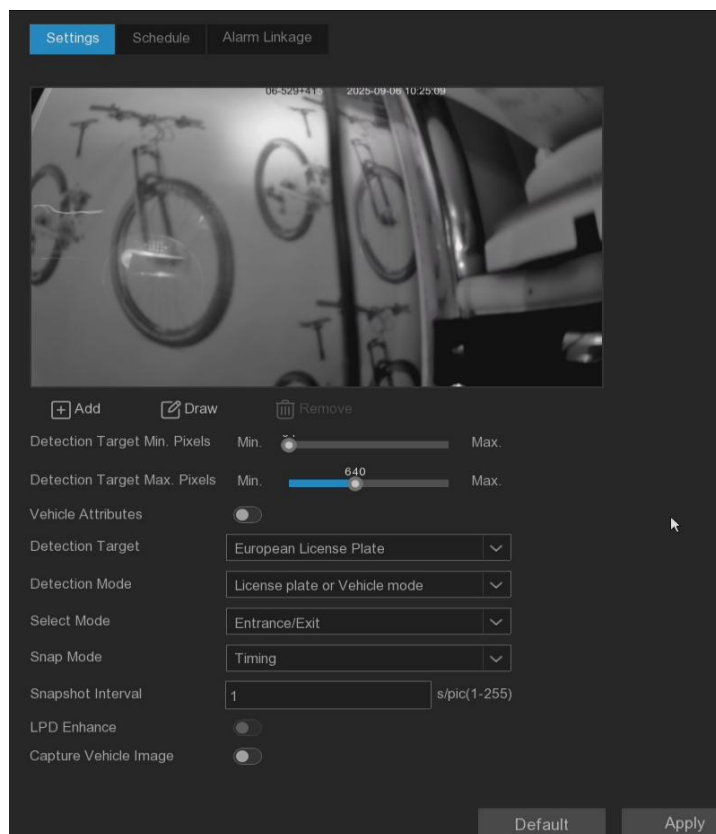
描画：設定エリア内に検知ルールを手動で描画します。

削除：選択した検知ルールを削除します。

すべて削除：設定エリア内のすべての検知ルールを削除します。

5.4.1.4 ナンバープレート検知

ナンバープレート検知機能は、映像解析を用いてカメラ視野内を通過する車両のナンバープレートを検知・認識します。ライセンスプレートメニューでは、この検知機能に関連するさまざまなパラメータを設定できます。



検知ターゲット最小ピクセル：最小認識ピクセルボックス。ナンバープレートは設定した最小ピクセルより大きくなければ認識されません。

検知対象最大ピクセル：最大認識ピクセルボックス。ナンバープレートは設定した最大ピクセルより小さくなければ認識されません。

車両属性：検知された自動車の画像を撮影し、色、メーカー、車種などの属性を識別します。

検知対象：アメリカのナンバープレートやヨーロッパのナンバープレートなど、ナンバープレートの種類を選択します。

検知モード：この設定はカメラの視野内でターゲットを検知するために使用する方法を決定します。2つのモードがあります。実際のニーズに応じて選択してください。

- **欧州ナンバープレート**： 欧州ナンバープレート。
- **米国ナンバープレート**： 米国ナンバープレート。

スナップモード：キャプチャ方式。選択したアプリケーションモードに基づいて異なるキャプチャ技術を適用します。

選択モード：アプリケーションモード。実際の設置場所に応じた適切なモードを選択するとライセンスプレート認識の精度が向上します。以下の3つのモードが利用可能です：

入口/出口：バリアゲートの入退場シナリオ。以下の3つのキャプチャ方式に対応：

入場：車両が検知ゾーンに入り検知ラインを越えた際にアラートが発生し、画像をキャプチャします。

退場：車両が検知ゾーンを出て検知ラインを越えた際にアラートが発生し、画像をキャプチャします。

タイミング：キャプチャ間隔を設定します。車両が検知ゾーンを通過して検知ラインを越えた際にアラートが発生し、設定した間隔で画像をキャプチャします。

市街地：都市の路上シナリオ。以下の3つのキャプチャモードに対応：ヤ modes:

入場：車両またはナンバープレートが検知ゾーンに入り検知ラインを越えた際にアラートが発生し、画像をキャプチャします。

退場：車両またはナンバープレートが検知ゾーンを出て検知ラインを越えた際にアラートが発生し、画像をキャプチャします。

越境検知：車両またはナンバープレートが検知ラインを通過した際にアラートが発生し、画像をキャプチャします。

アラーム入力：IO トリガーモード。動作には外部センサーとの接続が必要です。

車両画像キャプチャ：車両シルエットキャプチャスイッチ。有効にすると、アラームがトリガーされてナンバープレートが認識できない場合に、検知した車両のシルエット画像をキャプチャして送信します。

バウンディングボックス：有効にすると、検知したターゲットの輪郭を示す緑色のバウンディングボックスが画像に表示されます。これにより、撮影した対象物を素早く特定・認識するのに役立ちます。

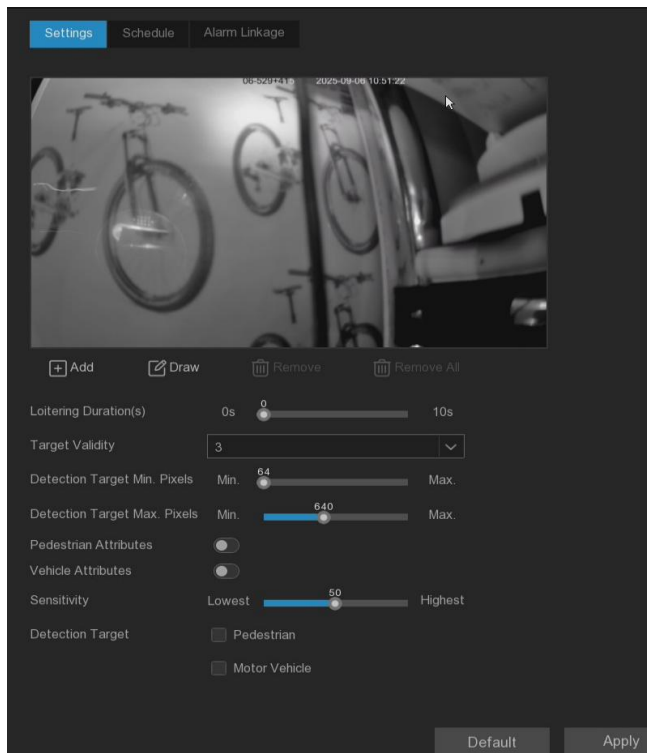
LPD エンハンス：ナンバープレートエンハンスを有効/無効にします。ライセンスプレートエンハンスは、撮影した画像や映像フィード内のナンバープレートの鮮明度と可読性を向上させる機能です。

注意：入口/出口モードと市街地モードを選択する場合、映像画面上の検知ラインの位置を設定する必要があります。ナンバープレートが検知ラインを越えた際に画像キャプチャとアラートがトリガーされます。

注意：LPD エンハンスを有効にすると、画像制御ページが自動的に昼夜モードに切り替わり、IR カットモードが画像ファイル切替モードに設定されます。また、露出補正、シャッター、露出時間は非表示になります。

5.4.1.5 侵入検知

侵入検知は、設定した制限エリアに物体が侵入したかを映像で検知します。制限エリアの監視や不正侵入・不法侵入の検知に役立ちます。倉庫・工事現場などのセキュリティと監視強化に活用できます。



徘徊継続時間：物体が警戒エリアに留まる時間（秒）を示します。この時間を超えるとアラームが作動します。例：5 に設定した場合、ターゲットが指定エリアに 5 秒間侵入した直後にアラームが作動します。最大継続時間は設定可能です。

対象有効性：ターゲット信頼度。ターゲットと設定した検知タイプとの類似度を示します。設定した類似度を越えた場合のみアラームが作動します。設定レベルが高いほど類似性の要件が高まり、より明確なターゲットのみが検知されます。

検知対象最小ピクセル：最小認識ピクセルを設定します。ターゲットは設定ピクセルより大きくなければ認識されません。

検知対象最大ピクセル：最大認識ピクセルを設定します。ターゲットは設定ピクセルより小さくなければ認識されません。

歩行者属性：検知した歩行者の画像を撮影し、上下の服の色、性別、年齢、帽子、眼鏡などの属性を識別します（着用している袖、下着、リュック、移動方向を含む）。

車両属性：検知された自動車の画像を撮影し、色、メーカー、車種などの属性を識別します。

感度：エリア侵入検知をトリガーする感度設定。感度設定が高いほど、アラームがトリガーされやすくなります。

検知対象：検知が必要なターゲットの種類を設定します。

- **歩行者**：侵入する歩行者のみを検知します。
- **自動二輪・四輪車**：侵入する電動車両のみを検知します。
- **非電動車**：侵入する非電動車両のみを検知します。

ターゲット種類なし：すべての動くターゲットを検知します。

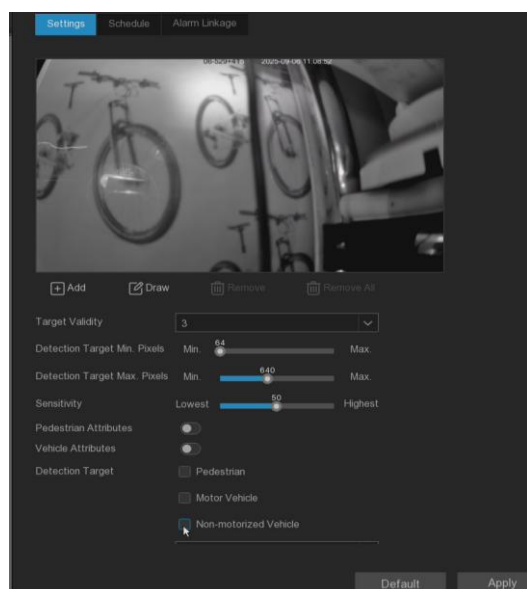
ルール番号：ルール番号を選択します。上部プレビュー画面でマウスの左ボタンをクリックして点を繋ぎ、始点と終点を連結した検知エリアを描画します。描画後、「保存」をクリックしてエリア描画を完了します。

ルール切替：有効にすると、設定した検知領域が適用されます。

バウンディングボックス：有効にすると、ターゲット検知フレームがリアルタイム画面に表示されます。

5.4.1.6 エリア進入

進入検知機能は、設定した警戒エリアにターゲットが侵入したかを検知し、判定結果に基づいてアラームを連動させます。



対象有効性：ターゲット信頼度。ターゲットと設定した検知タイプとの類似度を示します。設定した類似度を超えた場合のみアラームが作動します。設定レベルが高いほど類似性の要件が高まり、より明確なターゲットのみが検知されます。

検知対象最小ピクセル： 最小認識ピクセルを設定します。識別対象は設定ピクセルより大きくする必要があります。

検知ターゲット最大ピクセル： 最大認識ピクセルを設定します。識別対象は設定ピクセルより小さくする必要があります。

歩行者属性： 検知した歩行者の画像を撮影し、上下の服の色、性別、年齢、帽子、眼鏡などの属性を識別します（着用している袖、下着、リュック、移動方向を含む）。

車両属性： 検知された自動車の画像を撮影し、色、メーカー、車種などの属性を識別します。

感度： エリア侵入検知の感度を設定します。感度が高いほどアラームが作動しやすくなります。

検知対象： 検知対象を設定します。「人物」「自動車」「非自動車」から選択可能。「人物」は侵入する歩行者のみ、「自動車」は侵入する自動二輪・四輪車のみ、「非自動車」は侵入する非電動車両のみを検知します。

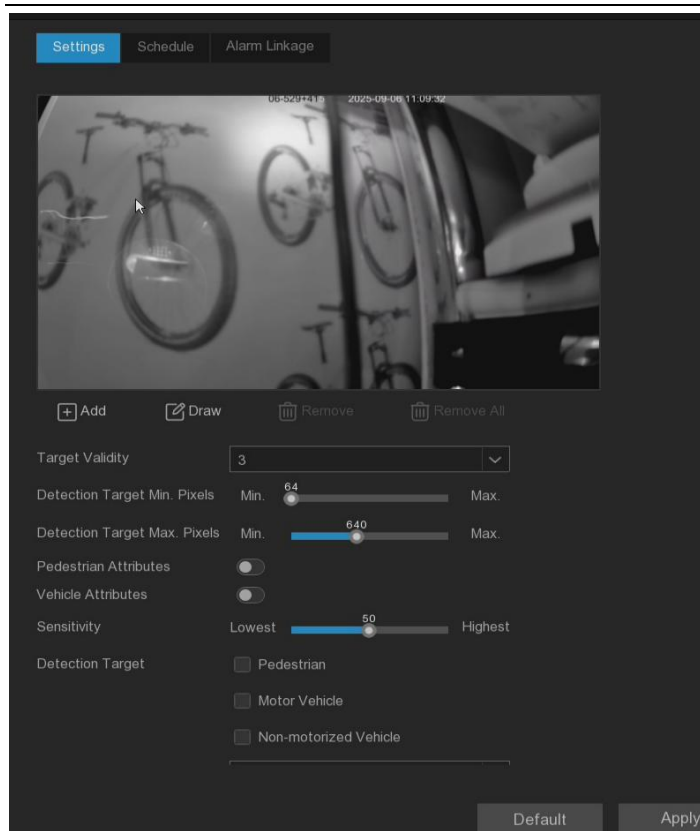
ルール番号： ルール番号を選択します。上部プレビュー画面でマウスの左ボタンをクリックして点を繋ぎ検知エリアを描画します。描画後、「保存」をクリックしてエリア描画を完了します。

ルール切替： 有効にすると、設定した検知領域が適用されます。

バウンディングボックス： オンにすると、リアルタイム画面にターゲット検知枠が表示されます。

5.4.1.7 エリア退出

退出エリア機能は、設定した警戒エリアからオブジェクトが離脱したかを検知し、判定結果に基づいてアラームを連動させます。



対象有効性：ターゲット信頼度。ターゲットと設定した検知タイプとの類似度を示します。設定した類似度を超えた場合のみアラームが作動します。設定レベルが高いほど類似性の要件が高まり、より明確なターゲットのみが検知されます。

検知対象最小ピクセル： 最小認識ピクセルを設定します。識別対象は設定ピクセルより大きくする必要があります。

検知ターゲット最大ピクセル： 最大認識ピクセルを設定します。識別対象は設定ピクセルより小さくする必要があります。

歩行者属性： 検知した歩行者の画像を撮影し、上下の服の色、性別、年齢、帽子、眼鏡などの属性を識別します（着用している袖、下着、リュック、移動方向を含む）。

車両属性： 検知された自動車の画像を撮影し、色、メーカー、車種などの属性を識別します。

感度： エリア侵入検知の感度を設定します。感度が高いほどアラームが作動しやすくなります。

検知対象： 検知対象を設定します。「人物」「自動車」「非自動車」から選択可能。「人物」は侵入する歩行者のみ、「自動車」は侵入する自動二輪・四輪車のみ、「非自動車」は侵入する非電動車両のみを検知します。

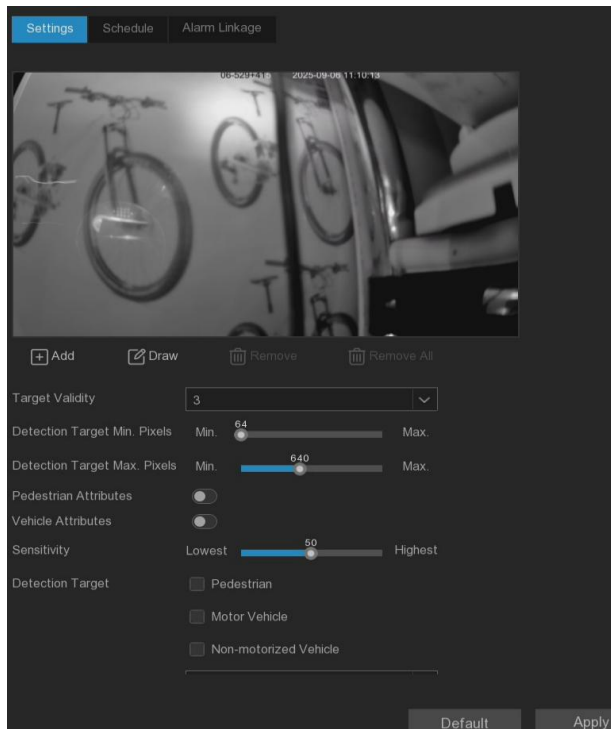
ルール番号： ルール番号を選択します。上部プレビュー画面でマウスの左ボタンをクリックして点を繋ぎ検知エリアを描画します。描画後、「保存」をクリックしてエリア描画を完了します。

ルール切替： 有効にすると、設定した検知領域が適用されます。

バウンディングボックス： オンにすると、リアルタイム画面にターゲット検知枠が表示されます。

5.4.1.8 越境検知

越境検知機能は、あらかじめ設定した仮想ラインを越えた人、車両、その他の物体を検知し、アラーム発生時に一連の対応措置を行います。



対象有効性：ターゲット信頼度。ターゲットと設定した検知タイプとの類似度を示します。設定した類似度を越えた場合のみアラームが作動します。設定レベルが高いほど類似性の要件が高まり、より明確なターゲットのみが検知されます。

検知対象最小ピクセル： 最小認識ピクセルを設定します。識別対象は設定ピクセルより大きくする必要があります。

検知ターゲット最大ピクセル： 最大認識ピクセルを設定します。識別対象は設定ピクセルより小さくする必要があります。

歩行者属性： 検知した歩行者の画像を撮影し、上下の服の色、性別、年齢、帽子、眼鏡などの属性を識別します（着用している袖、下着、リュック、移動方向を含む）。

車両属性： 検知された自動車の画像を撮影し、色、メーカー、車種などの属性を識別します。

感度： 越境検知の感度を設定します。感度設定が大きいほど、アラームがトリガーされやすくなります。

検知対象：検知対象を設定します。「人物」「自動車」「非自動車」から選択可能。「人物」は侵入する歩行者のみ、「自動車」は侵入する自動二輪・四輪車のみ、「非自動車」は侵入する非電動車両のみを検知します。

ルール番号：ルール番号を選択します。上部プレビュー画面でマウスの左ボタンをクリックして適切な検知ラインを描画します。描画後、「保存」をクリックして検知ライン描画を完了します。

ルール切替：有効にすると、設定した検知ラインが適用されます。

ルール種類：ルール種類を選択します。

A→B：A 側から B 側への動きのみ検知します。

B→A：B 側から A 側への動きのみ検知します。

A↔B：B 側から A 側または A 側から B 側への動きの両方を検知します。

バウンディングボックス：オンにすると、リアルタイム画面にターゲット検知枠が表示されます。

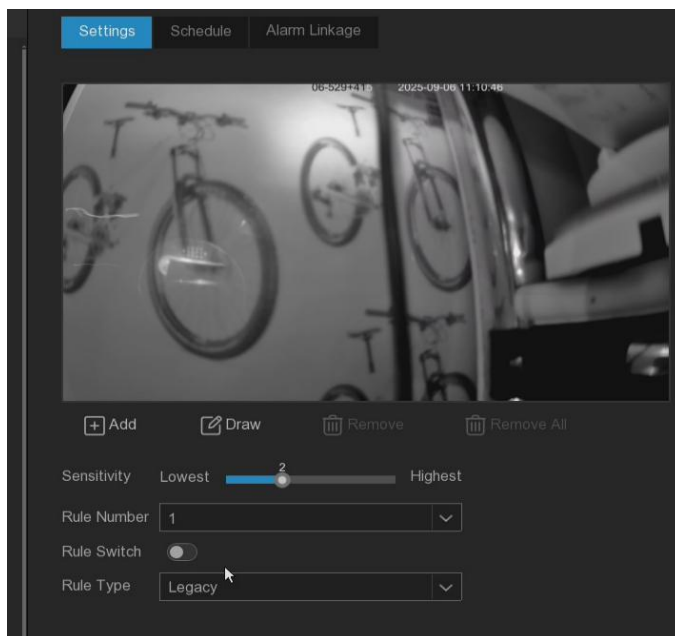
注意：

1. 検知ラインをカメラ画像の端に近づけすぎないようにしてください。ターゲットがカメラ視野の端付近を通過した際にアラームが誤作動する場合があります。
2. 検知ラインを短く設定しすぎないようにしてください。ターゲットが検知ラインを越えた際にアラームのトリガーに失敗する場合があります。



5.4.1.9 オブジェクト検知

物体検知は、指定エリア内に置き去り／紛失された荷物、財布、危険物などの物体を検知し、アラーム発生時に一連の対応を行います。



感度：感度パラメータの範囲は1～4で、デフォルト値は2です。感度が高いほど、置き去りや紛失物体が検知されやすくなりますが、誤検知も増加します。

ルール番号：ルール番号を選択します。上部プレビュー画面でマウスの左ボタンをクリックして点を繋ぎ検知エリアを描画します。描画後、「保存」をクリックしてエリア描画を完了します。

ルール切替：有効にすると、設定した検知領域が適用されます。

バウンディングボックス：オンにすると、リアルタイム画面にターゲット検知枠が表示されます。

ルール種類：ルール種類を選択します。

置き去り：検知エリア内に置き去りにされた物体のみを検知します。

紛失：検知エリア内の紛失した物体のみを検知します。

置き去り&紛失：検知エリア内の置き去りと紛失の両方の物体を検知します。

カメラ画像内でマウスを4点クリックして仮想エリアを描画します。エリアは凸多角形でなければなりません。凹多角形は保存されません。

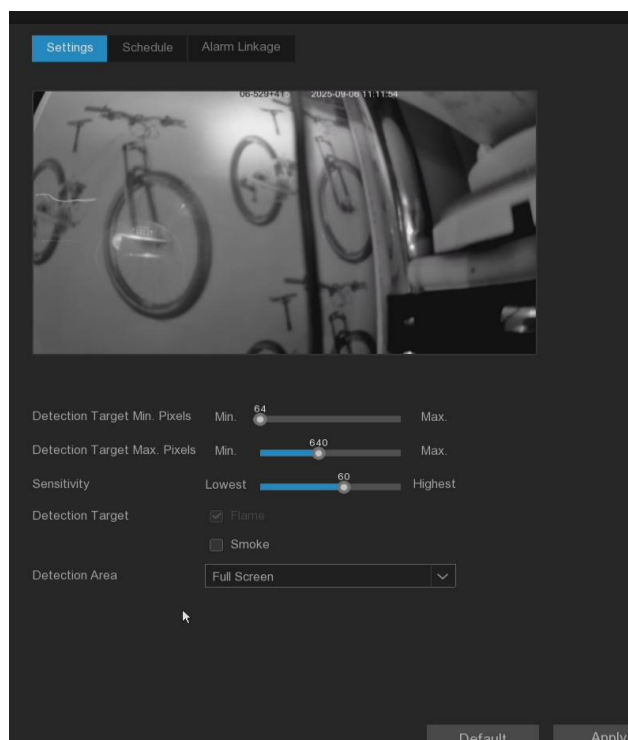
注意：

1. 検知エリアは検知対象オブジェクトのサイズ以上でなければなりません。例えばブルーボトルの検知の場合、検知エリアはボトルより大きくする必要があります。
2. 検知対象物体が遮蔽されていないことを確認してください。



5.4.1.10 火災・煙検出

この機能はカメラからのリアルタイム映像ストリームを解析し、画像認識アルゴリズムを使用して指定エリアでの炎や煙の発生を監視し、検知した場合に警告を発します。



火災&煙検知：火災と煙の検知機能スイッチを有効にします。witch

検知対象最小ピクセル：最小認識ピクセルを設定します。ターゲットは設定ピクセルより大きくなければ認識されません。

検知対象最大ピクセル：最大認識ピクセルを設定します。ターゲットは設定ピクセルより小さくなければ認識されません。

感度：感度設定が高いほど炎や煙への検知応答性が向上しますが、誤警報も増加する場合があります。

検知対象：カメラ検知の対象種類を選択します。

炎：炎を検知します。

煙：煙を検知します。

検知エリア：2つのモードで検知ゾーンを設定します。

全画面：カメラの視野全体を監視します。

ユーザー定義：カスタム検知ボックス内で設定したエリアのみを監視します。.

ルール設定エリア：検知ルールの設定・変更・表示を行います。3～8 辺の検知エリア設定に対応します。

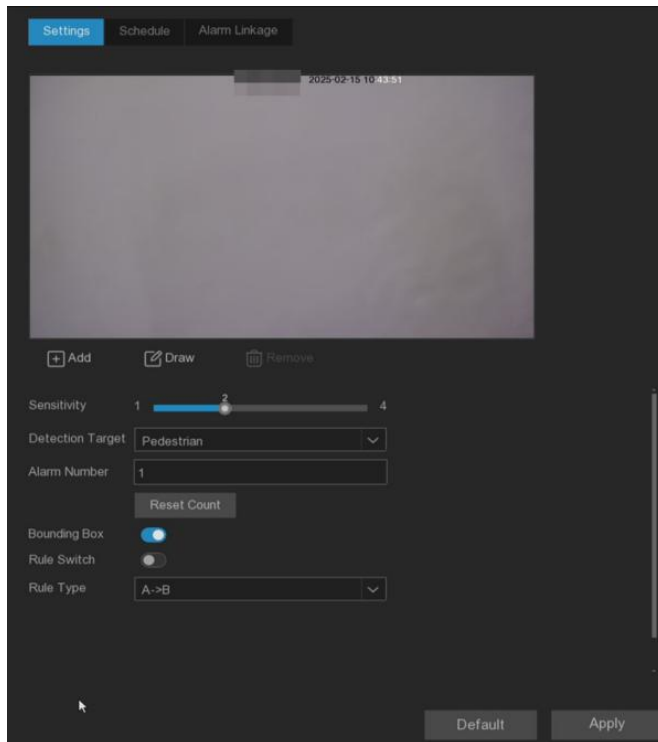
追加：設定エリアにデフォルトの検知ルールを追加します。

描画：設定エリア内に検知ルールを手動で描画します。

削除：選択したルールをルール設定エリアから削除します。

5.4.1.11 人数カウント

人数カウント機能は、設定したラインを越えた歩行者・自動車・非電動車・動体の統計を計測します。



感度：感度レベルは 1～4 で、デフォルトは 2 です。感度が高いほど検知がトリガーされやすくなります。

検知対象：越境統計のターゲットタイプを設定します

動体：ラインを越える移動物体をカウントします。

歩行者：ラインを越えた歩行者のみをカウントします。

自動二輪・四輪車：ラインを越えた自動車のみをカウントします。

非電動車：ラインを越えた非電動車両のみをカウントします。

アラーム数：アラーム数を設定します。アラーム数 = (入った回数) - (出た回数)。設定値に達するとアラームが作動します。

カウントリセット：カウントをクリアして再カウントします。

ルール切替：有効にすると、設定した検知ラインが適用されます。

ルール種類：ルール種類を選択します。

A→B : A側からB側への移動をカウントします。

B→A : B側からA側への移動をカウントします。

バウンディングボックス : オンにすると、リアルタイム画面にターゲット検知枠が表示されます。

「追加」ボタンをクリックして検知ラインを追加するか、「描画」ボタンをクリックして手動で検知ラインを描画します。

検知ラインを削除する場合は、ライン上の赤いボックスをクリックし、削除ボタンをクリックします。

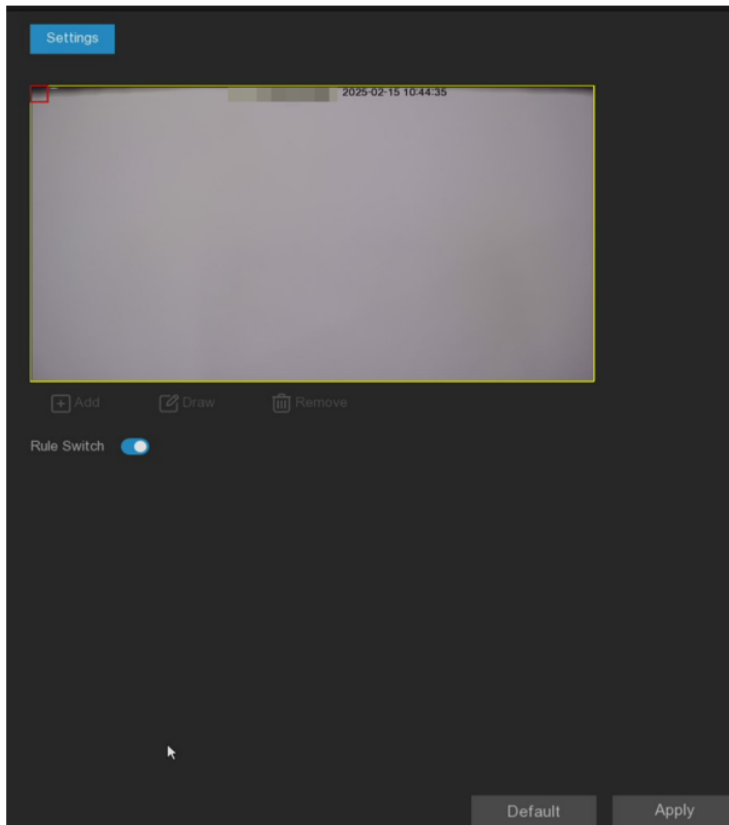
注意 :

1. 検知ラインを画像の端に近づけすぎないようにしてください。ターゲットがカメラ視野の端付近を通過した際にアラームが誤作動する場合があります。
2. テストラインは、検知対象物が到達できるエリアに設置してください。
3. 検知ラインを短く設定しすぎると、ターゲットが検知ラインを越えた際にアラームのトリガーに失敗する場合があります。



5.4.1.12 ヒートマップ°

訪問者の滞在エリアおよび地理的エリアの図を特別なハイライト形式で表示します。



ルール切替：検知エリアを有効または無効にします。

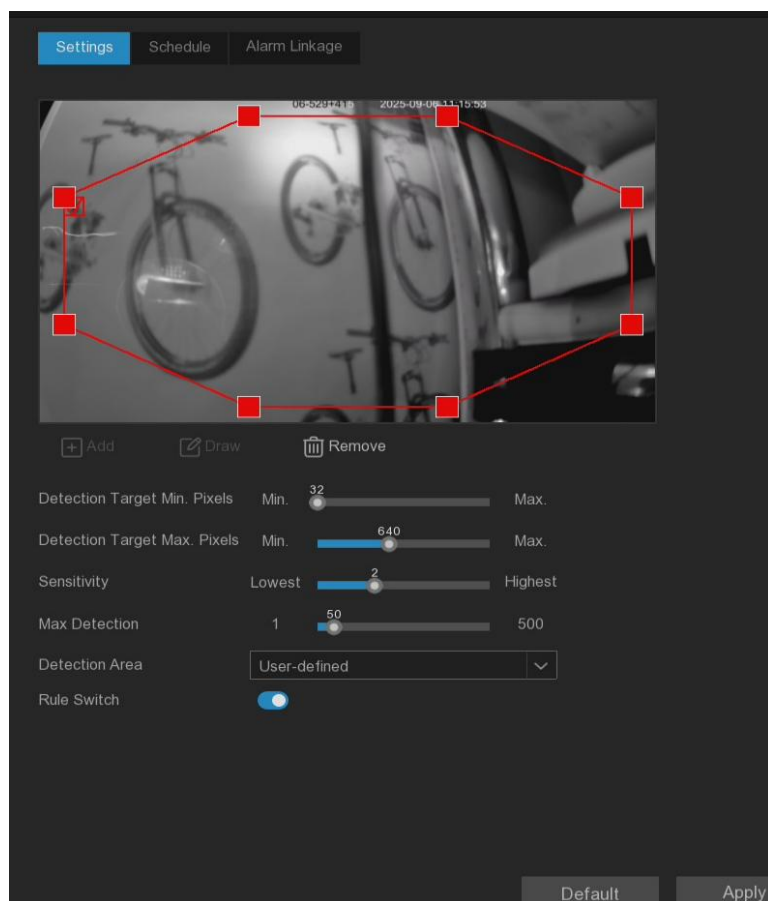
追加：デフォルトの検知エリアを追加します。

描画：検知エリアを手動で描画します。

削除：検知エリアのボックスを選択して削除をクリックすると、検知ボックスが削除されます。

5.4.1.13 混雑度

混雑度機能は、特定エリアの人員集積を検知し、秩序を維持するために使用します。



検知ターゲット最小ピクセル： 最小認識ピクセルボックスを設定します。人物は設定ピクセルより大きくなければ識別されません。

検知対象最大ピクセル： 最大認識ピクセルボックスを設定します。識別対象の人物は設定ピクセルより小さい必要があります。

感度： 感度レベルは1～4です。感度が高いほど検知されやすくなります。

最大検知数： 検知エリア内の人数が最大数を超えた場合、人口密度アラームが作動します。

バウンディングボックス： オンにすると、リアルタイム画面にターゲット検知枠が表示されます。

検知エリア： 人口密度の検知エリアを設定します。

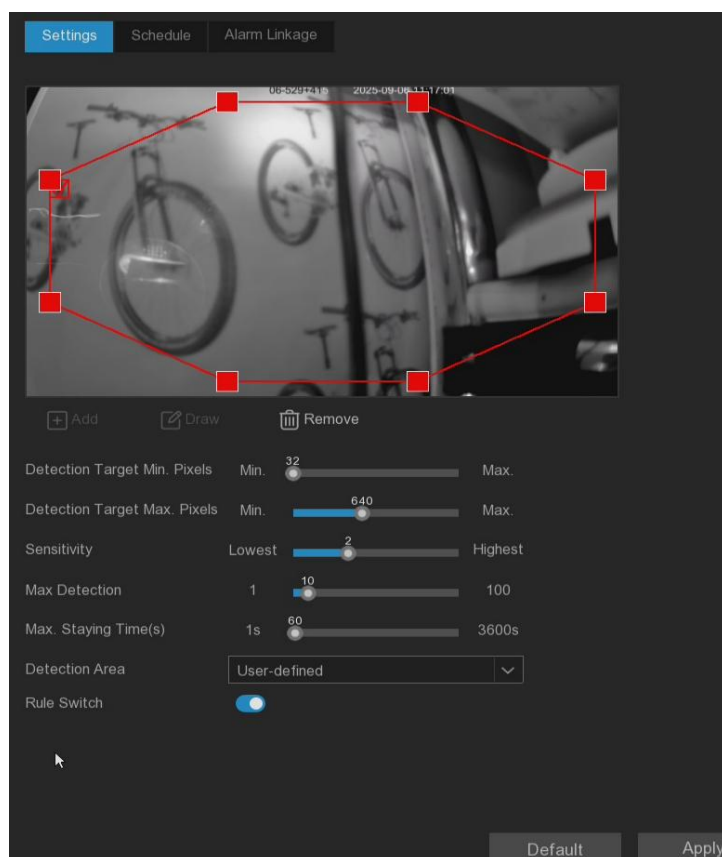
全画面： 全画面検知。

ユーザー定義：カスタム検知エリア。

ルール切替：検知エリアを有効または無効にします。

5.4.1.14 列の長さ

列の長さ検知は、行列の状態（長さや滞在時間）を検知するために使用します。



検知ターゲット最小ピクセル：最小認識ピクセルボックスを設定します。人物は設定ピクセルより大きくなければ識別されません。

検知対象最大ピクセル：最大認識ピクセルボックスを設定します。識別対象の人物は設定ピクセルより小さい必要があります。

感度：感度レベルは 1～4 です。感度が高いほど検知されやすくなります。

最大検知数：検知エリア内の人数が最大数を超えた場合、行列長アラームが作動します。

最大滞在時間：行列の停止時間が設定処理時間を超えた場合、行列長アラームが作動します。

バウンディングボックス：オンにすると、リアルタイム画面にターゲット検知枠が表示されます。

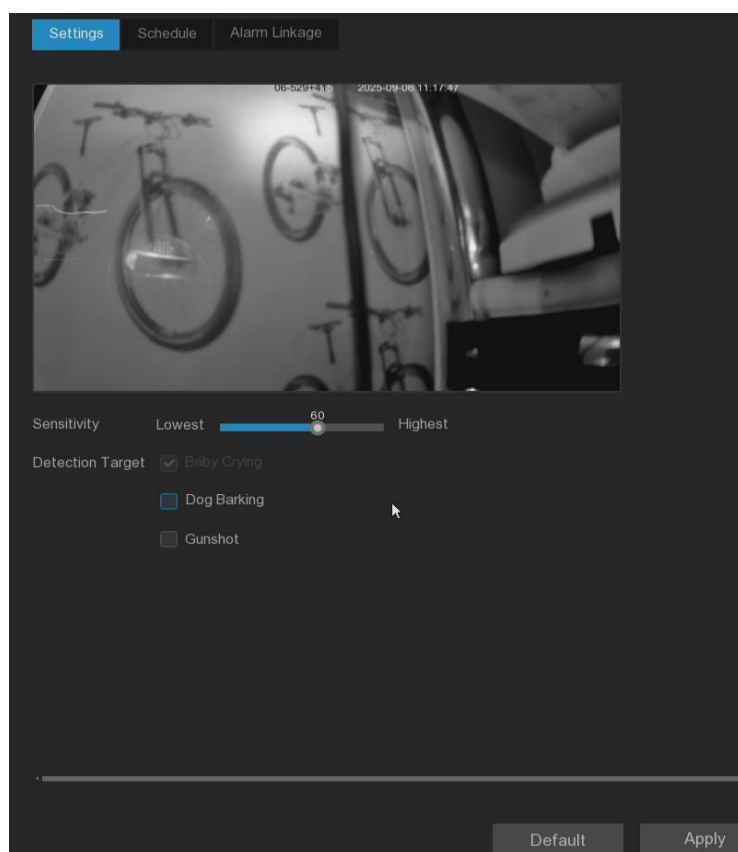
検知エリア：行列長の検知エリアを次の2種類で設定します。

全画面：全画面検知。

ユーザー定義：カスタム検知エリア。

ルール切替：検知エリアを有効または無効にします。

5.4.1.15 異音検知



感度：感度設定。感度が高いほど検知がトリガーされやすくなります。

検知対象：検知の種類を選択します。

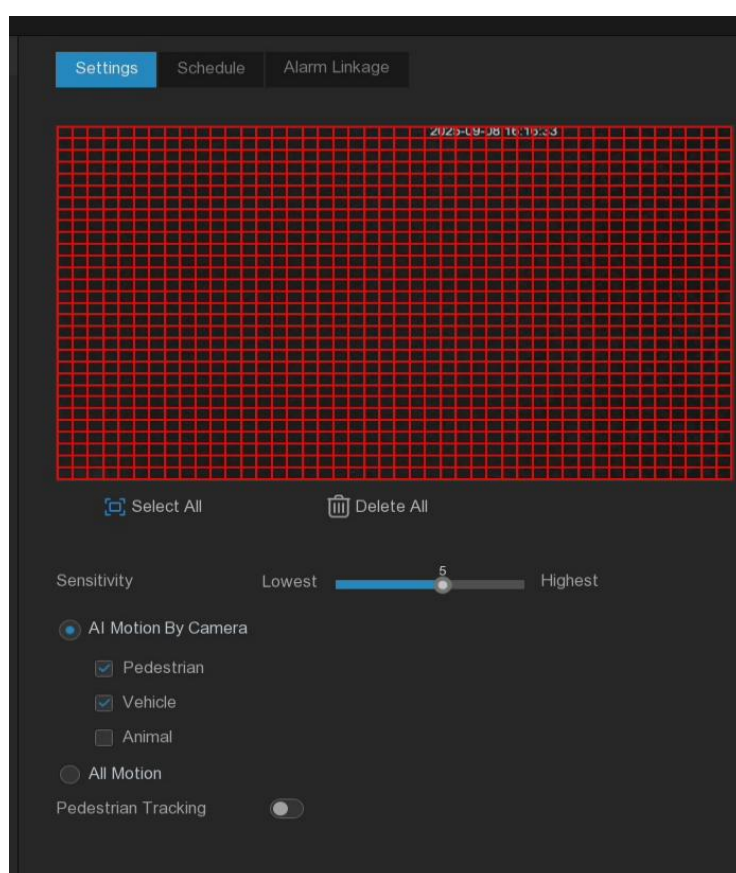
赤ちゃんの泣き声：チェックすると赤ちゃんの泣き声を検知します。

犬の鳴き声：チェックすると犬の鳴き声を検知します。

銃声：チェックすると銃声を検知します。

5.4.1.16 動体検知

このページで動体検知の関連パラメータを設定できます。画面内で動体ターゲットが検出されると動体検知アラームが作動します。



感度：感度レベルを設定します。感度が高いほど、検知距離が長くなります。

レコーダーによる AI 動体検知：スマート動体検知非対応カメラ向け。歩行者または車両の検知タイプを提供します。

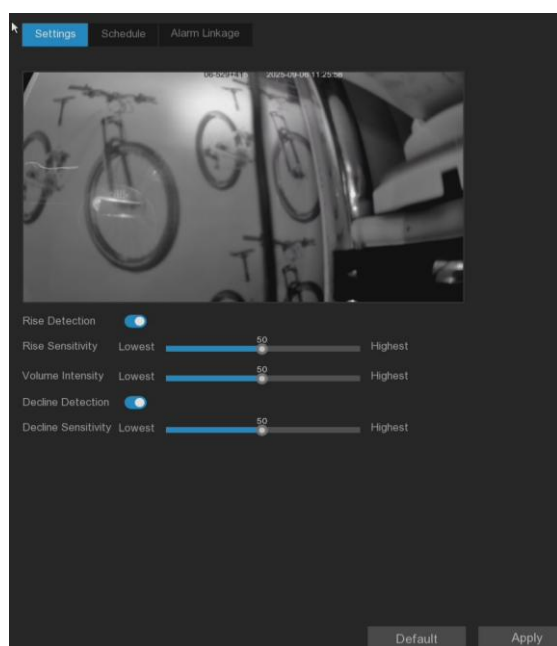
カメラによる AI 動体検知：スマート動体検知対応ネットワークカメラ向け。歩行者・車両・動物の検知タイプを提供（動物検知は一部カメラのみ対応）。カメラのみ対応）

全動体：あらゆる物体の動きを検知し、すべての動体に対して動体検知アラートをトリガーします。

歩行者追跡：人型追跡を有効にします。有効にすると、デバイスがターゲットの動きを自動で追跡します。

5.4.1.17 音検知

カメラが音声入力の変化を検知し、変化がアラーム検知設定を満たした場合にアラームが作動します。



音検知：音声検知を有効または無効にします。

急上昇：音量急上昇スイッチ。有効にすると、急激な音量増加時のみアラームがトリガーされます。

急上昇感度：音量上昇への感度を調整します。1～100 で設定。値が大きいほど音量急上昇への感度が高くなります。

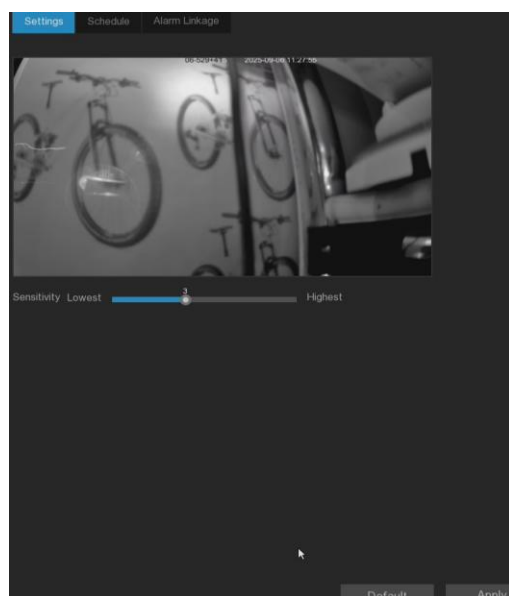
音強度：音量閾値レベルを設定します。閾値が高いほど、急上昇アラームをトリガーするためにより大きな音が必要になります。

急低下：音量急低下スイッチ。有効にすると、急激な音量低下時のみアラームがトリガーされます。

急低下感度：音量急低下のトリガー感度。1～100 で調整。値が大きいほど音量急低下への感度が高くなります。

5.4.1.18 映像改ざん検出

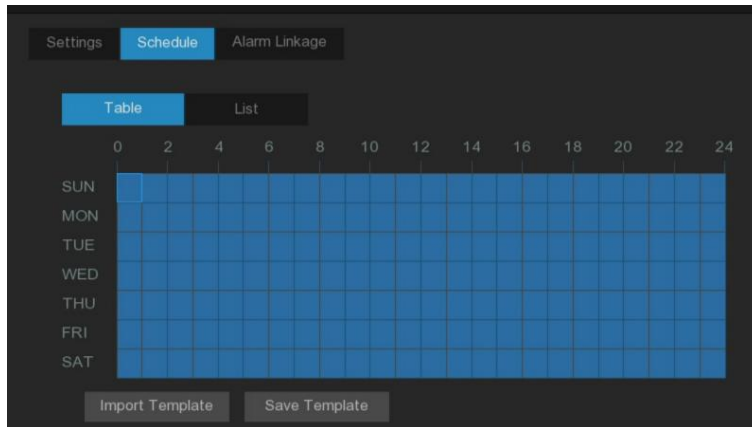
映像改ざん機能は、監視映像がブロックされているかを検知し、ブロック発生時に一連の措置を講じるために使用します。



感度：感度レベルは 1～6 で、デフォルトは 4 です。感度が高いほどトリガーされやすくなります。

5.4.1.19 スケジュール

各イベントの時間帯を設定します。スケジュールの詳細は 5.2.1.1 映像スケジュールを参照してください。

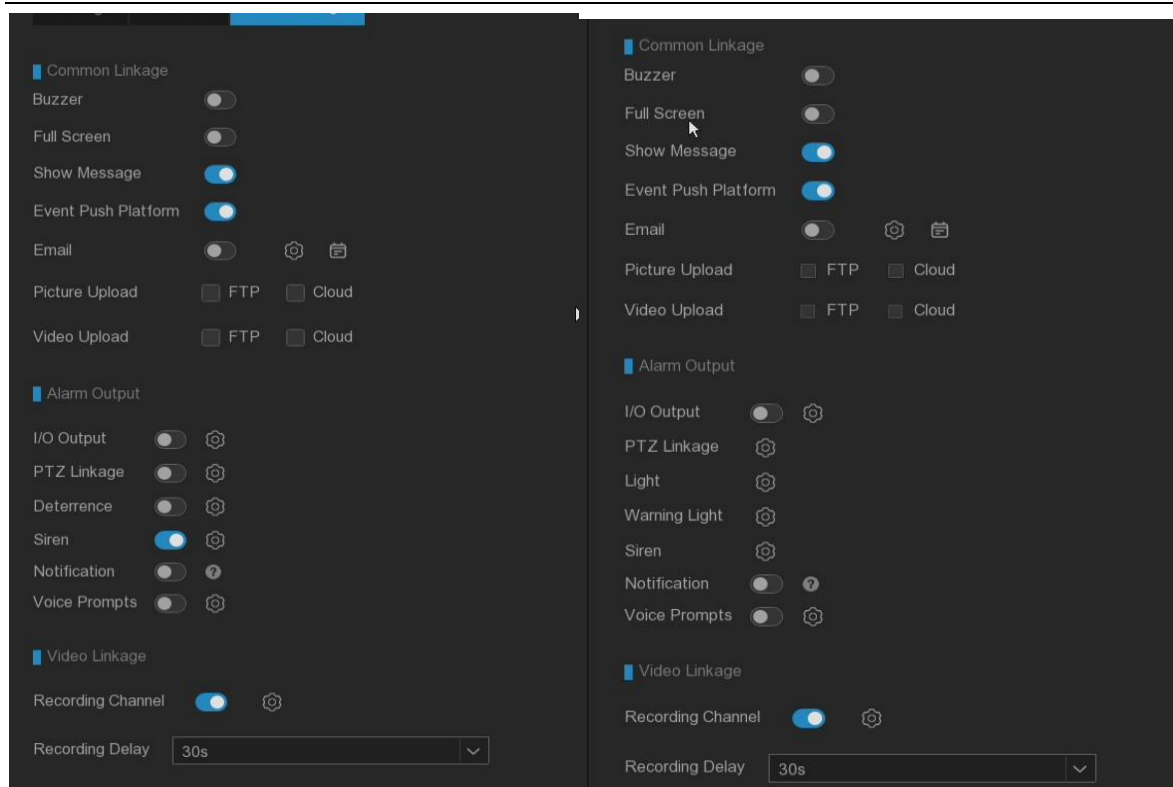


注意：

1. ヒートマップのスケジュール設定には対応していません。
2. カメラチャンネルの動体検知は ONVIF プロトコルには対応していません。

5.4.1.20 アラーム連動

各イベントのアラームトリガーを設定後、対応するアラーム連動を実行します。



ブザー：イベントアラーム発生後にデバイスがビープ音を鳴らすかを設定します。ビープ音は 10 秒間継続します。

全画面：イベントアラーム発生後にチャンネルの全画面プレビューを行うかを設定します。

メッセージ表示：I/O アラーム発生後にリアルタイムプレビューチャンネルにアイコンを表示するかを設定します。

イベントプッシュプラットフォーム： イベント発生後にサードパーティサービスへイベント通知を送信するかを設定します。既定で有効。詳細設定は次のセクションを参照：[5.5.6.3 イベントプッシュプラットフォーム](#)。

メール： イベントアラーム発生後にメールボックスへメールを送信するかを設定します。右側の設定ボタンとスケジュールボタンをクリックして設定します。

画像アップロード： イベントアラーム発生後にアラームのキャプチャ画像を設定済みの FTP サーバーおよびクラウドストレージサーバーにアップロードするかを設定します。

映像アップロード：イベントアラーム発生後にアラーム映像を設定済みの FTP サーバーおよびクラウドストレージサーバーにアップロードするかを設定します。

I/O 出力：イベントアラーム発生後にアラーム出力を行うかを設定します。右側の設定ボタンをクリックしてアラーム出力チャンネルを設定します。

PTZ 連動：イベントアラーム発生後に PTZ を連動するかを設定します。右側の設定ボタンをクリックして PTZ 連動を設定します。

プリセット：プリセット点と連動。プリセット点と停止時間を設定します。イベントアラーム発生時、連動 PTZ は設定したプリセット点へ回転します。

ツアー：トラッククルーズを設定してトラックを設定します。イベントアラーム発生時、設定したトラッククルーズ連動 PTZ に従ってクルーズします。

パターンスキャン：パターンスキャンを設定します。イベントアラーム発生時、設定したパターンクルーズ連動 PTZ に従ってクルーズします。

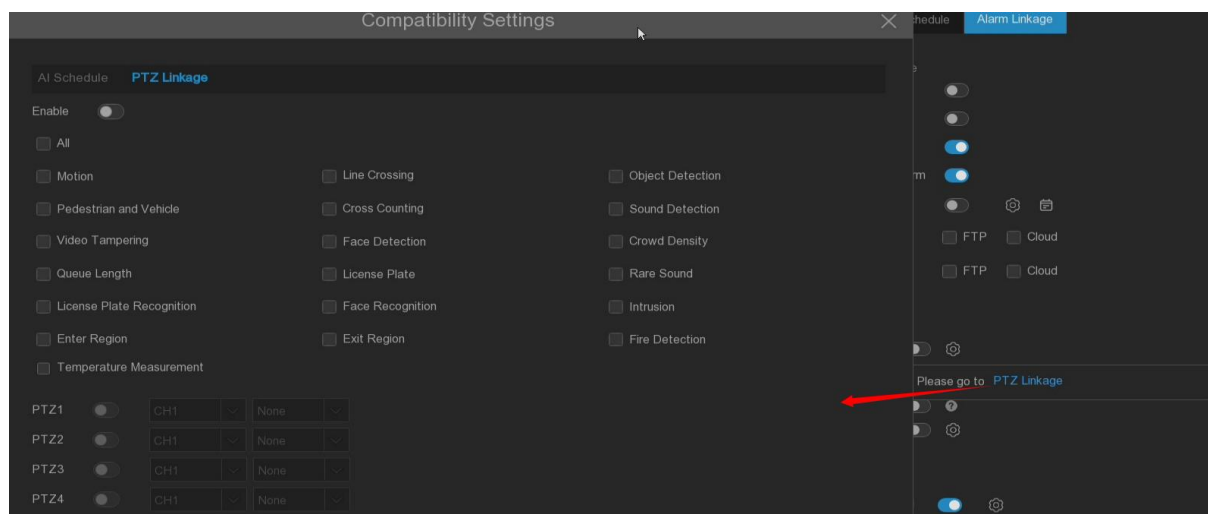
抑止・ライト、ウォームライト：イベントアラーム発生時にカメラのウォームライトと赤青ストロボを起動するかを設定します。

サイレン：イベントアラーム発生後にカメラのアラームサウンドを連動するかを設定します。右側の設定ボタンをクリックして設定します。

チャンネルに接続されているカメラが旧バージョンの場合、PTZ 連動ボタンをクリックして、アラーム連動用の PTZ デバイスを設定します。まず、次の手順に従います：

1. PTZ 連動ボタンをクリックして設定ページに入ります。
2. スイッチを有効にしてイベントを選択します。
3. PTZ エントリースイッチを有効にし、PTZ デバイスとプリセット点を選択します。

4. トリガーされたイベントアラームが有効になると、PTZ デバイスは設定に基づいて対応するプリセット点に移動します。



通知： イベントアラーム発生後にサードパーティサービスプラットフォームへカスタムアラートをプッシュするかを設定します。

音声ガイド： イベントアラーム発生後に音声放送を行うかを設定します。詳細は 5.3.4 音声案内を参照してください。

録画チャンネル： イベントアラーム発生後に録画するチャンネルを設定します。ムが発生します。

録画遅延： イベントアラーム発生後の継続録画時間を設定します。

5.4.2 リスト管理

5.4.2.1 顔認識管理

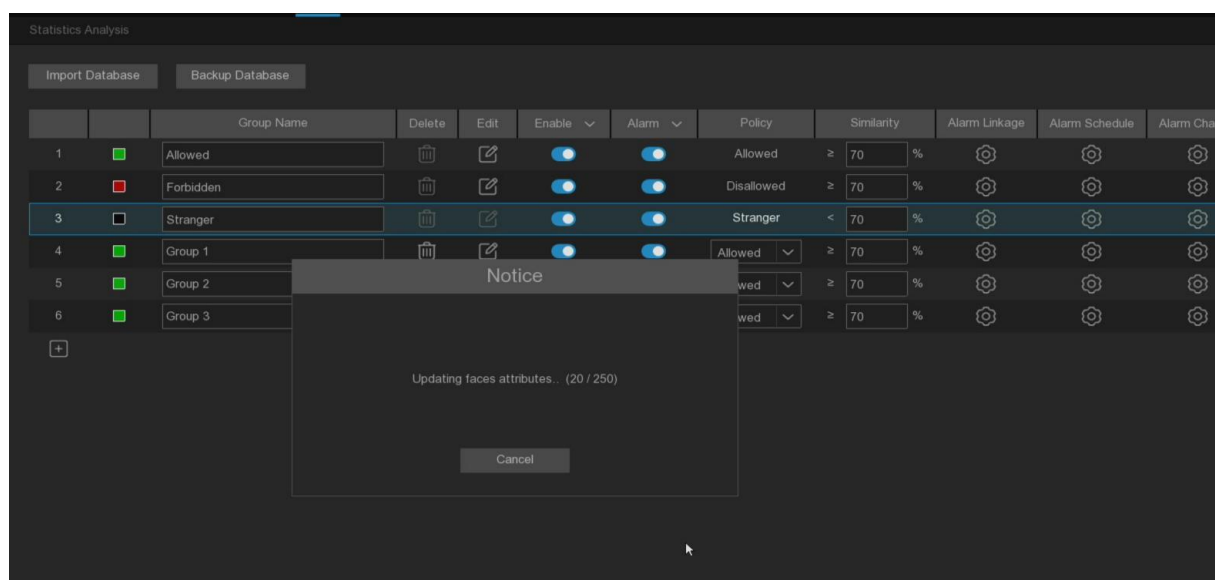
このメニューでデータベースとアラーム連動を設定できます。

Import Database		Backup Database											
		Group Name	Delete	Edit	Enable	Alarm	Policy	Similarity	Alarm Linkage	Alarm Schedule	Alarm Chan		
1	☒	Allowed			☒	☒	Allowed	≥ 70 %					
2	☒	Forbidden			☒	☒	Disallowed	≥ 70 %					
3	☐	Stranger			☒	☒	Stranger	< 70 %					
4	☒	Group 1			☒	☒	Allowed	≥ 70 %					
5	☒	Group 2			☒	☒	Allowed	≥ 70 %					
6	☒	Group 3			☒	☒	Allowed	≥ 70 %					

データベースのインポート：エクスポートした顔データをデバイスにインポートできます。

データベースバックアップ：顔データベースを USB ドライブにエクスポートできます。

顔属性を更新：顔特徴量モデルの切替・顔画像・顔ライブラリのインポート時に、カメラが認識した顔の特徴量を更新します。

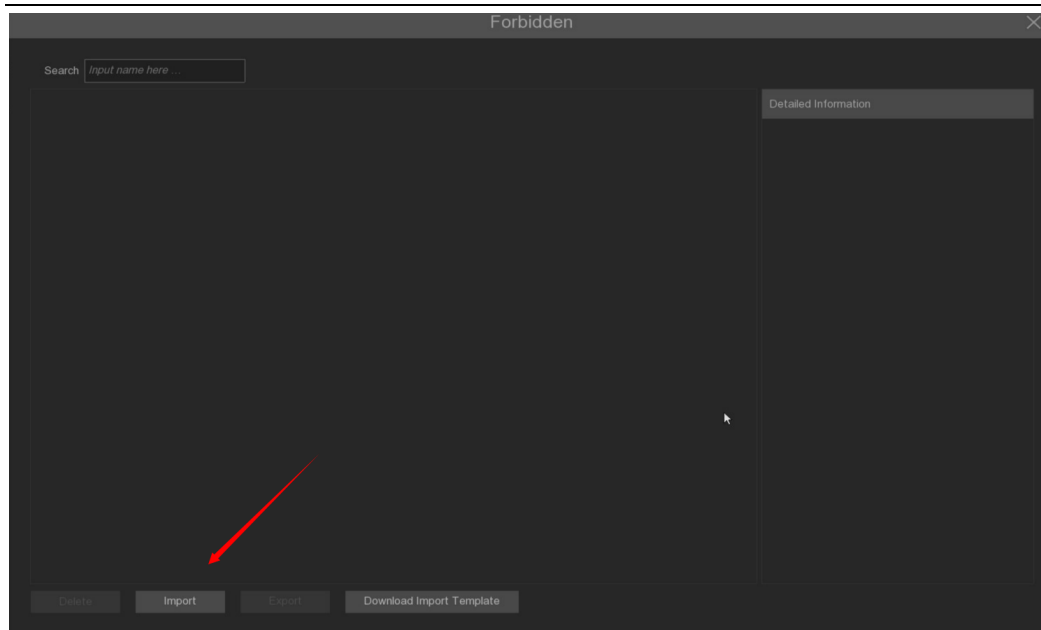


「キャンセル」をクリックすると、更新の続行または停止の確認プロンプトが表示されます。次回クリック時に残りの未更新分が更新されます。

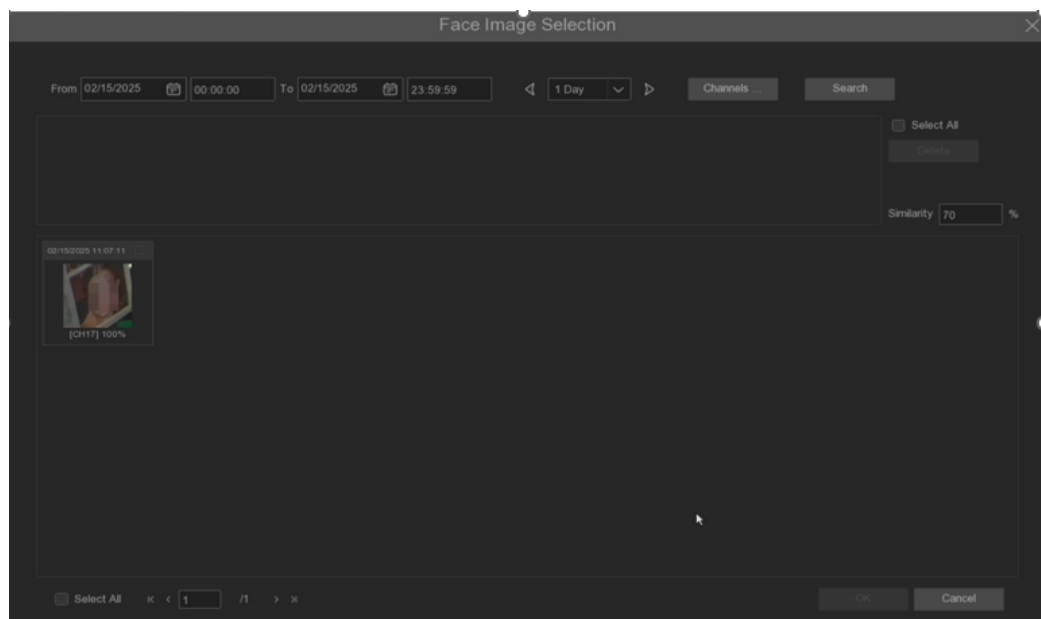
+/-：新しい顔グループを追加または既存の顔グループを削除できます。（デフォルトの最初の3つの顔グループは削除できません）

有効：顔グループを有効または無効にできます。

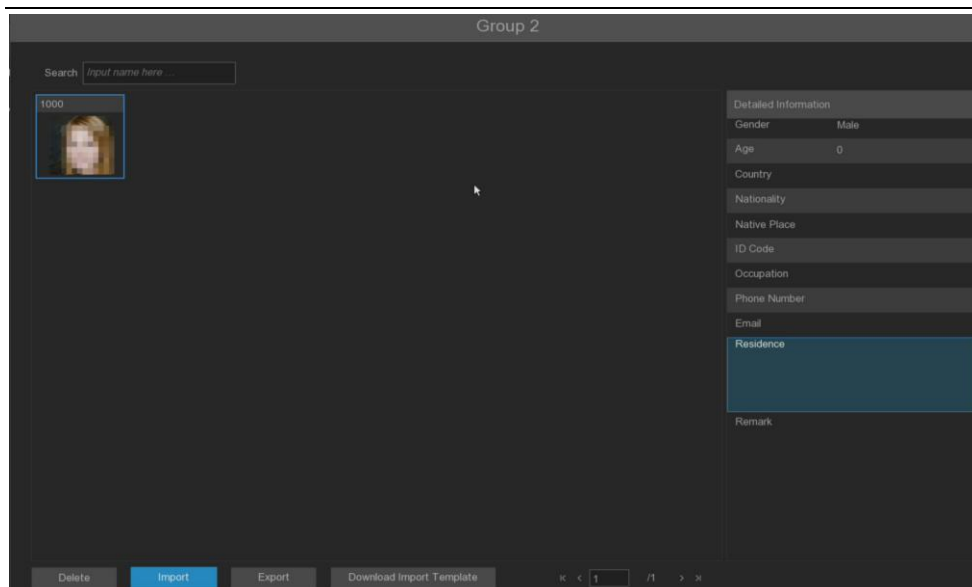
編集：編集をクリックして顔グループ編集画面に入ります。



インポート：クリックしてローカルストレージデバイスを選択し、ローカル顔インターフェースを追加します。

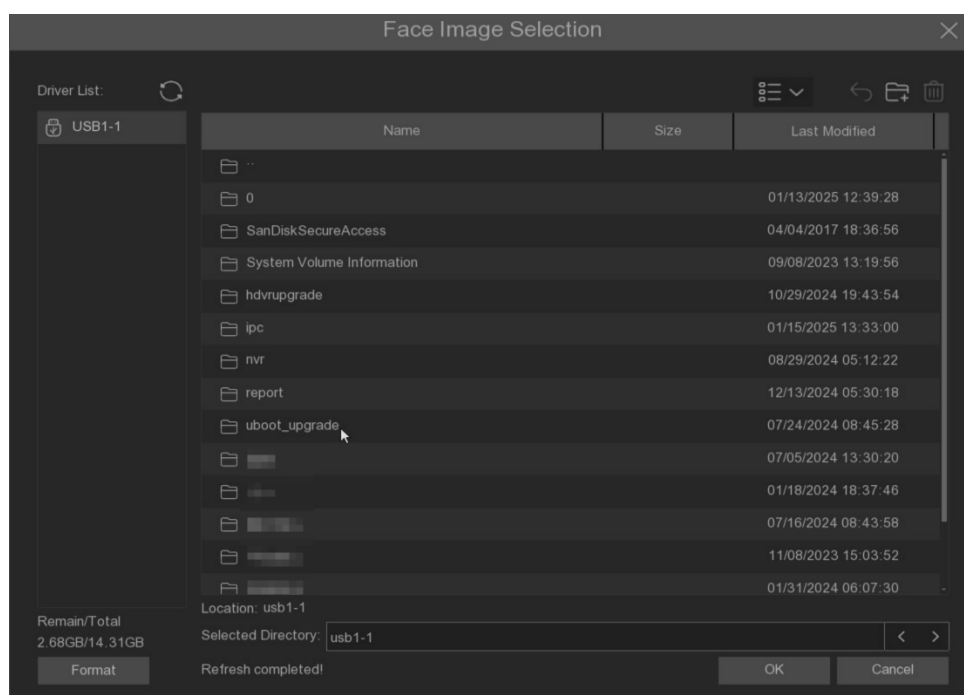


日付・期間・チャンネルを選択後、検索をクリックして該当期間中にすべてのデバイスで保存された顔を検索します。



右側で顔情報を編集できます。編集後、インポートをクリックしてインポートを完了し保存します。

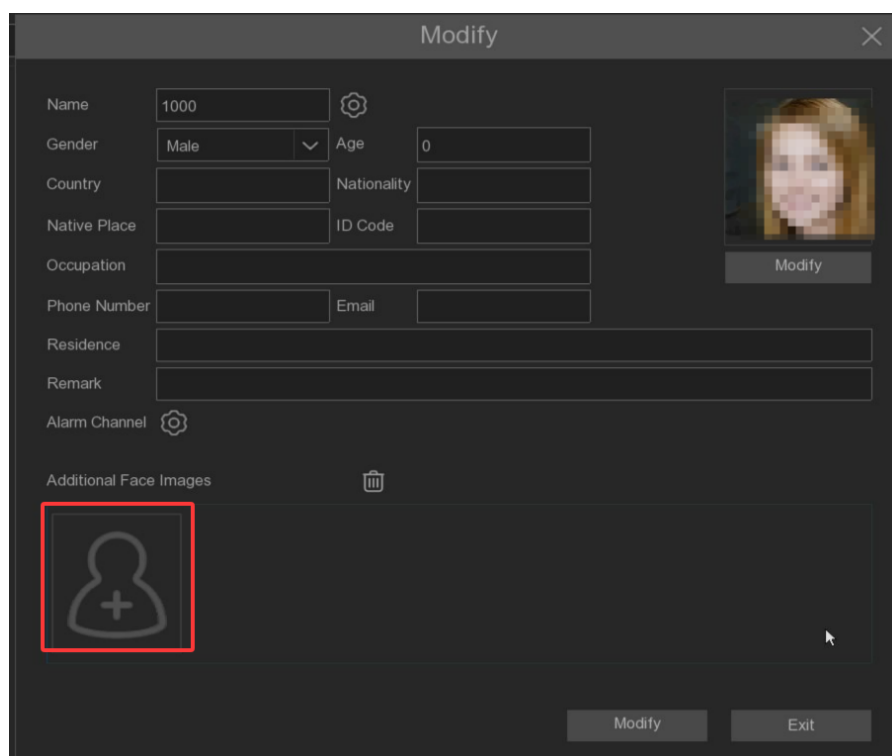
外部ストレージデバイスをクリックして外部メモリに入り、インポートする顔写真を選択します。手順はローカルインポートと同じです。



エクスポート：顔画像を外部メモリにエクスポートします。顔グループ画像をクリックしない場合、エクスポートをクリックするとすべてエクスポートされます。

インポートテンプレートのダウンロード：テンプレートをダウンロードしてインポートします。

テンプレートを外部メモリにエクスポートでき、複数の顔情報を含めることができます。



アラーム：顔グループの顔照合アラームを開くまたは閉じます。

ポリシー：顔グループのアラーム対策を設定します。

類似度：類似度設定。

アラーム連動：クリックして設定画面に入ります。

Alarm [Allowed]							
Channel	Buzzer ▾	Alarm Out ▾	Email ▾	FTP Picture Upload ▾	Picture to Cloud ▾	Voice Prompts	
CH1 (529+4210poe)	☐	☒		☐	☐		
CH2 (30kq824)	☐	☒		☐	☐		
CH3 (Camera)	☐	☒		☐	☐		
CH4 (Camera823)	☐	☒		☐	☐		
CH5 (111112222233334444555566667)	☐	☒		☐	☐		
CH6 (338g)	☐	☒		☐	☐		
CH7 ()	☐	☒		☐	☐		
CH8 (529+4210one)	☐	☒		☐	☐		
CH9 (III)	☐	☒		☐	☐		
CH10 (live)	☐	☒		☐	☐		
CH11 (529-850)	☐	☒		☐	☐		
CH12 (16>z<338g)	☐	☒		☐	☐		
CH13 (Camera)	☐	☒		☐	☐		
CH14 ()	☐	☒		☐	☐		
CH15 ()	☐	☒		☐	☐		
CH16 (1200)	☐	☒		☐	☐		
CH17 (529+11)	☐	☒		☐	☐		
CH18 (338g)	☐	☒		☐	☐		
CH19 (Nancy)	☐	☒		☐	☐		

Copy Default Save

ブザー：アラーム発生後にデバイスがビープ音を鳴らすかを設定します。ビープ音は 10 秒間続きます。

アラーム出力：顔照合アラーム発生後にアラーム出力を連動するかを設定します。設定ボタンをクリックして設定します。

メール：顔照合アラーム発生後にメールボックスへメールを送信するかを設定します。

FTP 画像アップロード：アラーム発生後にアラームのキャプチャ画像を設定済みの FTP サーバーにアップロードするかを設定します。

クラウドへの画像送信：アラーム発生後にアラームのキャプチャ画像を設定済みのクラウドストレージサーバーにアップロードするかを設定します。

イベントプッシュプラットフォーム：顔照合アラーム発生後にサードパーティサービスイベント通知を送信するかを設定します。詳細は 5.5.6.3 イベントプッシュプラットフォームを参照してください。

音声ガイド：顔照合発生時に放送するかどうかを設定します。以下を参照してください：

5.3.4 音声案内.

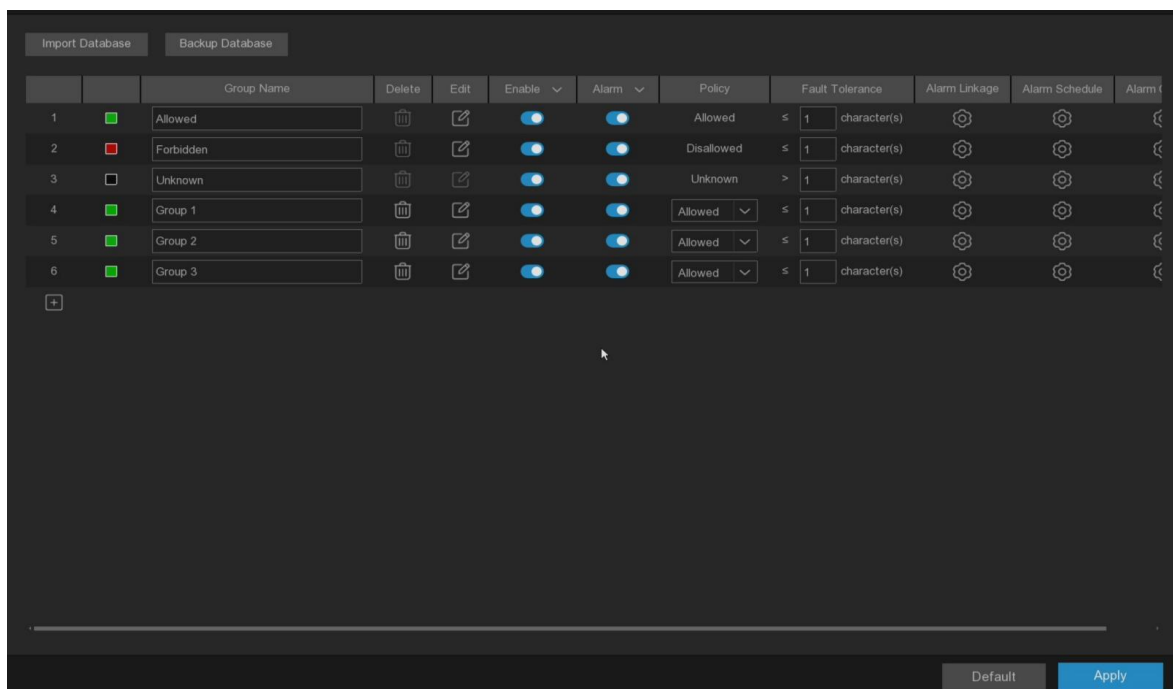
アラームスケジュール：各カメラチャンネルで顔照合を有効にする時間帯を設定します。

5.2.1.1 映像スケジュールを参照してください。

アラームチャンネル：顔グループで顔照合とアラームを有効にするチャンネルを設定します。

5.4.2.2 ナンバープレート管理

このメニューでナンバープレート識別照合のデータベースとアラーム連動を設定できます。



データベースのインポート：エクスポートしたグループデータをデバイスにインポートできます。

データベースバックアップ：すべてのグループを USB ドライブにエクスポートできます。

グループ名称：データベースの名前。ホワイトリスト・ブラックリスト・未知のナンバープレートリストとして表現されます。同時に最大 61 のカスタムグループ（合計 64 グループ）を追加できます。

+/-：新しいナンバープレートグループを追加または既存グループを削除できます。（最初の 3 つのナンバープレートは削除できません）

有効：ナンバープレートグループを有効または無効にできます。

編集：編集をクリックしてナンバープレートグループ編集画面に入ります。

Edit	License Plate	Color	Brand	Model	Owner	Gender	ID Code	Phone Number	Occupation	Residence	Remark
☐	W32 PRA	Blue	HJHJH	Volkswagen	GSY5DGDXXGH	Male	131	2212242	22222	46492	KUKTT
☐	W33 PRA	Blue	HJHJH	Volkswagen	GSY5DGDXXGH	Male	132	2212243	22222	46493	TRYRTHFX
☐	W34 PRA	Blue	HJHJH	Volkswagen	GSY5DGDXXGH	Male	133	2212244	22222	46494	WGAA
☐	W35 PRA	Blue	HJHJH	Volkswagen	GSY5DGDXXGH	Male	134	2212245	22222	46495	FFQFQFQ
☐	W36 PRA	Blue	HJHJH	Volkswagen	GSY5DGDXXGH	Male	135	2212246	22222	46496	FQFQWQ
☐	W37 PRA	Blue	HJHJH	Volkswagen	GSY5DGDXXGH	Male	136	2212247	22222	46497	QTWF
☐	W38 PRA	Blue	HJHJH	Volkswagen	GSY5DGDXXGH	Male	137	2212248	22222	46498	GWTTWE
☐	W39 PRA	Blue	HJHJH	Volkswagen	GSY5DGDXXGH	Male	138	2212249	22222	46499	FWFWA
☐	W40 PRA	Blue	HJHJH	Volkswagen	GSY5DGDXXGH	Male	139	2212250	22222	46500	AGEY
☐	W41 PRA	Blue	HJHJH	Volkswagen	GSY5DGDXXGH	Male	140	2212251	22222	46501	agregaegae
☐	W42 PRA	Blue	HJHJH	Volkswagen	GSY5DGDXXGH	Male	141	2212252	22222	46502	ETOKH
☐	W43 PRA	Blue	HJHJH	Volkswagen	GSY5DGDXXGH	Male	142	2212253	22222	46503	KUKTT
☐	W44 PRA	Blue	HJHJH	Volkswagen	GSY5DGDXXGH	Male	143	2212254	22222	46504	TRYRTHFX
☐	W45 PRA	Blue	HJHJH	Volkswagen	GSY5DGDXXGH	Male	144	2212255	22222	46505	WGAA
☐	W46 PRA	Blue	HJHJH	Volkswagen	GSY5DGDXXGH	Male	145	2212256	22222	46506	FFQFQFQ
☐	W47 PRA	Blue	HJHJH	Volkswagen	GSY5DGDXXGH	Male	146	2212257	22222	46507	FQFQWQ
☐	W48 PRA	Blue	HJHJH	Volkswagen	GSY5DGDXXGH	Male	147	2212258	22222	46508	QTWF
☐	W49 PRA	Blue	HJHJH	Volkswagen	GSY5DGDXXGH	Male	148	2212259	22222	46509	GWTTWE

検索：ナンバープレートをキーワードで絞り込みます。

合計：このグループ内のナンバープレートデータの合計件数。

クリック：対応するナンバープレートデータ情報を修正します。

Modify

License Plate

1218 LGJ

License Plate Color

White

Vehicle Brand

Other

Owner

GSY5DGDGDXGH

ID Code

109

Phone Number

4673T38785

Residence

SDGSHHRTRT

Remark

TRYRTHFX

Alarm Channel

Vehicle Color

Please Select

Vehicle Type

Other

Gender

Male

Occupation

SGEG

Modify

Exit

ナンバープレート情報を追加する方法は 3 つあります：インポート、CSV からインポート、ローカルからインポート。

インポートボタンをクリックして、ナンバープレート情報を手動で 1 件追加します。

Import

License Plate

License Plate Color

Please Select

Vehicle Brand

Please Select

Owner

ID Code

Phone Number

Residence

Remark

Alarm Channel

Vehicle Color

Please Select

Vehicle Type

Please Select

Gender

Please Select

Occupation

Import

Exit

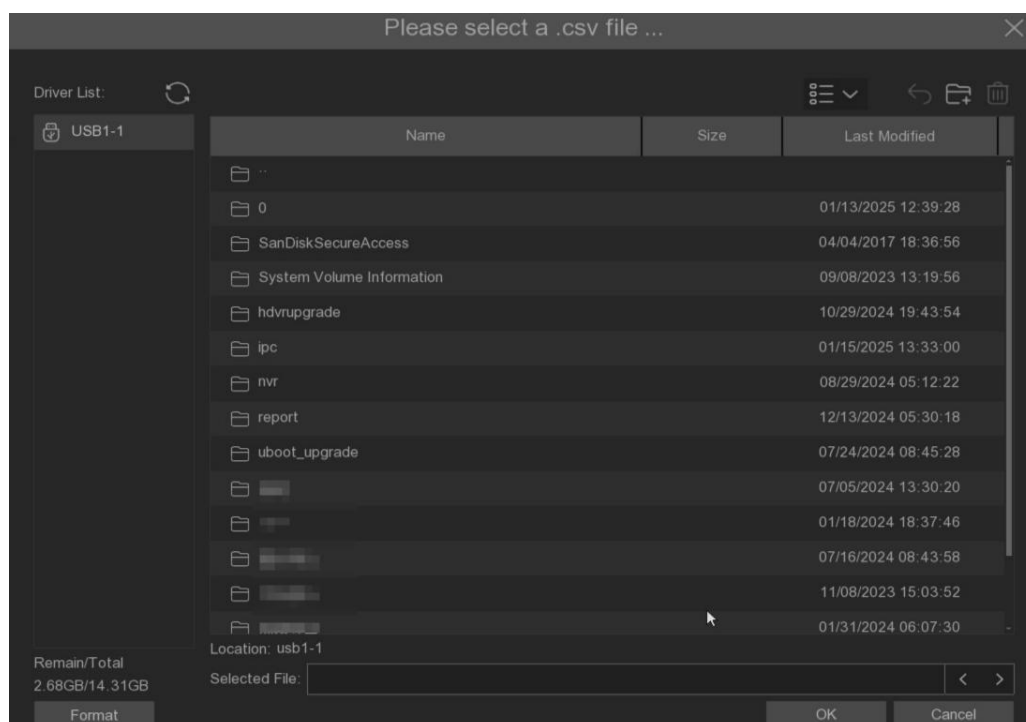
エクスポートボタンをクリックして、グループ情報全体を外部 USB ドライブにエクスポートします。

アラームチャンネル：ナンバープレートの検知・照合が成功した後にアラームを発するチャンネルを設定します。

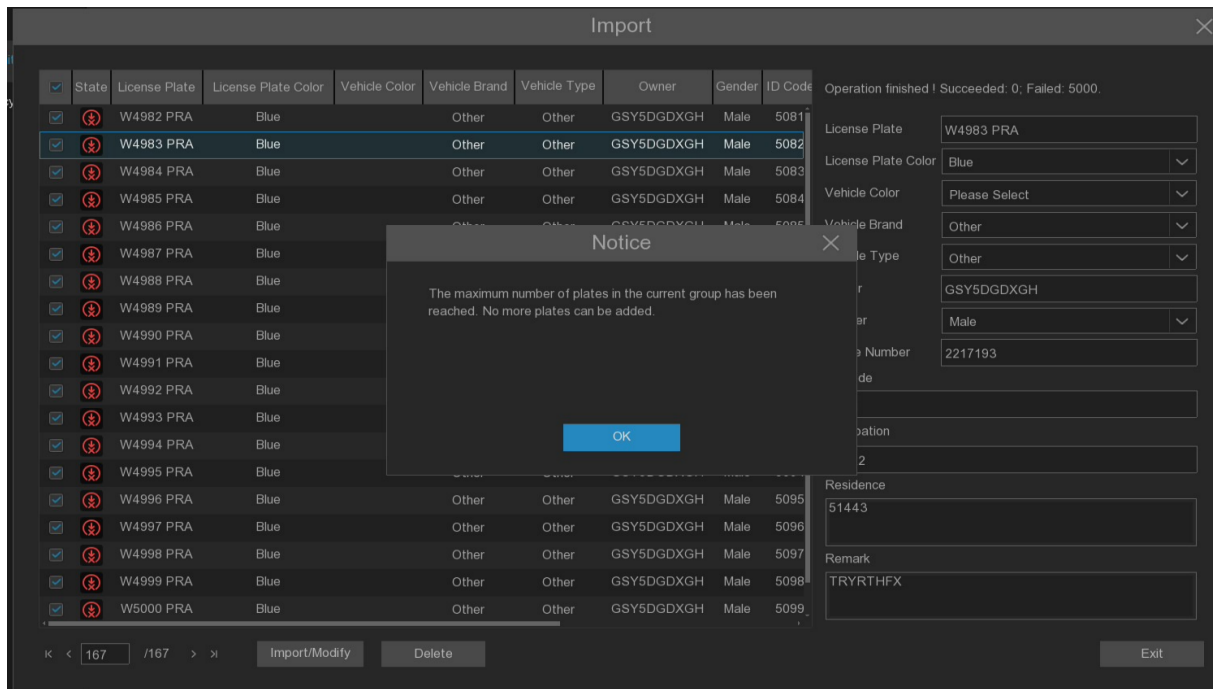
移動先：ナンバープレート情報のチェックボックスにチェックを入れてこのボタンをクリックすると、ナンバープレート情報が他のグループに移動します。

削除：ナンバープレート情報のチェックボックスにチェックを入れてこのボタンをクリックすると、ナンバープレート情報が削除されます。

CSV からインポートボタンをクリックして、CSV テーブルに 1 件または複数のデータをインポートします。



CSV からインポートボタンをクリックして上記画面を表示し、インポートする CSV ナンバープレートファイルを選択して OK をクリックします。 ボタンをクリックします。画面は下図のとおり。



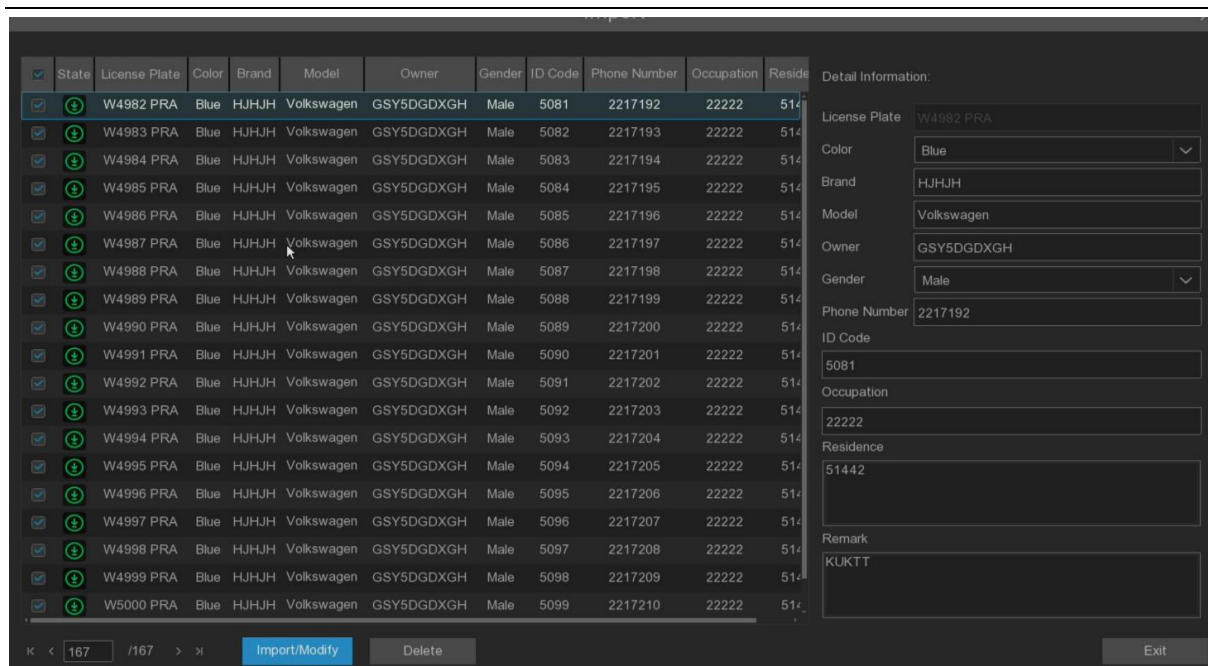
インポート・修正ボタンで一括追加できます。また個別のナンバープレート情報を選択して修正することもできます。5000 件を超える場合、メッセージボックスが表示されます。

ローカルからインポートボタンをクリックして、ナンバープレート情報をローカルからデータベースにインポートします。

日付・期間・チャンネルを選択後、検索をクリックして該当期間中にすべてのデバイスで保存されたナンバープレートを検索します。

チャンネル： 各チャンネルでトリガーされたナンバープレート検知イベントを検索できます。

すべて選択： すべてのナンバープレート情報を選択します。



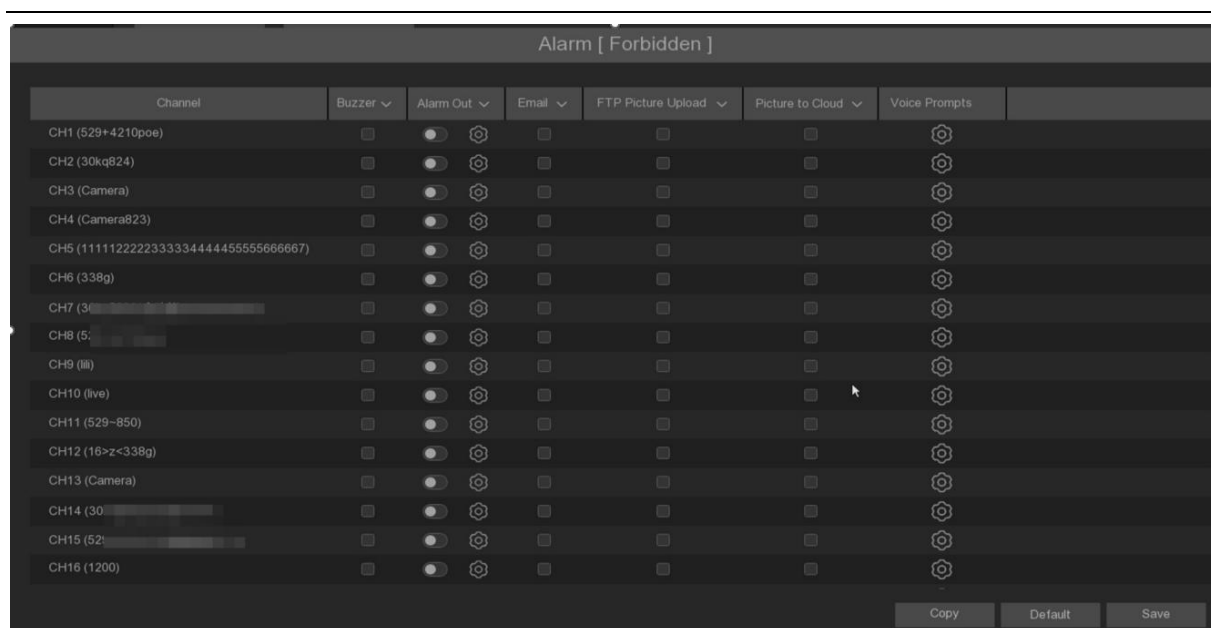
データを 1 件クリックしてナンバープレート情報を編集します。編集後、インポート・修正ボタンをクリックして変更を保存します。

アラーム：ナンバープレート照合アラームを開くまたは閉じます。

ポリシー：ナンバープレートグループのアラーム対策を設定します。

許容誤差文字：許容誤差文字数。例えば 3 文字に設定した場合、グループ内のホワイトリストナンバープレートが B594SB の場合、類似した番号が監視エリアに入るとアラームが作動します。

アラーム： クリック  をクリックすると、設定画面に入ります。



ブザー：アラーム発生後にデバイスがビープ音を鳴らすかを設定します。ビープ音は 10 秒間継続します。

アラーム出力：アラーム発生後にアラーム出力を連動するかを設定します。設定ボタンをクリックしてアラーム出力チャンネルを設定します。

メール：アラーム発生後にメールボックスへメールを送信するかを設定します。ます。

FTP 画像アップロード：ナンバープレート照合アラーム発生後にアラームのキャプチャ画像を設定済みの FTP サーバーにアップロードするかを設定します。

クラウドへの画像送信：ナンバープレート照合アラーム発生後にアラームのキャプチャ画像を設定済みのクラウドストレージサーバーにアップロードするかを設定します。

イベントプッシュプラットフォーム：ナンバープレート照合アラーム発生後にサードパーティサービスへイベント通知を送信するかを設定します。詳細は 5.5.6.3 イベントプッシュプラットフォームを参照してください。

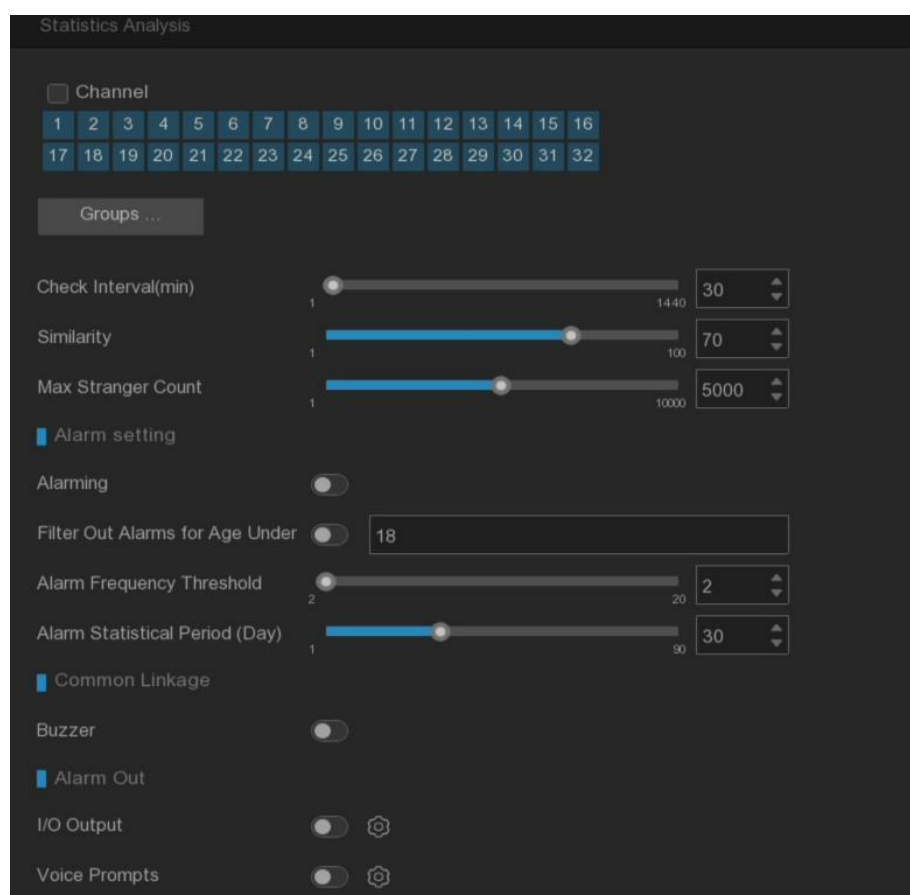
音声ガイド：ナンバープレート照合発生後に音声放送を行うかを設定します。詳細は 5.3.4 音声案内を参照してください。

アラームスケジュール：各カメラチャンネルでナンバープレート照合を有効にする時間帯を設定します。5.2.1.1 映像スケジュールを参照してください。

アラームチャンネル：ナンバープレートグループでナンバープレート照合アラームを有効にするチャンネルを設定します。

5.4.2.3 人員頻度の分析と設定

デバイスは人員出現頻度分析機能に対応しており、監視エリアでの特定人物の出現頻度を自動的に監視・計測できます。



チャンネル：人員頻度分析のチャンネルにチェックを入れます。失敗したチャンネルで識別された人員はカウントされません。

グループ：人員頻度解析用の顔リストグループをチェック。

アラーム確認間隔（分）：頻度インターバル時間。同一人物の2回連続出現のインターバル時間を設定します。

類似度：類似度設定。識別された人物と統計対象人物が閾値を満たした場合にカウントされます。

最大不明者数：デバイスが対応する不明者の最大カウント数。

アラーム：人員頻度アラームスイッチ。人員頻度が設定した頻度閾値に達した場合にアラームを送信します。

指定年齢未満のアラームをフィルタリング：未成年者アラームフィルタリング。識別された人物の年齢が設定年齢より低い場合、フィルタリングしてアラームを送信しません。

アラーム頻度閾値：警告頻度閾値。

アラーム統計期間（日）：アラーム統計期間。設定した期間内の人員頻度のみを計測します。

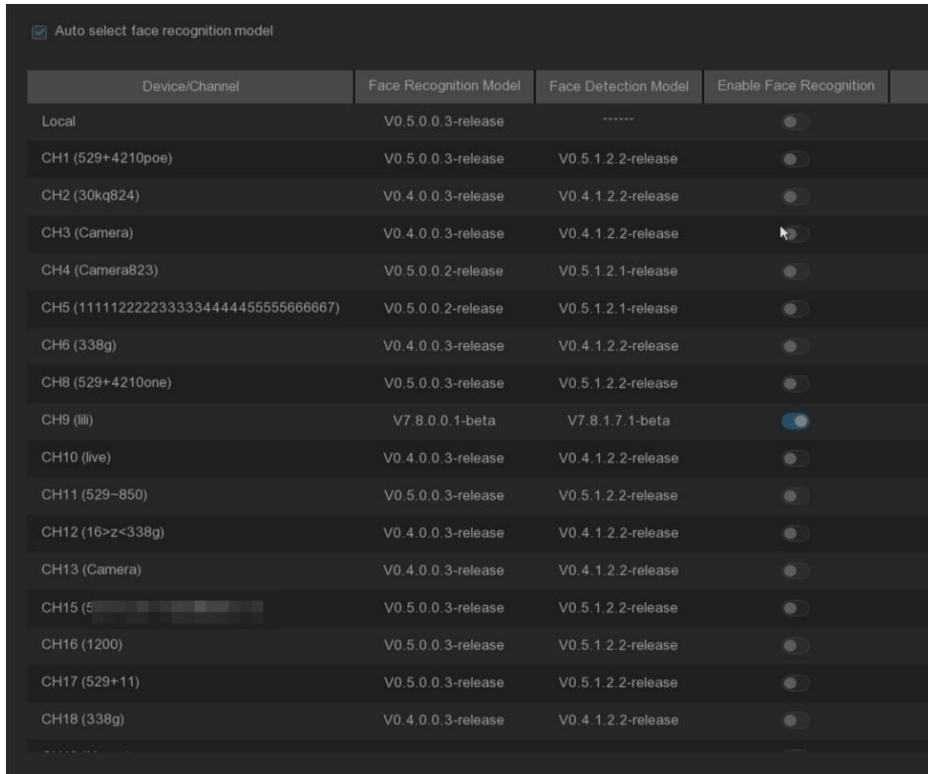
ブザー：人員頻度アラーム発生後に機器がビープ音を鳴らすかを設定します。ビープ音は10秒間継続します。

I/O 出力：頻度アラーム発生後にアラーム出力を行うかを設定します。右側の設定ボタンをクリックしてアラーム出力チャンネルを設定します。

音声ガイド：人員頻度アラーム発生後に音声放送を行うかを設定します。5.3.4 音声案内を参照してください。

5.4.2.4 モデル設定

このメニューでは顔認識モデルを設定できます。NVR ローカルモデルまたはカメラモデルの選択に対応しています。

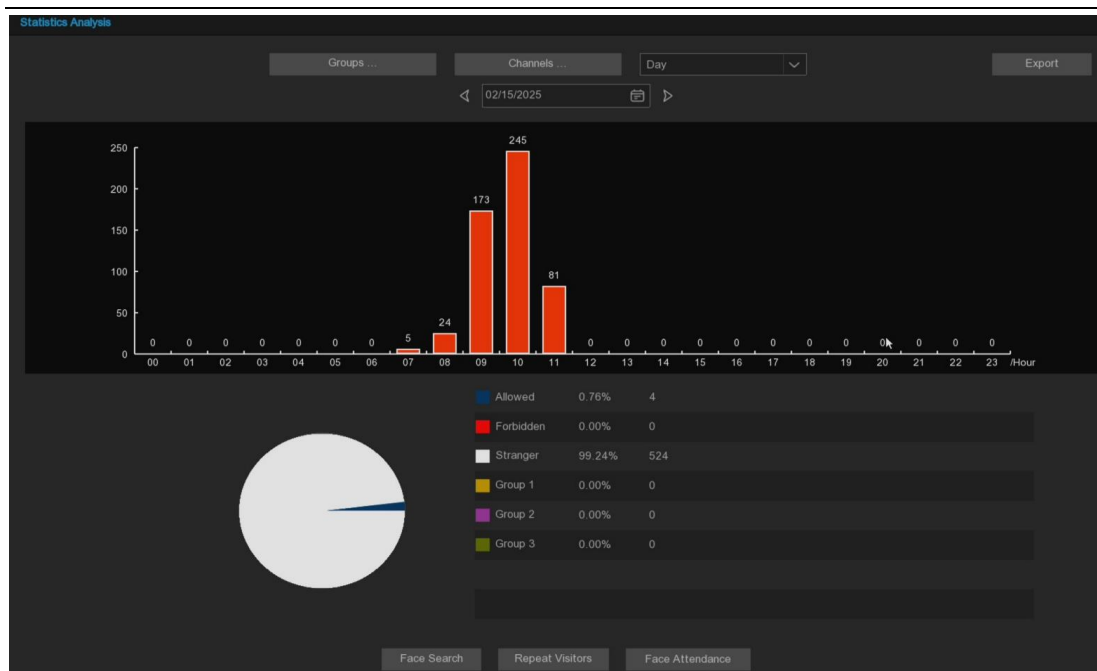


Device/Channel	Face Recognition Model	Face Detection Model	Enable Face Recognition
Local	V0.5.0.0.3-release	-----	☐
CH1 (529+4210poe)	V0.5.0.0.3-release	V0.5.1.2.2-release	☐
CH2 (30kq824)	V0.4.0.0.3-release	V0.4.1.2.2-release	☐
CH3 (Camera)	V0.4.0.0.3-release	V0.4.1.2.2-release	☒
CH4 (Camera823)	V0.5.0.0.2-release	V0.5.1.2.1-release	☐
CH5 (111112222333344445555666667)	V0.5.0.0.2-release	V0.5.1.2.1-release	☐
CH6 (338g)	V0.4.0.0.3-release	V0.4.1.2.2-release	☐
CH8 (529+4210one)	V0.5.0.0.3-release	V0.5.1.2.2-release	☐
CH9 (Ili)	V7.8.0.0.1-beta	V7.8.1.7.1-beta	☒
CH10 (live)	V0.4.0.0.3-release	V0.4.1.2.2-release	☐
CH11 (529-850)	V0.5.0.0.3-release	V0.5.1.2.2-release	☐
CH12 (16>z<338g)	V0.4.0.0.3-release	V0.4.1.2.2-release	☐
CH13 (Camera)	V0.4.0.0.3-release	V0.4.1.2.2-release	☐
CH15 (529+4210poe)	V0.5.0.0.3-release	V0.5.1.2.2-release	☐
CH16 (1200)	V0.5.0.0.3-release	V0.5.1.2.2-release	☐
CH17 (529+11)	V0.5.0.0.3-release	V0.5.1.2.2-release	☐
CH18 (338g)	V0.4.0.0.3-release	V0.4.1.2.2-release	☐

5.4.3 統計分析

5.4.3.1 顔認識統計

顔認識統計では、一定期間内に検知されたすべての顔を統計し、統計チャートで可視化できます。



グループ・チャンネル・日付・統計時間を選択後、統計結果が直接表示されます。エクスポートをクリックして結果をエクスポートできます。

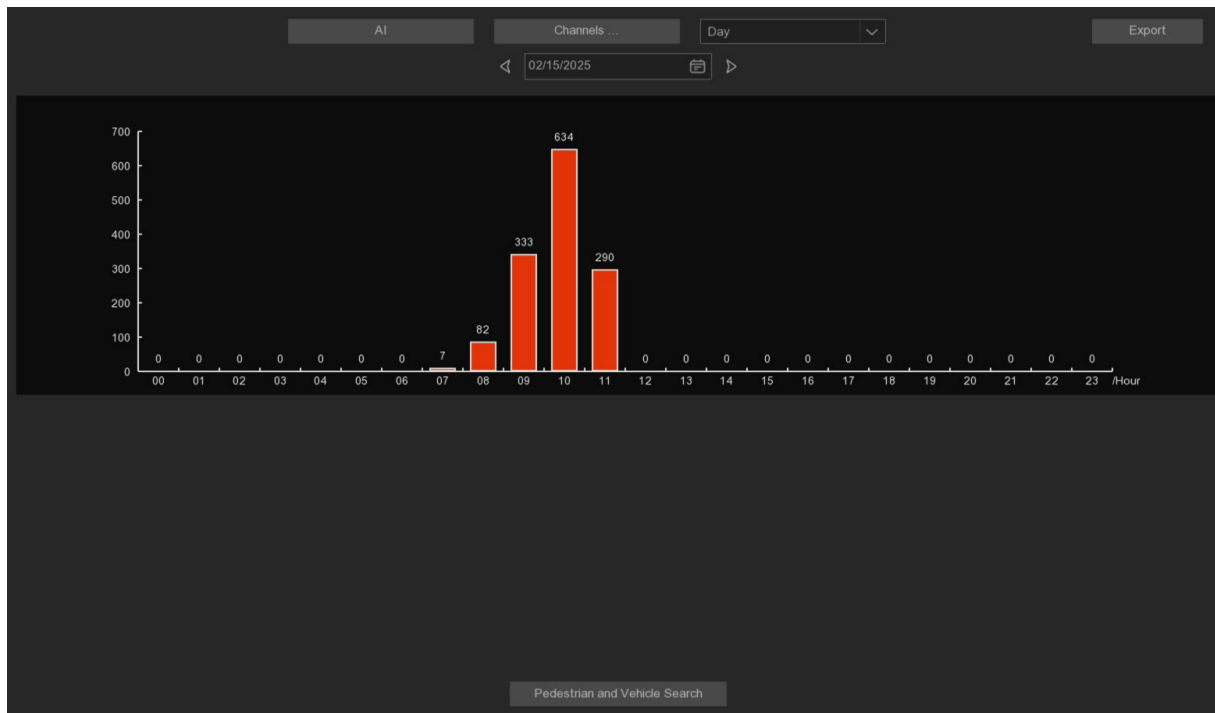
顔検索：顔検索ボタンをクリックして、スマート再生の顔検索ページに直接ジャンプします。

リピート来訪者：顔統計ボタンをクリックして、スマート再生のリピート顧客ページに直接ジャンプします。

顔認証勤怠：顔認証勤怠ボタンをクリックして、スマート再生の顔認証勤怠ページに直接ジャンプします。

5.4.3.2 歩行者・車両 統計

歩行者・車両統計では、一定期間内に出現したすべての歩行者と車両を集計し、統計チャートで可視化できます。

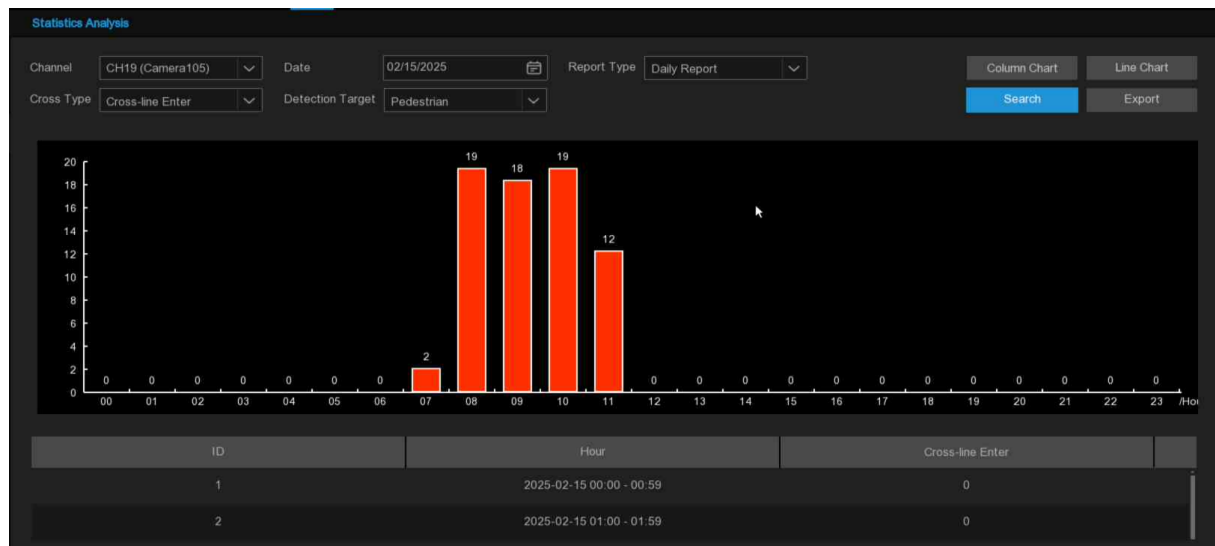


AI でタイプ・チャンネル・日付・統計時間を選択後、統計結果が直接表示されます。

歩行者・車両検索：歩行者・車両ボタンをクリックして、スマート再生の歩行者・車両ページに直接ジャンプします。

5.4.3.3 人数カウント統計

越境カウント統計では、一定期間の入出回数をカウントし、折れ線グラフまたは棒グラフで反映させることができます。



チャンネル：検索するチャンネルを選択します。

日付：検索する日付を選択します。

レポート種類：レポートの種類を選択します（日報・週報・月報・年報の4種類）。

越境種類：越境には「越境入」と「越境出」の2種類があります。

検知対象：人数カウントをトリガーする検知タイプを選択します。動体・歩行者・自動車・非電動車の4つのオプションがあります。検索ボタンをクリックしてデータを照会します。

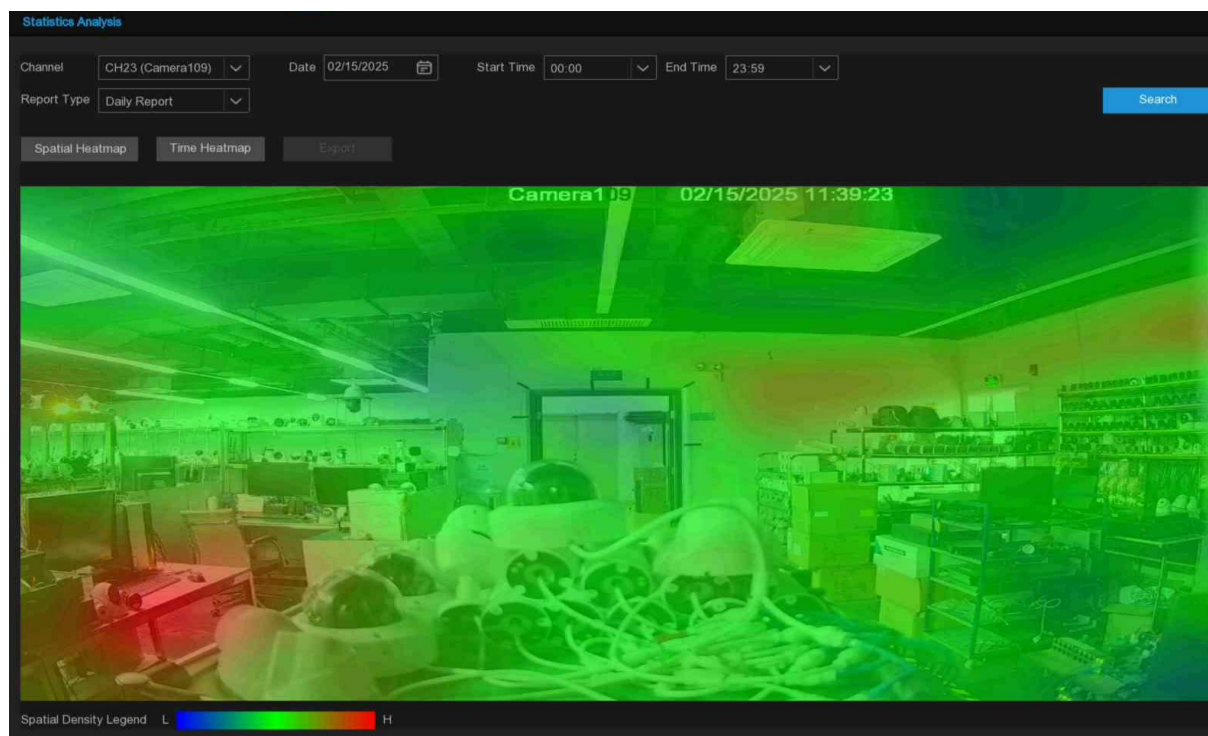
エクスポート：結果を外部 USB ドライブにエクスポートします。

棒グラフ：棒グラフを選択して表示します。

折れ線グラフ：折れ線グラフを選択して表示します。

5.4.3.4 ヒートマップ 統計

ヒートマップ統計では、一定期間の特定エリアでの頻繁な活動をカウントし、ヒートマップとして表示できます。



チャンネル：検索するチャンネルを選択します。

日付：検索する日付を選択します。

開始時刻：開始時刻を選択します。

終了時刻：終了時刻を選択します。

レポート種類：レポートの種類を選択します（日報・週報・月報・年報の4種類）。

検索ボタンをクリックしてデータを検索します。

エクスポート：結果を外部 USB ドライブにエクスポートします。

空間ヒートマップ：空間分布マップを選択して表示します。

時刻ヒートマップ：選択した時刻の分布図を表示します。

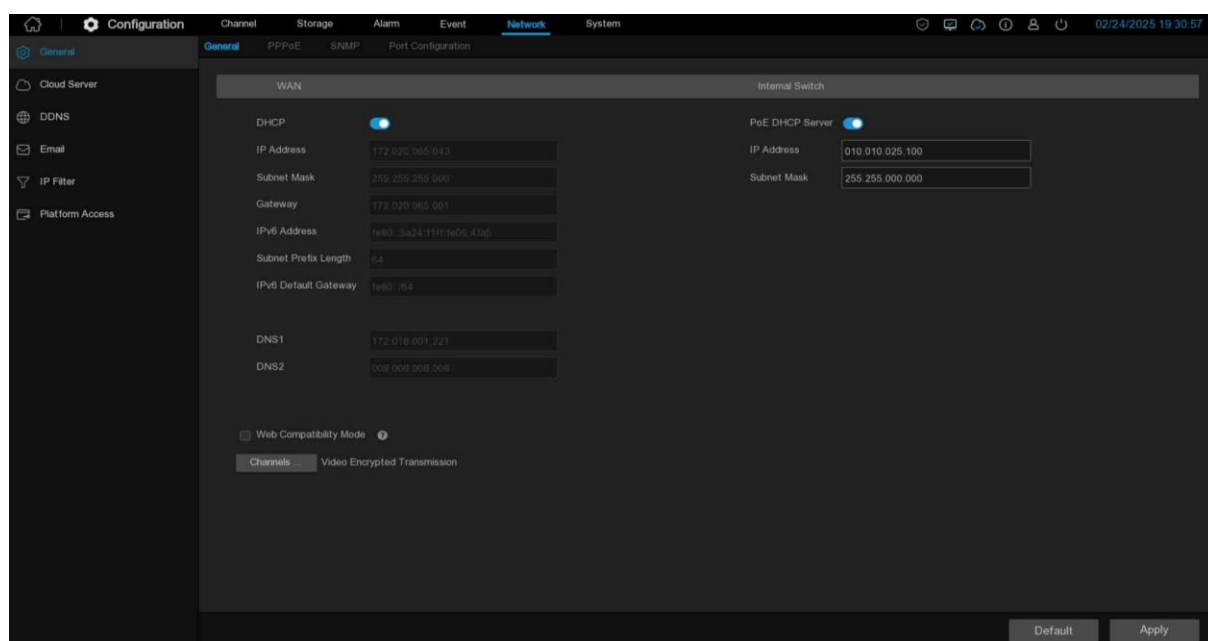
時刻分布マップには開始時刻と終了時刻の選択はありません。

空間密度の凡例： 空間密度レベルの比較。

5.5 ネットワーク

5.5.1 一般設定

5.5.1.1 一般設定



デバイスに接続しているネットワークに DHCP サービスがある場合、DHCP ボックスにチェックを入ると、DHCP サービスが自動的に IP アドレスを割り当てます。

IP アドレス： IPv4 アドレスはネットワーク上の NVR の識別子です。0～255 の 4 組の数字をピリオドで区切って構成されます。例：「192.168.001.100」。

サブネットマスク : サブネットマスクは、ネットワーク内で使用可能な IPv4 アドレスの範囲を定義するネットワークパラメータです。

ゲートウェイ : デバイスが接続されているネットワークの IPv4 ゲートウェイアドレス。デフォルトは 192.168.001.001。

IPv6 アドレス : IPv6 アドレスはネットワーク上の NVR の識別子です。0~FFFF の 8 組の数字をコロンで区切って構成されます。例 : ABCD:EF01:2345:6789:ABCD:EF01:2345:6789。

IPv6 ゲートウェイ : デバイスが接続されているネットワークの IPv6 ゲートウェイアドレス。

DNS 1/DNS 2 : DNS 1 はプライマリ DNS サーバー、DNS 2 はスタンバイ DNS サーバーです。通常は DNS 1 の入力のみで十分です。

Web 互換モード : 選択したブラウザが Web 側でのデバイスアクセスに対応していない場合は、Web 互換モードを有効にしてください。互換モードは安全性の低い暗号化アルゴリズムを選択するため、慎重に選んでください。

チャンネル : クライアントが伝送映像ストリームを暗号化するチャンネルを設定します。

POE DHCP サーバー : PoE ポートで接続されたカメラへの IP アドレス割り当て。(注意 : このオプションは PoE モデルのみ表示されます)

5.5.1.2 PPPoE

The screenshot shows a web management console with a dark theme. At the top, there are four tabs: 'General', 'PPPoE' (which is highlighted in blue), 'SNMP', and 'Port Configuration'. Below the tabs, the 'PPPoE' configuration section is visible. It includes a toggle switch for 'Enable PPPoE' which is currently turned off. Below this is a dropdown menu for 'PPPOE Network Card Selection' with 'LAN1' selected. There are input fields for 'User' and 'Password'. Further down, there are input fields for 'IP Address', 'Subnet Mask', 'Gateway', 'DNS1', and 'DNS2'. The 'DNS2' field contains the text '008 008 008 008'.

PPPoE ネットワーキングを有効にすると、デバイスはダイヤルアップインターネット接続でネットワークに接続できます。

PPPoE 有効ボックスにチェックを入れ、ユーザー名とパスワードを入力します（ユーザー名とパスワードはキャリアから取得できます）。

適用をクリックして保存すると、システムが再起動して自動的にダイヤルします。ダイヤル成功後、ネットワーク情報が表示されます。

5.5.1.3 SNMP

ユーザーは SNMP プロトコルを通じてデバイスのパラメータを取得し、デバイスを受信できます。

Enable SNMP	☒
SNMP Version	V1
SNMP Port	00161
Read Community	Pub-Group
Write Community	Pte-Group
Trap IP Address	127.000.000.001
Trap Port	00162

注意：

1. SNMP パラメータを設定する前に、SNMP ソフトウェアをダウンロードし、SNMP プロトコルを通じてデバイスの情報を受信する必要があります。
2. タップ管理アドレスを設定すると、デバイスはアラームと異常情報を管理ステーションに送信できます。

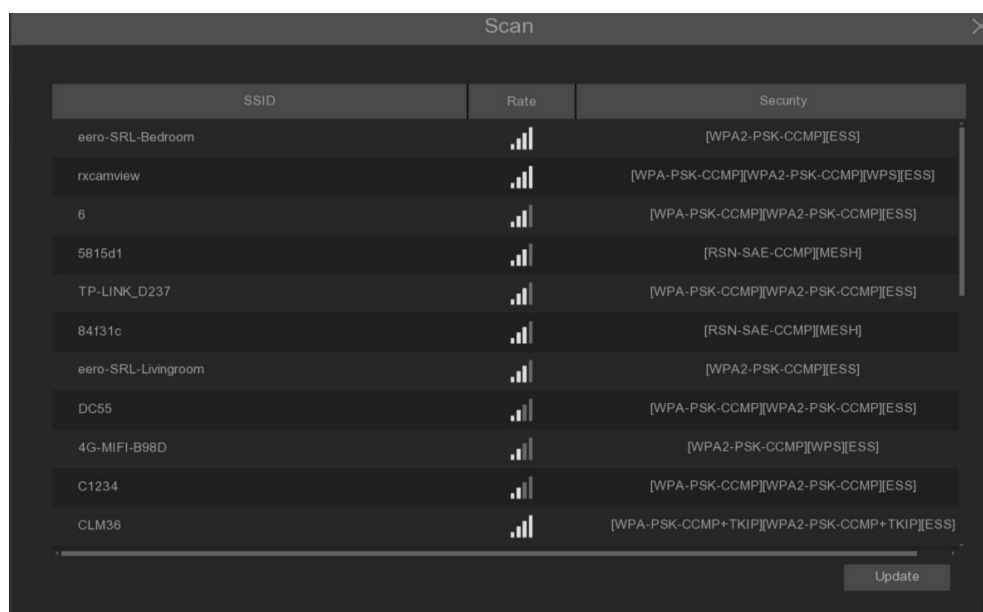
5.5.1.4 無線 LAN 設定

Enable	☐	
SSID		Scan
Password		Join
IP Address	000.000.000.000	
Link Status:	Disconnected	

デバイスに WiFi ドングルを接続後、WiFi アクセスポイントに接続してインターネットに接続できるよう設定できます。

有効：無線機能を有効にするスイッチ。

SSID：WiFi 名。スキャンボタンをクリックして近くの利用可能な WiFi ルートを検索します。



SSID	Rate	Security
eero-SRL-Bedroom		[WPA2-PSK-CCMP][ESS]
rxcamview		[WPA-PSK-CCMP][WPA2-PSK-CCMP][WPS][ESS]
6		[WPA-PSK-CCMP][WPA2-PSK-CCMP][ESS]
5815d1		[RSN-SAE-CCMP][MESH]
TP-LINK_D237		[WPA-PSK-CCMP][WPA2-PSK-CCMP][ESS]
84131c		[RSN-SAE-CCMP][MESH]
eero-SRL-Livingroom		[WPA2-PSK-CCMP][ESS]
DC55		[WPA-PSK-CCMP][WPA2-PSK-CCMP][ESS]
4G-MIFI-B98D		[WPA2-PSK-CCMP][WPS][ESS]
C1234		[WPA-PSK-CCMP][WPA2-PSK-CCMP][ESS]
CLM36		[WPA-PSK-CCMP+TKIP][WPA2-PSK-CCMP+TKIP][ESS]

リストから接続したい WiFi を選択し、接続したい WiFi 名をダブルクリックします。

レート：信号強度。

セキュリティ：WiFi が使用するセキュリティプロトコル情報。

更新：リストを更新します。

パスワード：WiFi ルート接続用のパスコード。

IP アドレス：WiFi ルートへの接続成功後に取得した IP アドレス。

リンク状態：接続状態。

既定：ページ設定をデフォルトに戻します。

適用：設定への変更を適用します。

5.5.1.5 ポート設定

No.	Service	Protocol	Internal Port	External Port	UPNP Status	Mapping Strategy	UPNP
1	Http	TCP	00080	00080	Inactive	Auto	☐
3	RTSP	TCP	00554	00554	Inactive	Auto	☐
4	Https	TCP	00443	00443	Inactive	Auto	☐

Instruction:

rtsp://ip.port/rtsp/streaming?channel=A&subtype=B

A: 01(ch1), 02(ch2) ...

B: 0(main stream), 1(sub stream)

External IP:

P2P Switch: ☒

Direct Camera Web Access: ☒

HTTP/RTSP/HTTPS : HTTP・HTTPS・RTSP プロトコルでデバイスにアクセスするポートを設定します。

UPnP (ユニバーサルプラグ&プレイ) : UPnP の NAT 変換ルールを有効にし、ポートマッピングを自動化して外部コンピュータからイントラネットデバイスへのアクセスを可能にします。

マッピング方式 : 手動を選択した場合、外部ポート（ルーター上のポート）を編集・設定できます。自動の場合、外部ポートがランダムにマッピングされます。

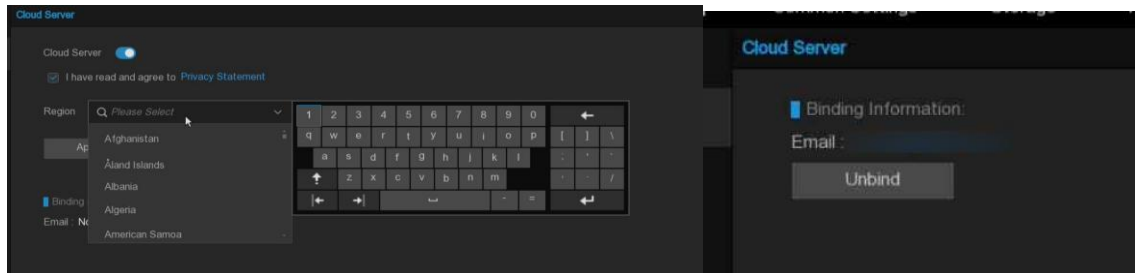
外部 IP : デバイスの外部ネットワーク出口の IP アドレス。

P2P スイッチ : P2P スイッチ。オフにすると、ユーザーは P2P ID を使用してデバイスにアクセスできなくなります。

カメラ Web 直接アクセス : 有効にすると、NVR の Web 側のハイパーリンクから IPC の WEB ページに直接アクセスできます。

5.5.2 クラウドサービス

デバイスは 16 桁のクラウド ID と地域コード付き 18 桁のクラウド ID に対応しています。QR コードをスキャンすると CybVu に追加されます。



1. 16 桁 ID デバイスに対応。クラウドサービス機能を有効にして原産地域を設定すると、動的 QR コードが生成されます。

クラウドサーバー：クラウドサービススイッチ。

プライバシーステートメント：クラウドサービスを有効にするには、まずプライバシーステートメントを読んで同意してください。

リージョン：クラウドサービスのリージョンを選択します（CvbVu アプリに登録したリージョンと一致する必要があります。リージョンの検索に対応）。

QR コード表示：クラウドサービスを有効にしてエリアを設定すると、動的 QR コードが自動生成されます（QR コードの有効期限は 300 秒。期限切れ後は自動的に無効になるため再取得が必要）。CvbVu アプリでスキャンして追加します。

18 桁 ID デバイスに対応。5.6.6.1 システム情報の QR コードを CvbVu アプリでスキャンし、デバイスのパスワードを入力してバインドします。

バインド情報：デバイスのバインド関連情報を表示します。

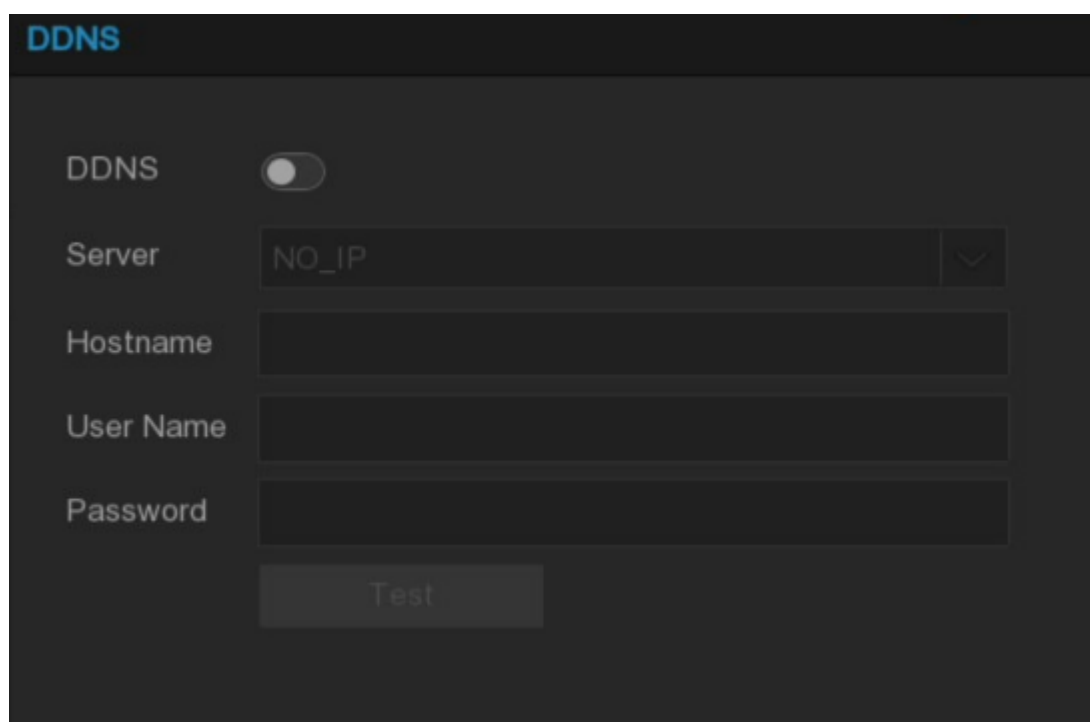
メール：バインド済みメールアドレス。

バインド解除 : バインド解除ボタンをクリックして、CybVu APP アカウントからカメラのバインドを解除します。バインド解除後、アプリ上のデバイスが削除されます。

注意 : クラウドサービス機能はクラウドサーバーとの通信が必要なため、本機能使用時はデバイスをインターネットに接続する必要があります。

5.5.3 DDNS（ダイナミックドメイン名サーバー）

このメニューでは DDNS パラメータを設定します。DDNS を用いることで、動的 IP によるアクセス問題を効果的に解決できます。DDNS を使用するには、まず DDNS サービスプロバイダーのウェブでアカウントを作成する必要があります。



DDNS

DDNS ☐

Server NO_IP

Hostname

User Name

Password

Test

DDNS : チェックして DDNS を有効にします。

サーバー : DDNS サーバーを選択します（DYNDNS、NO_IP、CHANGEIP、DNSEXIT）。

ドメイン : DDNS サービスプロバイダーのウェブで作成したドメイン名を入力します。PC から NVR にリモート接続する際は、URL 欄に入力するアドレスです。

ユーザー名・パスワード : DDNS サービスプロバイダーのウェブでアカウント作成時に取得したユーザー名とパスワードを入力します。

すべてのパラメータを入力後、テストをクリックして DDNS 設定をテストします。テスト結果がネットワーク接続不可または DNS エラーの場合、設定内容を確認してください。

ユーザーが動的ドメイン名サービスを申請した場合、ブラウザからドメイン名で NVR にリモートアクセスできます。

注意 : DNSEXIT のドメインプロバイダーが接続プロトコルを更新し、新プロトコルではユーザー名・パスワードによる認証は非対応となりました。元のアカウントにログインして再設定が必要です。

旧バージョンはパスワード認証です。外部 IP が変化した場合、DNSEXIT ドメインは使用できず、バージョン 8.2.4.1 以上に更新して DNSEXIT 公式サイトでキーを取得する必要があります。

5.5.4 メール

このメニューでメールパラメータを設定します。アラートがトリガーされた際にメールでアラーム通知を受け取りたい場合は、メール設定を行ってください。

5.5.4.1 メール設定

The screenshot displays the 'Email' configuration menu in a dark-themed interface. It is divided into two main sections: 'Email' and 'Schedule'.

Email Section:

- Email:** A toggle switch is turned on (blue).
- Type:** A dropdown menu is set to 'Outlook'.
- Receiver 1, 2, 3:** Three empty text input fields for email addresses.
- Health Mode:** A checkbox is checked.
- Interval:** A dropdown menu is set to '3 Min'.
- Buttons:** 'Activate' and 'Test' buttons are at the bottom.

Schedule Section:

- Email:** A toggle switch is turned on (blue).
- Type:** A dropdown menu is set to 'Other'.
- Encryption:** A dropdown menu is set to 'Disable'.
- SMTP Port:** A text input field containing '00025'.
- SMTP Server:** An empty text input field.
- User Name:** An empty text input field.
- Passkey:** An empty text input field.
- Sender's Name:** An empty text input field.
- Receiver 1, 2, 3:** Three empty text input fields for email addresses.
- Health Mode:** A checkbox is checked.
- Interval:** A dropdown menu is set to '3 Min'.
- Buttons:** A 'Test' button is at the bottom.

メール：スイッチをオンにして有効にします。

The screenshot shows a dialog box titled 'Activate Email'. The text inside reads: 'To sign in, use a web browser to open the page [redacted] and enter the code [redacted] to authenticate.' Below the text is an 'OK' button.

種類：メールボックスタイプ。Outlook または Other を選択可能。「アクティベート」をクリックが必要な場合は認証コードをポップアップの Web ページアドレスから入力します。

暗号化：メールサーバーが SSL または TLS 検証を必要とする場合は有効にします。不明な場合は「自動」に設定します。SMTP ポート：SMTP ポート番号を入力します。

SMTP サーバー：メール送信用の SMTP サーバーアドレスを入力します。

ユーザー名： メールアドレスを入力

パスワード： メールパスワードを入力

受信者 1～3： NVR からのイベント通知を受け取るメールアドレスを入力します。

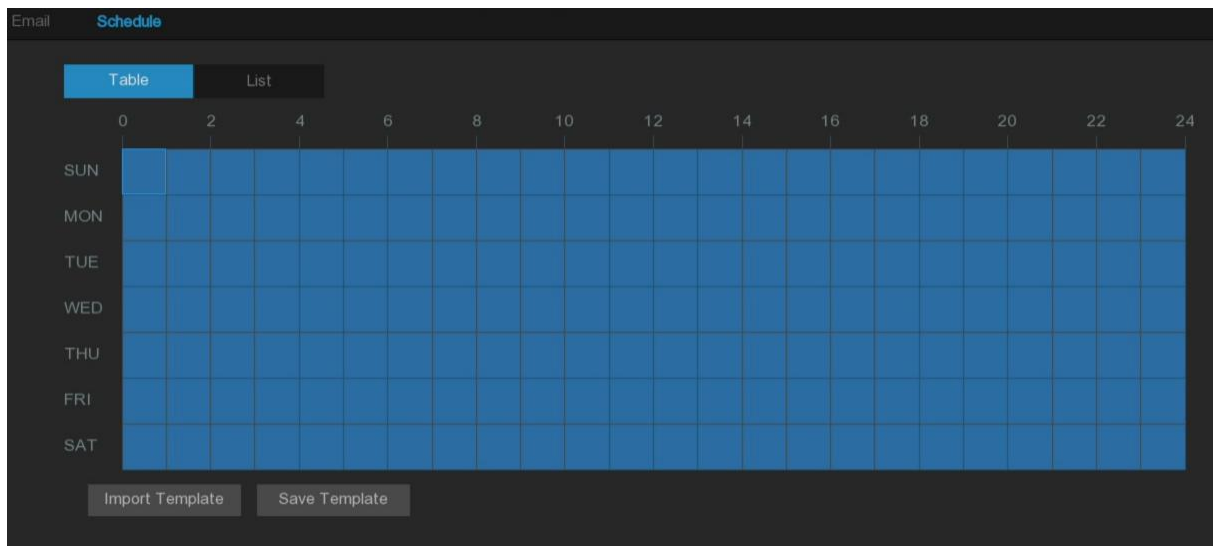
ヘルスモード：ヘルスモード。チェックでインターバル機能を有効化。未チェックの場合、インターバル機能は使用不可となり、NVR のアラームをメールボックスへ送信します。ナンバープレートと顔認識の場合、各アラームでメールを送信します。

インターバル： NVR を設定する通知メッセージの時間間隔。

すべての設定が正しいことを確認するには、テストメールをクリックします。受信トレイにテストメールが送信され、テストメールが届いた場合は設定が正しいことを示します。

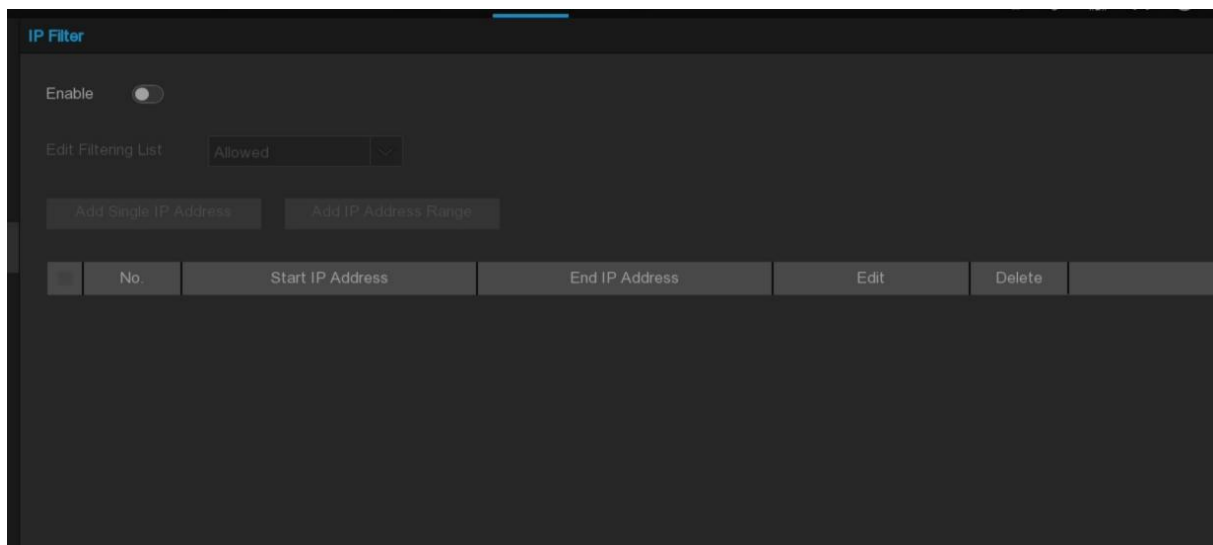
5.5.4.2 メール送信スケジュール

時間帯を設定します。5.2.1.1 録画スケジュールを参照してください。



5.5.5 IP フィルター

IP フィルタ機能でブラックリストとホワイトリストを設定できます。ホワイトリストが有効な場合、リスト内の IP のみがデバイスへのアクセスを許可されます。



有効：フィルタ機能のオン・オフ有効にすると、ブラックリストまたはホワイトリストを選択できます。

フィルタリングリストの編集：設定するリスト（ブラックリストまたはホワイトリスト）を選択します。

単一 IP アドレスの追加：単一の IP アドレスを追加します。

IP アドレス範囲の追加：IP アドレス範囲を追加します。

開始アドレス：開始アドレスを入力します。

終了アドレス：終了アドレスを入力します。

5.5.6 プラットフォームアクセス

5.5.6.1 ONVIF

この機能を開くと、デバイスを ONVIF プロトコル経由でサードパーティプラットフォームからサーバーとして接続できるようになります。

Server		
Enable	☐	
Authentication	Digest/WSSE	▼
Protocol	HTTP/HTTPS	▼
User Name		
Password		

有効 : 有効スイッチ。保存後にデバイスの ONVIF サービス機能を選択します。

認証 : ログイン認証方式。デバイスが対応する認証方式は Digest_sha256、Digest、Digest/WSS、WSS_Custom です。

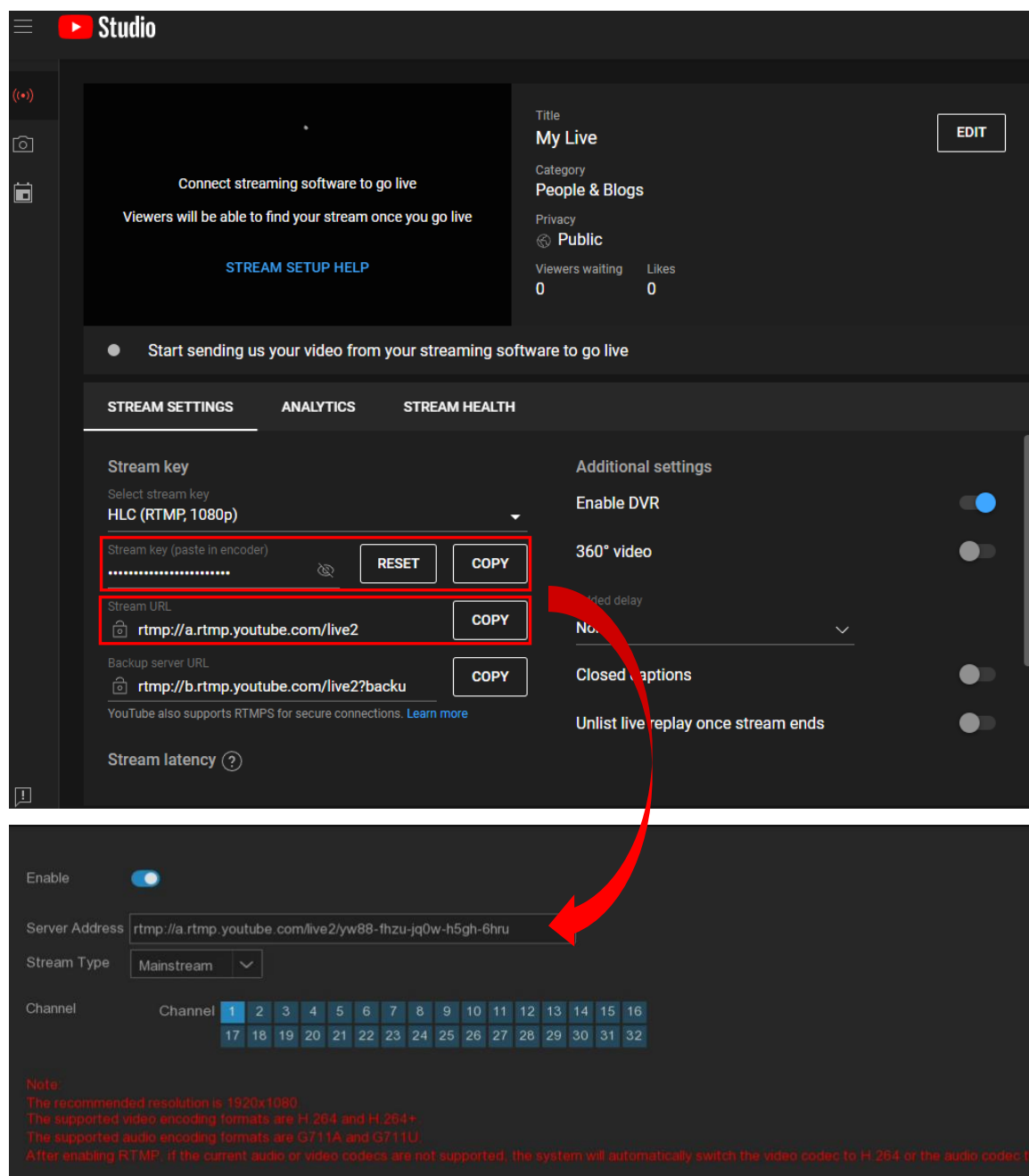
プロトコル : デバイスが対応する接続プロトコル。HTTP/HTTPS、HTTPS、HTTP が含まれます。

ユーザー名 : アクセスユーザー名を設定します。

パスワード : アクセスパスワードを設定します。

5.5.6.2 RTMP

RTMP を使用すると、NVR チャンネルの音声・動画ストリームを YouTube にリアルタイム配信できます。この機能を利用するには YouTube アカウントの登録とスタジオの作成が必要です。



有効：有効スイッチ。オンにして保存すると RTMP ライブ配信機能が有効になります。

サーバーアドレス : YouTube サーバーのライブ配信アドレスとライブ配信コードを入力します。（注意 : YouTube ライブ配信コードの間には「/」を使用します）

ストリーム種類 : ライブ配信チャンネルのコードストリームタイプを選択します。メインストリームとサブストリームに対応

チャンネル : ライブ配信するチャンネルを選択します。1 チャンネルのみ選択可能。

注意 : ライブ配信効果を確保するため、コードストリームの解像度設定を推奨の解像度に設定することをお勧めします。

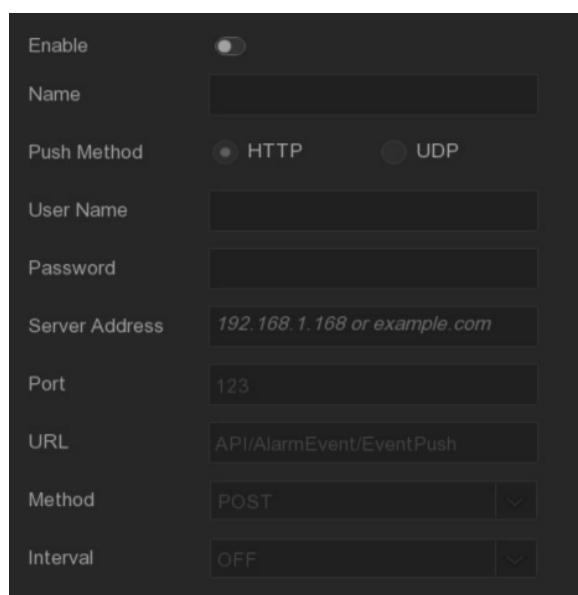
映像コーディングフォーマット H.264 と音声コーディングフォーマット G711A/U のデータストリームのライブ配信のみ対応。

YouTube ライブコードは 1 台のデバイスにのみ設定でき、再利用はできません。

5.5.6.3 イベントプッシュプラットフォーム

デバイス側のアラーム情報を指定のサードパーティプラットフォームにプッシュするには、この機能を使用して、サードパーティプラットフォームがこの機能に対応していることを確認してください。

イベントプッシュは HTTP プッシュ方式・HTTPS プッシュ方式・UDP プッシュ方式に分かれます。HTTP 方式は POST と GET メソッドに対応しています。



有効： イベントプッシュ機能を開始または停止します。

名称： サードパーティプラットフォームにアラーム情報を送信するデバイスの名前を設定します。

プッシュ方式： HTTP プッシュモードと UDP プッシュモードに対応。HTTP は HTTP プッシュ、UDP は UDP プッシュ。

認証： 認証スイッチ。このスイッチを有効にすると認証ダイアログが表示されます。サードパーティプラットフォームが認証を必要とする場合は有効にしてください。

ユーザー名： サードパーティプラットフォームの認証ユーザー名。

パスワード： サードパーティプラットフォームの認証パスワード。

サーバーアドレス： サードパーティプラットフォームのアドレス。

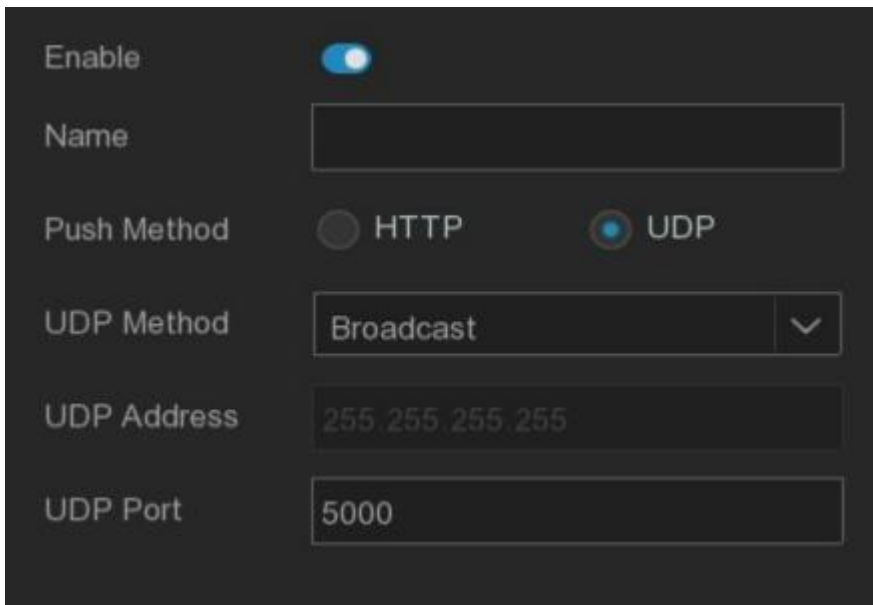
ポート： サードパーティプラットフォームサーバーのポート（ポート範囲 1-65535）。

URL： サードパーティプラットフォームサーバーの API インターフェース。

メソッド：HTTP プッシュタイプ。POST および GET メソッドに対応。プッシュは HTTP-POST のみ対応、他はメッセージのみでプッシュなし。プッシュアラームタイプは Web プレビュー警告バーと一致します。

インターバル：保証インターバル。設定した時間に従ってデバイスが定期的にサーバーへメッセージを送信します。UDP には保証なし。

- UDP



Enable	☒
Name	
Push Method	☐ HTTP ☒ UDP
UDP Method	Broadcast ▼
UDP Address	255.255.255.255
UDP Port	5000

有効： イベントプッシュ機能を開始または停止します。

名称： サードパーティプラットフォームにアラーム情報を送信するデバイスの名前を設定します。

プッシュ方式： HTTP プッシュモードと UDP プッシュに対応。HTTP は HTTP、UDP は UDP。

UDP メソッド： ユニキャスト・マルチキャスト・ブロードキャストの 3 方式に対応。

ユニキャスト： クライアント UDP サーバーの IP アドレスとポートを入力します。このアドレスのみがプッシュメッセージを受信できます。

マルチキャスト：複数のクライアント UDP サーバーが同じ UDP アドレスとポートでメッセージを受信できます。他の UDP アドレスはメッセージを受信しません。

ブロードキャスト：同一ネットワークセグメント内のすべての UDP サーバーがメッセージを受信できます。

UDP アドレス：UDP サーバーアドレス。

UDP ポート：UDP サーバーポート（ポート範囲 1～65535）。

5.5.6.4 クラウドストレージ

デバイスはアラーム画像・動画クリップをクラウドへアップロードして保存します。Dropbox と Google Drive が無料のクラウドストレージサービスを提供します。

Channel	Folder Name
CH1 (529+4210poe)	CH1
CH2 (30kq824)	CH2
CH3 (Camera)	CH3
CH4 (Camera823)	CH4
CH5 (11111222233334444555566667)	CH5
CH6 (338g)	CH6
CH7 (30kq824)	CH7
CH8 (529+4210one)	CH8
CH9 (live)	CH9
CH10 (live)	CH10
CH11 (529+850)	CH11
CH12 (529+850)	CH12

クラウドストレージサービスを有効にする前に、メールアドレスとパスワードで Dropbox アカウントを作成することを推奨します。作成後、www.dropbox.com にログインし、メールアドレスとパスワードを入力してサインインします。

有効：チェックして機能を有効にします。

種類：クラウドストレージタイプを選択します。Dropbox と Google Drive に対応。

状態：クラウドストレージのアクティブ状態。未アクティベートとアクティベート済みがあります。

容量：残容量・合計容量を表示します。

上書きストレージ：クラウドストレージの上書きモードを設定します。

映像フォーマット：アップロードする動画フォーマットを設定します。AVF・MP4・AVI 形式の選択に対応。

フォルダ名称：チャンネルの映像・画像を保存するフォルダ名を設定します。

クラウドをアクティベート：クリックしてクラウドストレージ機能をアクティベートします。その後、画面にメッセージが表示されます。

5.5.6.5 FTP

このメニューの設定により、ユーザーアラームイベントの FTP ストレージ要件を満たすことができ、アラーム作動時にキャプチャ画像・動画を FTP サーバーへアップロードします。

FTP Enable ☒

Server IP Test FTP

Port

User Name

Password

Picture Quality ▼

Video Stream Type ▼

Max Package Interval (Min) ▼

Directory Name

FTP 有効：クリックして FTP 機能を有効にします。

サーバーIP：FTP サーバーの IP アドレスまたはドメイン名を入力します。

ポート：FTP サービスポートを入力します。

ユーザー名・パスワード：FTP サーバーのユーザー名とパスワードを入力します。

画像品質：FTP にアップロードする画像の品質を設定します。

映像ストリーム種類：FTP にアップロードする動画ストリームの種類を設定します。メインストリームとサブストリームから選択可能。

最大パッケージ間隔：最大動画時間間隔を設定します。イベントの最大動画時間を超えると、別の動画ファイルが作成され録画が続行されます。

ディレクトリ名称：アップロードファイルを保存するディレクトリを入力します。NVR が FTP サーバーへのファイルアップロードを開始すると、設定したディレクトリにファイルが保存されます。

アラーム映像アップロード：FTP に映像をアップロードする警告タイプを設定します。オプションをクリックすると警告タイプの設定画面に入ります。

テスト FTP：クリックして FTP 設定をテストします。

5.6 システム設定

日付・時刻・地域などのシステム情報を変更したり、パスワードや権限を変更したりします。

5.6.1 システム

5.6.1.1 一般設定

General | Date and Time | Daylight Saving Time | Output Configuration

Device Name: []

Device ID: 000000

Language: English [v]

Video Format: NTSC [v]

Auto Lock: OFF [v]

Web Session Timeout (min): 1440 [] ☒ Including Live View

☒ Show the Startup Wizard after system startup.

デバイス名称：デバイス名を設定します。

デバイス ID : **デバイス ID** を設定します。デバイス ID は NVR を識別するために使用され、数字のみで構成されます。例 : 同じ場所に 2 台の NVR を設置する場合、それぞれデバイス ID 000000 と 000001 を割り当てます。

言語 : デバイスのシステム言語を設定します。

映像フォーマット : 映像システムを PAL または NTSC に設定します。

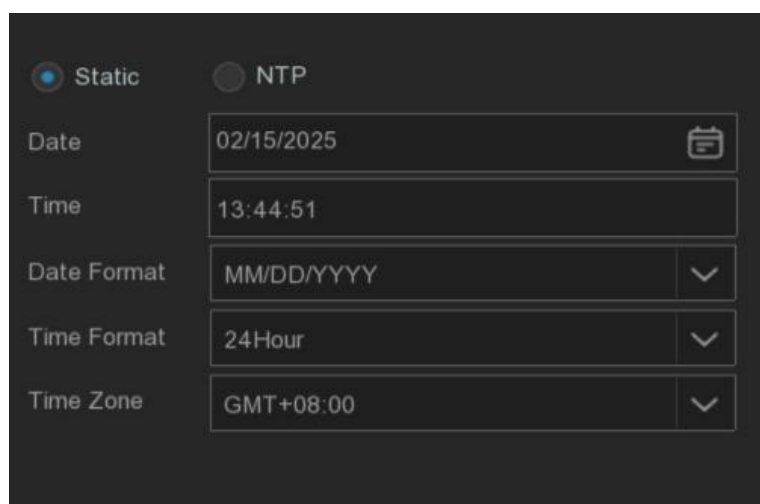
自動ロック : システムが操作されていない場合にメインメニューを終了してロックするタイムアウト時間を設定します。

Web セッションタイムアウト (分) : Web がアイドル状態時のタイムアウト時間を設定します。

ライブビュー含む : Web 側のアイドルログイン時間はプレビューに適用されます。

システム起動後にスタートアップウィザードを表示 : 起動時にブートウィザードを毎回表示したい場合は、このオプションにチェックを入れます。

5.6.1.2 日付と時刻



The screenshot shows a configuration menu with a dark background. At the top, there are two radio buttons: 'Static' (selected) and 'NTP'. Below this, there are five rows of settings, each with a label on the left and a text input field on the right. The 'Date' field has a calendar icon on its right side. The 'Time' field is a standard text input. The 'Date Format', 'Time Format', and 'Time Zone' fields have dropdown arrows on their right sides.

Setting	Value
Static / NTP	Static
Date	02/15/2025
Time	13:44:51
Date Format	MM/DD/YYYY
Time Format	24Hour
Time Zone	GMT+08:00

日付 : カレンダーをクリックして日付を変更します。

時刻：時刻ボックスをクリックして時刻を変更します。

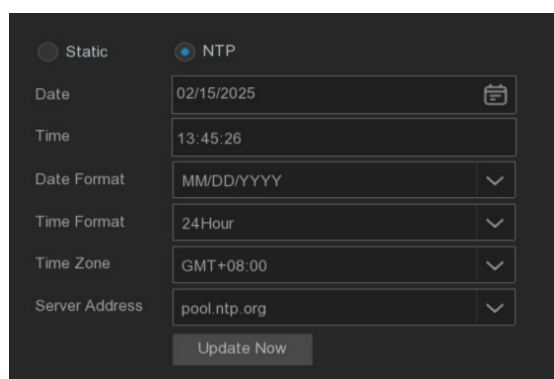
日付フォーマット：システムの日付表示フォーマットを設定します。

時刻フォーマット：システムの時刻表示フォーマットを設定します。

タイムゾーン：デバイスのタイムゾーンを設定します。

NTP（ネットワークタイムサービス）

NTP 機能を有効にすると、NVR はタイムサーバーと時刻を自動的に同期し、定期的に時刻を更新します。



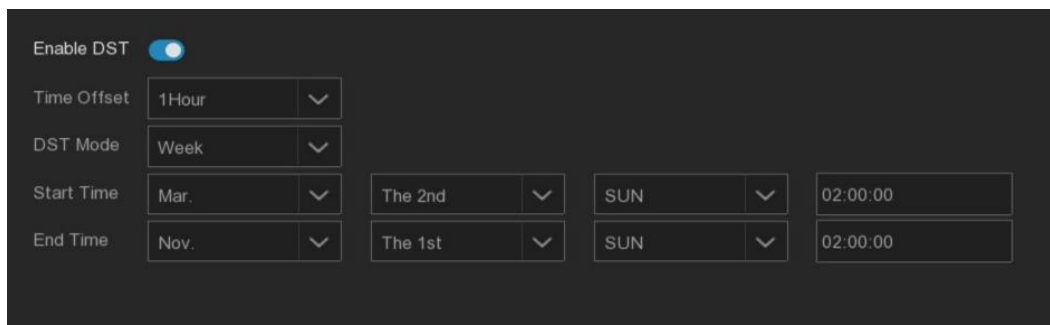
NTP を有効にしてサーバーアドレスを選択するか、NTP 対応サーバーアドレスを手動入力し、次をクリック：Update といえをクリックすると日時を手動で同期します。

クリック：適用

NTP 機能を有効にした後、デバイスがネットワーク接続状態にあることを確認してください。デバイスは起動時および毎日 00:07:50 頃に自動的にシステム時刻を補正します。

5.6.1.3 サマータイム

ユーザーエリアで夏時間（DST）が実施されている場合、このインターフェースで関連パラメータを設定して DST を有効にできます。



Enable DST	☒						
Time Offset	1 Hour	▼					
DST Mode	Week	▼					
Start Time	Mar.	▼	The 2nd	▼	SUN	▼	02:00:00
End Time	Nov.	▼	The 1st	▼	SUN	▼	02:00:00

DST 有効：夏時間スイッチ。

時刻オフセット：夏時間のオフセット時間を設定します。

DST モード：夏時間の開始・終了モードを設定します。

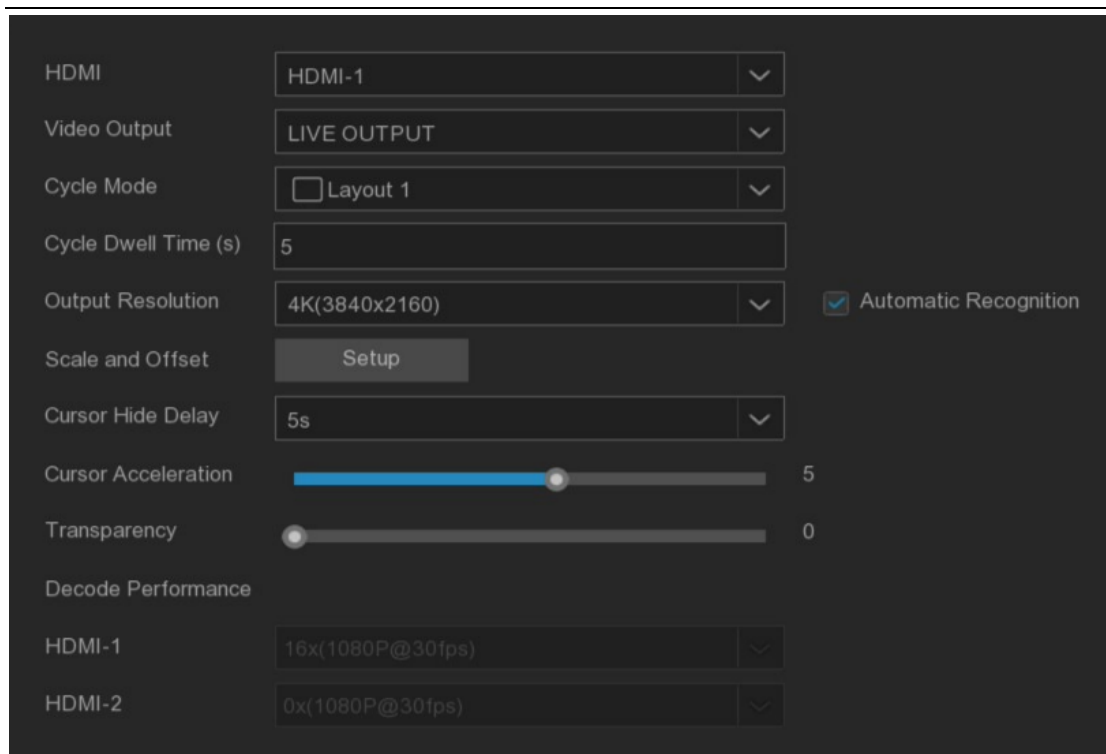
週：開始・終了の月、週、時刻を選択します。例：ある月の第 1 日曜日午前 2 時。

日付：開始・終了の夏時間の開始日（カレンダーアイコンをクリック）、日付と時刻を選択します。

開始時刻・終了時刻：夏時間の開始時刻と終了時刻を設定します。

5.6.1.4 出力設定

システム表示出力パラメータを設定します。



映像出力のドロップダウンメニューで LIVE-OUT モードを選択します。

サイクルモード：ホイール巡回モードで NVR が表示する映像チャンネルの数を設定します。

出力解像度：ディスプレイに適した表示解像度を選択します。

自動認識：ディスプレイの解像度を自動的に識別します。起動後、システムがリモートコントロールなしで解像度を検出すると自動的に適用されます。

スケール&オフセット：NVR はディスプレイのサイズと位置をディスプレイに合わせて調整できます。設定ボタンをクリックして調整します。

スケール&オフセット：NVR はディスプレイのサイズと位置をディスプレイに合わせて調整できます。設定ボタンをクリックして調整します。

矢印をクリックまたは左マウスボタンを押してサイズと位置を調整するか、マウスホイールをスクロールして調整できます。

カーソル非表示遅延：NVR がアイドル状態のときにマウスカーソルを非表示にするまでの時間を設定します。

カーソル加速：カーソルの移動速度を調整します。

透明度：左または右のスライダーをクリックして押し続けると、メニューバーとメインメニューの透明度が変更されます。

HDMI 2

- 補助画面表示出力パラメータを設定します（一部の NVR モデルのみ対応）。

補助画面表示出力パラメータを設定（一部の NVR モデルのみ対応）

スイッチ：補助画面表示スイッチを有効または無効にします。

自動サイクル：表示設定。静的と動的の 2 つから選択可能。動的画面を選択すると補助画面でラウンドプレビューが行われます。

サイクルモード：HDMI 2 ラウンド巡回モードでデバイスが表示する映像チャンネルの数を設定します。

サイクル滞在時間：補助画面ホイールの巡回時間を秒単位で設定します。

スポット表示チャンネル：動的モードの補助画面ホイール巡回のチャンネルを選択します。

出力解像度：補助画面表示に適した表示解像度を選択します。

出力解像度：補助画面表示に適した解像度を選択します。

デコード性能：補助画面出力のデコード性能を設定。

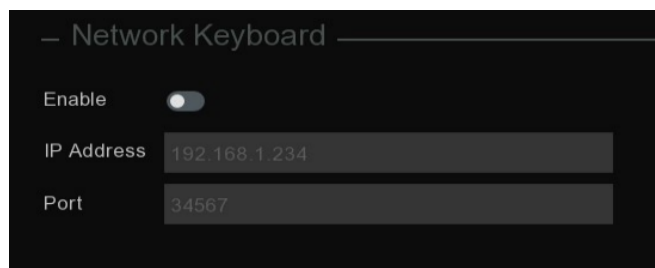
5.6.2 周辺機器

5.6.2.1 キーボード

ネットワーク キーボード

デバイスに接続された PTZ カメラを制御するか、ネットワークキーボードでデバイスメニューをナビゲートするために使用します。

デバイスに接続された PTZ カメラを制御するか、ネットワークキーボードでデバイスメニューをナビゲートするために使用します。



有効： 切替

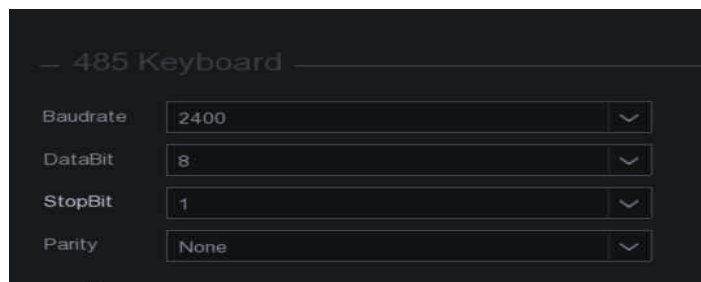
IP アドレス： IP アドレス：ネットワークキーボードのアドレスを入力

注意： この機能を使用するには、まずネットワークキーボードのパラメータを理解し、関連する設定を正常に保存する必要があります。

注意： この機能を使用するには、まずネットワークキーボードのパラメータを確認し、このページで関連設定を正常に保存する必要があります。

RS485 を使用してデバイスに接続された PTZ カメラを制御するために使用します。

RS485 を使用してデバイスに接続された PTZ カメラを制御します。



1. この機能は KB インターフェースを持つデバイスにのみ適用されます。
2. この機能を使用するには、まずキーボードのパラメータを確認し、このページに関連するパラメータを設定して保存する必要があります。
2. この機能を使用するには、まずキーボードパラメータを確認し、このページで関連パラメータを設定して保存を完了させる必要があります。

5.6.2.2 POS

このページで POS アラートを設定できます。POS ターミナルからメッセージを受信すると、POS アラートがトリガーされます。

このページで POS アラートを設定できます。POS ターミナルからメッセージを受信すると、POS アラートがトリガーされます。

POS アラームの追加：新しい POS アラームグループを追加します。最大 32 グループまで対応。

POS 名称：POS アラームの名前を設定します。

切替・有効：この POS アラームを有効にします。

アラーム出力：POS アラーム発生時にアラーム出力をトリガーするかを設定します。

設定：この POS アラームの設定ページを開きます。

設定：この POS アラームの設定ページを開きます。

POS 名称：既存の POS アラームを選択します。

接続モード：POS ターミナルのデータ伝送方式を設定します。UDP・TCP・マルチキャストプロトコルに対応。

接続モード：POS ターミナルのデータ伝送方式を設定します。UDP・TCP・マルチキャストプロトコルに対応。パラメータボタンをクリックして設定ページにアクセスします。

ポート：POS ターミナルサービスのポート番号。

すべてのリモート IP アドレス：POS 端末情報の受信を許可する POS ターミナルサービスアドレス。

アドレス：POS ターミナルサービスアドレス。

設定：カスタム POS 情報を設定します。POS 情報のプレビュー表示設定をカスタマイズできます。デバイスが POS ターミナルから送信された情報を受信すると、プレビューに POS 情報が出力・表示されます。

設定：カスタム POS 情報を設定します。POS 情報のプレビュー表示設定をカスタマイズできます。デバイスが POS ターミナルから送信された情報を受信すると、設定した識別子に基づいてプレビューに POS 情報が出力・表示されます。

開始行識別子：POS 情報の開始識別子を設定します。開始識別子の後に出力される情報が表示されます。

改行：POS 情報の改行識別子を設定します。改行識別子の後に出力される情報が表示されます。

終了行識別子：POS 情報の終了識別子を設定します。終了識別子の後に出力される情報が表示されます。（注意：開始と終了の両方の識別子が設定されている必要があります）

HEX：POS 情報の開始・改行・終了識別子が 16 進数かどうかを設定します。POS 情報は指定した識別子に基づいて表示されます。

大文字小文字区別：POS 識別子の大文字小文字区別を設定します。大文字小文字区別を有効にすると、POS 情報の実際の識別子と設定した識別子が一致しない場合、出力・改行・終了は行われません。

フィルタリング識別子：POS 情報が開始と終了識別子をフィルタリングするかを設定します。
フィルタリングを有効にすると、POS 情報は開始・終了識別子なしで表示されます。

XMLプロトコル有効：XML プロトコルをアクティブにするかを設定します。開始・終了・改行識別子が設定されていない場合に有効にすると、POS 情報は XML プロトコルで解析されます。

チャンネル連動と表示：チャンネルのバインドと POS 情報の表示設定を行います。

連動チャンネル：バインドするチャンネルを選択します（同じチャンネルを 2 回バインドすることとはできません）。

文字エンコード：対応する言語の文字で POS 情報を表示するための文字エンコードを設定します。

オーバーレイモード：POS 情報文字の重畳方式を設定します。ページまたはスクロールから選択。POS 情報表示にページめくりまたはスクロール効果を適用します。

フォントサイズ：POS 情報の文字表示サイズを設定します。最小・より小・小・標準・大・より大・最大から選択可能。

フォントカラー：POS 情報の文字表示色を設定します。白・オレンジ・青・赤・黄・濃い青・緑・紫・ピンクから選択可能。

表示時間（秒）：POS 情報の文字表示時間を設定します。範囲：5～3600 秒。

タイムアウト（秒）：POS 情報の文字表示タイムアウト時間を設定します。5～3600 秒の範囲で、「表示時間」と同じです。

プライバシー設定 : POS 情報の文字に対するプライバシー保護を設定します。POS 情報に設定文字が含まれる場合、「*****」として表示されます。

プレビューに POS をオーバーレイ : プレビューモードでの POS 情報表示を有効または無効にします。プレビューの POS 情報と同じ効果です。

スケジュール : 各 POS イベントの有効時間帯を設定します。スケジュールの詳細は 5.2.1.1 録画スケジュールを参照してください。

スケジュール : 各 POS イベントの有効時間帯を設定します。スケジュールの詳細は 5.2.1.1 録画スケジュールを参照してください。

連動 : POS アラームの連動設定を行います。

通常連動 : 以下の通常連動セクションに記載の標準連動を設定します。

アラーム出力トリガー : 上記のアラーム出力セクションに記載の連動 I/O 出力を設定します。

チャンネル録画トリガー : POS アラーム発生時に録画するチャンネルを指定します。

PTZ 連動 : POS アラーム発生時の PTZ 連動を有効または無効にします。（連動機能には対応した PTZ カメラが必要）

プリセット : プリセット点のトリガー。プリセット点と停止時間を設定します。POS アラーム作動時、PTZ カメラは指定プリセット点へ自動的に回転します。

ツアー : プリセット点の巡回を設定します。巡回ルートを設定します。POS アラーム作動時、PTZ カメラは設定した巡回ルートに従って巡回します。

パターンスキャン : パターンスキャンを設定します。POS アラーム作動時、PTZ カメラは設定したスキャンパターンに従って巡回します。

通常連動 : POS アラーム作動時の標準アラーム連動アクションを設定します。オプション :

ブザー : POS アラーム作動時のデバイスブザー音を有効・無効にします。

メール : POS アラーム発生時に指定アドレスへメールを送信するかを設定します。

イベントプッシュプラットフォーム : POS アラーム発生時にサードパーティサービスプラットフォームへイベントアラートをプッシュするかを設定します。

音声ガイド : POS アラーム発生時に音声アナウンスをトリガーするかを設定します。詳細は 5.3.4 音声案内を参照してください。

削除 : この POS アラームを削除します。

削除 : この POS アラームを削除します。

5.6.2.3 音声アシスタント

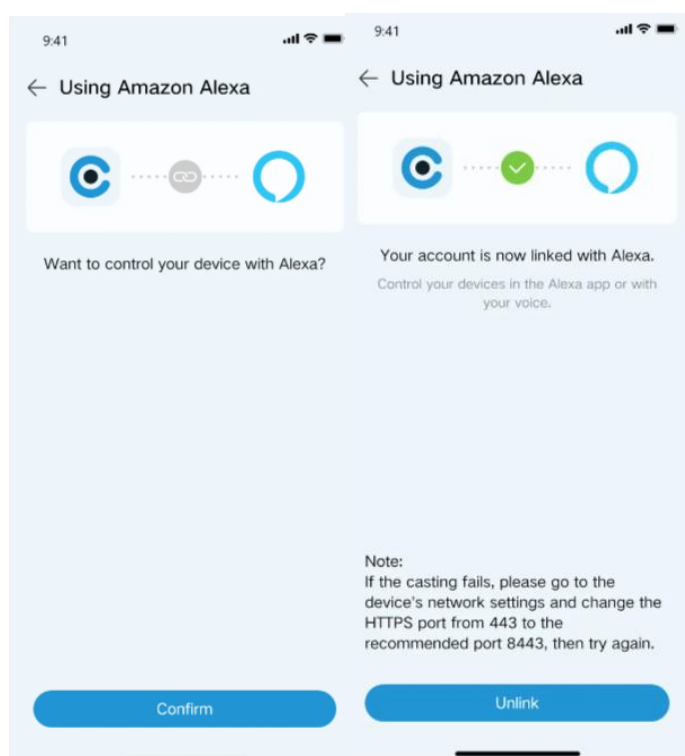
デバイスは Amazon Alexa 音声画面ミラーリングに対応しています。このページで音声制御画面ミラーリングのビットレートを設定します。アプリを使用して個人のクラウドアカウントをリンクします。

1. デバイスの QR コードをスキャンして CybVu アプリに追加し、クラウド統合を開始します。

1. デバイスの QR コードをスキャンして CybVu アプリに追加し、クラウド統合を開始します。

2. アプリのパーソナルセンター内で、音声アシスタントをタップします。

3. 音声アシスタントをリンクします。



注意： CybVu アプリ内で個人のクラウドアカウントを Amazon アカウントにリンクすると、当該クラウドアカウントに追加されたすべてのデバイスで画面ミラーリング機能が有効になります。

注意： CybVu アプリ内で個人のクラウドアカウントを Amazon アカウントにリンクすると、当該クラウドアカウントに追加されたすべてのデバイスで画面ミラーリング機能が有効になります。

このページで IP スピーカーを追加できます。追加後、音声アナウンス設定時に IP スピーカーへの放送対象として選択できます。

IP スピーカーの追加： IP スピーカーを追加します。

デバイス名称： デバイス名。追加する IP スピーカーの名前を設定します。

IP アドレス : IP スピーカーの IP アドレスを入力します。

ポート : IP スピーカーのポート番号を入力します。

ユーザー名 : IP スピーカーのユーザー名を入力します。

パスワード : IP スピーカーのパスワードを入力します。

バインドチャンネル : IP スピーカーをバインドするチャンネルを設定します。アプリで IP スピーカーをクリックしてインターコム通話を行うと、バインドしたチャンネルが IP スピーカーと通話します。

編集 : IP スピーカーを変更します。

削除 : IP スピーカーを削除します。

双方向通話 : このボタンを押すとデバイスとスピーカー間のインターコム通信を開始します。

双方向通話 : このボタンを押すと、デバイスとスピーカー間でインターコム通信を開始します。

5.6.3 マルチユーザー管理

Multi-user					
No.	User Name	Level	Enable Switch	Edit	Permission
1	admin	ADMIN	Enable		
2	user1	USER	Disable		
3	user2	USER	Disable		
4	user3	USER	Disable		
5	user4	USER	Disable		
6	user5	USER	Disable		
7	user6	USER	Disable		
8	user7	USER	Disable		
9	user8	USER	Disable		
10	user9	USER	Disable		
11	user10	USER	Disable		
12	user11	USER	Disable		
13	user12	USER	Disable		
14	user13	USER	Disable		
15	user14	USER	Disable		
16	user15	USER	Disable		
17	user16	USER	Disable		
Default Login User admin 					

ADMIN——システム管理者：管理者はシステム設定に対して最上位の権限を持ち、管理者パスワード・ユーザーパスワードの変更、パスワード保護の有効・無効化ができます。

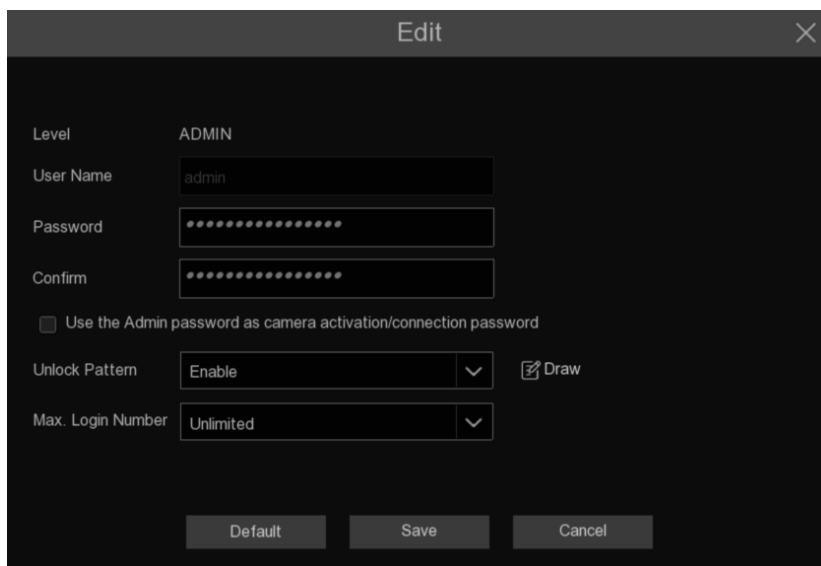
- **USER——一般ユーザー：**プレビュー・検索・再生などの機能にのみアクセスできます。複数の一般ユーザーを設定できます。
- **既定ログインユーザー：**既定ユーザー。NVR 再起動時にデフォルトでログインするユーザー。

既定ログインユーザー：既定ユーザー。NVR 再起動時にデフォルトでログインするユーザー。

管理者または一般ユーザーのパスワードを変更する場合は、アイコンをクリックします。パスワードは 8～16 文字で設定する必要があり、ユーザー名と同じにはできません。

最大アクセスユーザー数（1～20 または無制限）。設定を保存するには「保存」をクリックします。

最大アクセスユーザー数（1～20 人または無制限に対応）を設定し、「保存」をクリックして設定を保存します。



5.6.3.2 新規ユーザー追加

現在非アクティブなユーザーを 1 人選択し、ユーザー編集アイコンをクリックします。

1. 現在非アクティブのユーザーを選択し、ユーザー編集アイコンをクリックします。

「有効切替」を開いてユーザーを有効にします。

2. ユーザー名をクリックしてユーザー名を編集します。

3. パスワードエリアをクリックして希望するパスワードを入力します。

4. 確認エリアをクリックしてパスワードを再入力します。
5. 最大ログイン数をクリックして、デバイスが許可する最大アクセスユーザー数を設定します。
6. 「最大ログイン数」をクリックして、デバイスが許可する最大アクセスユーザー数を設定します。

5.6.3.3 ユーザー権限を設定

権限タブの編集アイコンをクリックします。

1. 「権限」タブの編集アイコンをクリックします。

ユーザーの権限を設定し、機能に対応するボックスにチェックを入れます。「すべて選択」をクリックしてすべてのボックスを選択するか、「クリア」をクリックしてすべてのチェックを外します。

2. ユーザーパスワード権限設定。管理者は必要に応じて一般ユーザーの権限を選択できます。

以下の権限から選択できます。

ログ検索：デバイスのログを表示できます。

- **パラメータ設定**：すべてのページのパラメータを設定できます。
- **自動再起動**：機器の自動メンテナンスと再起動を操作できます。
- **手動録画**：手動で録画を開始および停止できます。
- **ハードディスク管理**：ハードディスクを操作および設定できます。
- **リモートログイン**：NVR へのリモートアクセス権限を持ちます。
- **巡回制御**：すべてのチャンネルのリアルタイムプレビューを回転表示できます。
- **手動キャプチャ**：手動でキャプチャを開始できます。

- **手動キャプチャ**：手動でキャプチャを開始します。
- **顔データベース管理**：顔データベースを操作できるかどうか。
- **ナンバープレートデータベース管理**：ナンバープレートデータベースを操作できるかどうか。
- **ナンバープレートデータベース管理**：ナンバープレートデータベースを操作できるかどうか。
- **バックアップ**：バックアップチャンネル有効スイッチをオンにしてバックアップチャンネルを選択すると、一般ユーザーは選択チャンネルの映像をバックアップする権限を持ちます。
- **プレビュー**：プレビュー有効スイッチをオンにしてプレビュー表示するチャンネルを選択すると、一般ユーザーは選択チャンネルのリアルタイムプレビューを監視する権限を持ちます。
- **映像再生**：「映像再生」有効スイッチをオンにして表示するチャンネルを選択すると、一般ユーザーは選択チャンネルの映像を再生する権限を持ちます。
- **PTZ**：「PTZ」有効スイッチをオンにして操作チャンネルを選択すると、一般ユーザーはPTZ 操作の権限を持ちます。
- 保存ボタンをクリックして変更を保存します。

3. 「保存」ボタンをクリックして変更を保存します。

5.6.4 メンテナンス

5.6.4 メンテナンス

システムログには、各種アラームやシステム操作記録など関連するシステムイベント情報が記録されます。

ログ検索とバックアップ：

開始日付・開始時刻の横のエリアをクリックして、画面のカレンダーから検索の開始日付と時刻を選択します。

1. 終了日付・終了時刻の横のエリアをクリックして、画面のカレンダーから検索の終了日付と時刻を選択します。
2. ログ種類の横のドロップダウンリストから検索するイベントタイプを選択するか、「すべて」を選択してシステム全体のログを表示します。
3. **システム**：システム設定・再起動・自動再起動・アップグレード・時刻設定・NTP タイミングのログ情報を記録します。

設定：プレビュー制御・プライバシーエリア設定・録画モード設定・録画スケジュール設定・メインコードフロー設定などの操作ログを記録します。

アラーム：アラーム情報を記録します。

アカウント：ローカルまたは外部訪問者のログインと記録を記録します。

録画：検索・再生・バックアップの操作ログを記録します。

ストレージ：ハードディスクのフォーマット・ハードディスク満杯・ハードディスクエラーなどのログ情報を記録します。

AI：スマートイベントのアラーム情報を記録します。

AI：インテリジェントイベントのアラーム情報を記録します。

4. 選択した期間からシステムログを閲覧します：
5. 「再生」をクリックするとイベントを即座に再生できます。

- メニュー右下のボタンを使用してシステムロギングイベントのページを切り替えます。
- 「バックアップ」をクリックしてシステムログのバックアップを作成します。

NVR の USB ポートに外部ストレージデバイスが接続されていることを確認してください。

6. バックアップドライブメニューが表示されます。バックアップファイルを保存するフォルダに移動し、「OK」をクリックして開始します。
7. バックアップドライブメニューが表示されます。バックアップファイルを保存するフォルダに移動し、「OK」をクリックして開始します。

このページでは NVR のパラメータを工場設定に戻すさまざまな方法に対応しています。データが消去されると復元できません。慎重に選択してください。

非アクティブに戻す：管理者パスワードをリセットし、すべてのサブユーザーを削除します。デバイスの再アクティベーションが必要で、その他の設定はリセットされます。

既定値に戻す：基本的なネットワークパラメータと管理者パスワードを除き、他のすべてのページのパラメータがリセットされます。

工場出荷時の既定値：すべてのパラメータが工場出荷時設定に戻ります。

さらに、デバイスはリアパネルの RESET ボタンを 10 秒押すことで対応する回復操作を実行できます。

また、デバイスはリアパネルの RESET ボタンを 10 秒押すことで対応する回復モードを実行できます。「HDD のフォーマット」にチェックを入れると同時にハードディスクをフォーマットします。データが消去されると復元できません。

5.6.4.3.1 USB アップグレード

5.6.4.3.1 USB アップグレード

ファームウェアファイル（.bin ファイル）を USB ドライブにコピーし、NVR の USB ポートに USB を差し込みます。

1. 「ファイルを選択」をクリックして USB フラッシュドライブのファームウェアファイルを選択し、「OK」をクリックします。
2. 「アップグレード」ボタンをクリックしてシステムアップグレードを開始します。アップグレードには約 5～10 分かかります。アップグレード中は NVR の電源を切らないでください。
3. 「アップグレード」ボタンをクリックしてシステムアップグレードを開始します。アップグレードには約 5～10 分かかります。アップグレード中は NVR の電源を切ったり USB ドライブを取り外したりしないでください。

デバイスはオンラインアップグレード機能に対応しています。この機能を使用する場合は、事前にアップグレードサーバーをセットアップし、サーバー上にファイルストレージディレクトリを作成してアップグレードファームウェアをアップロードしてください。

ユーザー名：サーバーのユーザー名を設定します。サーバーにユーザーが設定されていない場合は空白にできます。

パスワード：サーバーのパスワードを設定します。サーバーにパスワードが設定されていない場合は空白にできます。

サーバーアドレス：サーバーアドレスを設定します。アップグレードアドレスはアップグレードファイルのストレージディレクトリに指定する必要があります。

自動検出：自動検出。有効にすると、デバイスは定期的にサーバーのファームウェアを確認してアップグレードします。

今すぐ検出：ボタンをクリックしてサーバーのアップグレード可能なファームウェアを手動で確認します。

アップグレード：サーバーが更新可能なファームウェアを検出すると、このボタンがハイライトされます。OK をクリックしてデバイスがアップグレードを実行できるようにします。

注意：デバイスがクラウドサーバーの最新ファームウェアバージョンを検出するには、クラウドサービススイッチを開いてください。

注意：デバイスがクラウドサーバーの最新ファームウェアバージョンを検出する必要がある場合は、クラウドサービススイッチを有効にして CybVu APP をバインドし、オンラインアップグレードの設定パラメータをクリアしてください。

現在設定されているパラメータファイルを USB メモリにエクスポート、または USB からエクスポート済みのプロファイルを同型モデルのデバイスにインポートできます。

設定の保存：現在のデバイスシステム設定パラメータを指定した USB ストレージディレクトリに保存します。

設定の読み込み：USB ストレージディレクトリ内の設定パラメータを現在のデバイスにインポートします。インポート完了後、デバイスは自動的に再起動します。

設定の読み込み：USB ストレージディレクトリ内の設定パラメータを現在のデバイスにインポートします。インポート完了後、デバイスは自動的に再起動します。

このメニューではシステムを定期的に再起動できます。この機能を有効のままにしておくことを推奨します。

自動メンテナンス：自動メンテナンス機能を有効または無効にします。

メンテナンス間隔：機器の自動メンテナンスサイクルを設定します。

メンテナンス時刻：機器の自動メンテナンス期間を設定します。（注意：デバイスはこの期間中のランダムな時刻に再起動します）

メンテナンス時刻：機器の自動メンテナンス期間を設定します。（注意：デバイスはこの期間中のランダムな時刻に再起動します）

システムに異常が発生した場合、開発者はこのページを通じてシステム稼働中のシリアルポートログ情報を収集して問題を特定できます。

レコーダーデバッグ：映像レコーダーがデバッグモードを有効にするかどうか、およびデバッグログの出力位置を設定します。

レコーダーデバッグ：ビデオレコーダーがデバッグモードを有効にするかどうか、およびデバッグログの出力先を設定します。

ターミナルへの出力：シリアルポートログをターミナルにエクスポートします。

ハードディスクへの出力：シリアルポートログをハードディスクに保存します。

デバッグログのダウンロード：シリアルポートログを USB ドライブにエクスポートします。

デバッグログの消去：ハードディスクに収集されたシリアルポートログを削除します。

カメラデバッグ：カメラのシリアルポートログを映像レコーダーに記録するかどうかを設定します。選択して保存後、設定が有効になります。

カメラチャンネル：デバッグログをエクスポートするカメラチャンネルを選択します。

ログ期間：デバッグログをエクスポートする期間を選択します。

デバッグログのダウンロード：カメラデバッグログを USB ドライブにエクスポートします。チャンネルと録画時間による保存に対応。

デバッグログの消去：ハードディスクに保存されたカメラデバッグログを削除します。

デバイス状態レポート：この機能を有効にすると、デバイスのストレージ状態・チャンネル状態・デバイス情報をアップロードします。

SSH サービス：有効にすると、SSH モードでデバイスにアクセスできます。

SSH サービス：有効にすると、SSH モードでデバイスにアクセスできます。

5.6.5 IP カメラ メンテナンス

5.6.5.1 IP カメラアップグレード

アップグレードする IP カメラを選択します。

1. 「ファイルを選択」をクリックし、USB ストレージデバイスからアップグレードファイルを選択して「OK」をクリックします。
2. 「カメラアップグレード」ボタンをクリックしてアップグレードを開始します。アップグレード中は NVR と IP カメラの電源を切ったり USB を取り外したりしないでください。
3. 自動検出：自動検出。有効にすると、デバイスは 24 時間稼働し、最新のアップグレードファイルを検出します。

今すぐ検出：最新のアップグレードファイルを手動で検出します。

アップグレード：最新のアップグレードファイルが検出された場合、クリックしてアップグレードします。

アップグレード：最新のアップグレードファイルが検出された場合、クリックしてアップグレードします。

5.6.5.2 既定値の読み込み

1. 工場設定を戻したい IP カメラを選択します。
2. 「既定値の読み込み」をクリックして工場出荷時設定に戻します。認証のために管理者パスワードを入力する必要があります。
3. 「既定値の読み込み」をクリックして工場設定に戻す場合、認証のために管理者パスワードの入力が必要です。

5.6.5.3 カメラ再起動

IP カメラをクリックし、「カメラ再起動」をクリックして IP カメラを再起動します。

IP カメラを選択し、「カメラ再起動」をクリックして IP カメラを再起動します。

5.6.5.4 パラメータ管理

IP カメラにチェックを入れ、「設定の保存」をクリックして IP カメラのパラメータを USB ドライブに保存します。IP カメラを選択後、保存先を選択します。

注意：カメラのファームウェアバージョンが大幅に古い場合、AI スケジュールと PTZ 連動設定にアクセスできる場合があります。詳細については最新のファームウェアにアップグレードしてください。

注意：カメラのファームウェアバージョンが大幅に古い場合、AI スケジュールと PTZ 連動設定にアクセスできる場合があります。詳細については 5.4.1.19 スケジュールおよび 5.4.1.20 の該当セクションを参照してください。

5.6.5.5 カメラ SD ディスクのフォーマット

システムは SD カードに接続されている IP カメラを検出できます。「フォーマット」ボタンをクリックして IP カメラの SD カードをフォーマットします。

SD カードに接続済みの IP カメラをシステムが検出します。「フォーマット」ボタンをクリックして IP カメラの SD カードをフォーマットします。

5.6.6 情報

デバイス ID・機種・IP アドレス・MAC アドレス・ファームウェアバージョンなどを表示します。

Information		Channel Information	Record Info	Network State	Privacy Statement
Device ID	000000				
Device Name	[REDACTED]				
Device Type	[REDACTED]				
Hardware Version	2M032				
Software Version	VC1.2.0-250121				
IE Client Version	VC1.2.0.15-250121				
Video Format	NTSC				
Total HDD Capacity	7452G				
IP Address	172.20.58.38				
IPv6 Address	fe80::3a24:f1ff:fe06:4fc1 / 64				
Http	80,80				
MAC Address	38-24-F1-06-4F-C1				
Network State	Connected				
P2P ID	[REDACTED]				
Cloud ID	[REDACTED]				

5.6.6.2 チャンネル情報

エイリアス・プライマリ・サブ・サードストリームの録画パラメータなど、接続された各カメラのチャンネル情報を表示します。

接続された各カメラのチャンネル情報（エイリアス、メインストリーム、サブストリーム、第3ストリームの録画パラメータなど）を確認します。

5.6.6.3 録画情報

ビットレート・コードストリームタイプ・録画解像度など、接続された各 IP カメラの録画情報を表示します。

接続された各 IP カメラの録画情報（ビットレート、コードストリームタイプ、録画解像度、フレームレート（FPS）など）を確認します。

5.6.6.4 ネットワーク状態

システムネットワーク情報を表示します。

合計帯域幅：IP カメラに使用される NVR の合計入力帯域幅を反映します。

使用済み帯域幅：IP カメラが使用する帯域幅を反映します。

使用帯域幅：IP カメラが使用している帯域幅を反映します。

5.6.6.5 プライバシーステートメント

ユーザーはこのページでデバイスのプライバシーステートメントの具体的な内容を確認できます。

Privacy Statement

"We" fully respect your privacy rights. We hereby formulate this "Privacy Statement" (hereinafter referred to as "this Statement") to inform you of how we collect, use, disclose, protect, store, and transmit your personal data. Please read this Statement carefully. If you have any questions, please let us know.

Personal information refers to various information recorded electronically or otherwise that can identify the personal identity of a natural person alone or in combination with other information. This Statement sets out how we handle your personal information, but it does not cover all processing scenarios. The products or services discussed, mentioned, or introduced in this Statement vary depending on your device type, model, or geographic location. How specific products or services handle your personal information, your rights, and how to contact the data controller will be explained by us in the specific privacy notice or supplementary statement published with that product or service. In addition to this Statement, we recommend that you read the relevant privacy notice or supplementary statement when using specific products or services. This Statement applies only to our IPC series products and their video surveillance-related services. This Statement will help you understand the following:

I. How We Collect and Use Your Personal Information

1. Personal Information We Collect

When you use IPC products or services, you may need to provide personal information, and we will only collect and use your personal information for the purposes stated in this statement. The following are examples of the personal information we may collect:

1.1. Information We Obtain During Your Use of The Service

We will collect information about your device and how you and your device interact with our products and services, including:

A. Device and application information, such as device name, device identifier, hardware model, application version, software identification code, device and application settings (such as region/language/time zone/font), etc.

B. Internet Protocol (IP) address.

C. Log information. When you use our services or view content provided by us, we will automatically collect certain information and store it in logs, such as access time, access times, access IP, event information (such as errors, crashes, restarts, upgrades), etc.

D. Historical audio and video recordings stored on the IPC or real-time audio and video recordings from cameras connected to the IPC. When used with a mobile app, historical audio and video recordings stored on the NVR or real-time audio and video recordings from cameras connected to the IPC will be uploaded directly to the mobile app to enable remote viewing and listening of video and audio recordings through the mobile app.

1.2. How We Use Your Personal Information

We will use your personal information for the following purposes:

A. To deliver, activate, or verify the products and services you request, or to modify, provide technical support, and after-sales services for the above products and services at your request.

B. To send you notifications of application updates and installations;

C. To push video alarm messages to you or provide remote viewing of IPC video monitoring recordings or real-time video services;

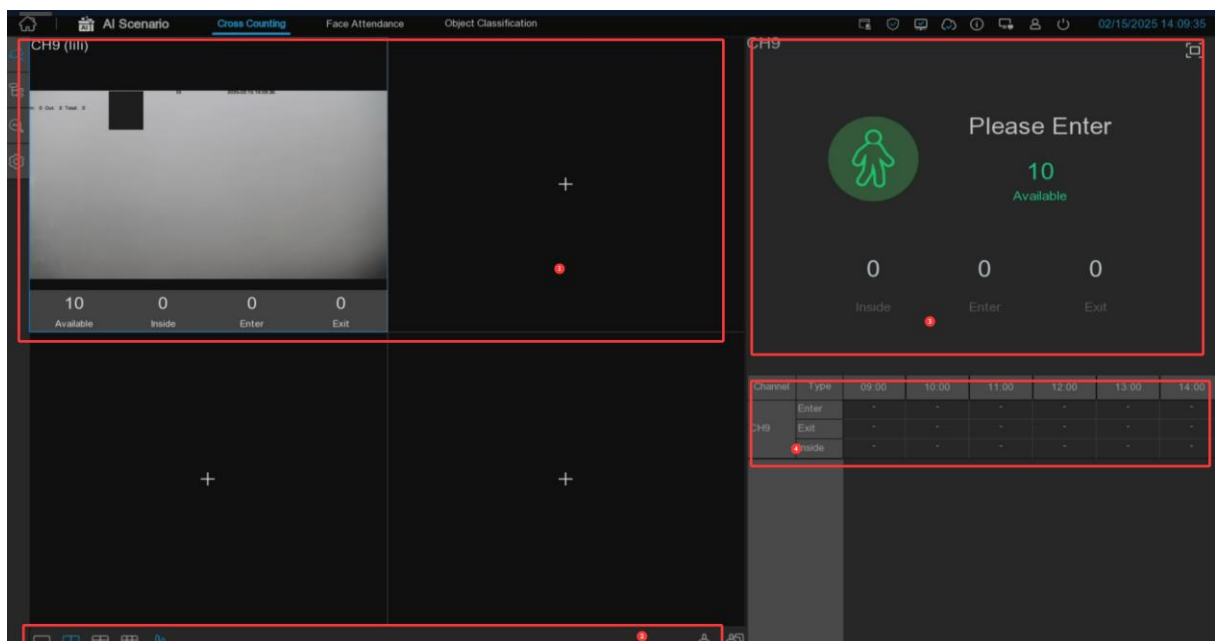
第 6 章 AI シナリオ

6.1 越境カウント シナリオ

これは越境カウント機能をベースにした AI アプリケーションで、レストラン、公園、動物園、劇場、博物館、駐車場などの公共施設における来客者・訪問者・車両の入退場管理をサポートします。

6.1.1 チャンネル

単一カメラによるカウントとリアルタイム結果の確認が可能です。主に小規模施設の単一入口に使用されます。



1. チャンネルの描画とリアルタイム越境統計データ。設定内のチャンネル一覧から描画チャンネルを選択できます。



利用可能：残り入場可能人数

内部：制御エリア内の現在の存在数量

入場：記録された入場数

退場：記録された退場数

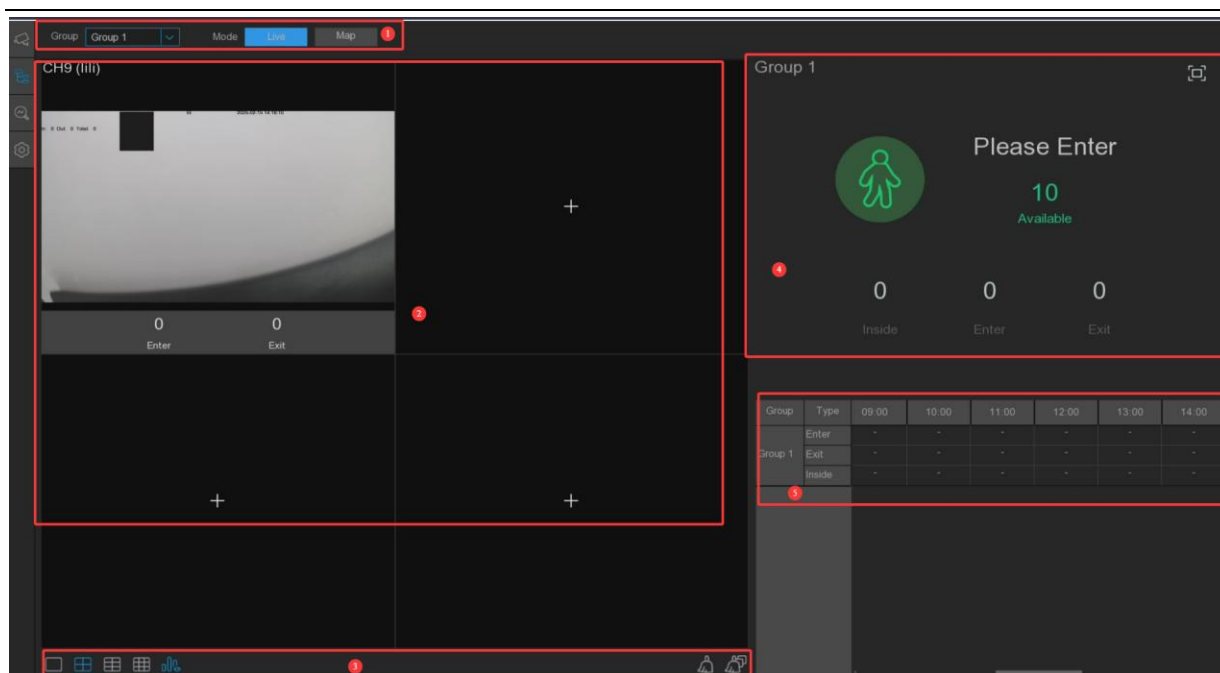
2. **描画ウィンドウ数の選択**：4 画面、6 画面、9 画面。チャンネル下の統計を表示／非表示にできます。現在選択中のチャンネル統計をクリアする、または全チャンネルの統計をクリアできます。

3. リアルタイムカウントデータ情報。クリックすると全画面で合計統計を表示します。

4. 各チャンネルおよび各時間帯の入退場情報データ。

6.1.2 グループ

グループ別の統計とリアルタイム結果の確認が可能です。複数チャンネルの入口を持つ大型施設で主に使用され、複数カメラで監視します。



1. グループ欄から表示するグループ情報を選択できます。「ライブ」ではチャンネルのプレビュー画面と統計情報が、「マップ」ではマップ情報が表示されます。
2. チャンネルの描画とリアルタイム越境統計データ。設定内のグループから各グループの描画チャンネルを選択できます。



入場：記録された入場数

退場：記録された退場数

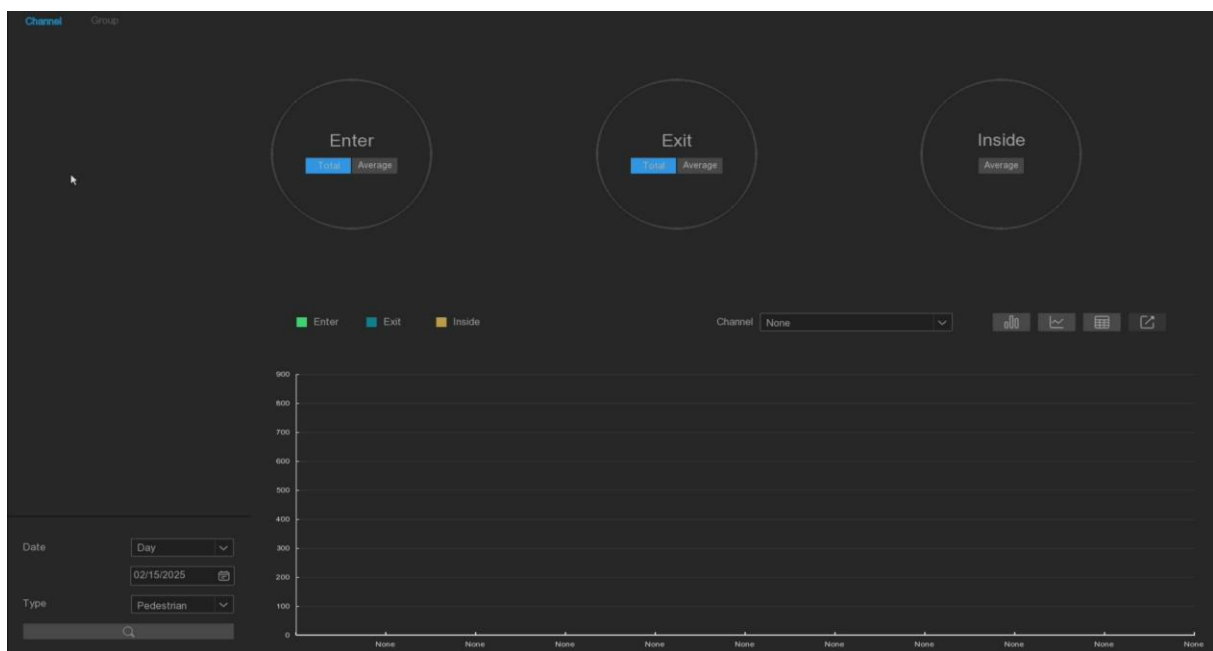
2. **描画ウィンドウ数の選択：**4 画面、6 画面、9 画面。チャンネル下の統計を表示／非表示にできます。現在選択中のチャンネル統計または全チャンネルの統計をクリアできます。
3. リアルタイムカウントデータ情報。クリックすると全画面で合計統計を表示します。

利用可能：残り入場可能人数

内部：制御エリア内の現在の存在数量

4. 各グループおよび各時間帯の入退場情報データ。
5. マップ情報の設定。クリックしてマップ画像を追加、マップ上の IPC ダイアグラムの位置を設定、現在のグループのマップ情報と統計情報を全画面表示できます。

6.1.3 検索



チャンネルとグループをそれぞれ検索できます。検索したいチャンネルまたはグループを選択し、検索期間を日・週・月・年で設定して、検索対象タイプを選択します。検索アイコンをクリックすると、結果がウィンドウ右側に表示されます。

6.1.4 設定

Advertising Mode

Advertising Mode ☐ Keep Aspect Ratio ☒

Cycle Dwell Time Image File(s)

This feature allows you to set the advertising pictures and choose their display mode (stretched or original aspect ratio). You can also specify the advertising Cycle Dwell Time to control the slideshow frequency.

Channel

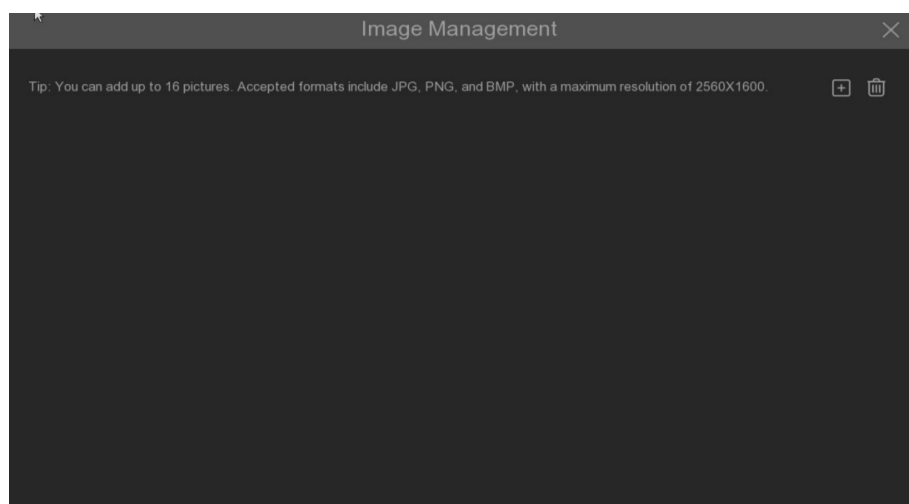
Channel	Enable	Max. Capacity	Settings	Alarm	Schedule
CH1 (529+4210poe)	☐	10			
CH2 (30kq824)	☐	10			
CH3 (Camera)	☐	10			
CH4 (Camera823)	☐	10			
111222	☐	10			
(30kq)	☐	10			
Ch	☐	10			

Group

Group	Add IP Camera	Enable	Max. Capacity	Start Time	End Time	Type	Alarm
Group 1		☒	10	00:00:00	23:59:59	Pedestrian	
Group 2		☐	10	00:00:00	23:59:59	Pedestrian	
Group 3		☐	10	00:00:00	23:59:59	Pedestrian	
Group 4		☐	10	00:00:00	23:59:59	Pedestrian	
Group 5		☐	10	00:00:00	23:59:59	Pedestrian	
Group 6		☐	10	00:00:00	23:59:59	Pedestrian	
Group 7		☐	10	00:00:00	23:59:59	Pedestrian	
Group 8		☐	10	00:00:00	23:59:59	Pedestrian	

Apply

1. 広告モードを有効にするには、「広告モード」にチェックを入れます。画像再生の表示時間を秒単位で設定します（デフォルトは 3 秒）。「ImageFile」ボタンをクリックして USB ディレクトリから広告用画像をインポートします。jpg、png、bmp 形式で最大 16 枚、解像度は 2560×1600 以下に対応しています。

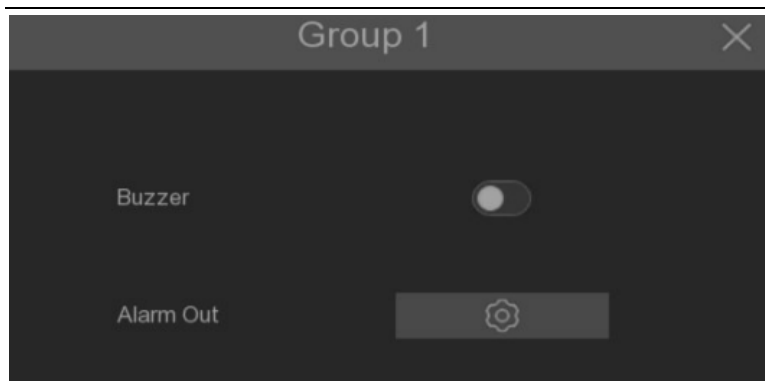


「追加」をクリックして画像を追加し、「削除」をクリックして追加した画像を 1 枚ずつ削除します。

元のアスペクト比で画像を表示するには「アスペクト比を維持」を選択してください。全画面に引き延ばして表示するには、チェックを外します。チャンネルモードまたはグループモードで、ページ右上の全画面ボタンをクリックすると、広告画像とリアルタイムカウントデータが表示されます。

2. 「有効」チェックボックスで、チャンネルページに表示するチャンネルを選択します。

チャンネル内のカメラが AI に対応している場合、設定アイコンとアラームアイコンが青色になります。AI に対応していない場合、アイコンはグレー表示になります。各チャンネルの「定員」（入場可能な最大人数）を設定します。「設定」をクリックして検知条件を設定し、「アラーム」をクリックして人数が 0 になった際のアラーム動作を設定します。



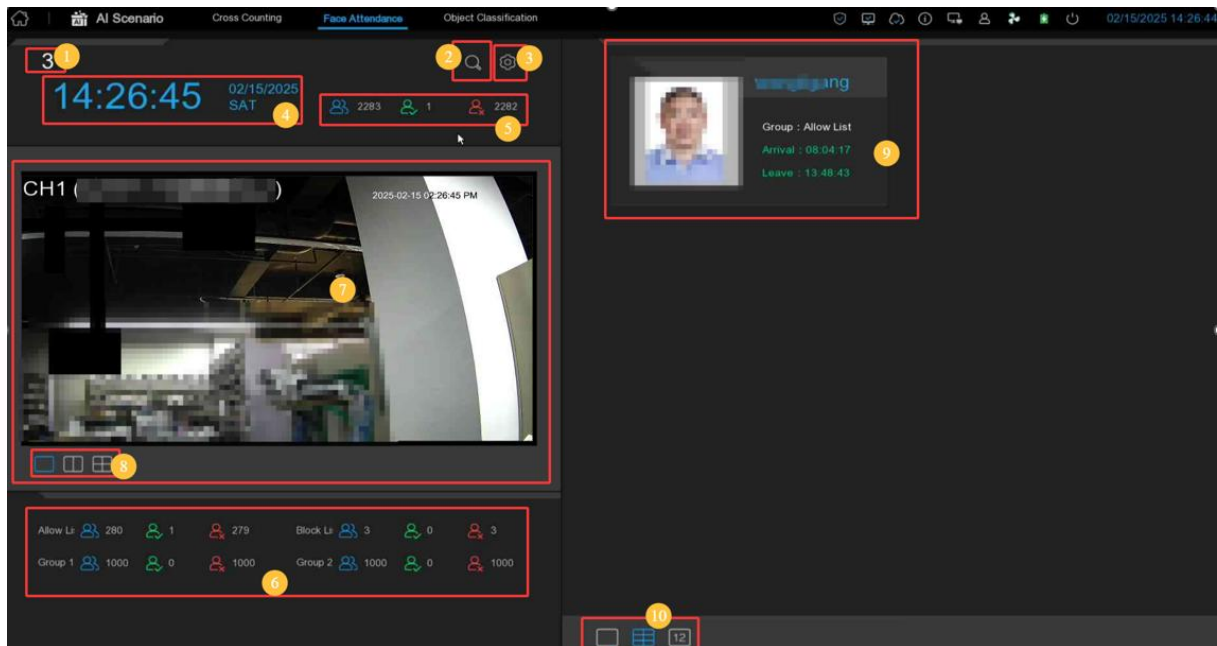
ブザー：利用可能人数が 0 になった際のブザー鳴動時間を秒単位で設定します。

アラーム出力：NVR が外部アラーム機器の接続に対応している場合、アラーム発生時の外部アラーム機器を設定します。

3. 「追加」（IP カメラアイコン）をクリックして、グループにチャンネルを追加します。グループは最大 8 つ設定できますが、1 つのグループには 1 チャンネルのみ追加できます。チャンネル表示モードで有効になっているチャンネルは、グループに追加できません。「有効」ボックスにチェックを入れてグループを有効化します。グループごとの定員数、開始時刻、終了時刻、検知タイプ（人物・車両・モーション）を設定できます。「アラーム」の設定をクリックして、人数が 0 になった際のアラーム動作を設定します。

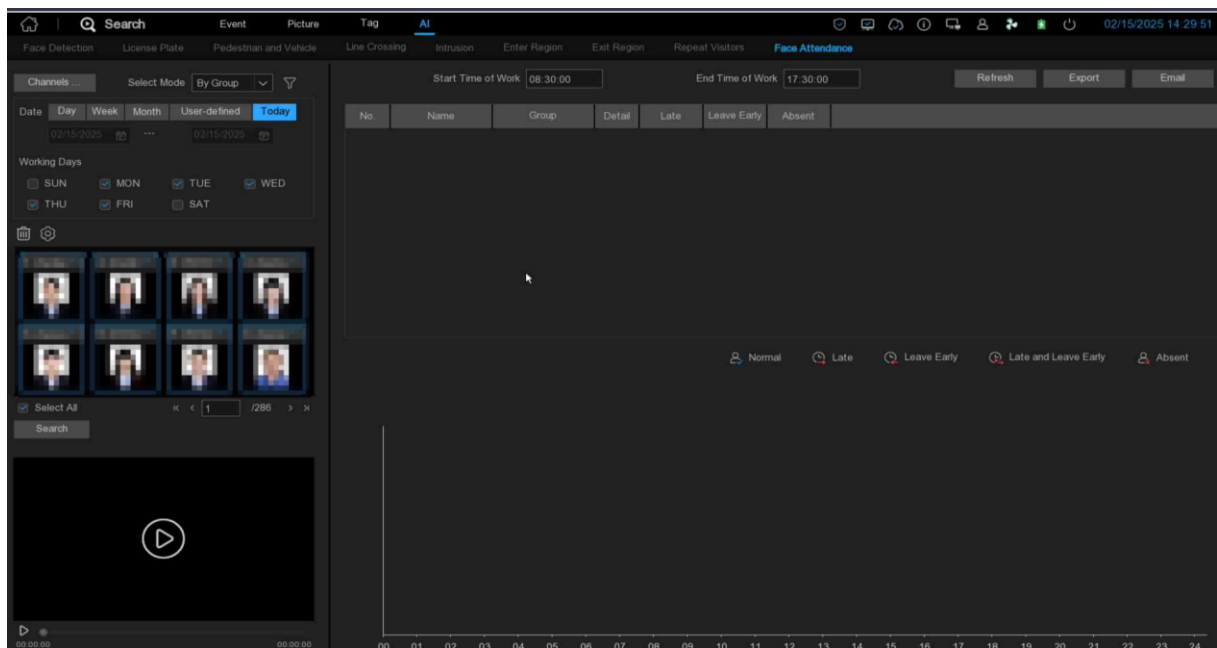
6.2 顔認証勤怠

全画面表示により、顔勤怠をリアルタイムで記録し、勤怠結果をリアルタイムで確認できます

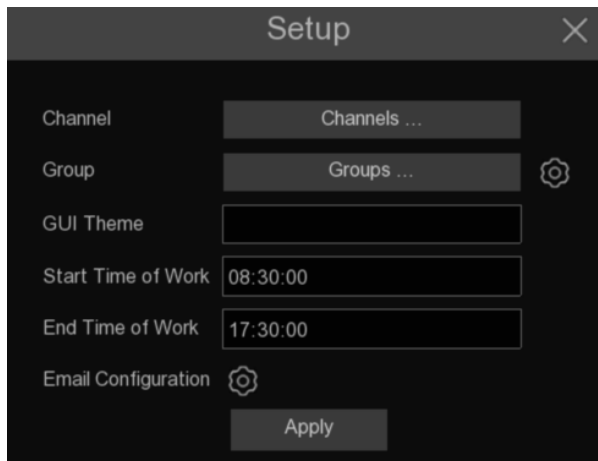


1. 顔勤怠インターフェーステーマ。

2. をクリックすると、顔勤怠の再生・検索画面に入ります。デフォルトで顔グループ内の顔写真が選択されます。



3. クリック：  をクリックすると、設定画面に入ります。



チャンネル： 勤怠チャンネルを選択できます

グループ： 勤怠対象の顔グループを選択します。右クリックすると AI 顔データベースの設定画面がポップアップ表示されます。

GUI テーマ： インターフェーステーマ

勤務開始時刻： 稼働時間を設定します。

勤務終了時刻： 終了時刻を設定します。

メール設定： 顔勤怠結果の送信先メールボックスを設定します。をクリックして顔勤怠結果のメール送信設定を行います。

有効：メールで顔勤怠結果を送信する機能を有効にします（勤怠結果はテーブルファイルで送信されます）。

メール：顔勤怠結果メールの送信時刻を設定します。送信時刻の右側をクリックするとシステムメール設定画面がポップアップ表示され、システムメールを設定できます。

モード：顔勤怠結果の送信モード：日、週、月

日：1 日 1 回送信。前日の顔勤怠結果を送信します。

週：週 1 回送信。メールを送信する曜日を選択できます。送信されるのは、メール送信日より 1 週間前までの勤怠結果です。例：

月曜日にメールを送信する場合、勤怠記録は月曜日～日曜日分が対象となります。

火曜日にメールを送信する場合、勤怠記録は前週火曜日～今週月曜日分が対象となります。

月：月 1 回送信。毎月の送信日を選択できます。送信されるのは、メール送信日より 1 ヶ月前までの勤怠結果です。例：

毎月 10 日にメールを送信する場合、勤怠記録は先月 10 日～今月 9 日分が対象となります。

例えば 5 月 10 日にメールを送信した場合、送信される勤怠記録は 4 月 10 日～5 月 9 日分です。

稼働日：稼働日を選択します。「毎日を稼働日とする」を選択することも可能です。

適用：「適用」をクリックして設定を保存します。

既定：勤怠メールの設定をデフォルトに戻します。

4. 現在の日時を表示

5. 現在の合計勤怠人数の状況。

必要な勤怠人数の合計。



未勤怠数

6. 各顔グループの勤怠状況

7. チャンネル描画。内部のチャンネル一覧からチャンネルを選択できます。

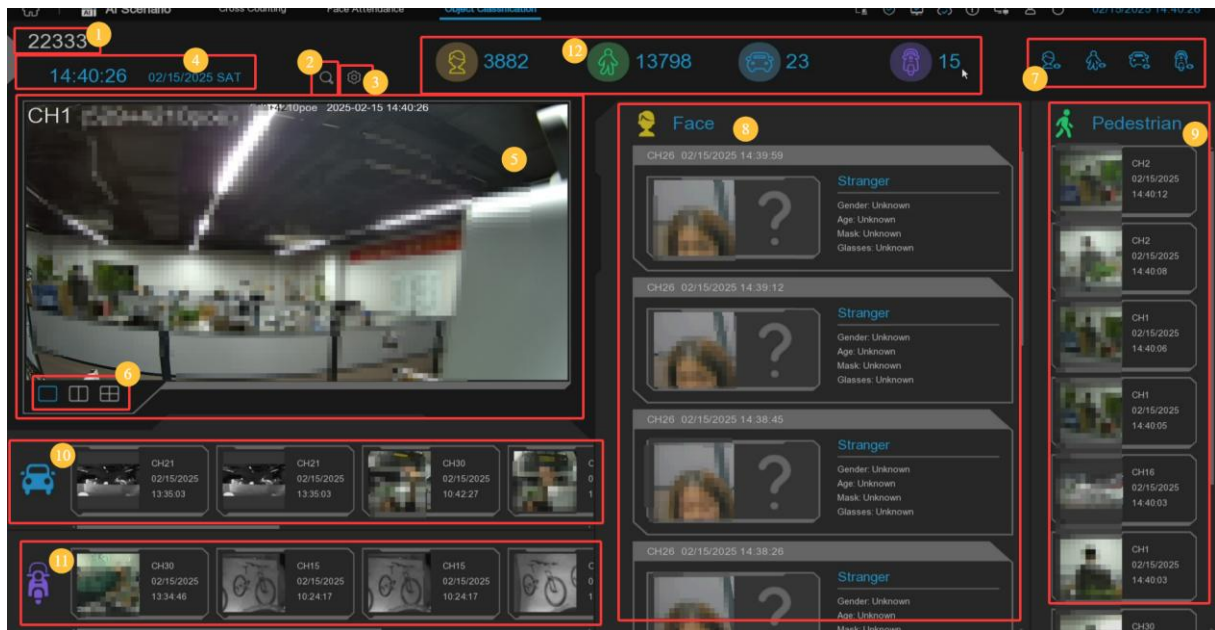
8. **表示ウィンドウ数の選択**：1 画面、2 画面、4 画面。

9. 顔のリアルタイム勤怠プッシュ。勤怠の顔写真、氏名、所属グループ名、出勤時刻、退勤時刻を表示します。

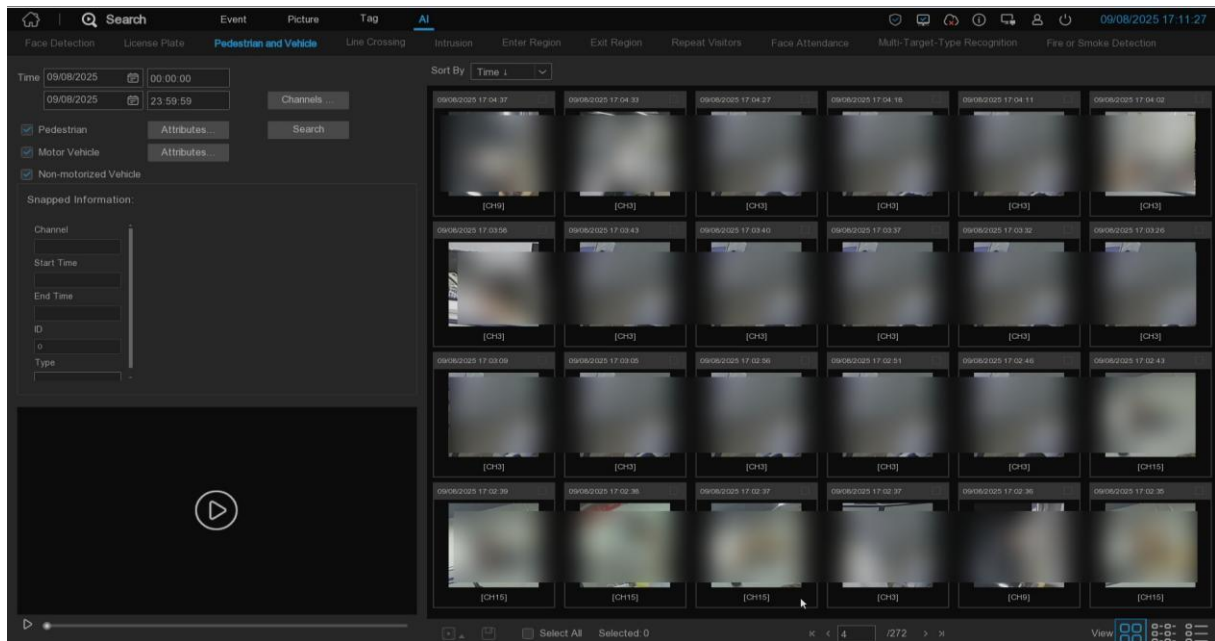
10. インターフェースには顔勤怠プッシュの最大表示数も表示されます：1 件、6 件、12 件。

6.3 非動力車統計

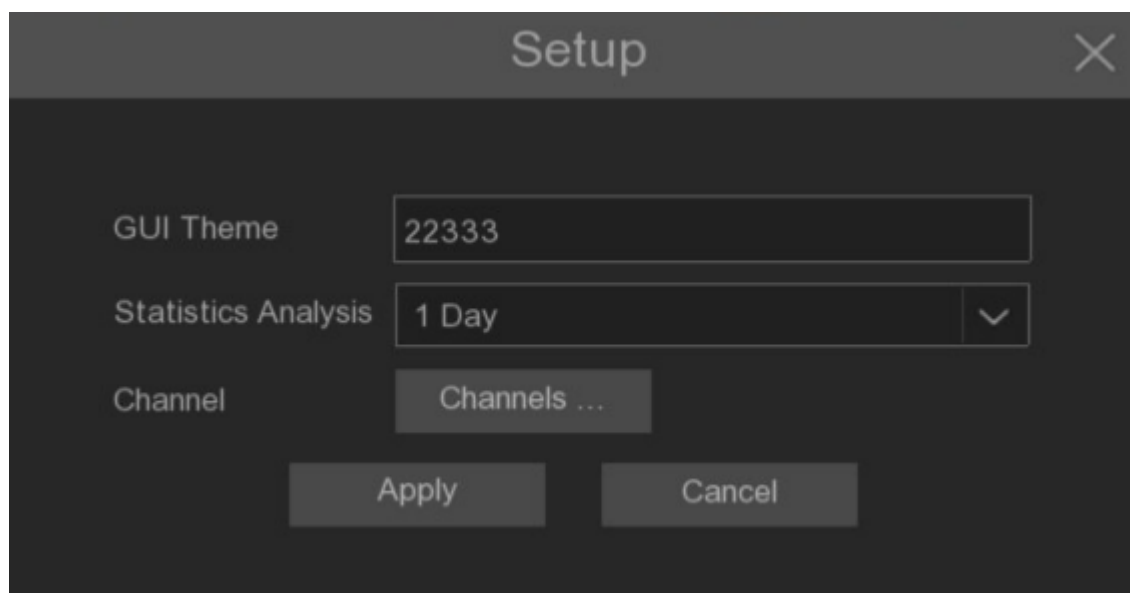
顔・人体・自動車・非動力車の検知シーンをインターフェース全画面で表示し、検知結果をリアルタイムで確認できます。



1. 非動力車統計のインターフェーステーマ。
2. をクリックすると、人体モデルの再生・検索画面に入ります。



3. クリック  をクリックすると、設定画面に入ります。



GUI テーマ：インターフェーステーマ。

統計：統計期間。1 日、2 日、3 日、4 日、5 日、6 日、7 日、週、月、年から選択可能。

チャンネル：チャンネルを選択して統計対象チャンネルを指定できます。

4. 現在の日時を表示します。

5. チャンネル描画。内部のチャンネル一覧から描画チャンネルを選択できます。

6. 描画ウィンドウ数の選択：1 画面、2 画面、4 画面。

7. リアルタイムプッシュ表示の切り替え。アイコンをクリックすると、対応する検知結果のリアルタイムプッシュを表示／非表示にできます。

8. 顔検知のリアルタイムプッシュ。検知された顔写真、氏名、所属グループ名を表示します。

9. 人体検知のリアルタイムプッシュ。検知された人体画像、検知チャンネル、検知時刻を表示します。

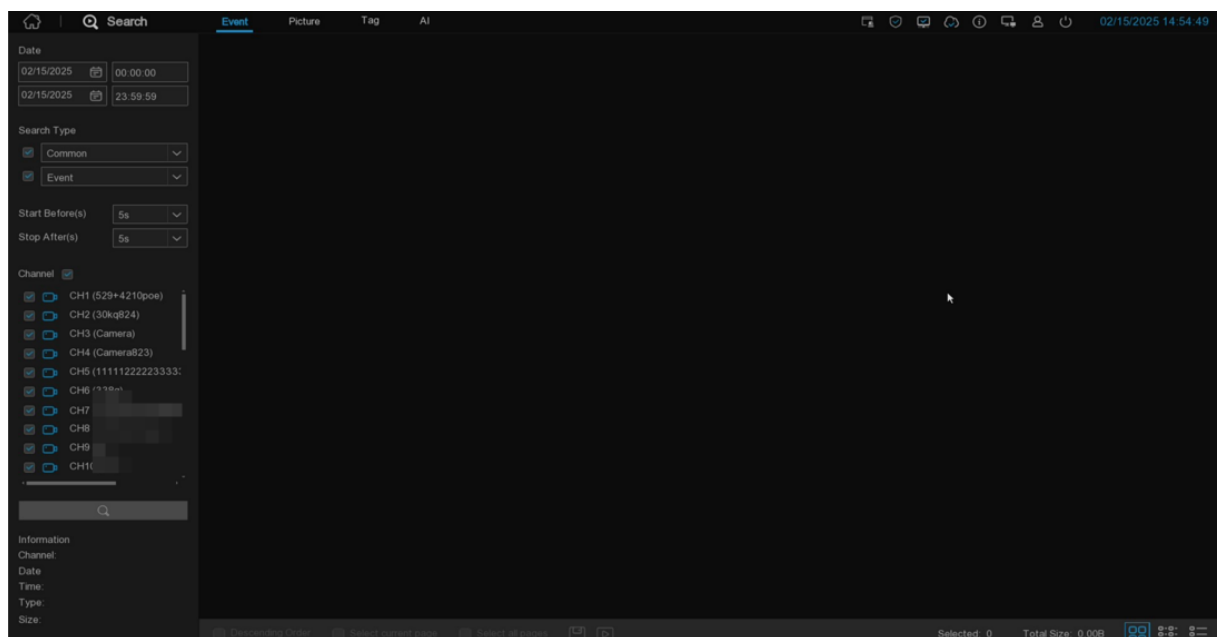
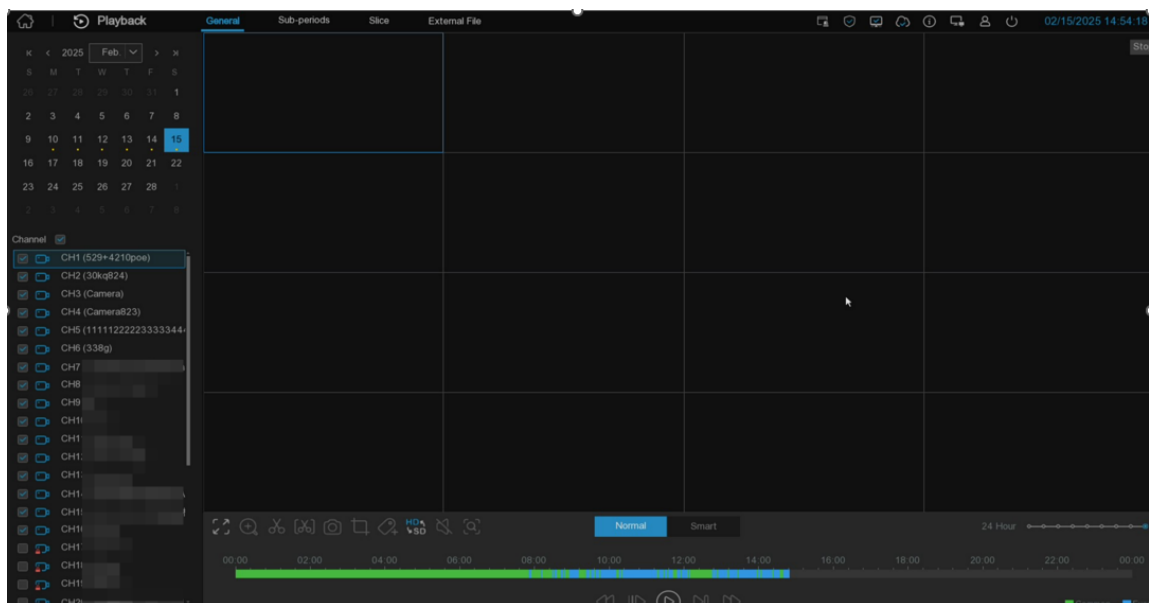
10. 自動車タイプ検知のリアルタイムプッシュ。検知された自動車の画像、検知チャンネル、検知時刻を表示します。

11. 非動力車タイプ検知のリアルタイムプッシュ。検知された非動力車の画像、検知チャンネル、検知時刻を表示します。
12. キャプチャされた顔・人体・自動車・非動力車の台数統計。

第 7 章 再生検索・バックアップ

7.1 検索機能の使い方

システムメニューのアイコンをクリックして再生、またはアイコンをクリックして検索し、検索・再生インターフェースに入ります。



1. 検索オプション：システムは多様な検索・再生方式を提供します：一般、イベント、スライス再生、スマート、タグ再生、外部ファイル、画像、スライス再生、AI。
2. 検索日付：再生する日付を選択します。
3. チャンネル選択：検索・再生するチャンネルを選択します。
4. 映像再生コントロール：動画の再生を制御します。

映像を全画面にズーム。

 高速再生 (x2、x4、x8、x16)

 スローダウン (1/2、1/4、1/8、1/16 倍速)

映像を再生。

映像を停止。

コマ送り再生：クリックして 1 コマずつ再生します。

 早送り (x2、x4、x8、x16)

電子ズーム：クリックしてズームモードに入り、再生中にカメラ映像をクリック&ドラッグして選択エリアを拡大表示します。右クリックで通常再生に戻ります。

映像クリップ：USB ストレージに映像をすばやく保存します。

バックアップ映像の時間帯を手動入力して USB ストレージに保存します。

クリップ映像を保存します。

音量コントロール：スクロールバーをドラッグして音量を増減します。

スクリーンショット：USB ストレージデバイスに画像をキャプチャします。分割画面表示中は、キャプチャしたいチャンネルにマウスカーソルを合わせてからアイコンをクリックして保存します。

スクリーンショット：映像画面の任意エリアをキャプチャして USB ストレージに画像形式で保存、または顔をキャプチャして顔データベースにインポートできます。

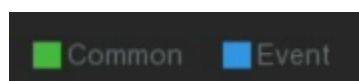
メインストリームとサブストリームの映像を切り替えます。

タグ追加：クリックしてタグを追加します。定義ウィンドウが表示され、タグ名を設定できます。

POS 情報表示切り替え：POS アラームがトリガーされた際、スイッチをオンにすると再生中に POS 関連情報が表示され、オフにすると非表示になります。

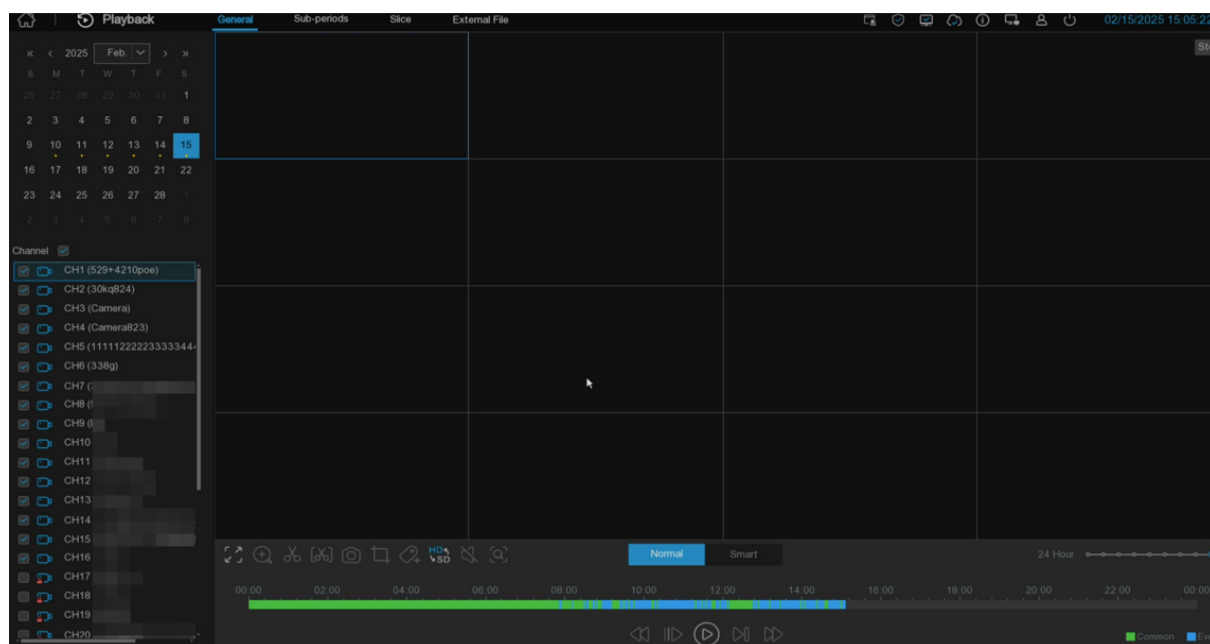
タイムライン：連続動画は緑と青のバーで表示され、異なる録画タイプを表します（凡例は画面右下に表示）。時間フレームオプションで表示する時間幅を拡大・縮小できます。

映像の種類によって異なる色で表示されます：



映像再生状態：動画再生の状態を表示します。

7.1.1 再生画面の検索と録画再生



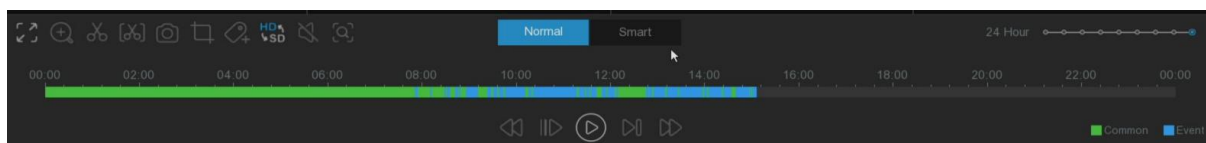
1. カレンダーで検索日付を選択します。
2. 検索チャンネルを選択します。
3. 検索結果は 00:00～24:00 のタイムライン上に表示されます。
4. アイコンをクリックして再生を開始します。
5. 動画再生コントロール上のアイコンで再生を制御します。

6. 選択 :  またはマウスホイールで時間幅の拡大縮小ができます。

7. 再生中に映像をすばやく保存したい場合は、映像クリップバックアップ機能を使用できます。

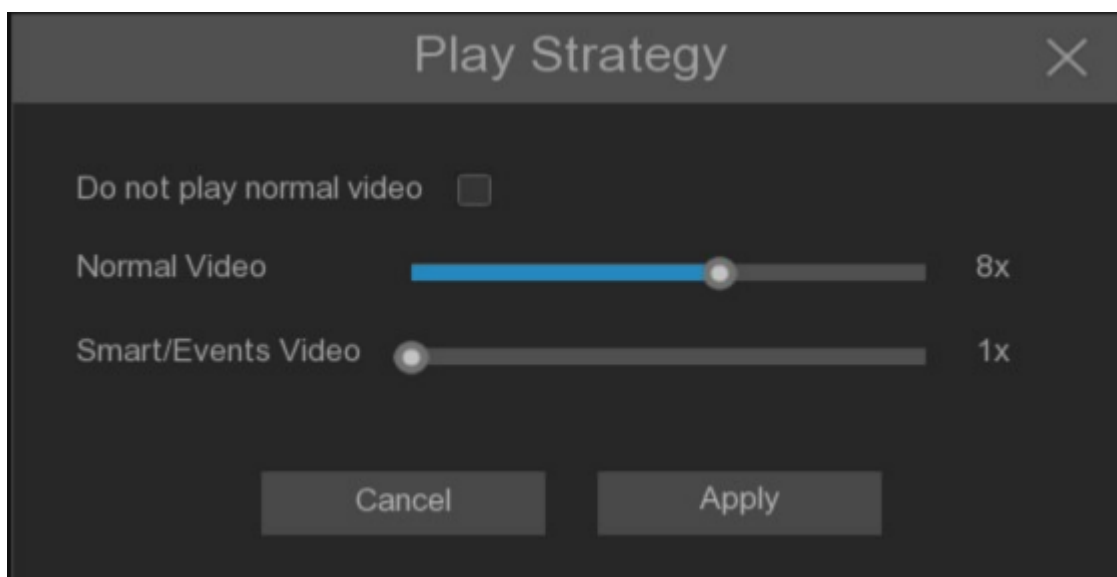
8. クリック : 追加  カスタムタグで現在チャンネルの現在時刻にマークを付けます。追加完了後、タグ再生画面で前の「マーク」にジャンプできます。

7.1.1.1 スマートモード



スマート検索を選択後、「歩行者」「車両」「動物」ボタンをクリックします。映像プログレスバーにその日の人物・車両・動物のアラーム録画がある箇所が青くハイライト表示されます。人物・車両タイプのアラーム録画には、歩行者&車両検知・侵入検知・エリア進入・エリア退出・越境検知・モーション検知でインテリジェント検知された映像が含まれます。動物検知は特定のカメラモデルのみ対応しており、モーション検知でインテリジェント検知された動物イベントの映像をキャプチャします。

「ポリシー再生」ボタンをクリックして再生ストラテジーを調整します。



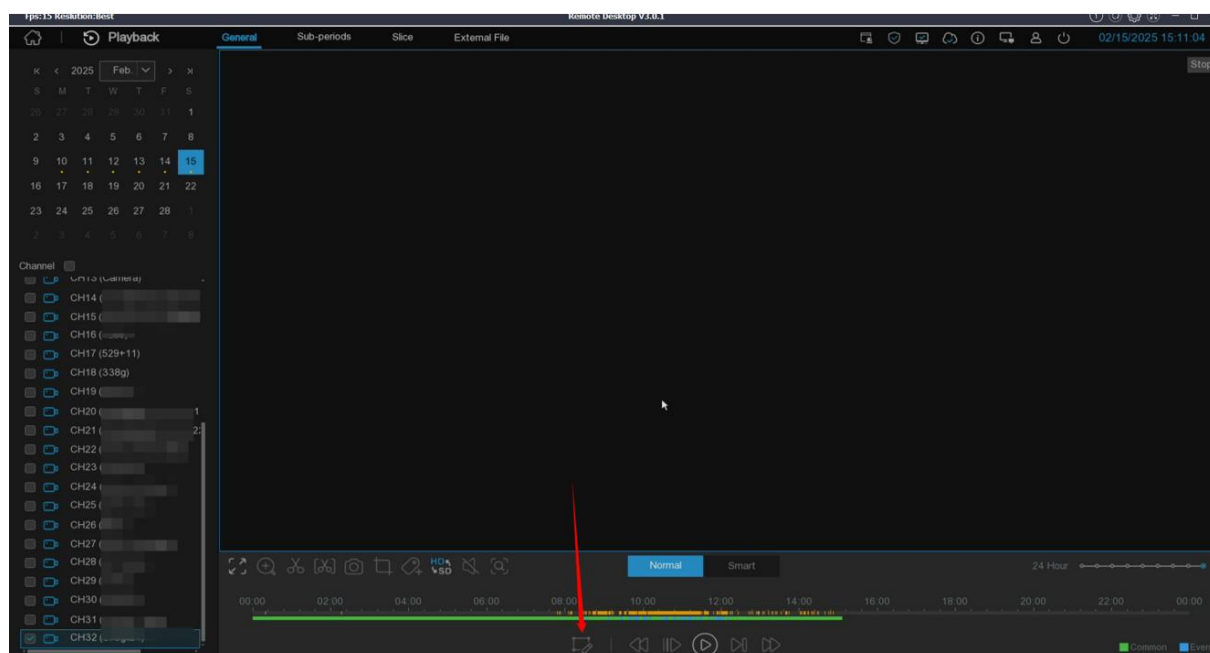
通常映像を再生しない：チェックを入れると、その日の通常イベント映像は再生されず、スマート/イベント映像で設定した倍速で人物検知アラームイベント映像のみ再生されます。

通常映像：「通常映像を再生しない」にチェックを入れていない場合、通常イベント映像の再生倍速を設定できます。「通常映像を再生しない」にチェックを入れると、ポップアップが表示されます。

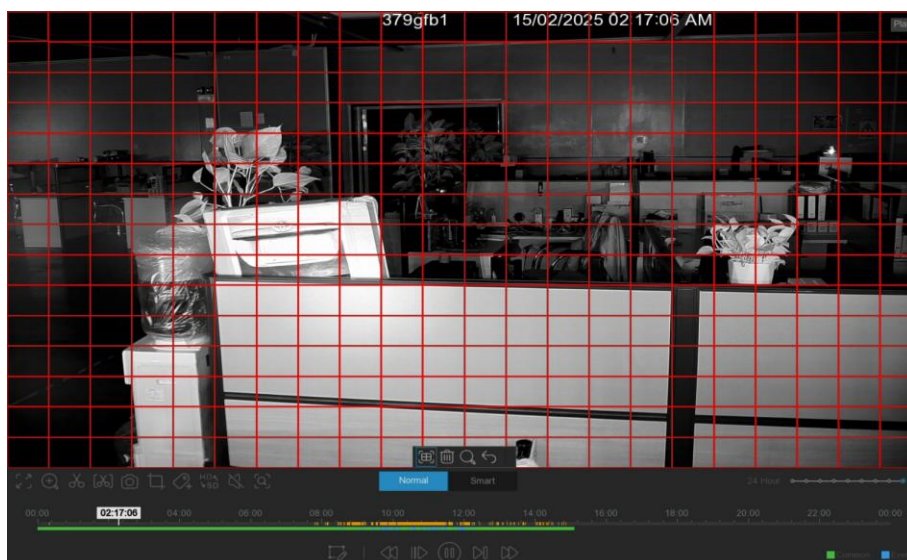
スマート/イベント映像：人物検知アラームイベント映像の再生倍速を設定します。

注意：スマートモードでは、単一チャンネルのメインストリーム映像の検索再生のみ対応しています。

7.1.1.2 動体検索

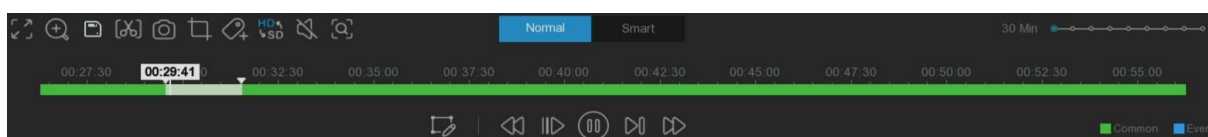


デバイスはモーション検索タイプを検知し、プログレスバー下のタイムバーに黄色で表示されます。クリックするとモーション検索の領域設定インターフェースに入ります。

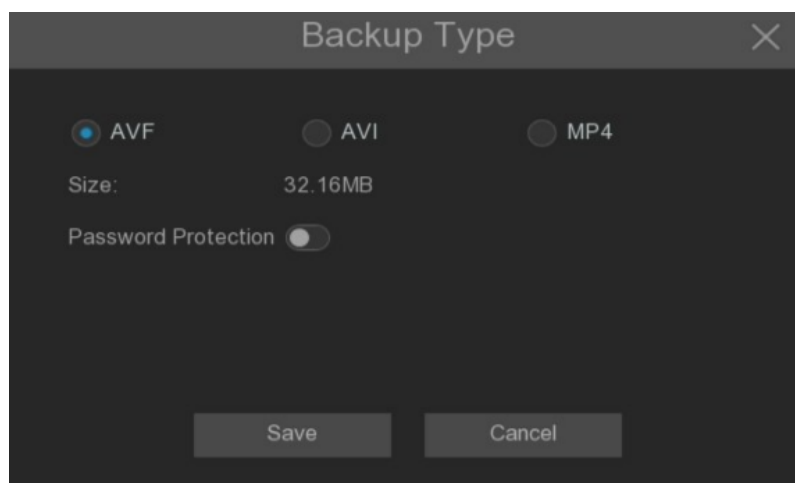


赤いボックスが選択エリアです。そのエリア内で画像に変化があった場合、検索されてタイムバーに黄色でマークされます。

7.1.1.3 ビデオクリップバックアップ

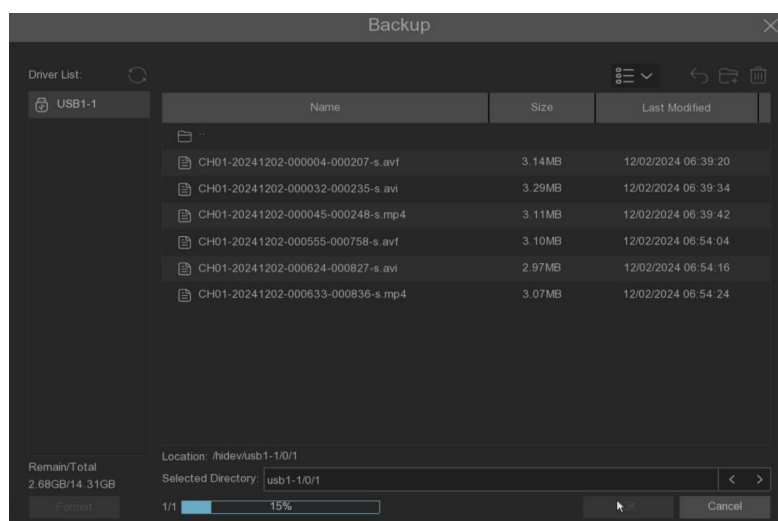


1. NVR に USB ディスクを挿入します。
2. バックアップするチャンネルを選択して映像再生を開始します。
3. クリップアイコンをクリックします。
4. タイムラインでビデオクリップの開始位置にマウスカーソルを移動します。
5. 左マウスボタンを押しながらカーソルをビデオクリップの終了位置までドラッグします。
6. アイコンが変わったら、アイコンをクリックしてビデオクリップを保存します。
7. バックアップファイルの形式を選択し、保存アイコンをクリックしてビデオクリップを保存します。USB ストレージに十分な空き容量があることを確認してください。

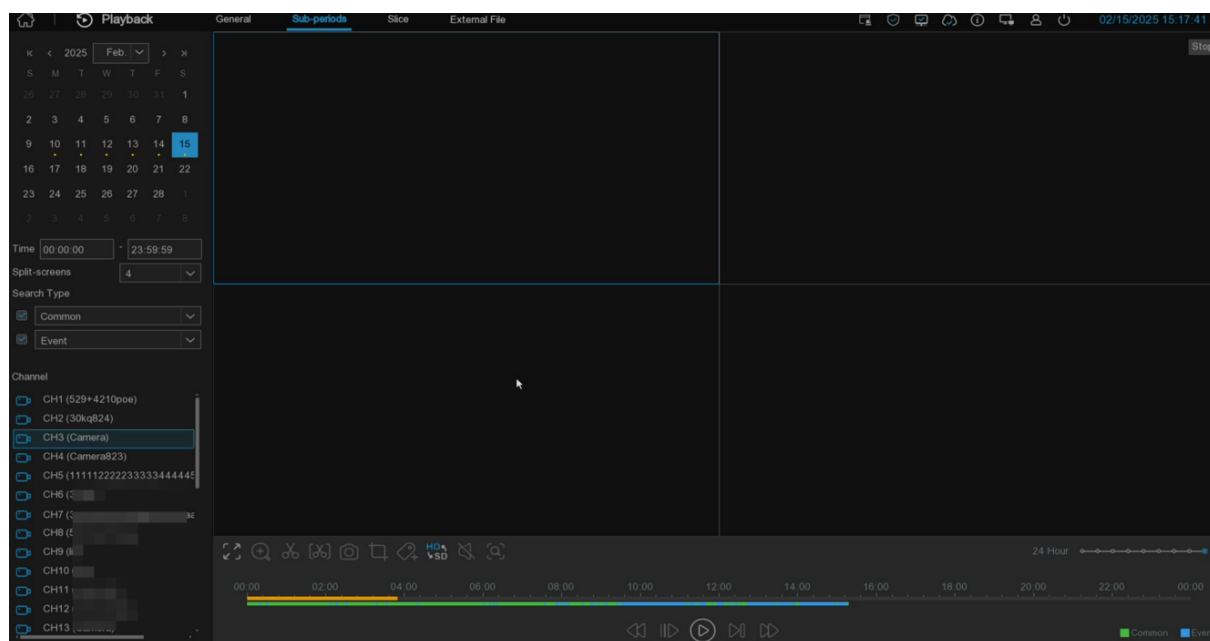


8. バックアップメニューページが表示されます。保存先ディレクトリを選択してください。

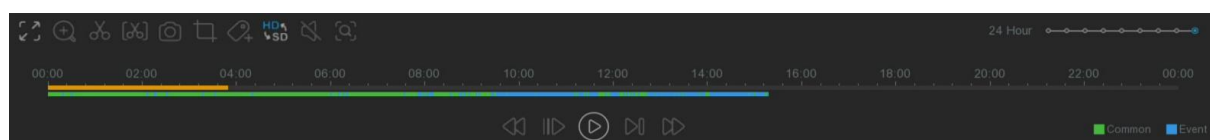
9. 「OK」をクリックしてバックアップを開始します。ウィンドウ下部のプログレスバーでバックアップの進行状況を確認できます。



サブピリオド再生では、単一チャンネルの複数期間のイベント映像を再生できます。検索された映像期間は選択した分割画面モードに従って分割されます。例えば、検索されたイベント映像が60分で分割画面が4分割の場合、各分割画面は15分ずつ再生されます。



1. 検索する日付と時刻を選択します。
2. 映像チャンネルの分割再生数を選択します。
3. 検索する映像の種類を選択するか、「すべて」を選択します。
4. ストリーム種類と検索チャンネルを選択します（チャンネルは1つのみ）。
5. 再生アイコンをクリックして再生を開始し、映像再生コントロールのアイコンで再生を制御します。
6. 特定の分割画面を左クリックすると、その映像分割画面の時間帯がタイムラインに表示されます。タイムライン上部のカラーバーはクリックした映像分割画面の時間幅を、下部のカラーバーは検索済み映像全体の時間幅を示します。
7. 特定の分割画面を左クリックすると、その映像分割画面の時間帯がタイムラインに表示されます。タイムライン上部のカラーバーはクリックした映像分割画面の時間幅を、下部のカラーバーは検索済み映像全体の時間幅を示します。



7.選択 :  またはマウスホイールで時間幅の拡大縮小ができます。

7.1.3 スライス再生

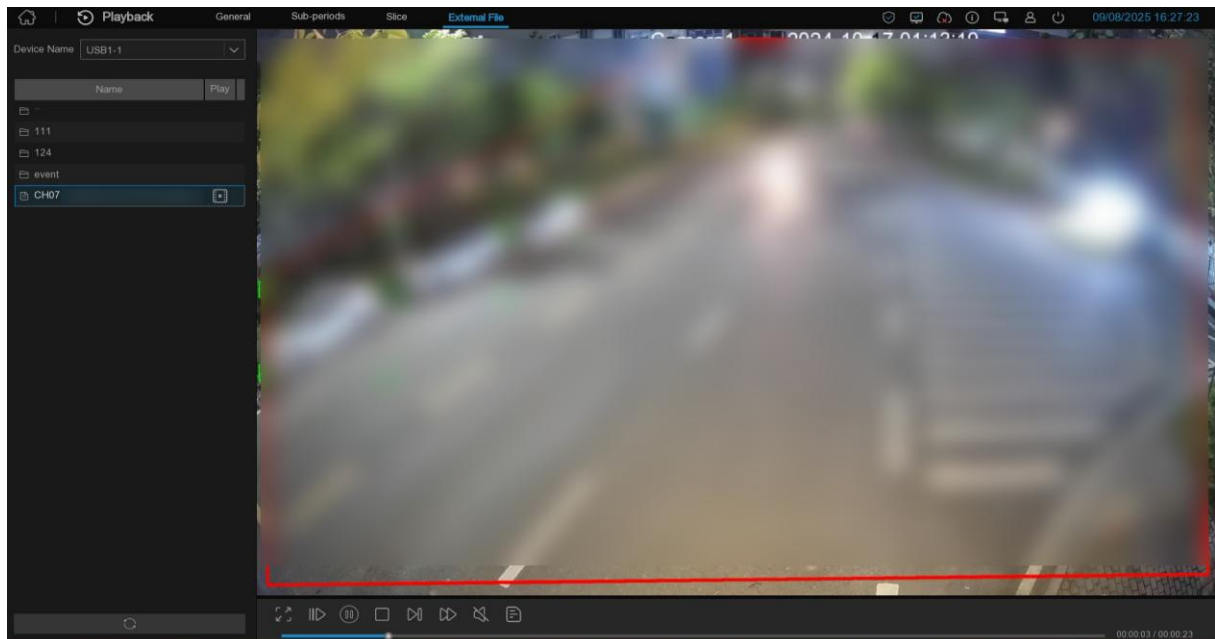
このページでは、検索した映像を 1 分単位で精細に表示します。

コードストリーム、チャンネル、月、日、時刻を選択すると、現在の時刻の前後 60 分が右側に 1 分刻みで表示されます。左下隅をクリックすると簡易再生、クリックすると通常再生に移行します。

表示モード：チャンネル（チャンネル）を選択した場合、検索前にチャンネルのみ選択できます。時刻（時刻）を選択した場合、検索前に時刻のみ選択できます。

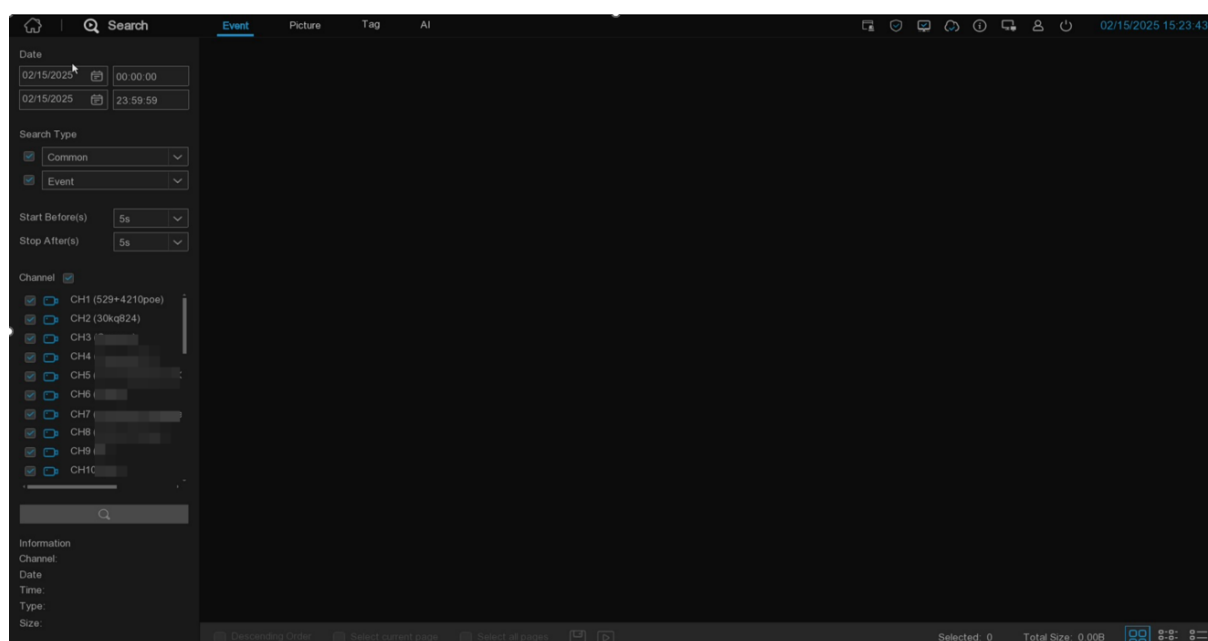
表示モード：チャンネル（チャンネル）を選択した場合、検索前にチャンネルのみ選択できます。時刻（時刻）を選択した場合、検索前に時刻のみ選択できます。

外部 USB ディスク内の映像ファイルを再生します。左側のファイルリストで選択し、再生ボタンをクリックして再生します。



7.1.5 イベント 検索・再生・バックアップ

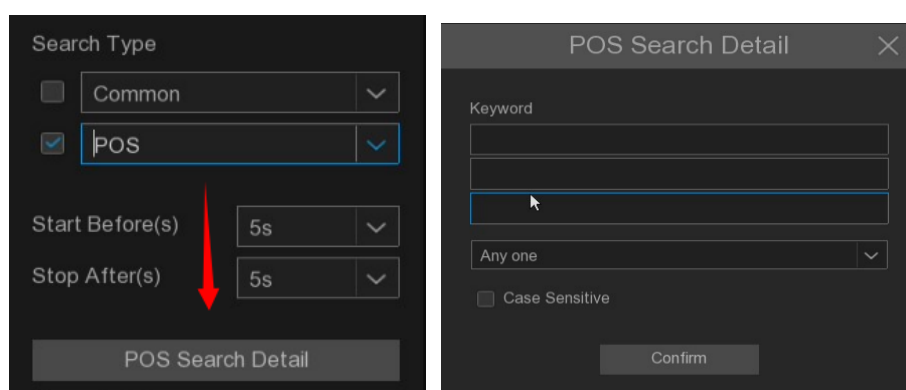
イベント検索ページから、各イベント動画のリストを表示できます。各イベントのチャンネル、開始・終了時刻、容量、イベントタイプが詳細表示されます。



検索する日付と時刻を選択します。

1. 検索する日付と時刻を選択します。
2. 注意：POS イベントタイプの再生を個別に選択すると、POS イベント再生のフィルタリング・検索が有効になります。

注意： POS イベントタイプの再生を個別に選択すると、POS イベント再生のフィルタリング・検索が有効になります。



POS 検索詳細： POS イベント再生のフィルタリング条件を設定します。

Any one (いずれか) : いずれか 1 つのキーワードグループに一致する POS イベントが検索でフィルタリングされます。

All of (すべて) : 3 つのキーワードグループすべてに一致する POS イベントのみが検索でフィルタリングされます。

All of (すべて) : 3 つのキーワードグループすべてに一致する POS イベントのみが検索でフィルタリングされます。

イベントの再生開始までの時間と終了時間を選択します。

3. 検索するチャンネルを選択するか、すべてのチャンネルを選択します。

4. 検索アイコンをクリックして検索を実行します。

5. 検索条件に一致するイベントがサムネイル形式で表示されます。イベントをダブルクリックすると、そのイベント映像がすぐに再生されます。

6. メニュー右下のアイコンをクリックするとイベントページ間を移動したり、ページ番号を入力して移動できます。

7. 画面右下のアイコンをクリックして一覧表示に切り替えます

8. 画面右下のアイコンをクリックして一覧表示に切り替えます

リスト表示 : イベントがリスト形式で表示されます。

詳細表示 : イベントの詳細を表示できます。

詳細表示モードでは、映像イベントがハードディスクに上書きされないようにロックできます。

アイコンをクリックしてロック、またはアイコンをクリックしてロックを解除します。

イベント上で左クリックすると、画面左下にそのイベントの情報が表示されます。

9. イベント上で左クリックすると、画面左下にそのイベントの情報が表示されます。

10. 選択：イベント番号前のチェックボックスでイベントを選択、「現在ページを選択」で現在ページの全イベントを選択、「全ページを選択」で全イベントを選択します。

11. 選択：イベント番号前のチェックボックスでイベントを選択、「現在ページを選択」で現在ページの全イベントを選択、「全ページを選択」で全イベントを選択します。

12. 選択したファイル数と合計サイズ情報が画面右下に表示されます。

13. ファイルを選択後、アイコンをクリックして USB ディスクに映像を保存するか、アイコンをクリックしてイベント再生コントロールウィンドウに入り映像を再生します。

7.1.6 画像検索

このページでは、ハードディスクに保存されたすべての画像を検索できます。



画像の検索・再生・バックアップ

1. 検索する日付と時刻を選択します。
2. 検索する画像キャプチャタイプを選択するか、「すべて」を選択します。
3. 検索するチャンネルを選択します。
4. アイコンをクリックして検索を開始します。
5. 検索条件に一致する画像がサムネイル形式で表示されます。サムネイル右上のボタンをクリックして画像を表示し、サムネイル中央のボタンをクリックすると画像の前後の映像を再生します。
6. メニュー右下のアイコンをクリックするとイベントページ間を移動したり、ページ番号を入力して移動できます。

7. 画面右下のアイコンをクリックして一覧表示を切り替えます。

サムネイル表示：イベントの画像を表示します。

リスト表示：画像がリストに表示されます。

詳細表示：画像の詳細を表示します。

8. 画像の 1 つを左クリックすると、画面左下に画像情報が表示されます。

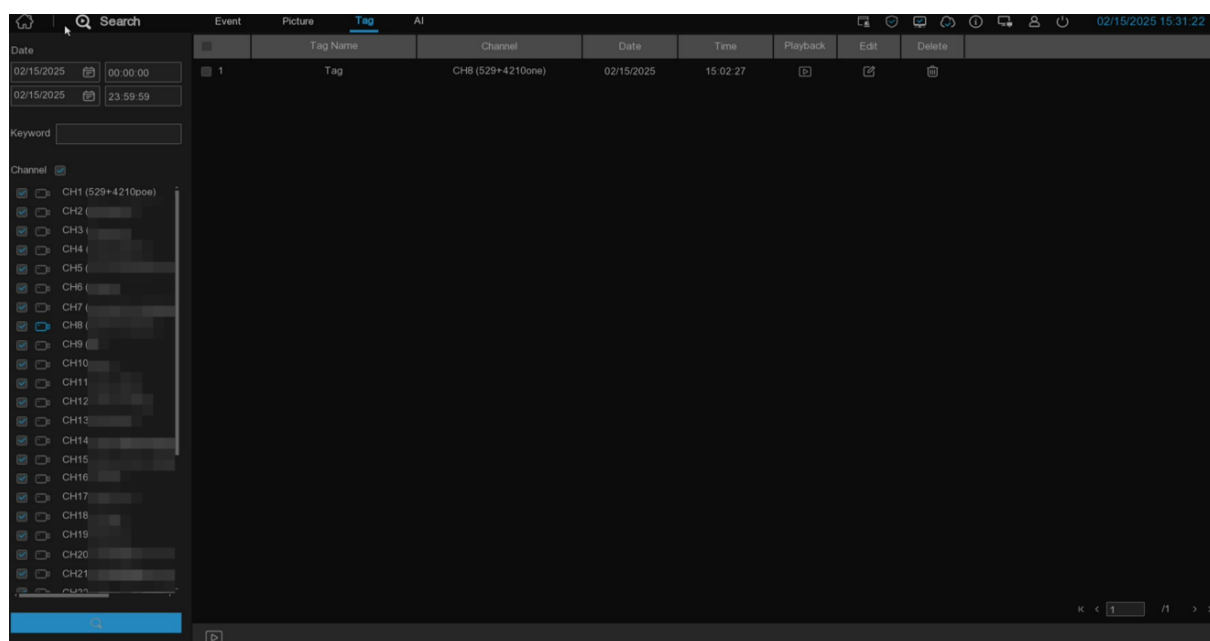
9. 画像番号前のチェックボックスを選択して画像を選択します。「現在のページを選択」のチェックボックスで現在ページの全画像、「全ページを選択」で全画像を選択できます。

10. 選択したファイル数と合計サイズが画面右下に表示されます。

11. ファイルを選択後、アイコンをクリックして USB ディスクに画像を保存するか、アイコンをクリックしてイベント画像再生インターフェースに入ります。

7.1.7 タグ再生

このページで追加したすべてのタグを確認し、編集・再生・削除できます。時刻とチャンネルを選択してクリックし、検索を完了します。ラベルでマークされた位置にジャンプして再生します。

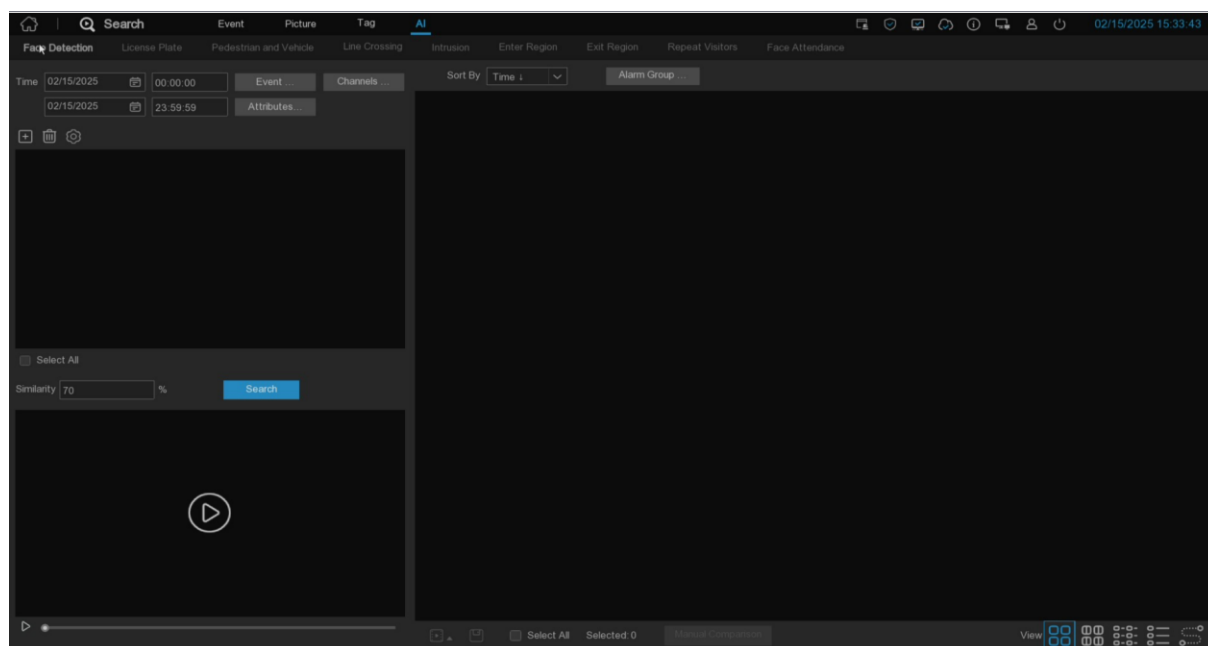


キーワード：ラベル名にキーワードを入力して正確に検索します。

7.1.8 AI

7.1.8.1 顔

日付、時刻、チャンネル、顔属性を選択後、「検索」をクリックすると、指定条件に基づく関連アラームキャプチャイベントが取得されます。



1. をクリックして検索顔をカスタマイズ追加します。またはイベントを選択して「すべての顔イベント」を選択して対照検索を行います。

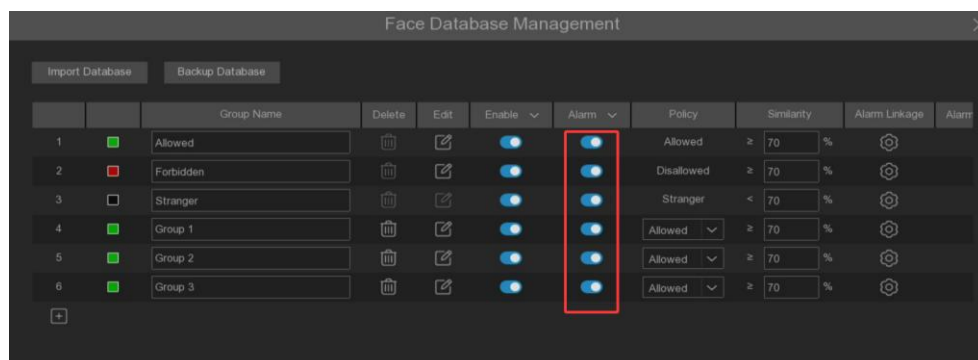
顔認識アラーム：アラーム連動を有効にした後の顔認識。

リピート来訪者アラーム：人物頻度分析後の顔キャプチャマップのトリガーとアラーム。

その他：アラーム連動を有効にしていない場合の顔認識と、顔検知トリガー後の顔キャプチャ。

注意：

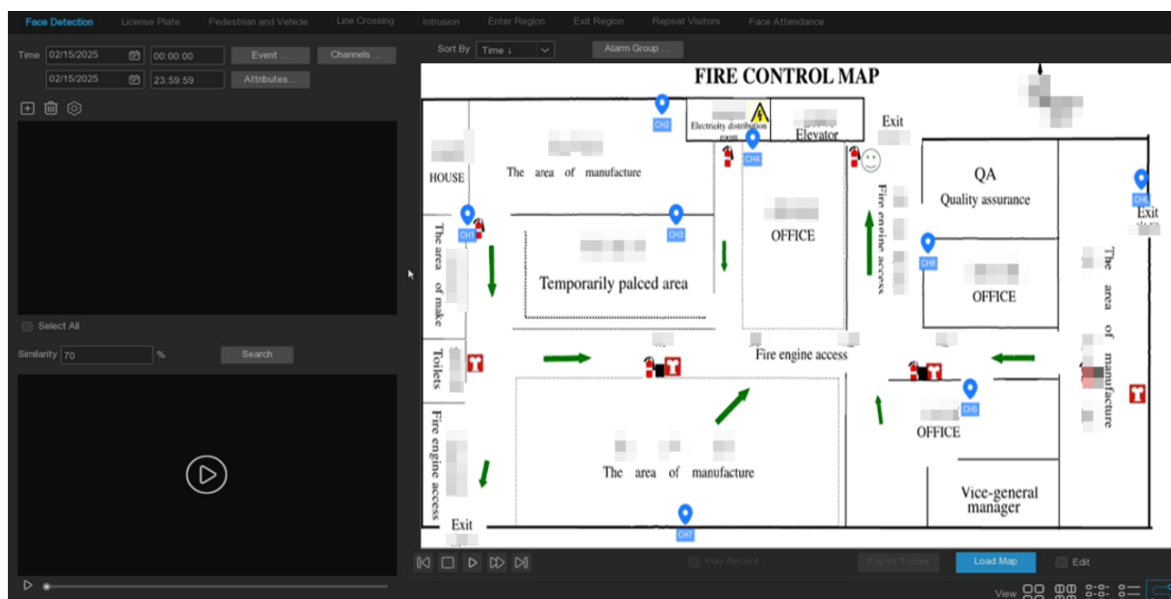
- a. 顔認識とは、顔情報をインポートし少なくとも 1 つの顔グループを有効にした後に検知された顔アラームを指します。顔検知とは、顔情報のインポートがないか、または顔グループがすべて無効な状態を指します。
- b. アラーム連動とは、顔データベースページのアラーム有効スイッチを指します（下図参照）。



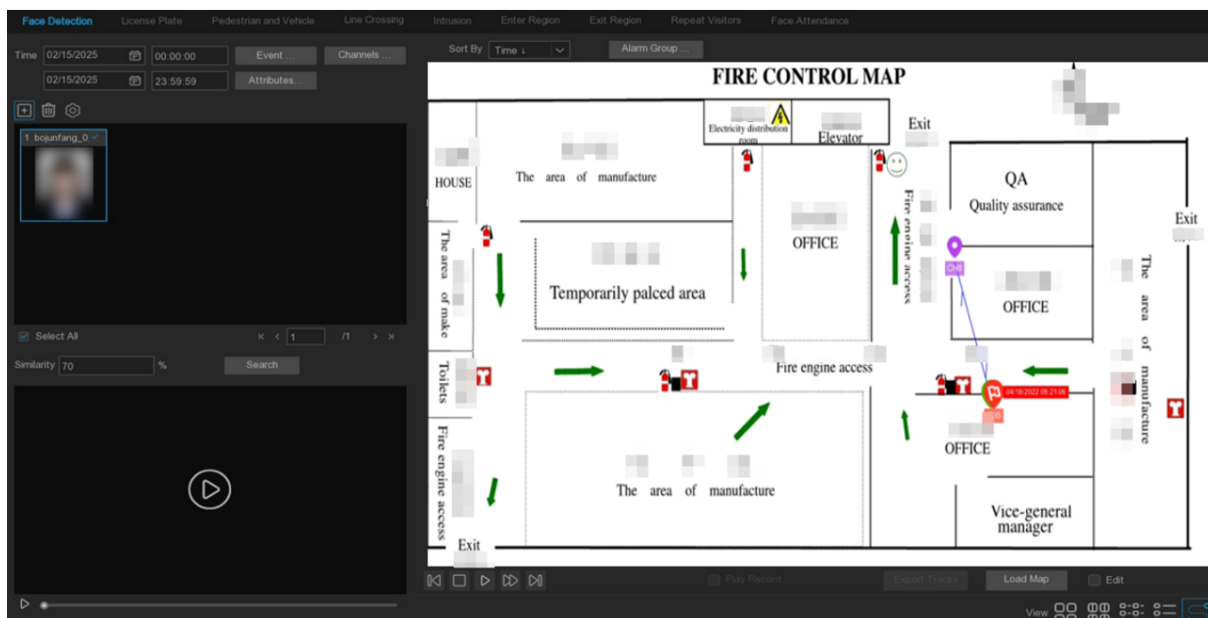
2. チャンネルをクリックして検索するチャンネルを選択します。
3. 「属性」をクリックして検索用の顔属性条件（性別・年齢・マスク・眼鏡・表情）を設定します。
4. アラームグループを選択して顔対照する顔グループを選択します。
5. 画像を選択して検索エリアを指定し、クリックして画像を削除、またはクリックして顔データベース設定インターフェースをポップアップ表示します。
6. 検索結果を右クリックして「インポート先」を選択すると、この画像を顔ライブラリのグループにインポートできます。
7. 検索結果を右クリックして「詳細情報」を選択すると、顔の詳細を表示できます。
8. 「カスタム再生」をクリックすると、顔が検知された時刻から再生します。
9. クリックして異なる表示方式を切り替えます。

7.1.8.1.1 顔追跡マップ

右下をクリックして電子追跡チャートメニューに入ります。



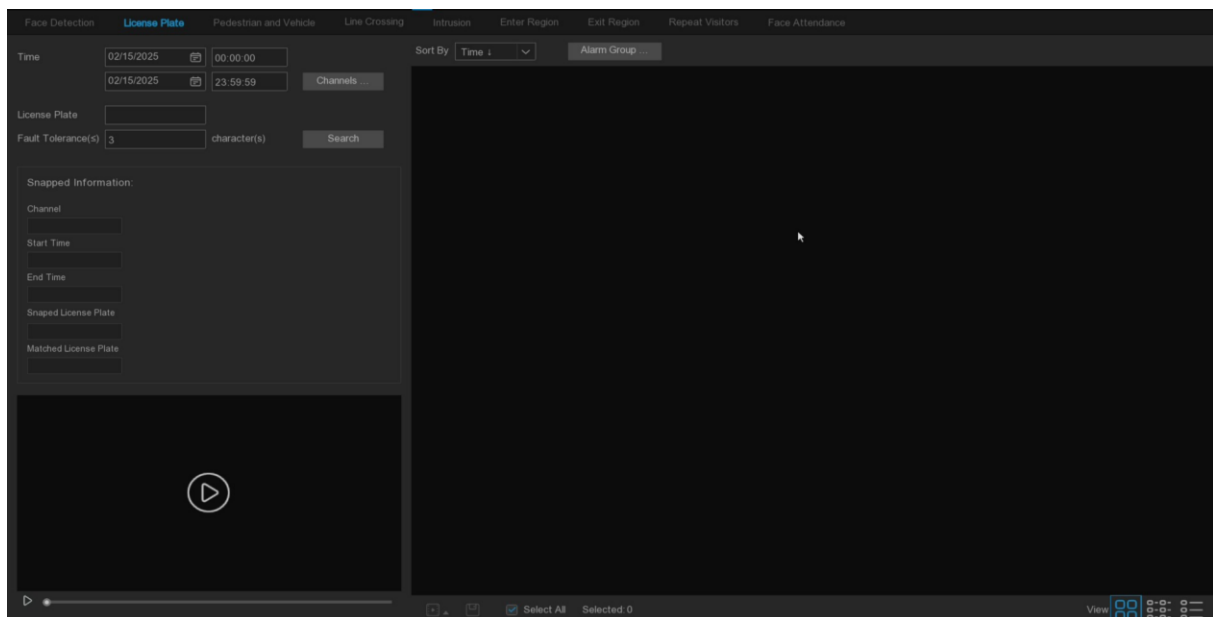
「マップ読み込み」をクリックすると USB ディスクが表示され、マップを選択して追加します。「編集」にチェックを入れて IPC アイコンを配置したい場所へドラッグし、編集モードを終了します。その後クリックしてローカル顔ライブラリまたは USB ディスクから顔を選択し、検索をクリックすると（1 顔のみ対応）、その顔を検知した IPC が検索され、マップ上にカラーマークが表示されます。



IPC アイコン上で左クリックして再生すると右下に簡易再生が表示されます。複数の IPC で検知された場合、クリック再生では人物の動きが自動判定され、矢印で誘導されます。

7.1.8.2 ナンバープレート

カメラのナンバープレート検知がオンになっていてアラームがトリガーされ映像が録画された場合、このインターフェースで映像の詳細確認またはエクスポートができます。



時刻：時間帯を設定します。クリックすると日付を設定できます。

ナンバープレート：ナンバープレート情報でスクリーニング・照会します。

許容誤差：許容誤差文字数。設定したナンバープレート番号と一致しない文字数を許容します。

設定値が低いほど検索結果の一致度が高くなります。

注意：数文字のみで対象のナンバープレートを検索したい場合、許容誤差率を最大に設定できます。その際、無関係なナンバープレートも多数ヒットしますが、検索結果は類似度順に並び替えられ、類似度の高いナンバープレートが上位に表示されます。

車種：車両タイプでフィルタリングする車両属性条件を設定します。

車色：車両色でフィルタリングする車両属性条件を設定します。

車両ブランド：車両ブランドでフィルタリングする車両属性条件を設定します。

スナップ情報：アラームイベントの詳細として次の 5 項目が表示されます：

チャンネル：イベントの映像撮影チャンネル。

チャンネル：イベント内の映像撮影チャンネル。

開始時刻：イベントトリガーの開始時刻。

終了時刻：イベントトリガーの終了時刻。

ナンバープレートスナップ：カメラがナンバープレート写真を撮影してナンバープレート番号をキャプチャします。

ナンバープレートキャプチャ：データベースから取得したナンバープレート番号と照合します。

並び順：イベント映像を時刻順に並べます。

チャンネル：各チャンネルでトリガーされたナンバープレート検知イベントを検索できます。

検索：選択した設定に従って照会します。

アラームグループ：データベース内の異なるグループを選択して対照検索し、結果を表示します。

本機能は、イベント動画の右下の三角アイコンをクリックして動画再生の遅延を選択するもので

す。選択肢：5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、1 分、2 分、5 分、10 分、カスタム再生。30 秒を選択した場合、動画は毎回 30 秒ずつ延長されます。

映像を USB ディスクにバックアップできます。映像形式は AVF、AVI、MP4 に対応しています。

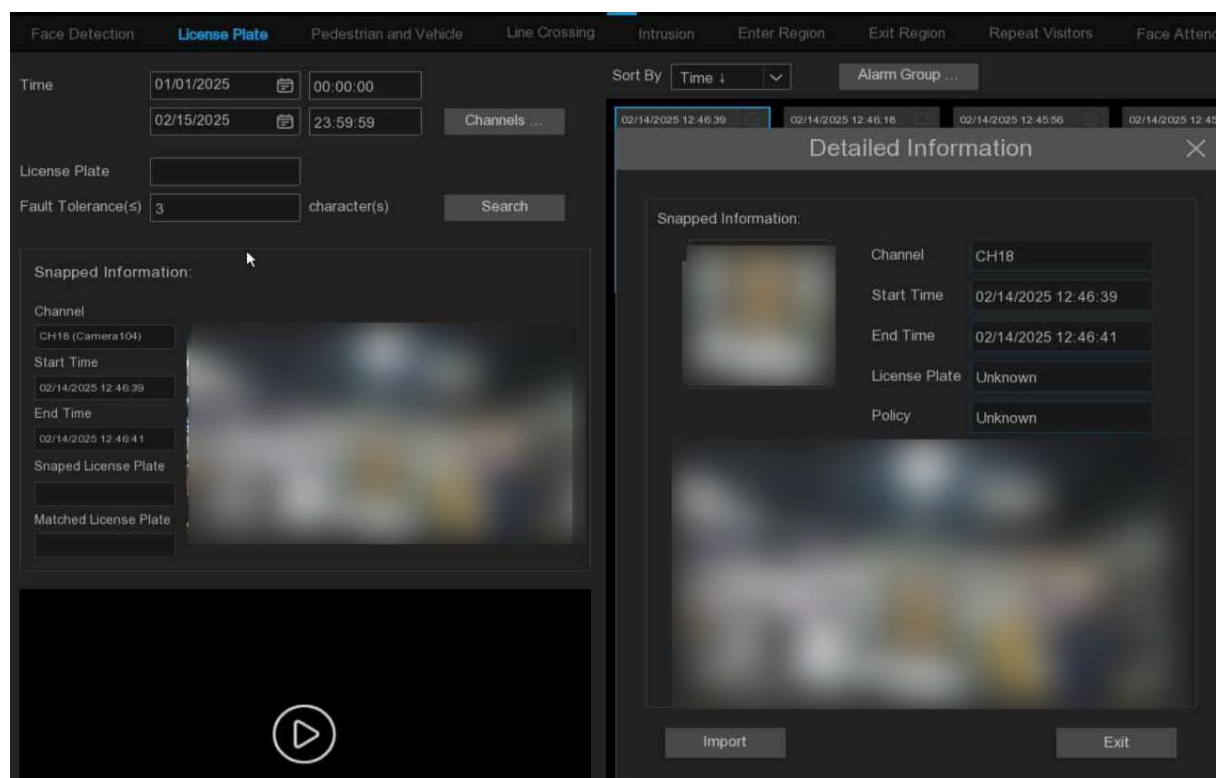
選択した映像の合計および選択映像数。

クリックしてページを切り替えます。

クリックして異なるビューを選択します。

イベントを右クリックすると 2 つのオプションが表示されます：

詳細情報：イベント詳細を表示します。



カスタム再生：再生設定。クリックするとイベントの事前再生時間と遅延終了時間を設定できます。最大時間は 10 分です。

イベントをダブルクリックするか左下コーナーヘドラッグしてイベント映像を再生します。

7.1.8.3 歩行者・車両

日付・時刻・チャンネル・ターゲット種類・関連属性を選択し、「検索」をクリックして指定条件に基づく関連アラームキャプチャイベントを検索します。

日付、時刻、チャンネル、ターゲット種別、関連属性を選択後、「検索」をクリックすると、指定条件に基づく関連アラームキャプチャイベントが取得されます。

左クリックで基本情報が表示され、右クリックで再生のカスタマイズと詳細表示が可能です。左下コーナーをクリックして簡易再生し、ダブルクリックで拡大できます。

左下隅をクリックすると簡易再生、ダブルクリックで拡大して通常再生モードに入ります。日付・時刻・チャンネル・ターゲット種類・関連属性を選択し、「検索」をクリックして指定条件に基づくライン越えアラームキャプチャイベントを検索します。

日付、時刻、チャンネル、ターゲット種別、関連属性を選択後、「検索」をクリックすると、指定条件に基づく越境アラームキャプチャイベントが取得されます。

左クリックすると左側に基本情報が表示されます。右クリックでカスタム再生と詳細表示が選択できます。左下隅をクリックすると簡易再生、ダブルクリックで拡大して通常再生モードに入ります。日付・時刻・チャンネル・ターゲット種類・関連属性を選択し、「検索」をクリックして指定条件に基づく関連アラームキャプチャイベントを検索します。

日付、時刻、チャンネル、ターゲット種別、関連属性を選択後、「検索」をクリックすると、指定条件に基づく関連アラームキャプチャイベントが取得されます。

注意：

1. **人物カスタマイズ項目**：上下の服の色、性別、年齢、帽子、眼鏡、アクセサリーの有無、袖、ボトムス、バックパック、向きなど。
2. **車両カスタマイズオプション**：色、メーカー、種類など。

2. 車両カスタマイズ項目：色、ブランド、種別など。

7.1.8.6.1 リアルタイム再訪者

人物出現頻度分析の統計を取得するには、検索モードで「リアルタイム検索」を選択します。

検索モードで「リアルタイム検索」を選択すると、人物頻度分析の統計が取得されます。

検索モードで「リアルタイム検索」を選択すると、人物頻度分析の統計結果が取得されます。

1. 検索に必要な日付と時刻を選択します。
2. 検索する日付と時刻を選択します。
3. 対照・検索する顔ライブラリグループを選択します（デフォルトはすべてのグループ）。
4. 検索する人数の最小値と最大値を選択します（20 回以上の場合は 21 と入力してください）。
5. 「検索」ボタンをクリックすると右側に検索結果が表示され、顔キャプチャマップの下に出現回数が表示されます。
6. 検索結果をクリックすると左側に詳細な再生と情報が表示されます。右クリックで顔ライブラリへのインポートや顔ライブラリ画像情報の編集、詳細情報の表示ができます。
7. 「並び順」をクリックして、時刻順または件数順に並べ替えます。

検索モード選択：「データベースマイニング」では、類似度と顔属性に基づいて同一顔の出現回数を検索・集計できます。

検索モードで「データベースマイニング」を選択すると、類似度と顔属性に基づいて同一顔の出現回数を取得・カウントできます。

検索結果にチェックを入れるか「すべて選択」を選択します。すべての検索結果を選択後、アイコンをクリックしてカスタム再生するか、画像・映像を USB ストレージにバックアップします。

1. 検索する日付と時刻を選択します。
2. 対照する顔ライブラリグループと検索グループを選択します。
3. 検索するチャンネルを選択します。
4. 顔属性インターフェースで対応する顔属性を選択します。
6. 検索結果を左クリックすると、左側に詳細な再生と情報が表示されます。右クリックで顔ライブラリにインポートするか、顔ライブラリの画像情報を編集できます。
6. 検索結果を左クリックすると、左側に詳細な再生と情報が表示されます。右クリックで顔ライブラリへのインポートや顔ライブラリ画像情報の編集、詳細情報の表示ができます。
7. 「最低出現回数」に顔の最少出現回数を入力してスクリーニングします。
8. 「並び順」をクリックして、時刻順または件数順に並べ替えます。
9. 検索結果にチェックを入れるか「すべて選択」を選択し、アイコンをクリックしてカスタム再生するか、画像・映像を USB ストレージにバックアップします。勤怠システムは、指定した時間内に特定の人物が出現するかを確認します。また、遅刻または早退を自動的に判定します。勤怠システムは、指定した時間内に特定の人物が出現したかどうかを確認し、遅刻・早退を自動的に判定します。

1. **チャンネル**： 顔勤怠用のチャンネルを選択
2. **モード選択**： 勤怠の顔画像選択。グループ別または人物別。

選択モード：勤怠対象の顔写真の選択方法として「グループ別」と「個人別」を選択します。

グループ別：顔グループを通じて顔写真を選択します。グループ内のすべての顔写真が追加されます。

3. **個人別**：顔マップを選択します。右クリックすると顔ライブラリの顔マップインターフェースがポップアップ表示されます。

4. **日付**：検索日付を選択します。デフォルトはシステム時刻の当日です。選択モードは「日」「週」「月」「ユーザー定義」「今日」の5種類があります。

5. **稼働日**：稼働日を選択します。

6. **就業終了時刻**：終了時刻を設定します。

7. 「検索」をクリックして結果を検索します。

「検索」をクリックすると結果を検索できます。

結果をクリックすると、下部にすべての検知記録が表示されます。詳細アイコンをクリックして詳細インターフェースに入ります。

結果をクリックすると、下部にすべての検知記録が表示されます。詳細アイコンをクリックすると詳細インターフェースに入ります。

勤怠の詳細（最初の出現と最後の出現を含む）が表示されます。左下コーナーをクリックして簡易再生します。

最初と最後の出現を含む勤怠の詳細が表示されます。左下隅をクリックすると簡易再生ができます。

「エクスポート」をクリックして、検索した勤怠情報生成ファイルを USB ディスクに保存します。

「メール」をクリックして、検索した勤怠情報生成ファイルをメールボックスに送信します。日付・時刻・チャンネルを選択後、「検索」をクリックして指定条件に基づく関連アラームイベントを検索します。

日付、時刻、チャンネルを選択後、「検索」をクリックすると、指定条件に基づく関連アラームイベントが取得されます。

7.1.8.9 火災または煙の抑止

日付・時刻・チャンネルを選択後、「検索」をクリックして指定条件に基づく関連アラームイベントを検索します。

日付、時刻、チャンネルを選択後、「検索」をクリックすると、指定条件に基づく関連アラームイベントが取得されます。

第 8 章 Web クライアントによるリモートアクセス

Web クライアントを使用して PC からいつでもリモートでデバイスにアクセスできます。Web クライアントへのアクセス前にデバイスのネットワークが動作していることを確認してください。

8.1 システムの基本環境要件

Web クライアントを動作させるために必要なハードウェアおよびオペレーティングシステムの最小要件を以下に示します。

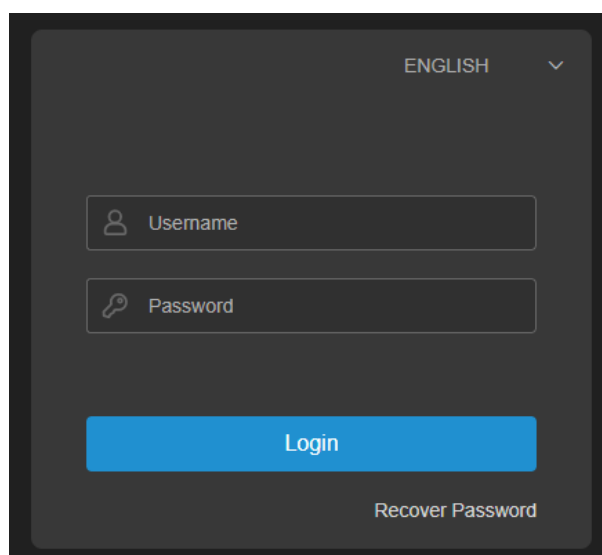
項目	最小値	推奨値
CPU	Intel® Core™ i5 CPU 以上	Intel® Core™ i5 CPU 以上
Run memory	4GB 以上	8GB 以上
ハードディスクド ライブ	500GB 以上	500GB 以上
ディスプレイメモ リ	2GB 以上	4GB 以上
表示解像度	1280*1024	1920*1080

OS	Windows 7 以上 Mac OS X® 10.9 以上
DirectX	DirectX 11
Direct3D	アクセラレーション機能
イーサネットアダプター	10/100/1000M イーサネットアダプター
IE ブラウザ	Microsoft IE ブラウザ（バージョン：11、10）
Firefox ブラウザ	V52 以上
Google ブラウザ	V57 以上
Apple Safari	バージョン 12.1 以上
Edge ブラウザ	V79 以上

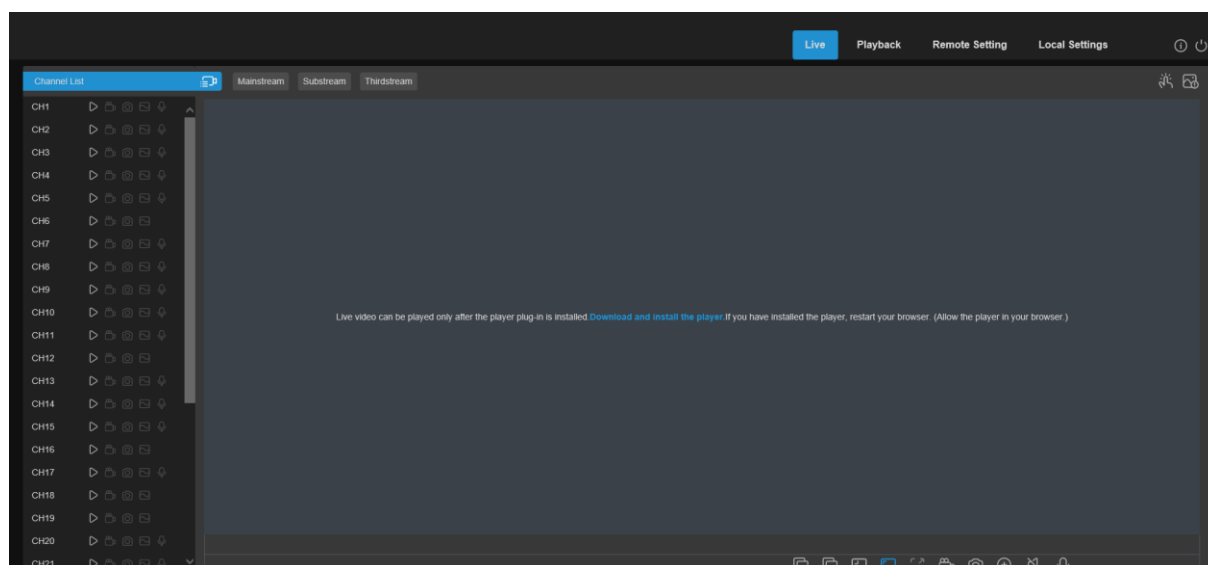
8.2 Web プラグインのダウンロードとインストール

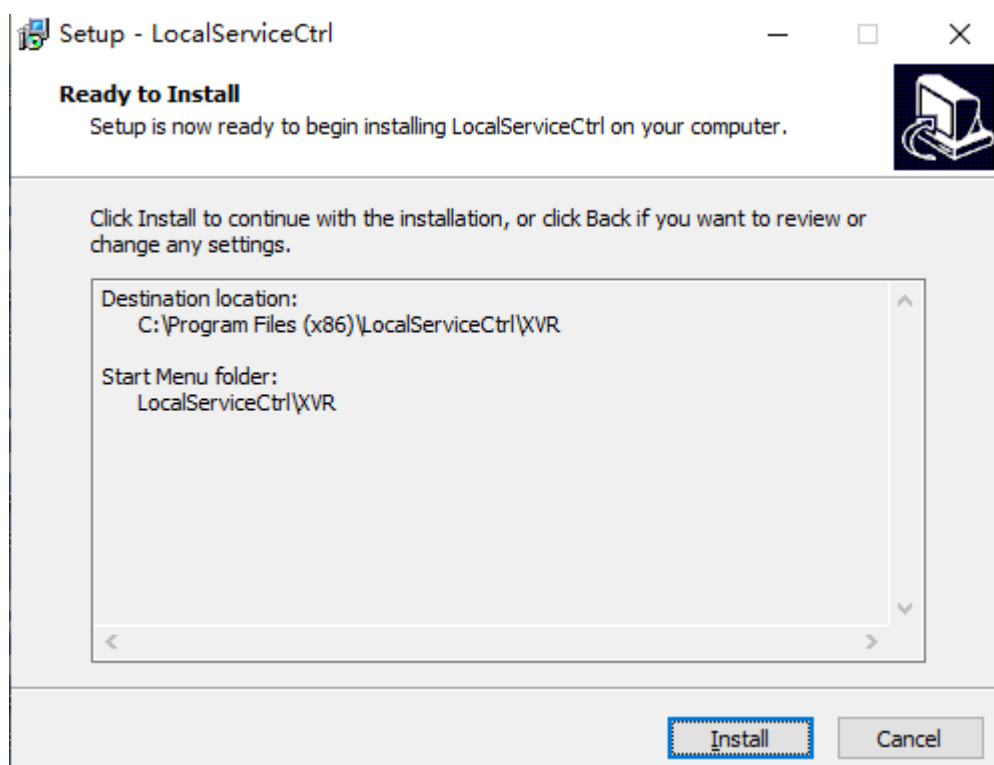
Web クライアントにアクセスするには、以下の手順に従います：

1. ブラウザを開き、URL 欄にデバイスの IP または DDNS+ポート番号を入力し、ユーザー名とパスワードを正しく入力して Web クライアントにログインします。（パスワードを 5 回連続で誤ると 180 秒間ロックされます）



2. IE ブラウザに初めてアクセスすると、プラグインのインストールが求められます。「ダウンロード」をクリックしてプレーヤープラグインをダウンロードし、コンピュータにインストールします。





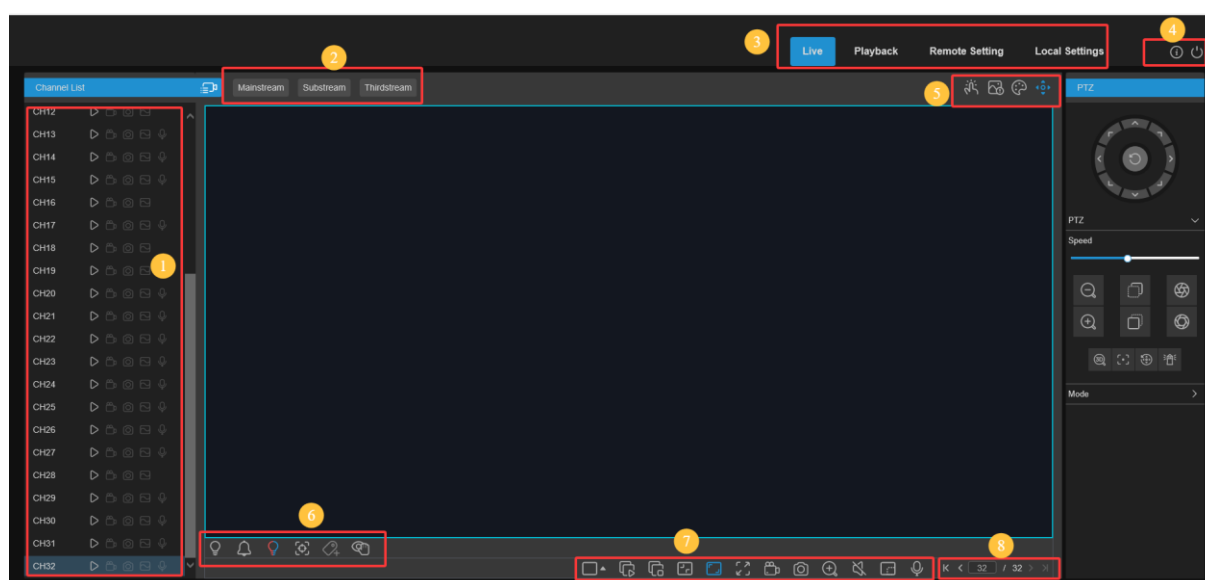
3. プラグインインストール後、ページを更新し、ページ下部のポップアップで権限をクリックすると通常通り使用できます。

注意： Apple Safari／Google ブラウザ／Firefox ブラウザ／Microsoft Edge ブラウザを使用する場合、プラグインをダウンロードせずに直接ログインしてデバイスにアクセスできます。

8.3 Web クライアント管理

8.3.1 プレビュー画面

Web 側でデバイスを通してユーザー情報を検証後、デバイスのリアルタイムプレビューページに入ります。このページでリアルタイムプレビューの開閉、手動録画、スクリーンショット、クラウドヘッドコントロール、色調整などの操作ができます。



1. チャンネルリスト

クリック： チャンネルリスト。

ライブ映像ストリームをオン/オフにします。ライブ映像ストリームが有効時、アイコンが青色で表示されます。

クリックしてストリーミング映像の手動録画を開始します。再度クリックすると録画停止。手動録画はコンピュータに保存されます。録画中はアイコンが青色で表示されます。

手動スナップショットアイコン。クリックすると現在のライブ表示スナップショットをコンピュータに保存します。

ビットレートアイコン。カメラをメインストリーム、サブストリーム、またはモバイルストリームの映像設定で使用するよう設定します（IP チャンネルのみ）。

2. コードフロー切替

Web は単画面表示時に自動的にメインストリームモードに切り替わり、マルチ分割画面表示時にサブストリームモードに切り替わります。ユーザーは適切なコードストリームモードを選択できます。

3. メインメニュー：

プレビュー：デバイスの映像ストリームにリアルタイムアクセス

再生：デバイス側に保存された映像をリモート再生

リモート設定：デバイスをリモート設定

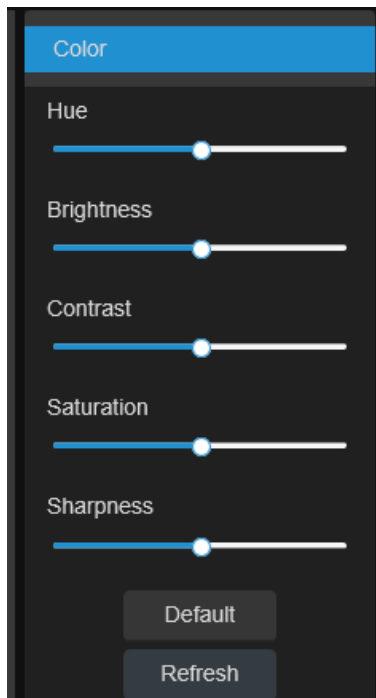
4. マウスオーバーでシステムユーザーと Web バージョン情報を表示

Web からログアウト

5. 手動アラーム：IO アラームを手動で開閉します



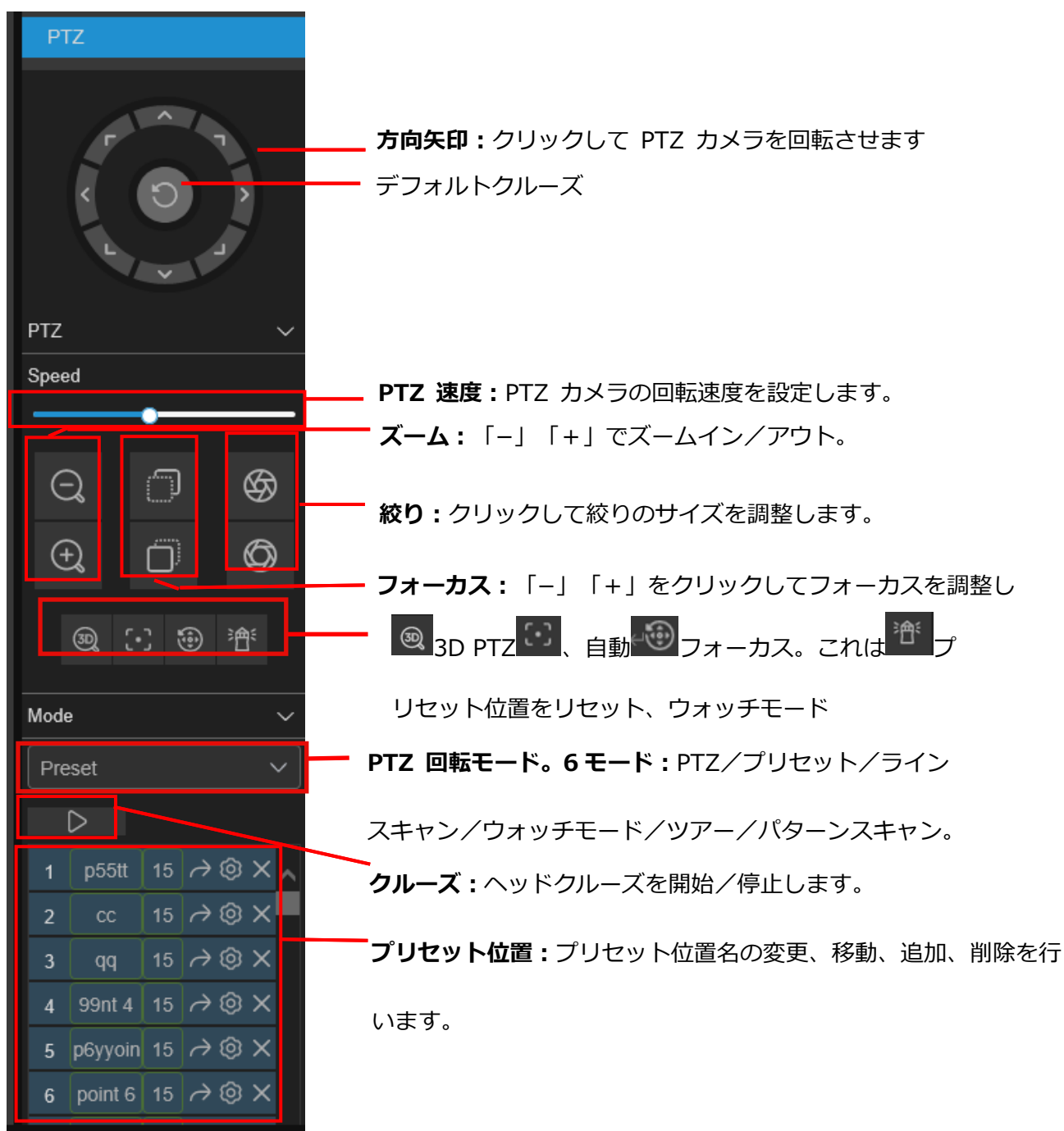
6. 色設定：クリックするとカラーコントロールの表示/非表示を切り替えます。

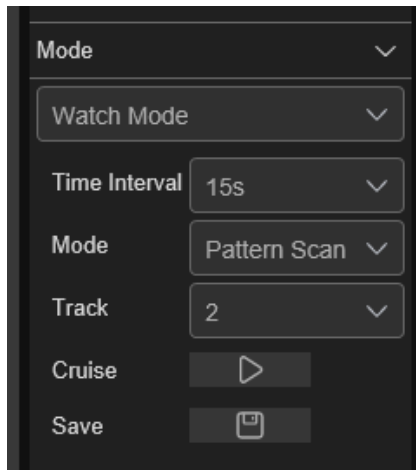


7. AI アラーム：AI アラームイベントをプッシュします。クリックして AI プッシュ種類を確認し、選択した種類の AI アラームイベントをプッシュします。クリックして現在のプッシュリストを空にします。

- ☒ All
- ☒ Face Recognition
- ☒ Pedestrian
- ☒ Motor Vehicle
- ☒ Line Crossing[Pedestrian]
- ☒ Line Crossing[Motor Vehicle]
- ☒ Non-motorized Vehicle
- ☒ Line Crossing[Non-motorized Vehicle]
- ☒ License Plate Recognition
- ☒ Intrusion[Pedestrian]
- ☒ Intrusion[Motor Vehicle]
- ☒ Intrusion[Non-motorized Vehicle]
- ☒ Region Entrance[Pedestrian]
- ☒ Region Entrance[Motor Vehicle]
- ☒ Region Entrance[Non-motorized Vehicle]
- ☒ Region Exiting[Pedestrian]
- ☒ Region Exiting[Motor Vehicle]
- ☒ Region Exiting[Non-motorized Vehicle]
- ☒ Package Delivered
- ☒ Loitering
- ☒ Package Taken Away

8. PTZ コントロール : クリックして PTZ 操作メニューを開閉します。

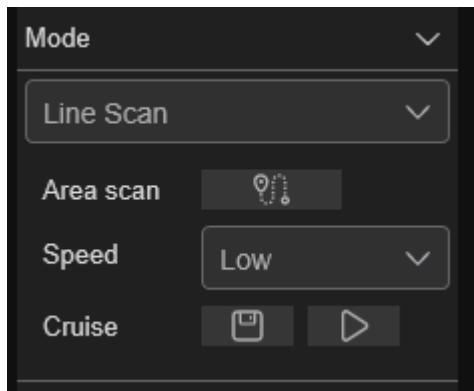




ウォッチモード Page:

時間間隔：ウォッチ待機時間。停止操作からウォッチ継続までの時間。

間隔時間モード：ウォッチモードを選択します 、既定/プリセット点/ラインスキャン/トラック巡回/パターンスキャンから選択できます。



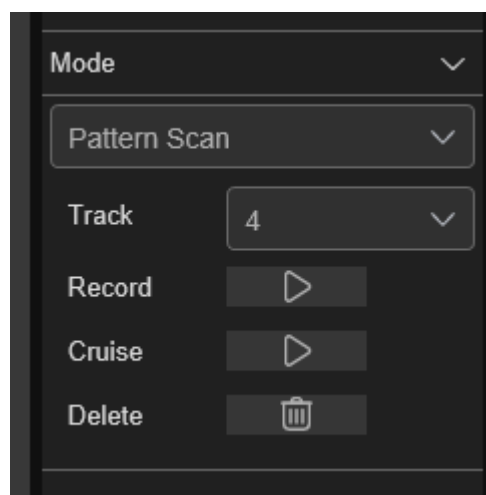
ラインスキャン ページ：

エリアスキャン：クリックして  開始位置を記録

し、高速ドームを回転させ、クリックして  終了位置を記録します。

速度：リニアクルーズの速度を選択します。

クリック  してリニアクルーズを開始します。このモ



時間間隔：各プリセット位置の停止時間

削除、上へ   / 下へ、クリックして  巡回を開始

録画：クリックして クルーズルートの記録を開始し、 クリックして記録を停止します。

クルーズ：クリックして  事前に記録されたルート・動作に沿って巡回を開始します。

すべてのチャンネルプレビューを閉じる

元のアスペクト比：元のアスペクト比でライブ映像を表示

ストレッチ：ライブ映像を画面上の各チャンネルエリア全体に合わせて引き伸ばす

Web クライアントを全画面に拡大

手動録画：クリックしてすべての表示チャンネルの手動録画を開始します。再度クリックすると録画停止。手動録画はコンピュータに保存されます。

手動キャプチャ：クリックして現在表示中のすべてのチャンネルの画像を撮影し、コンピュータに保存します。

電子ズーム：アクティブな画像をクリックし、ズームインしたいエリアをクリックドラッグします。右クリックで通常表示に戻ります。

音量コントロール：音量レベルを調整します。ミュートモード。

インターコムアイコン：クリックでクライアントとデバイス間のインターコムを開始し、再度クリックでデバイスとのインターコムを終了します（この機能はデバイスがインターコム機能に対応している必要があります）。

白色光コントロール：白色光抑止を手動でオンにできます（カメラの対応が必要）。

警告アラームコントロール：警告アラームを手動で開くことができます（カメラの対応が必要）。

赤青灯コントロール：赤青灯警告を手動で開くことができます（カメラの対応が必要）。

エリアフォーカス：ボタンをクリックし、マウスでプレビューエリアをなぞると、カメラレンズはスライドエリアに従ってフォーカスを合わせます（ズームカメラのみ対応）。

クリックしてカスタムタブイベントを追加します。



プライバシーモード（カメラの対応が必要）。

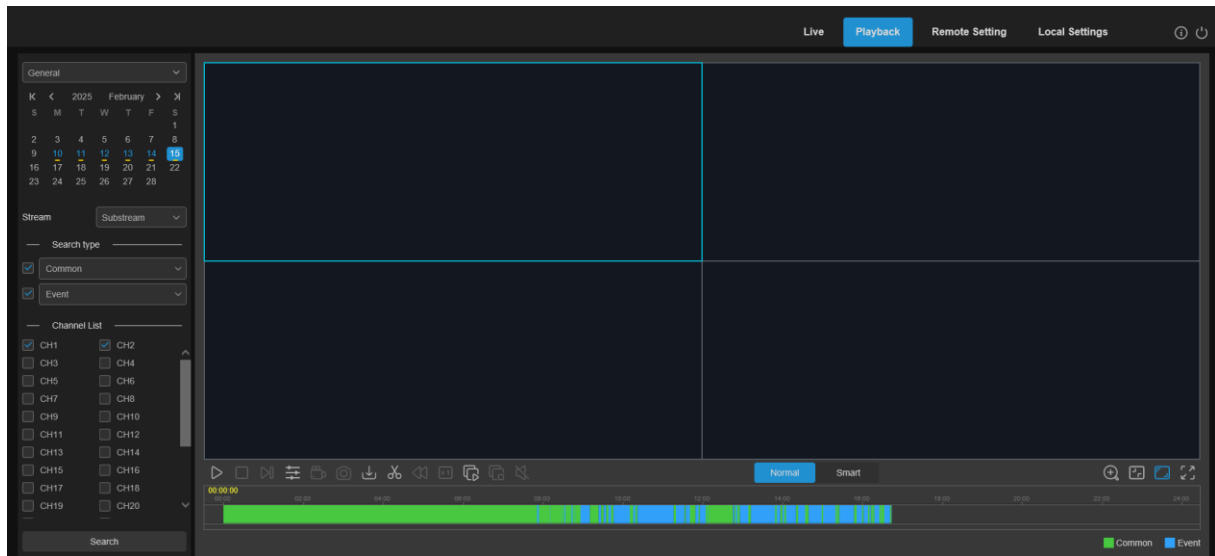
魚眼モード：魚眼対応カメラ接続時に表示されるボタン。クリックで魚眼モードプレビューに入ります（一部の NVR モデルのみ魚眼モード対応）。

このページではデバイスのハードディスクに保存された映像を検索・再生でき、映像を PC にダウンロードできます。

映像を検索：

1. 右上のアイコンをクリックして再生に進み、アイコンをクリックして再生インターフェースに入ります。
2. カレンダーで映像を確認したい日付を選択します。録画がある日は赤下線が表示されます。
3. 「種類」から検索する映像種類を選択します。
4. 検索・再生が必要な映像ストリームを選択します。
5. 「チャンネル」でチャンネルにチェックを入れます（最大 4 チャンネル同時対応）。
6. 検索アイコンをクリックして映像を検索します。
7. 検索した映像がタイムライン上に表示されます。再生したい映像クリップをクリックし、再生アイコンをクリックして映像を再生します。
7. 検索した映像がタイムライン上に表示されます。再生したい映像クリップをクリックし、再生アイコンをクリックして映像を再生します。

8.3.2.1 通常再生



単一映像の一時停止

単一チャンネル映像録画の停止再生

フレーム再生：最初のフレームからフレーム単位で再生します。同期再生オプション未選択時のみ使用可能。

同期再生：クリックして選択したチャンネルを同時に同期再生します。

クリックして再生チャンネルを選択し、録画アイコンをクリックして現在の映像をコンピュータに録画します。再度クリックすると録画停止。

再生中のチャンネルをクリックし、キャプチャアイコンをクリックしてスナップショットを撮影してコンピュータに保存します。

ダウンロードメニューを開き、選択したチャンネルの指定時間種類の映像をダウンロードします。

ダウンロードメニューを開き、選択したチャンネルの指定時間種類の映像をダウンロードします。

ダウンロードするファイルを選択し、「ダウンロード開始」アイコンを押してダウンロードを開始し、ダウンロード状態が表示されます。「ダウンロード停止」アイコンを押してダウンロードを停止します。

指定時間帯の映像をカットして PC ローカルにダウンロードします。

後退再生。同期再生オプション未選択時のみ使用可能。

再生速度：クリックして再生速度を選択します。

全チャンネル再生：クリックして選択した検索対象のすべてのチャンネルを再生します。同期再生オプション未選択時のみ使用可能。

全チャンネル再生停止：クリックして全チャンネルの再生を停止します。同期再生オプション未選択時のみ使用可能。

電子ズーム：再生中の映像をクリックし、映像のエリアをクリックドラッグしてズームインします。右クリックで通常表示に戻ります。

元のスケール：再生中の映像を元のスケールで表示します。

ストレッチ：再生中の映像を画面上の各チャンネルエリア全体に合わせて引き伸ばします。

Web クライアントを全画面で再生するように拡大します。

Web クライアントを全画面で再生するように拡大します。

デバイスで画像を設定後、このページでデバイスがキャプチャした画像を検索できます。1 回の検索で最大 5000 枚を検索可能で、時間間隔は変更できます。

キャプチャマップを検索：

1. ウィンドウ右上の「再生」をクリックします。
2. 左上のドロップダウンメニューから「画像」を選択します。

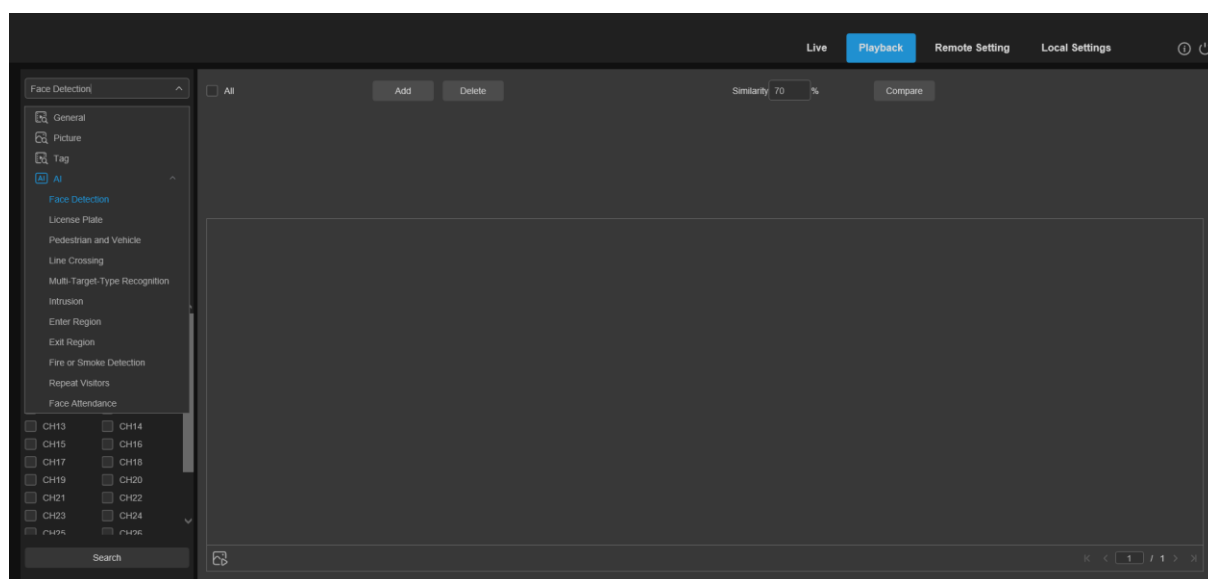
3. カレンダーで検索する日付を選択します（赤下線表示）。
 4. 「検索種類」メニューのリストから検索する画像種類を選択します。
 5. 映像を検索するチャンネルにチェックを入れます。
 6. 「検索」をクリックします。
 7. 検索条件を満たす画像が右側に表示されます。ダブルクリックすると画像前後の時間帯の再生映像が再生され、クリックして戻ることができます。
 7. 検索条件を満たす画像が右側に表示されます。ダブルクリックすると画像前後の時間帯の再生映像が再生され、クリックして戻ることができます。
- デバイスが画面の変化を検知すると、スマート種類としてマークし、スマート再生映像を検索できます。
- クリックしてスマート設定エリアを表示し、クリックしてすべてのエリアを選択、クリックして選択したエリアをすべてクリアします。
- クリックしてスマート設定エリアを表示し、クリックしてすべてのエリアを選択、クリックして選択したエリアをすべてクリアします。

8.3.2.4 タグ再生

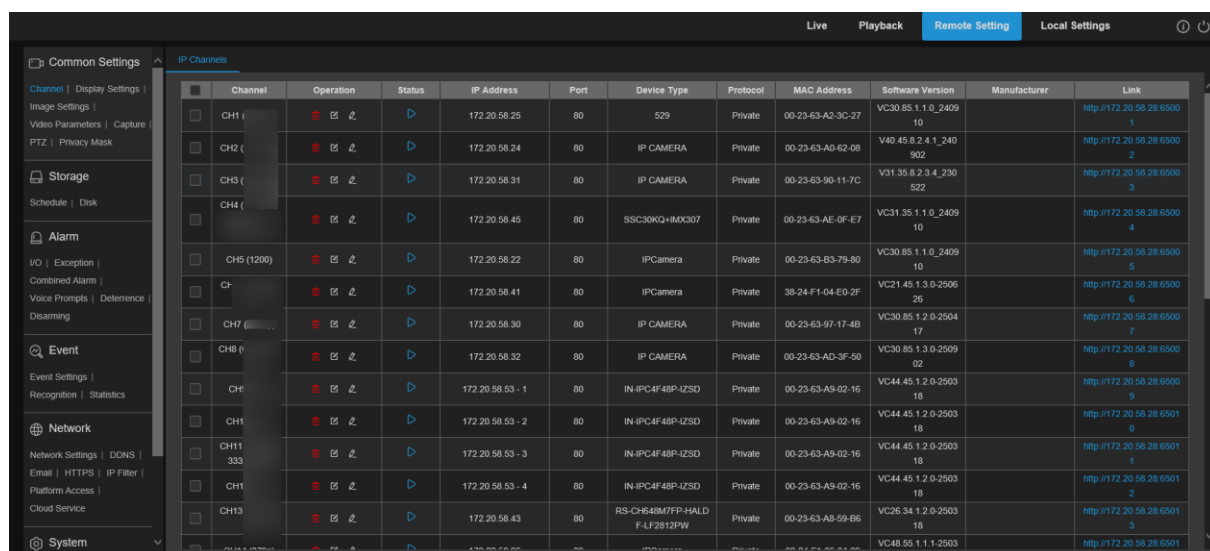
このページで追加したすべてのタグを検索し、編集・再生・削除できます。時刻とチャンネルを選択し、「検索」をクリックして検索を完了します。クリックでラベルがマークした位置にジャンプして再生します。

このページで追加したすべてのタグを検索し、編集・再生・削除できます。時刻とチャンネルを選択し、「検索」をクリックして検索を完了します。クリックでラベルがマークした位置にジャンプして再生します。

デバイスで AI アラートを有効にした後、このページで AI アラームイベントを検索します。検索可能なイベント種類：顔検知、ナンバープレート、歩行者・車両、越境検知、マルチターゲット種類認識、侵入検知、エリア進入など。



このインターフェースはデバイスパラメータのリモート設定に対応しており、チャンネル・録画・ストレージ・アラーム・イベント・ネットワーク・システムのパラメータを設定できます。



The screenshot shows the 'Remote Setting' tab in the NVR interface. On the left is a sidebar with categories: Common Settings, Storage, Alarm, Event, Network, and System. The 'IP Channels' table is displayed in the main area. It lists 13 channels with their respective configurations.

Channel	Operation	Status	IP Address	Port	Device Type	Protocol	MAC Address	Software Version	Manufacturer	Link
CH1			172.20.58.25	80	529	Private	00-23-63-A2-3C-27	VC30.85.1.1.0_2409.10		http://172.20.58.25:6500/1
CH2			172.20.58.24	80	IP CAMERA	Private	00-23-63-A0-62-08	V40.45.8.2.4.1_240.902		http://172.20.58.25:6500/2
CH3			172.20.58.31	80	IP CAMERA	Private	00-23-63-90-11-7C	V31.35.8.2.3.4_230.522		http://172.20.58.25:6500/3
CH4			172.20.58.45	80	SSC30KQ-MX307	Private	00-23-63-AE-0F-E7	VC31.35.1.1.0_2409.10		http://172.20.58.25:6500/4
CH5 (1200)			172.20.58.22	80	IP Camera	Private	00-23-63-B3-79-80	VC30.85.1.1.0_2409.10		http://172.20.58.25:6500/5
CH6			172.20.58.41	80	IP Camera	Private	38-24-F1-04-E0-2F	VC21.45.1.3.0-2506.26		http://172.20.58.25:6500/6
CH7			172.20.58.30	80	IP CAMERA	Private	00-23-63-97-17-4B	VC30.85.1.2.0-2504.17		http://172.20.58.25:6500/7
CH8			172.20.58.32	80	IP CAMERA	Private	00-23-63-AD-3F-50	VC30.85.1.3.0-2509.02		http://172.20.58.25:6500/8
CH9			172.20.58.53 - 1	80	IN-IPC4F48P-IQSD	Private	00-23-63-A9-02-16	VC44.45.1.2.0-2503.18		http://172.20.58.25:6500/9
CH10			172.20.58.53 - 2	80	IN-IPC4F48P-IQSD	Private	00-23-63-A9-02-16	VC44.45.1.2.0-2503.18		http://172.20.58.25:6500/10
CH11 333			172.20.58.53 - 3	80	IN-IPC4F48P-IQSD	Private	00-23-63-A9-02-16	VC44.45.1.2.0-2503.18		http://172.20.58.25:6500/11
CH12			172.20.58.53 - 4	80	IN-IPC4F48P-IQSD	Private	00-23-63-A9-02-16	VC44.45.1.2.0-2503.18		http://172.20.58.25:6500/12
CH13			172.20.58.43	80	RS-CH648M7FP-HALD F-LF2812PW	Private	00-23-63-A8-59-B6	VC26.34.1.2.0-2503.18		http://172.20.58.25:6500/13

カスタムアラームプッシュを使用すると、デバイス側のアラーム情報を複数の指定サーバーにプッシュできます（この機能はサーバーとデバイスの完全な統合とデバッグが必要です）。カスタムアラームプッシュを設定するには、以下の手順に従います

チャンネル：IO リンクアラートのみチャンネル選択に対応。異なる IO 入力ソースを設定のために選択します。アラートがトリガーされると、対応するアラーム情報がサーバーにプッシュされます。

通知 URL：サーバーを選択します。同一または異なるサーバーを最大 3 つまで対応。

有効：有効にするとサーバー関連パラメータを設定できます。アラーム発生時にアラーム情報がサーバーへ送信されます。無効時はパラメータ設定がグレイアウトされて設定不可。アラームが発生してもアラーム情報はサーバーにプッシュされません。

プロトコル：アラーム情報をサーバーにプッシュするための HTTP および HTTPS プロトコルに対応。

トリガー間隔：範囲 0～900 秒。デバイスは設定したプッシュ間隔に基づいてサーバーにアラートメッセージを送信します。例：90 秒間隔の場合、10:10:05 にアラームが発生するとサーバ

ーはすぐに受信します。90 秒後もアラームが継続している場合、2 回目のメッセージが送信されます。

メソッド：プッシュ方式。POST および GET メソッドに対応（いずれも画像データなし）。

URL：サーバーアドレス。選択したプロトコルに基づき、「アドレス:ポート番号/文字列」の形式でサービスアドレスとポート番号を入力します。

URL：サーバーアドレス。選択したプロトコルに基づき、「アドレス:ポート番号/文字列」の形式でサービスアドレスとポート番号を入力します。

認証：このスイッチを有効にすると認証ダイアログが表示されます。サーバーが認証を要求する場合、カスタムプッシュ通知を正しく動作させるためにこのスイッチを有効にする必要があります。

ユーザー名：サーバー認証ユーザー名

パスワード：サーバー認証パスワード

既定値：デフォルトに戻す。復元ボタンをクリックするとすべての通知設定がデフォルト値にリセットされます。

既定値：デフォルトに戻す。復元ボタンをクリックするとすべての通知設定がデフォルト値にリセットされます。

Web クライアントでのダウンロードおよびスナップショットのダウンロード場所を設定し、映像ファイルのファイル種類を選択します。

録画パス：「参照」をクリックし、コンピュータ上の手動録画を保存するフォルダを選択します。

ダウンロードパス：「参照」をクリックし、コンピュータに保存するフォルダを選択します。

スナップショットパス : 「参照」をクリックし、手動でキャプチャしたスナップショットをコンピュータ上に保存するフォルダを選択します。

ファイル種類 : 手動録画ファイル種類を選択します。

保存 : クリックして変更を保存します。

保存 (Save): クリック

このセクションでは、映像プレーヤーを使用してデバイスからバックアップした映像ファイルを再生する方法を説明します。

Intel i3 以上の CPU

- **Microsoft システム** : Windows 7 / 8 / 10 / 11、MacOS 10 以上

- メモリ 8GB 以上

- And 8GB of memory

-

1. CD 内の動画再生ソフトをインストールして起動します。
2. バックアップファイルをコンピュータにコピーします。
3. 「ファイルを開く」アイコンまたはプレイリストの「+」アイコンをクリックして、単一または複数の映像ファイルを読み込みます。「.avf」「.avi」「.mp4」形式のファイルの追加・再生に対応しています。アイコンをクリックしてフォルダを読み込みます。

映像プレーヤーコントロール

映像 Player Control

1. プレイリスト

ファイルを追加

ファイルを削除

再生モードを選択 : 単一ファイルを再生して停止。リストのすべてのファイルを順番に再生。

単一ファイルを繰り返し再生、またはすべてのファイルを繰り返し再生

単一ファイルを繰り返し再生、またはすべてのファイルを繰り返し再生

 ファイル名でフィルタ

クリックしてファイルを開くか、フォルダを読み込みます。

クリックしてファイルを開くか、フォルダを読み込みます。

3. 再生コントロール

再生 : 再生を開始します

一時停止 : 動画を一時停止します

再生停止 : 再生を停止します

フレーム再生 : クリックして映像をフレーム単位で再生します。

スロー再生 : 1/2、1/4、1/8、1/16 倍速での再生を設定できます。

早送り : x2、x4、x8、x16 倍速での再生を設定できます。

音量コントロール

 **マルチ画面再生** : 同時に複数の動画を再生できます。「複数画面再生」を選択すると、プレイリストから再生画面に動画をドラッグ&ドロップできます。

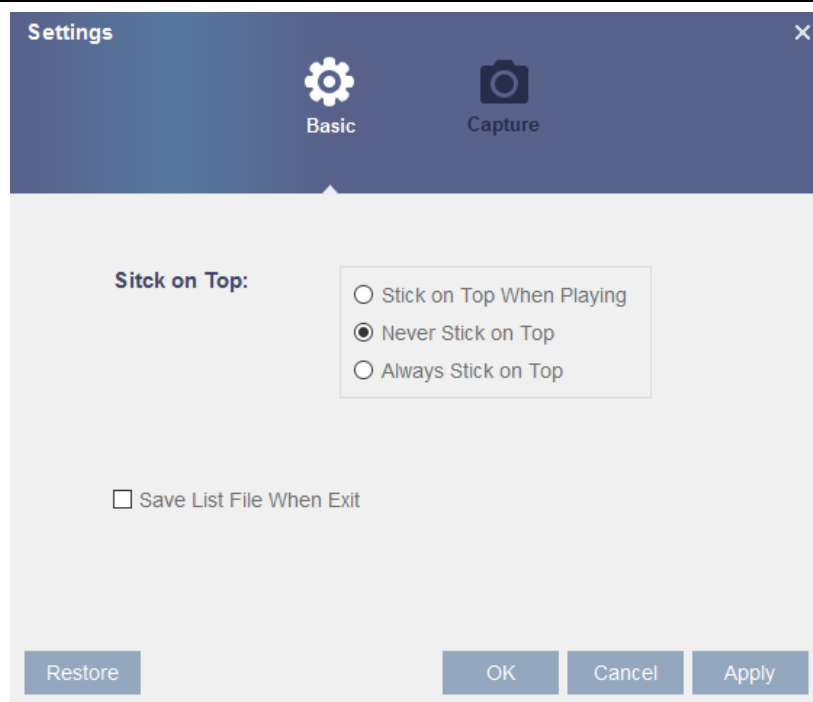
スナップショット

映像クリップをコンピュータに保存します。「開始」を 1 回押して録画を開始し、再度「終了」を押して映像クリップを保存します。

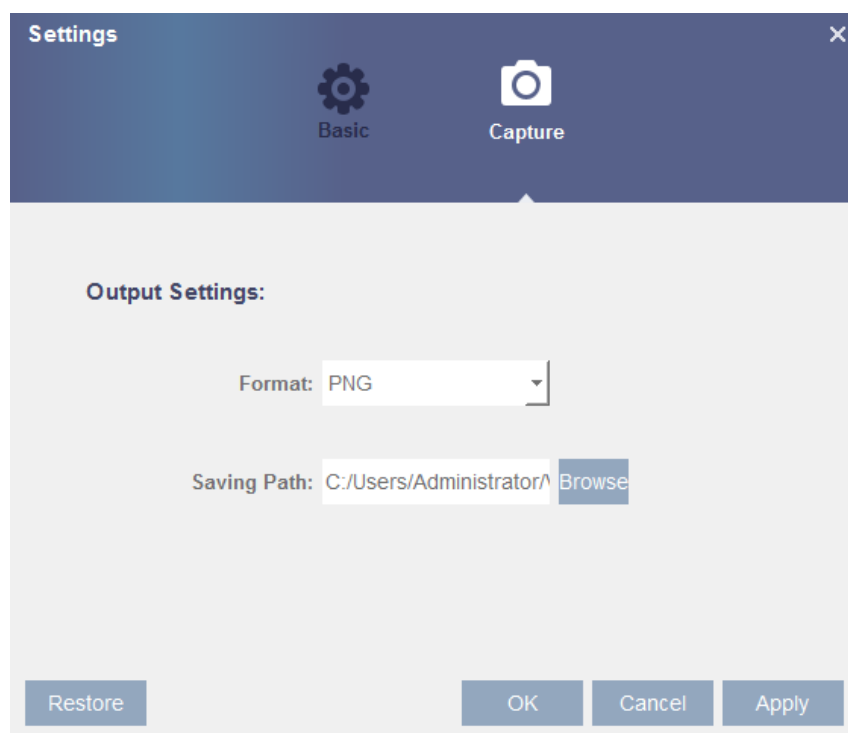
映像プレーヤーを最前面に表示します。

映像ウィンドウを全画面表示します。

詳細設定メニューでプレーヤーの言語を選択し、プレーヤー機能を設定します。



基本設定：最前面表示モードを設定します。



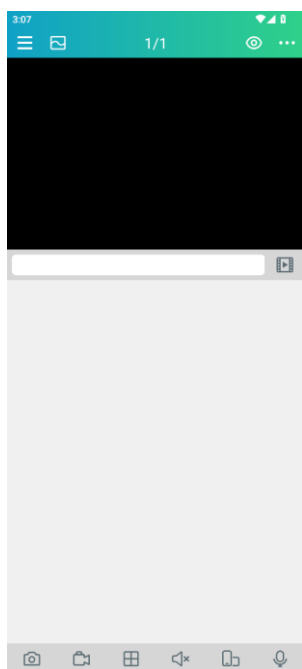
キャプチャ設定：スナップショットの保存形式と保存先を設定します。

Chapter 10 モバイル機器によるリモートアクセス

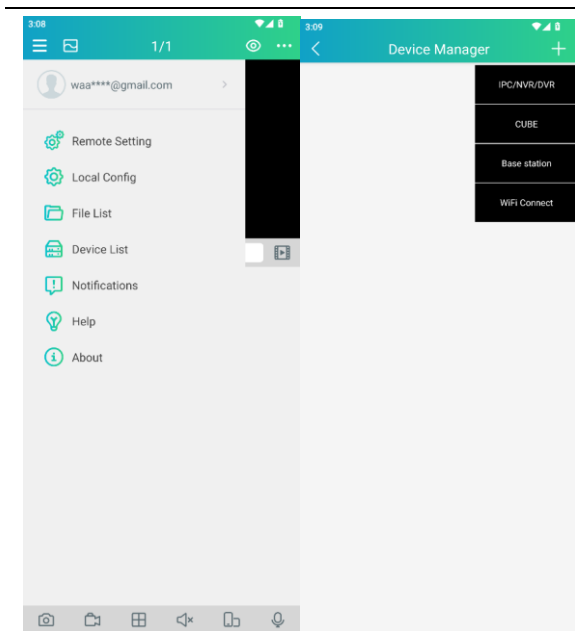
デバイスは Android および iOS オペレーティングシステムのモバイルデバイスによるリモートアクセスに対応しており、Android デバイスは Google ストア、iOS デバイスは Apple ストアで RXCamView および CybVu を検索してダウンロードできます。

10.1 RXCamView

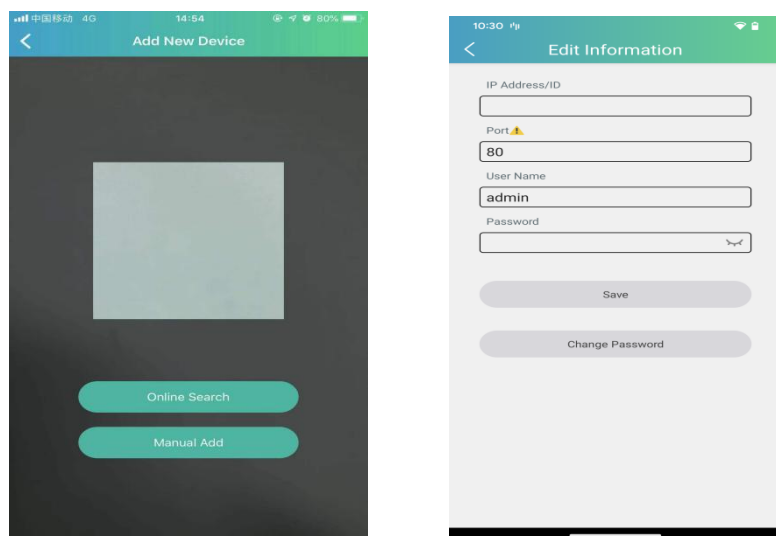
1) アプリケーションを起動するとライブビュー画面が表示されます。



2) アイコンをクリックしてメニューを開き、「デバイスリスト」を選択して「+」をクリックしてデバイスを追加します。



3) 「手動追加」を選択し、デバイス情報を入力して新しいデバイスを追加します。



1. QR コードをスキャン : QR コードをスキャンして機器を追加します。

2. オンライン検索 : デバイスと同じ LAN 内で検索して追加します。

3. 手動追加 :

IP アドレス/ID : IP アドレスまたは P2P ID を入力します。

ポート : デバイスのポートを入力します。

ユーザー名/パスワード : デバイスのユーザー名とパスワードを入力します。

4. すべての設定が完了したら「保存」をクリックします。デバイスが正常に接続されると、アプリはリアルタイム表示に切り替わります。

1 チャンネル表示

4 チャンネル表示

6 チャンネル表示



8 チャンネル表示

9 チャンネル表示

16 チャンネル表示

注意：アプリは 1 画面インターフェースで最大 16 チャンネルまで表示でき、画面を左右にスワイプして次の画面に移動し、他のチャンネルを確認できます。

キャプチャ：選択したチャンネル画面の画像をキャプチャし、APP ファイルリストに保存します。ファイルリストからキャプチャした画像を携帯電話にダウンロードできます。

映像録画：選択したチャンネル画面を録画して APP ファイルリストに保存し、ファイルリストから携帯電話にダウンロードできます。

音声：音声のオン/オフを切り替えます。



インターコム：双方向デバイスインターコム（対応機器が必要）

PTZ コントロール（ビデオカメラの対応が必要）

チャンネルを閉じる：映像を長押しするとウィンドウ上部にこのアイコンが表示されます。映像をこのアイコンにドラッグして映像プレビューを閉じます。

第 11 章 付録

11.1 よくある質問（FAQ）

1. ハードディスクが認識されない場合はどうすればよいですか？

回答：システムがハードディスクを認識しない場合、データケーブルと電源コードが正しく接続されているか、マザーボードのインターフェースに障害がないか、ハードディスク自体に問題がないかを確認してください。

2. システムパスワード変更後にうっかり忘れてシステムに入れない場合の対処は？

回答：管理者がパスワードを忘れた場合、パスワード取得機能でデバイスをリセットするか、リセットボタンで工場出荷時設定に復元できます。パスワード設定時には、覚えやすく比較的安全なパスワードを設定することをお勧めします。

3. 機器とカメラへの電源供給は正常なのに、モニター側に映像信号が出力されない、または異常な画像が表示されるのはなぜですか？

回答：デバイスのネットワークケーブル接続が良好かどうか、ネットワークケーブルが長期使用で老化していないか、または N システム/P システムの選択がカメラと一致しているかを確認してください。

4. 機器の放熱はシステムにどのような影響を与えますか？

回答：機器の動作により一定の熱が発生します。機器は安全で通気の良い場所に設置し、機器の高温によるシステムの安定性と耐用年数への影響を避けてください。

5. モニタリング画面は正常でパネルボタンも使用できるのに、デバイスのリモートコントロールが操作できないのはなぜですか？

回答：本体前面パネルの IR 信号に向けて操作してもリモコンが無効な場合、電池が正常で十分な残量があるかをご確認ください。上記の問題でなければ、リモコン本体が故障しています。

6. PC のハードドライブをデバイスに取り付けて使用できますか？

回答：機器の安定した動作への影響を避けるため、ビデオ監視専用のハードディスクを使用することをお勧めします。

7. 動画と一緒に再生できますか？

回答：はい、ローカルシステムは同時に録画と再生を行うことができます。

8. ハードディスクの動画記録の一部を消去できますか？

回答：ファイルのセキュリティを考慮し、動画の一部を消去することはできません。すべての動画を削除する必要がある場合、HDD をフォーマットできます。

9. デバイスクライアントにログインできないのはなぜですか？

回答：ネットワーク接続モードの設定が正しいか、RJ-45 インターフェースの接触が良好かを確認してください。また、ネットワークログインパスワードスイッチが有効かどうか、入力したアカウントとパスワードが正しいかを確認してください。

1. 映像再生時に録画情報が見つからないのはなぜですか？

回答：HDD のデータケーブルが正しく接続されているか、システム時刻が不正に調整されていないかをご確認ください。再起動後も上記の現象が続く場合は、ハードディスクが損傷していないかを確認してください。

2. なぜデバイスは雲台を制御できないのですか？

回答：以下の原因が考えられます：

- A) PTZ の前進制御の故障。
- B) 設定、接続、インストールの不良。
- C) PTZ 設定の誤り。
- D) PTZ デコーダのプロトコルがデバイスプロトコルと一致していない。
- E) 雲台デコーダアドレスがデバイスアドレスと一致しません。

3. モーション検知が機能しないのはなぜですか？

回答：動体検知時間と動体検知エリアの設定が正しいかをご確認ください。感度設定が低すぎないかもご確認ください。

13. アラームが機能しないのはなぜですか？

回答：アラームの設定、アラームラインが正しいか、アラーム入力信号が正しいかを確認してください。

14. なぜブザーが鳴り続けるのですか？

回答：アラームの関連設定を確認し、モーション検知が有効で検知されているか、I/O アラームが通常閉じているか、および関連するハードディスクアラーム設定を確認してください。

15. STOP を押すかショートカットメニューで「録画停止」をクリックしてもシステムが録画を継続するのはなぜですか？

回答：「STOP」または「録画停止」は手動録画のみ停止できます。一部の時間帯の録画を停止するには、録画モードをタイミングまたは手動録画に変更してから、上記の方法で録画を停止してください。

11.2 使用とメンテナンス

1. ハードディスクレコーダーをシャットダウンする場合は、ソフトウェアインターフェースでシステムをシャットダウンしてから電源を切ってください。データの損失や破損を防ぐため、電源スイッチを直接オフにしないでください。
2. ハードディスクレコーダーは熱源から離れた場所に設置してください。
3. 本体内部に堆積したほこりを定期的に清掃し、ハードディスクビデオレコーダー周囲の通気を確保して放熱を促進してください。

4. 音声・映像信号線および RS-232、RS-485 などのインターフェースは、抜き差しを繰り返すと各ポートが損傷しやすくなるため注意してください。
 5. 本体内のハードディスク電源コードとデータケーブルが長期使用で老化していないか定期的に確認してください。
 6. 音声・映像信号に対する他の回路の影響を避け、静電気や誘導電圧によるハードディスクの損傷を防いでください。
- ネットワークケーブル接続インターフェースが頻繁に抜き差しされる場合は、入力信号の不安定化を防ぐためケーブルを定期的に交換することを推奨します。
7. 本製品は A クラス製品です。生活環境では無線障害を引き起こす恐れがあります。その場合、干渉対策の実施が必要になる場合があります。

11.3 付属品（実物に準ずる）



□ 電源アダプタ



□ USB マウス

警告：

誤ったバッテリーを使用した場合、爆発の危険があります。

使用済みバッテリーは指示に従って処分してください。